

## 第3章 自転車の通行量及びルール遵守状況の実態調査

### 3.1 調査の概要

仙台市内の 20 地点において、自転車の通行量及びルール遵守状況の実態調査を行った。

表 3.1.1 調査の概要

調査期間	令和 7 年 6 月 12 日 (木) 地点 e 以外 令和 7 年 7 月 10 日 (木) 地点 e
調査時の気象状況	6 月 12 日 (木) : 曇後晴 最高気温 26.6℃ / 最低気温 17.6℃ 7 月 10 日 (木) : 曇時々雨 最高気温 26.0℃ / 最低気温 20.7℃
調査方法	(1) 自転車通行量調査 通行する自転車の台数を方向別にカウントを行う (2) 自転車ルール・マナー実態調査 自転車の通行違反を違反種類別にカウントを行う

表 3.1.2 違反内容の一覧表

No	違反項目	違反内容
I	信号無視	赤または黄信号で交差点に進入した場合
II	逆走	車道の右側を通行した場合
III	通行区分違反	道路交通法で定められた走行位置を守っていない場合 ①自転車通行可の歩道において車道寄りを通行しない場合 ②自転車通行可の歩道において自転車の通行場所が指定されている部分(白線内)を通行しない場合 ③自転車専用通行帯、自転車道を通行しない場合 ④自転車通行不可の歩道を通行した場合 ※通行者が 13 歳未満の子ども・70 歳以上の高齢者・身体障害者と思われる場合、車道または交通の状況によりやむを得ないと考えられる場合は除く
IV	イヤホン等使用	自転車を運転しながらイヤホン等(スマホ・携帯電話・音楽プレーヤー、荷掛運転などを含む)をそれぞれ使用した場合 ※自転車を押しながら歩いている場合は除く
V	並進	自転車が並んで通行した場合
VI	無灯火	日没後、ライトを点灯していない場合
VII	自転車押し歩き推進区間での自転車乗車	自転車押し歩き推進区間 <sup>(※)</sup> において、自転車に乗車したまま通行した場合 ※「仙台市自転車の安全利用に関する条例」に基づく「自転車押し歩き推進区間」に指定している地点(平成 30 年度以前は「自転車降車誘導標示区間」)
VIII	その他	二人乗り、傘差し運転、片手運転、歩道上での高速走行、酒気帯び運転、斜め横断など

表 3.1.3 自転車通行可能な通行区分の例

	自転車歩行者道 (自転車通行可の標識・標示があり、 歩道上で自転車の通行が可能)		自転車通行不可の歩道 (自転車通行可の標識・標示がない)	
	通行部分指定なし	通行部分指定あり	自転車道、 自転車専用通行帯あり	自転車道、 自転車専用通行帯なし
自転車の 通行場所	歩道における車道寄り の部分	自転車の通行場所が指 定されている部分(白線 内)	自転車道、自転車専用通 行帯	車道(路肩含む)
分離形態 (例)				

(自転車の安全な利活用推進計画より引用)

## 3.2 調査結果

### 3.2.1 通過台数と違反台数

令和7年度は調査地点が20地点、通過台数は8,059台で、前年度に比べて全地点合計の通過台数は638台の減少(▲7.3%)となった。

都心エリア(地点a～地点f)では、前年度に比べ地点c、e、fで通過台数が増加しているが、地点a、b、d(上り・西側)、d(下り・東側)では通過台数が減少している。

郊外エリア(地点g～地点k)では、前年度に比べ地点h以外で通過台数が減少している。

3年間同じ調査地点としているa～kとl-1、l-2、m-1、m-2、qの合計の通過台数は6,436台で、前年度に比べて475台の減少(▲6.9%)となった。

表 3.2.1 通過台数一覧表

調査地点	調査年度	通過台数 (台)	違反台数(台)		違反割合		
			違反なし	違反あり	違反なし	違反あり	
(都心エリア)	a 県道仙台泉線	令和7年度	570	386	184	67.7%	32.3%
		令和6年度	605	374	231	61.8%	38.2%
		令和5年度	606	405	201	66.8%	33.2%
	b 市道宮町通線	令和7年度	950	469	481	49.4%	50.6%
		令和6年度	993	520	473	52.4%	47.6%
		令和5年度	911	510	401	56.0%	44.0%
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	令和7年度	1,040	684	356	65.8%	34.2%
		令和6年度	980	705	275	71.9%	28.1%
		令和5年度	974	741	233	76.1%	23.9%
	d 国道286号線(上り・西側)	令和7年度	281	38	243	13.5%	86.5%
		令和6年度	310	39	271	12.6%	87.4%
		令和5年度	330	45	285	13.6%	86.4%
	d 国道286号線(下り・東側)	令和7年度	321	276	45	86.0%	14.0%
		令和6年度	374	266	108	71.1%	28.9%
		令和5年度	339	279	60	82.3%	17.7%
e 市道中央一丁目西宮城野線	令和7年度	398	229	169	57.5%	42.5%	
	令和6年度	392	232	160	59.2%	40.8%	
	令和5年度	409	246	163	60.1%	39.9%	
f 市道駅前通線	令和7年度	426	280	146	65.7%	34.3%	
	令和6年度	424	283	141	66.7%	33.3%	
	令和5年度	374	225	149	60.2%	39.8%	
(郊外エリア)	g 市道荒巻大和町線	令和7年度	48	30	18	62.5%	37.5%
		令和6年度	63	28	35	44.4%	55.6%
		令和5年度	46	11	35	23.9%	76.1%
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	令和7年度	307	243	64	79.2%	20.8%
		令和6年度	290	222	68	76.6%	23.4%
		令和5年度	281	232	49	82.6%	17.4%
	i 市道御町大和町(その2)線	令和7年度	431	169	262	39.2%	60.8%
		令和6年度	468	161	307	34.4%	65.6%
		令和5年度	433	181	252	41.8%	58.2%
	j 市道長町3号線	令和7年度	142	15	127	10.6%	89.4%
		令和6年度	230	15	215	6.5%	93.5%
		令和5年度	161	3	158	1.9%	98.1%
	k 市道加茂幹線1号線	令和7年度	127	102	25	80.3%	19.7%
		令和6年度	166	132	34	79.5%	20.5%
		令和5年度	138	111	27	80.4%	19.6%
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	令和7年度	308	180	128	58.4%	41.6%
		令和6年度	422	310	112	73.5%	26.5%
		令和5年度	222	163	59	73.4%	26.6%
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	令和7年度	388	271	117	69.8%	30.2%
		令和6年度	485	410	75	84.5%	15.5%
		令和5年度	245	160	85	65.3%	34.7%
	m-1 県道秋保温泉愛子線	令和7年度	94	59	35	62.8%	37.2%
		令和6年度	88	55	33	62.5%	37.5%
		令和5年度	92	54	38	58.7%	41.3%
	m-2 県道落合停車場線	令和7年度	48	22	26	45.8%	54.2%
		令和6年度	64	14	50	21.9%	78.1%
		令和5年度	48	21	27	43.8%	56.3%
	n 市道第三高等学校前線	令和7年度	162	98	64	60.5%	39.5%
		令和6年度	180	111	69	61.7%	38.3%
		令和5年度	331	240	91	72.5%	27.5%
o 市道連坊小路線	令和7年度	654	489	165	74.8%	25.2%	
	令和6年度	677	429	248	63.4%	36.6%	
	令和5年度	64	45	19	70.3%	29.7%	
p 国道286号線	令和7年度	807	550	257	68.2%	31.8%	
	令和6年度	929	729	200	78.5%	21.5%	
	令和5年度	92	5	87	5.4%	94.6%	
q 市道七北田実沢線	令和7年度	557	342	215	61.4%	38.6%	
	令和6年度	557	388	169	69.7%	30.3%	
	令和5年度	669	457	212	68.3%	31.7%	
全地点合計	令和7年度	8,059	4,932	3,127	61.2%	38.8%	
	令和6年度	8,697	5,423	3,274	62.4%	37.6%	
	令和5年度	6,765	4,134	2,631	61.1%	38.9%	

都心エリア(地点 a～地点 f)の令和 7 年度における通過台数に占める違反台数の割合は 40.7%で、令和 6 年度と同じ結果であった。

郊外エリア(地点 g～地点 k)の令和 7 年度における通過台数に占める違反台数の割合は 47.0%で、令和 6 年度の 54.1%から 7.1 ポイント減少した。

全地点合計の令和 7 年度における通過台数に占める違反台数の割合は 38.8%で、令和 6 年度の 37.6%から 1.2 ポイント増加している。

※令和 6～7 年度と令和 5 年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

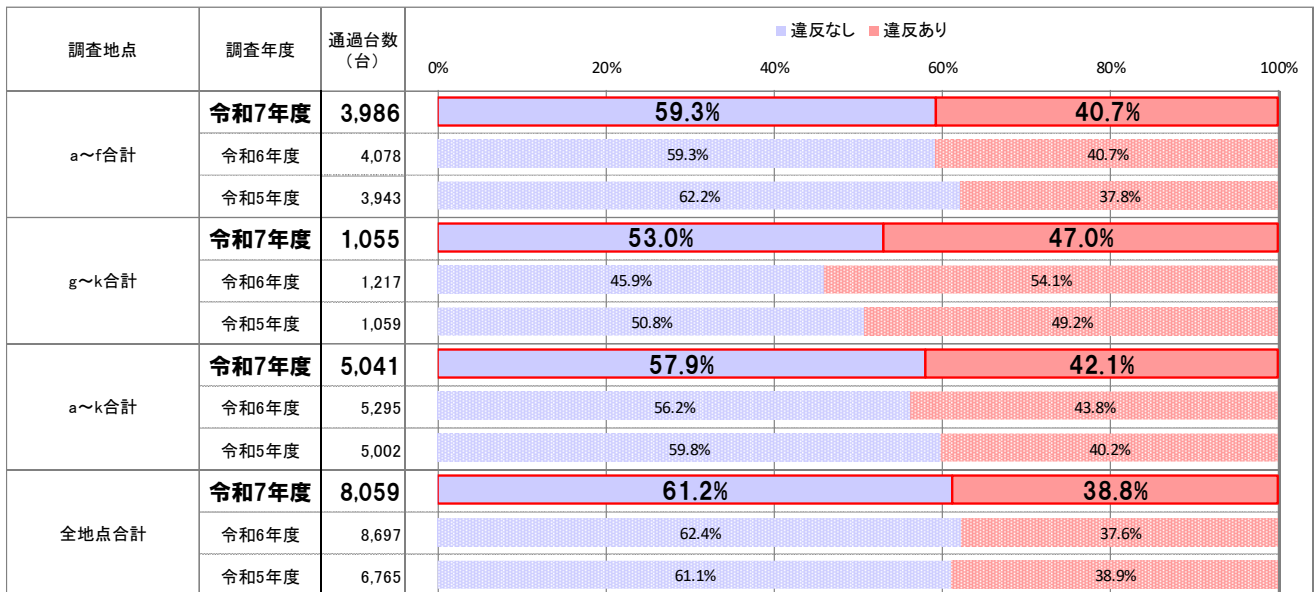


図 3.2.1 地点合計の通過台数と違反台数の推移

### 3.2.2 地点別の違反割合

違反率が最も高かった地点は、j 市道長町3号線の89.4%で、次いでd 国道286号線(上り・西側)の86.5%、i 市道卸町大和町(その2線)の60.8%である。

違反率が最も低かった地点は、d 国道286号線(下り・東側)の14.0%、次いでk 市道加茂幹線1号線の19.7%、h 市道高砂駅蒲生(その2)線の20.8%である。k 市道加茂幹線1号線は、令和6年度でも違反率が低かった。(図3.3.1参照)

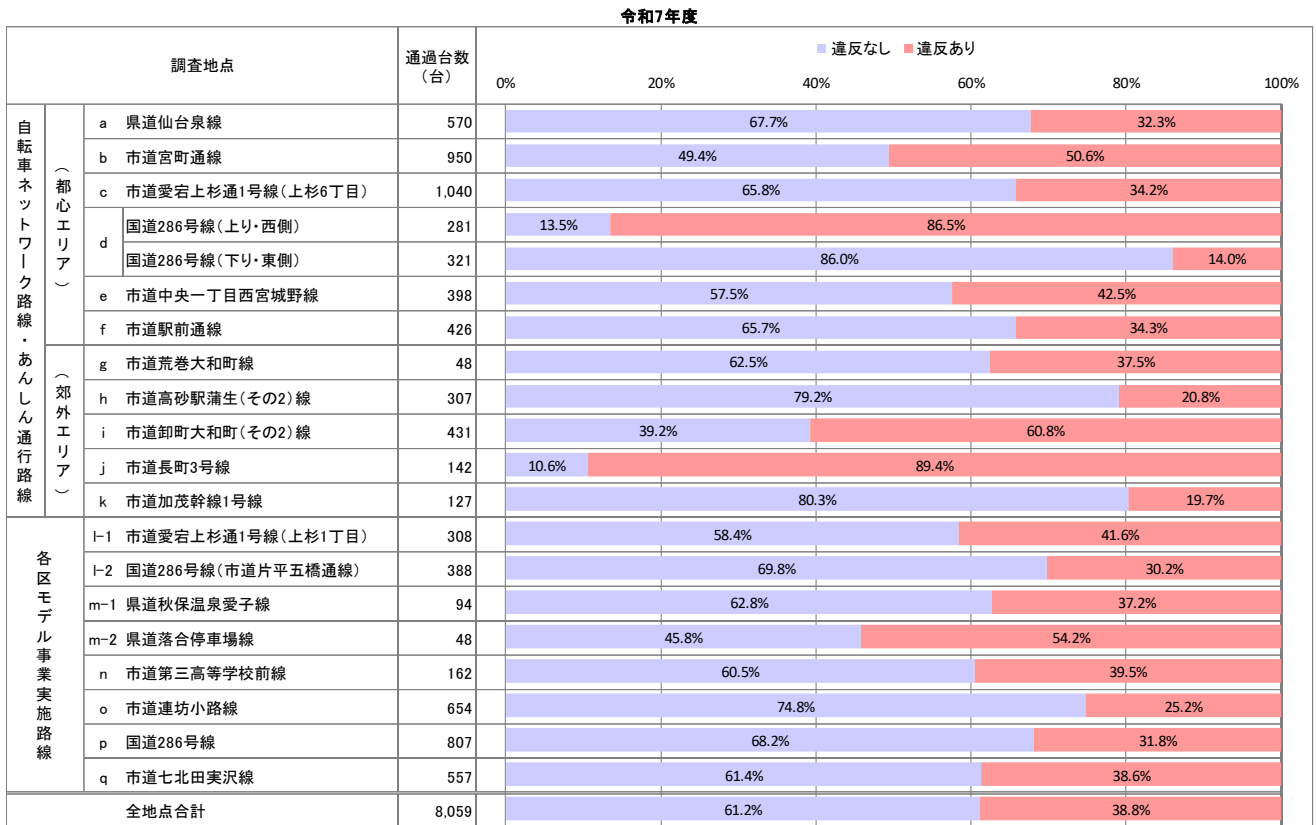


図 3.2.2 地点別 違反割合 (令和7年度)

### 3.2.3 地点別の違反内容

違反項目の中で、「通行区分違反」が 20 地点中 13 地点で最も高い割合を占めており、k 市道加茂幹線 1 号線が 88.9%、j 市道長町 3 号線が 82.1%、n 市道第三高等学校前線が 74.0%である。

また、f 市道駅前通線では「イヤホン等」が 62.8%、d 国道 286 号線(上り・西側)では「押し歩き」が 68.0%、a 県道仙台泉線では「信号無視」が 30.4%、e 市道中央一丁目西宮城野線では「逆走」が 23.2%と、各違反項目が他の調査地点に比べて高い割合を占めている。

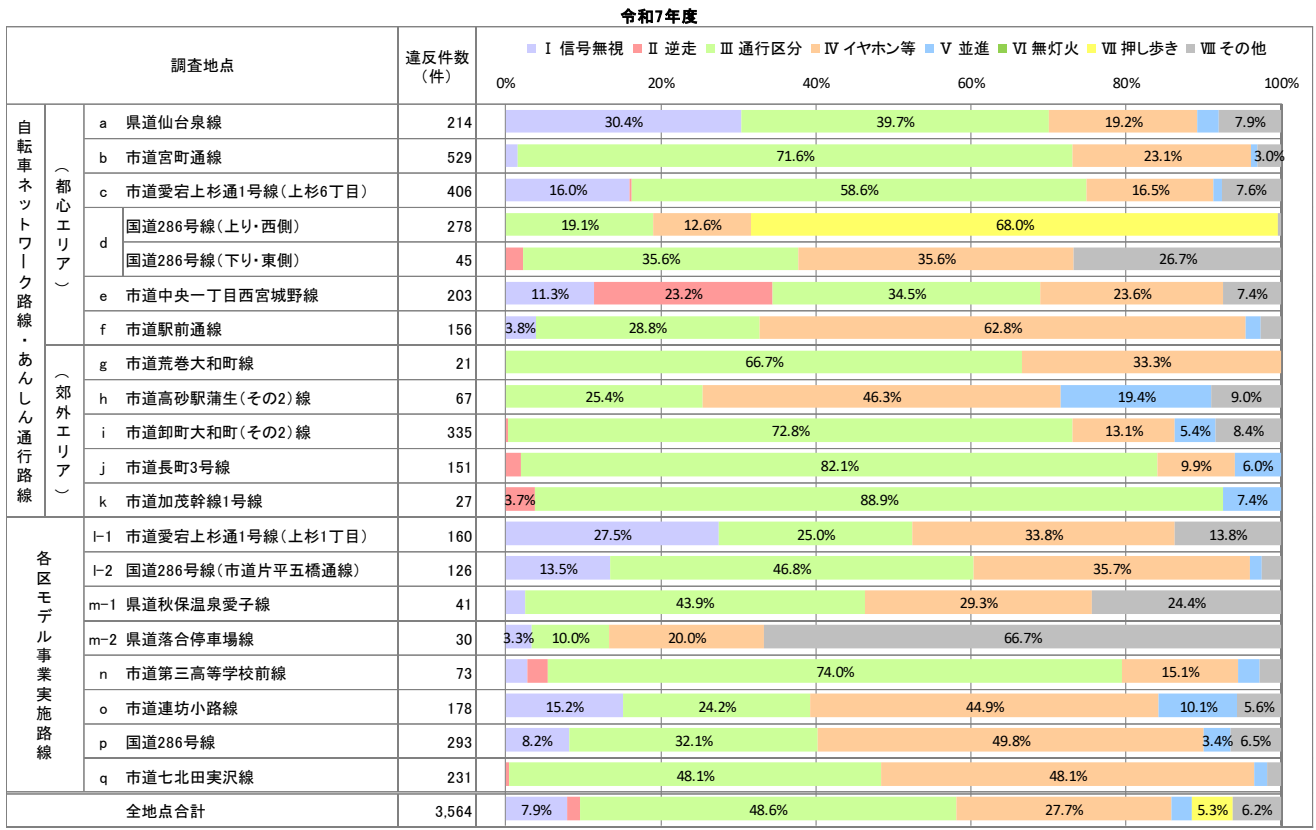


図 3.2.3 地点別 違反内容 (令和7年度)

### 3.2.4 地点別の「その他」違反内容

「その他」違反件数が10件以上発生した11地点中6地点で「歩道上での高速走行」が最も多く発生しており、3地点では「片手」が最も多く、2地点では「斜め横断」が最も多い。

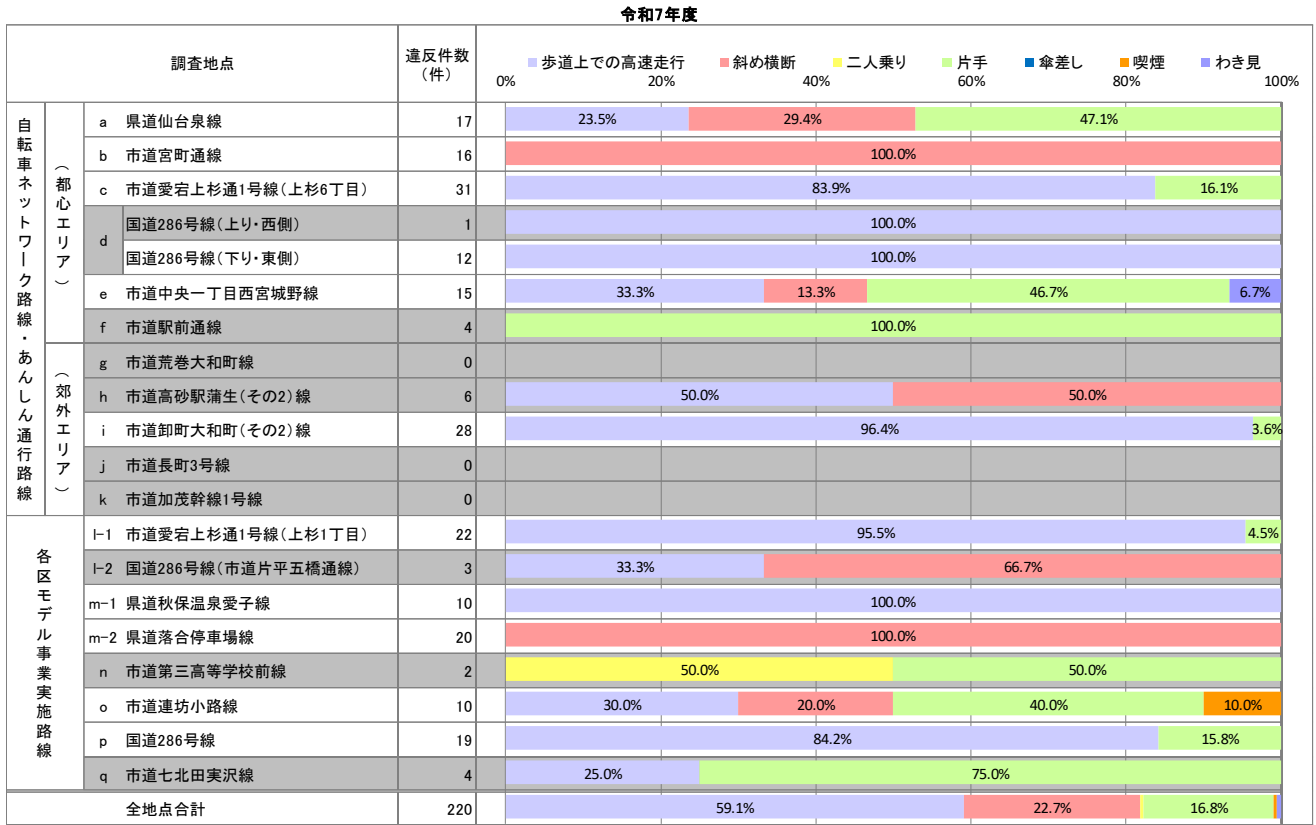


図 3.2.4 地点別 「その他」違反内容 (令和7年度)

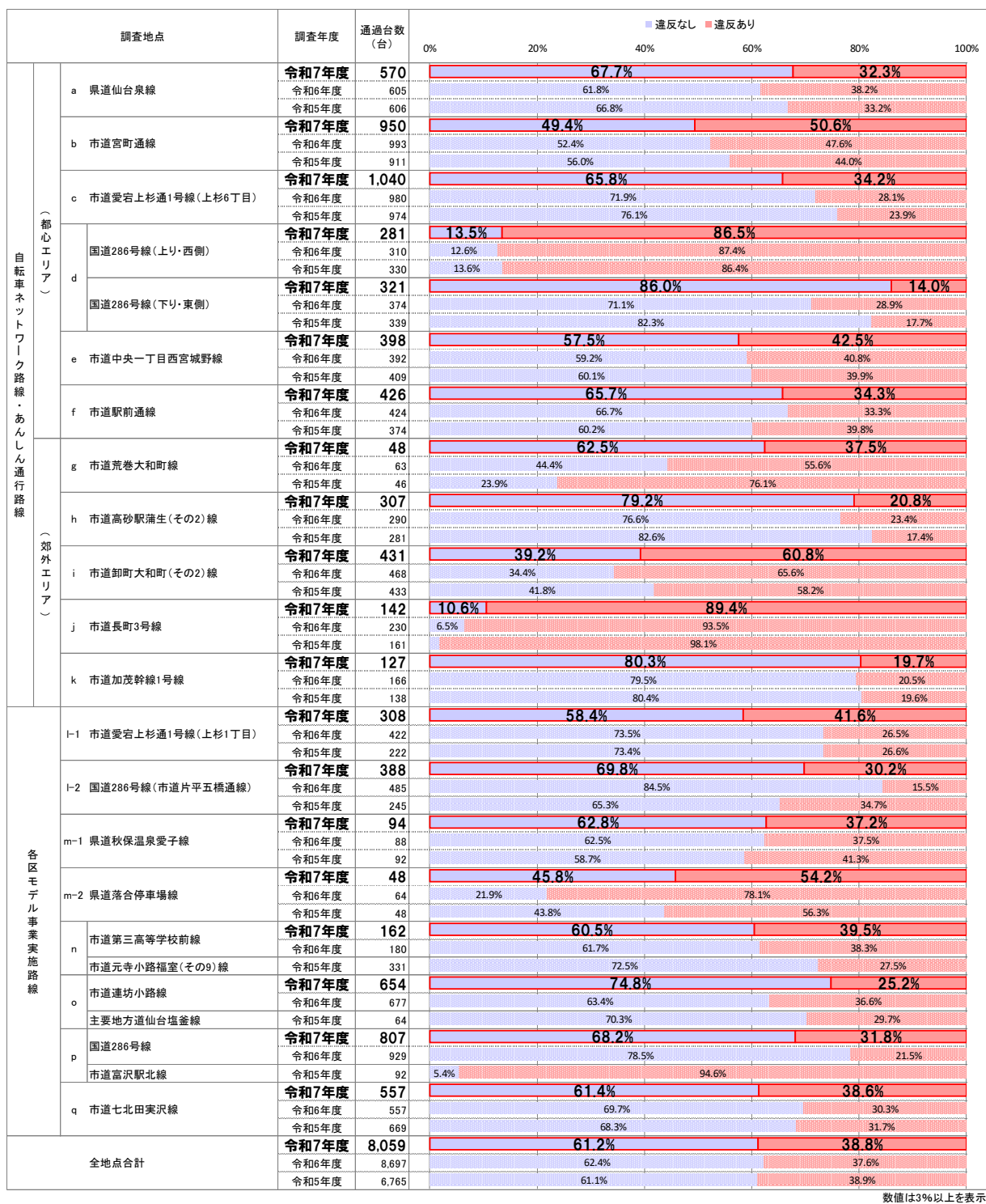
※「その他」の違反件数が10件未満の地点は評価していない。

### 3.3 区分別分析

#### 3.3.1 地点別の通行量と違反割合

令和7年度の通過台数に占める違反割合を前年度と比較すると、m-2 県道落合停車場線が 54.2%で 23.9ポイント減少、g 市道荒巻大和町線では 37.5%と 18.1ポイント減少、d 国道 286 号線(下り・東側)では 14.0%と 14.9ポイント減少となっている。

一方、l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)では 41.6%と 15.1ポイント増加、l-2 国道 286 号線(市道片平五橋通線)では 30.2%と 14.7ポイント増加している。



数値は3%以上を表示

図 3.3.1 地点別 通行量と違反割合 (令和5年度～令和7年度)

### 3.3.2 地点別×時間帯別の通行量と違反割合

令和7年度の朝・夕の違反割合を比べ、夕方が特に高い違反割合となった地点は、n 市道第三高等学校前線で、朝 24.8%に対し夕方 89.2%で 64.4 ポイント高く、e 市道中央一丁目西宮城野線で、朝 24.9%に対し夕方 65.3%で 40.4 ポイント高かった。反対に、朝が特に高い違反割合となった地点は g 市道荒巻大和町線で、朝 46.9%で夕方 18.8%より 28.1 ポイント高かった。

令和7年度の全地点合計の違反割合は、朝 35.2%に対して夕方 44.6%(+9.4 ポイント)と、過年度と同様に夕方がやや高かった。朝・夕方の差は、令和6年度(+9.8 ポイント)に比べ若干低くなった。

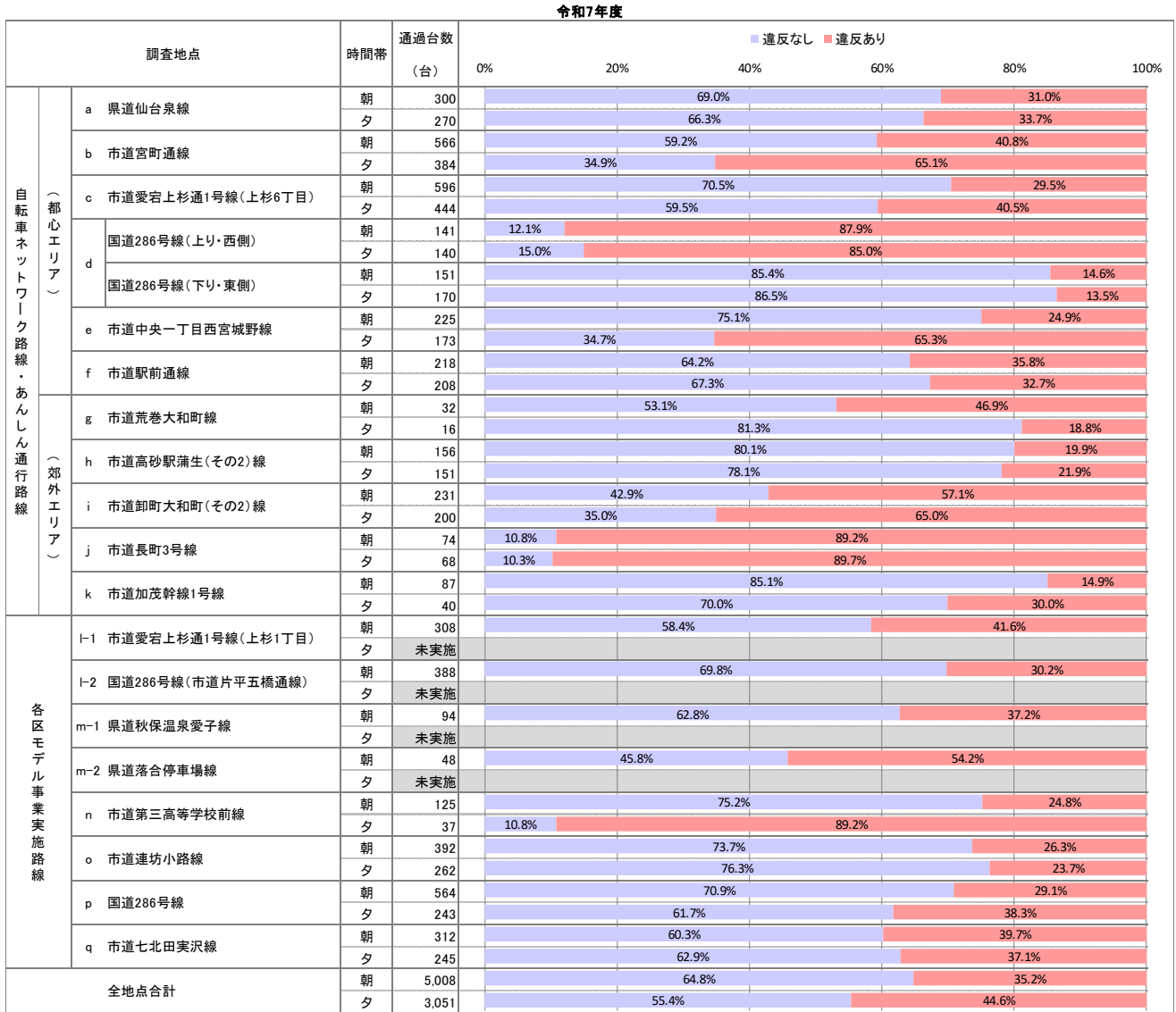


図 3.3.2 地点別×時間帯別 通行量と違反割合 (令和7年度)

令和6年度

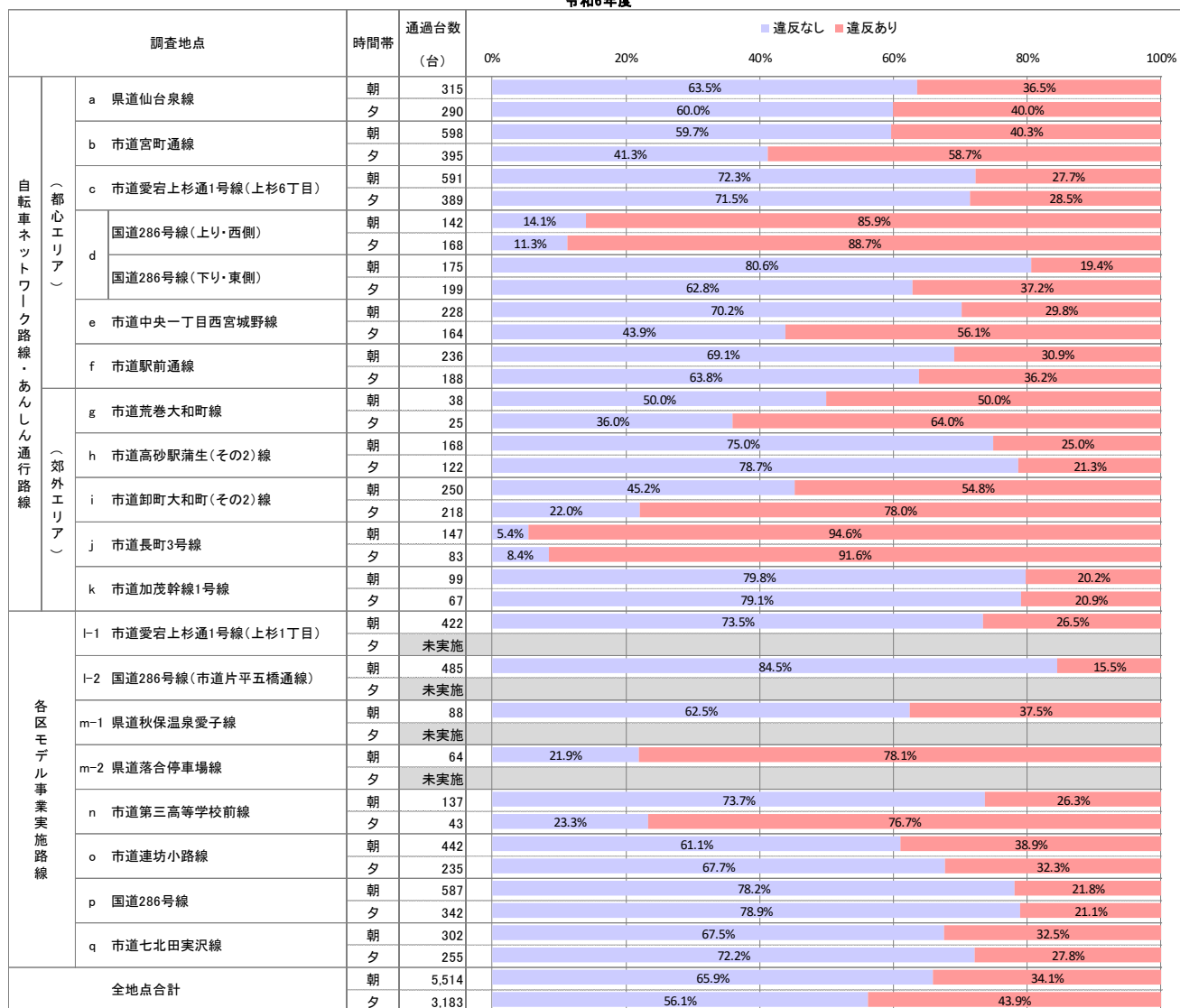
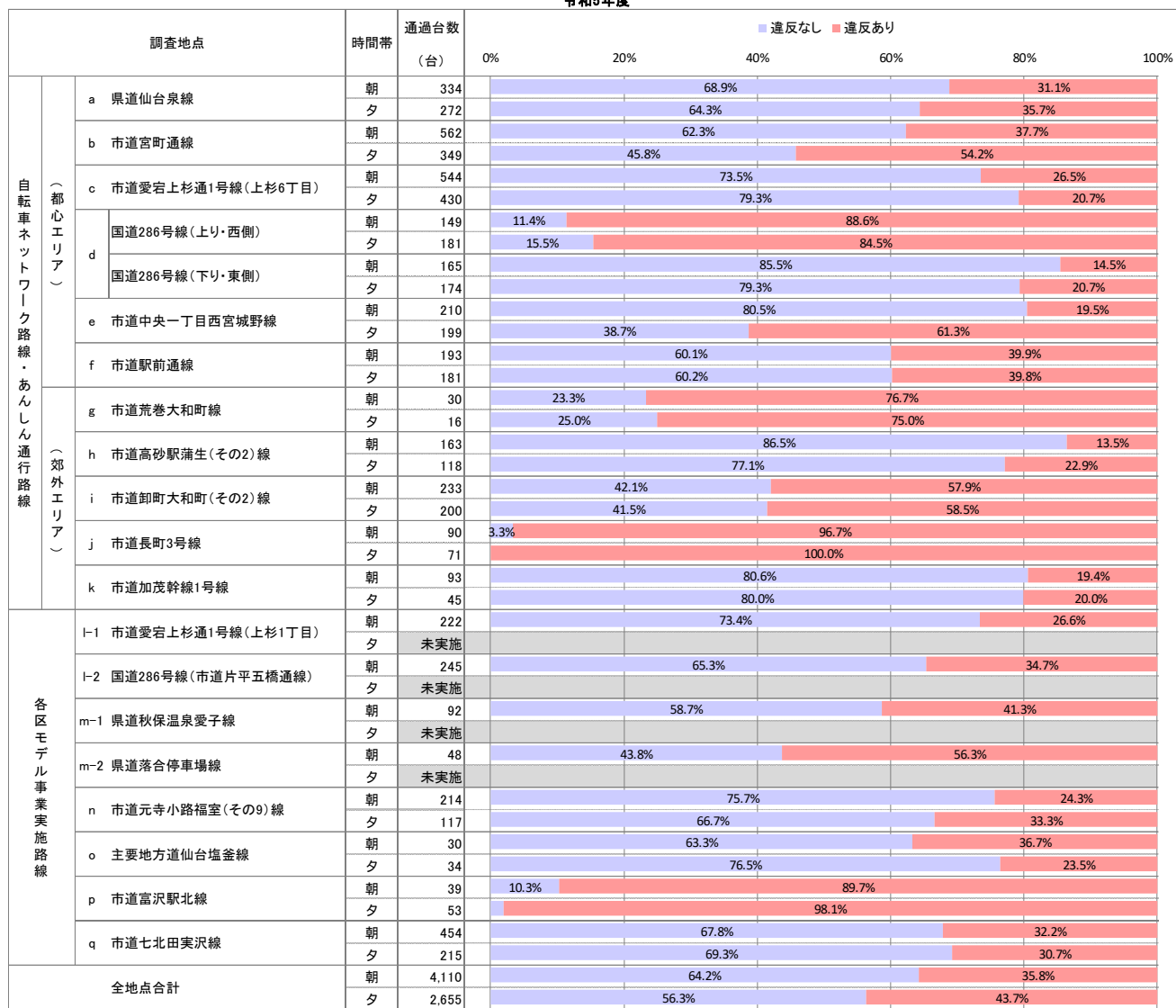


図 3.3.3 地点別×時間帯別 通行量と違反割合 (令和6年度)

令和5年度



数値は3%以上を表示

図 3.3.4 地点別×時間帯別 通行量と違反割合 (令和5年度)

### 3.3.3 地点形状別の通行量と違反割合

令和7年度の地点形状別の違反割合は、交差点で36.8%、単路部で46.0%と、単路部が若干(+9.2ポイント)高い。これは令和6年度・令和5年度と同様の傾向である。

※令和7年度における交差点は a、b、c、e、f、g、h、j、l-1、l-2、m-1、m-2、n、o、p の15地点。単路部は上記以外の d(西側・東側)、i、k、q の5地点。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

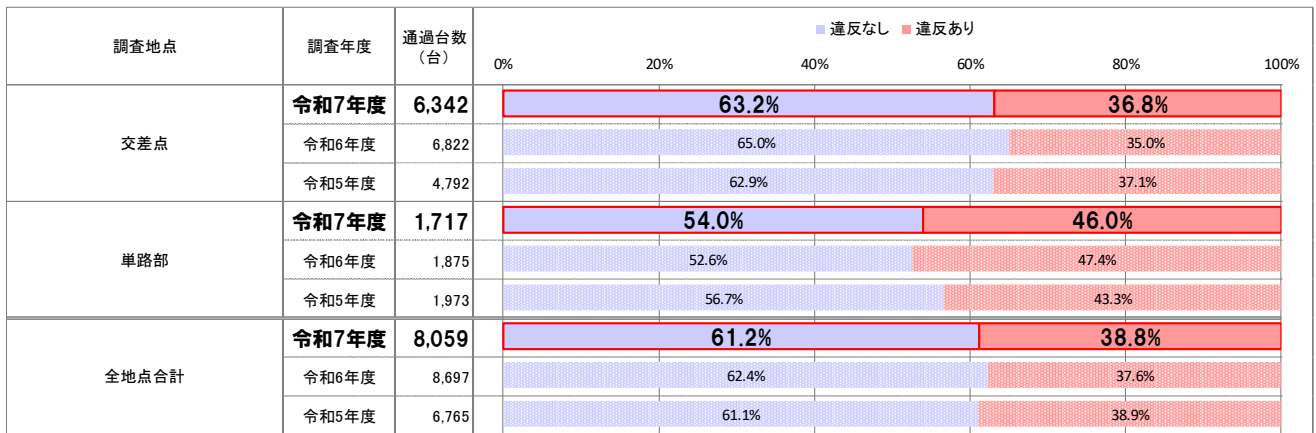


図 3.3.5 地点形状別 通行量と違反割合（令和5年度～令和7年度）

### 3.3.4 地点形状別×時間帯別の通行量と違反割合

令和7年度の地点形状別、時間帯別の違反割合は、交差点で朝 33.0%に対し夕方 43.8%(+10.8ポイント)と夕方の方が高く、令和6年度・令和5年度と同様の傾向がみられる。

一方、単路部でも朝 45.0%に対し夕方 47.2%(+2.2ポイント)と夕方の方が若干高く、令和6年度・令和5年度と同様の傾向がみられる。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

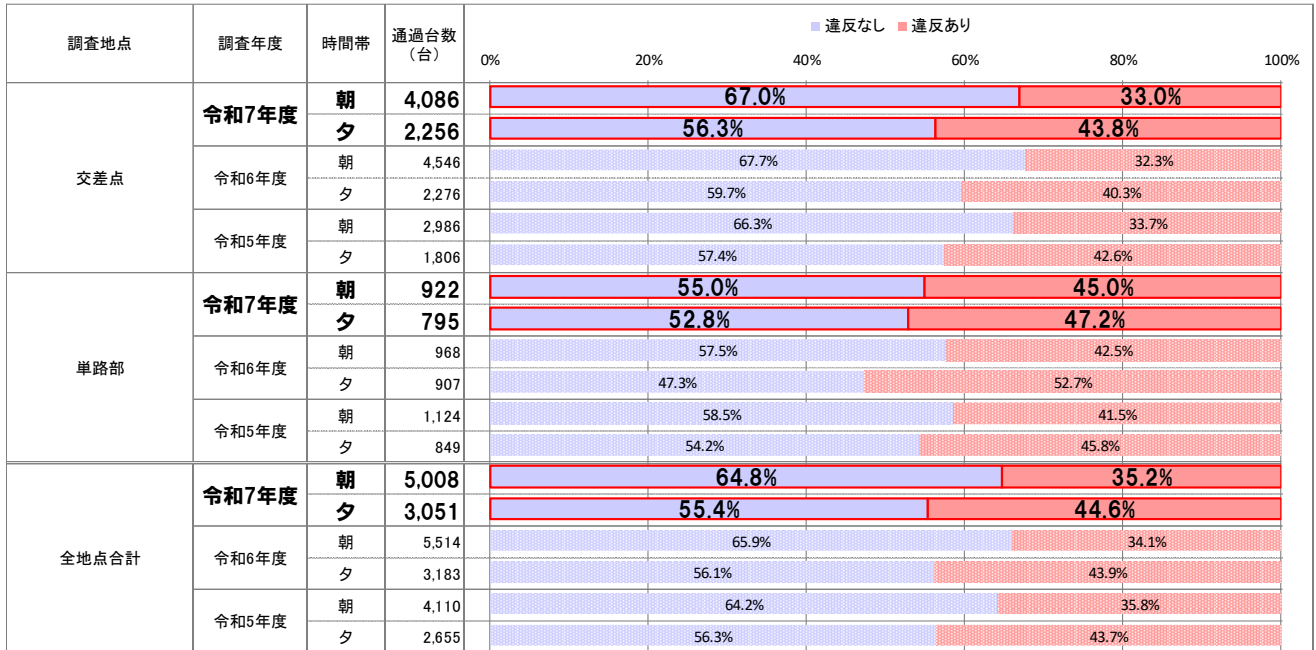


図 3.3.6 地点形状別×時間帯別 通行量と違反割合 (令和5年度～令和7年度)

### 3.3.5 道路構造別（歩道の自転車通行可否）の通行量と違反割合

令和7年度の道路構造別の違反割合は、自転車歩行者道で34.1%と、令和6年度の31.9%から2.2ポイント増加した。

自転車通行不可の歩道では50.8%で、令和6年度の51.9%から1.1ポイント減少した。

※令和7年度における自転車歩行者道の地点はa、c、d(西側・東側)、f、h、l-1、l-2、m-1、m-2、o、p、qの13地点。自転車通行不可の歩道は上記以外のb、e、g、i、j、k、nの7地点。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

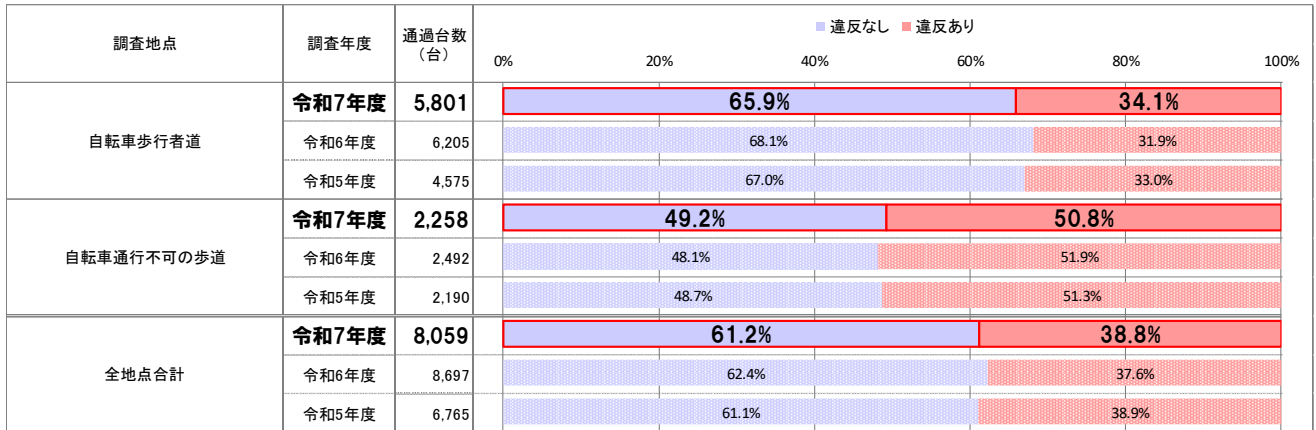


図 3.3.7 道路構造別 通行量と違反割合（令和5年度～令和7年度）

### 3.3.6 道路構造別（歩道の自転車通行可否）×時間帯別の通行量と違反割合

令和7年度において、自転車歩行者道では朝の違反割合が33.3%で、夕方の35.6%と大きな変化はなく、令和6年度・令和5年度と比べると朝夕ともに違反割合が若干増加している。

自転車通行不可の歩道では夕方の違反割合が65.6%で、朝の40.6%と比べると25.0ポイント高く、過年度と同じ傾向がみられた。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

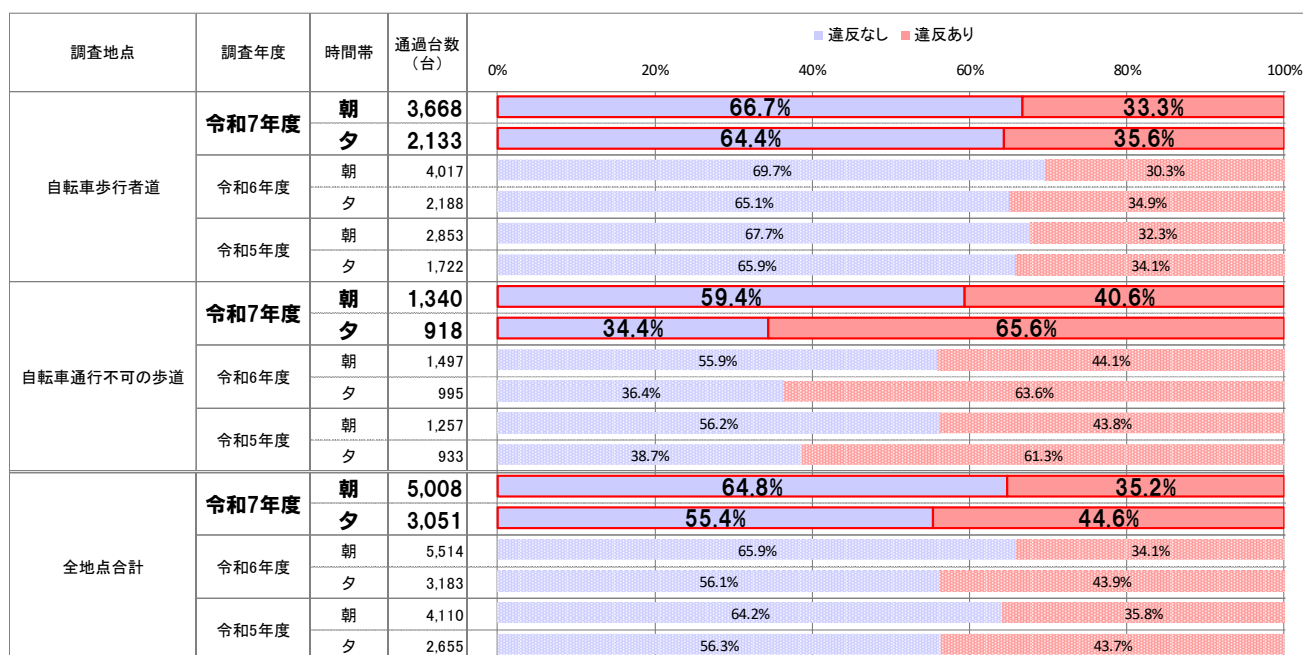
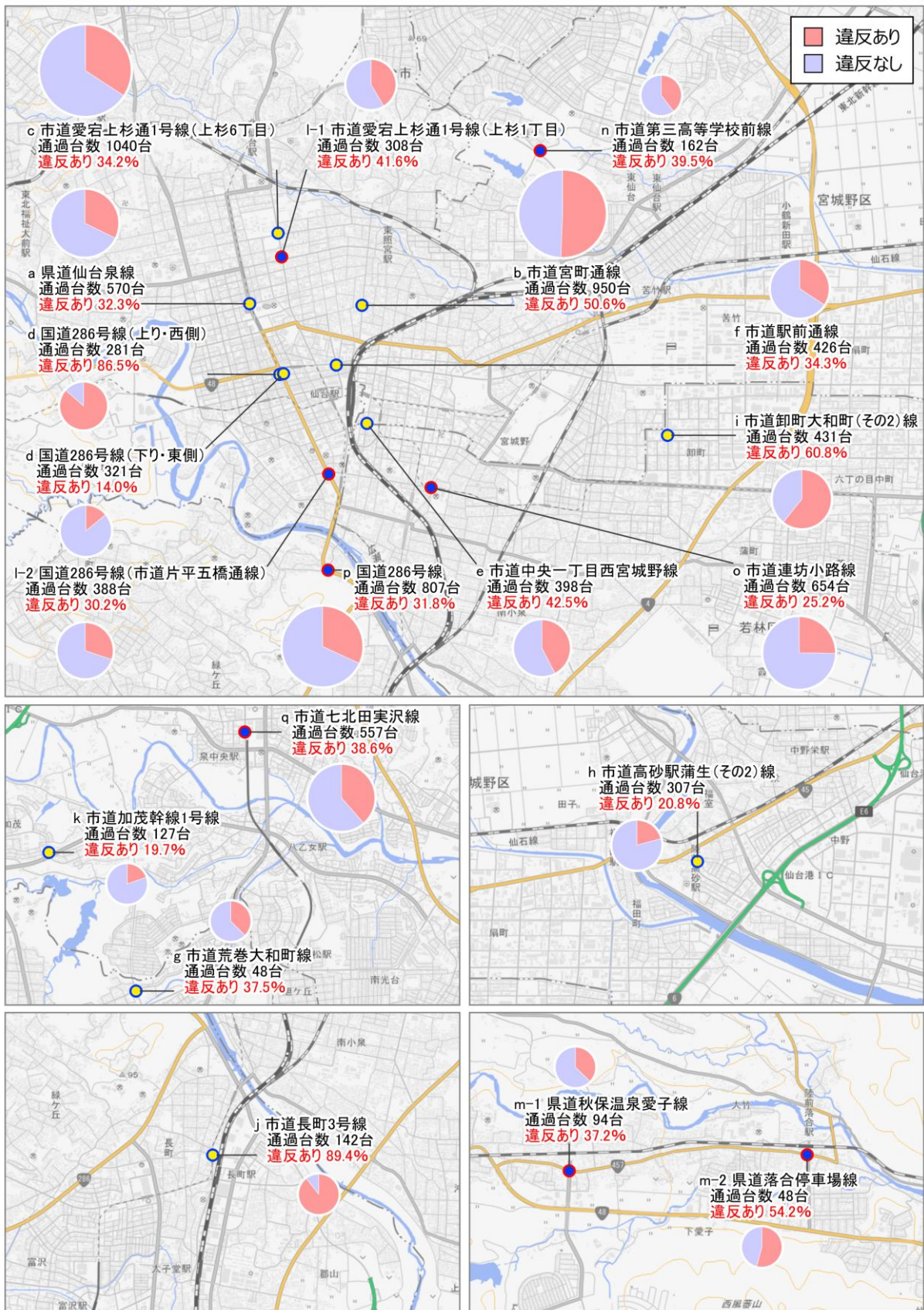


図 3.3.8 道路構造別×時間帯別 通行量と違反割合（令和5年度～令和7年度）

### 3.3.7 通行量と違反割合 全体図（令和7年度）



国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 3.3.9 通行量と違反割合 全体図

### 3.3.8 地点別の違反内容

20 地点中 11 地点において、最も高い割合を占める違反項目は「通行区分違反」となっている。

令和 6 年度から令和 7 年度の違反項目の割合の変化をみると、m-1 県道秋保温泉愛子線の「信号無視」が 34.2 ポイントの減少 (36.6%→2.4%)、「通行区分」が 26.8 ポイントの増加 (17.1%→43.9%) となっている。また、o 市道連坊小路線では「通行区分」が 32.0 ポイントの減少 (56.2%→24.2%)、「イヤホン等」が 18.9 ポイントの増加 (26.0%→44.9%) となっている。

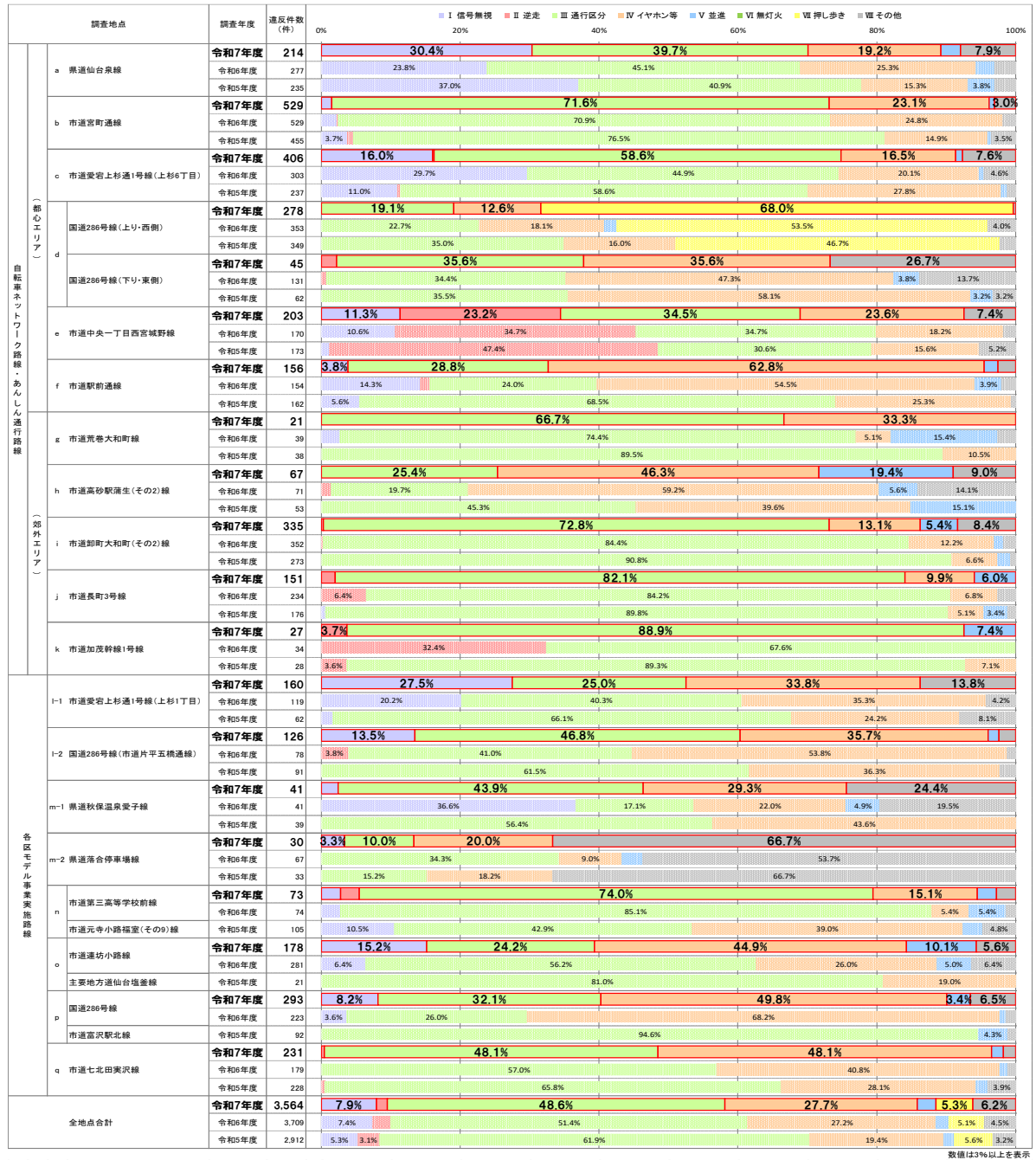


図 3.3.10 地点別 違反内容 (令和5年度～令和7年度)

※令和5～7年度は、夕方の調査を日没前に実施したことから、全地点で「無灯火」が0件であった。

### 3.3.9 地点別×時間帯別の違反内容

令和7年度では、「イヤホン等」について、b 市道宮町通線、c 市道愛宕上杉通1号線、d 国道286号線(上り・西側)、e 市道中央一丁目西宮城野線、h 市道高砂駅蒲生(その2)線、i 市道卸町大和町(その2)線、j 市道長町3号線、n 市道第三高等学校前線、o 市道連坊小路線、p 国道286号線で朝の方が特に高い割合を示している。また、a 県道仙台泉線、b 市道宮町通線、c 市道愛宕上杉通1号線、d 国道286号線(西側・東側)、e 市道中央一丁目西宮城野線、h 市道高砂駅蒲生(その2)線、j 市道長町3号線、k 市道加茂幹線1号線、n 市道第三高等学校前線、p 国道286号線では、「通行区分違反」について朝より夕方が高い割合となっている。

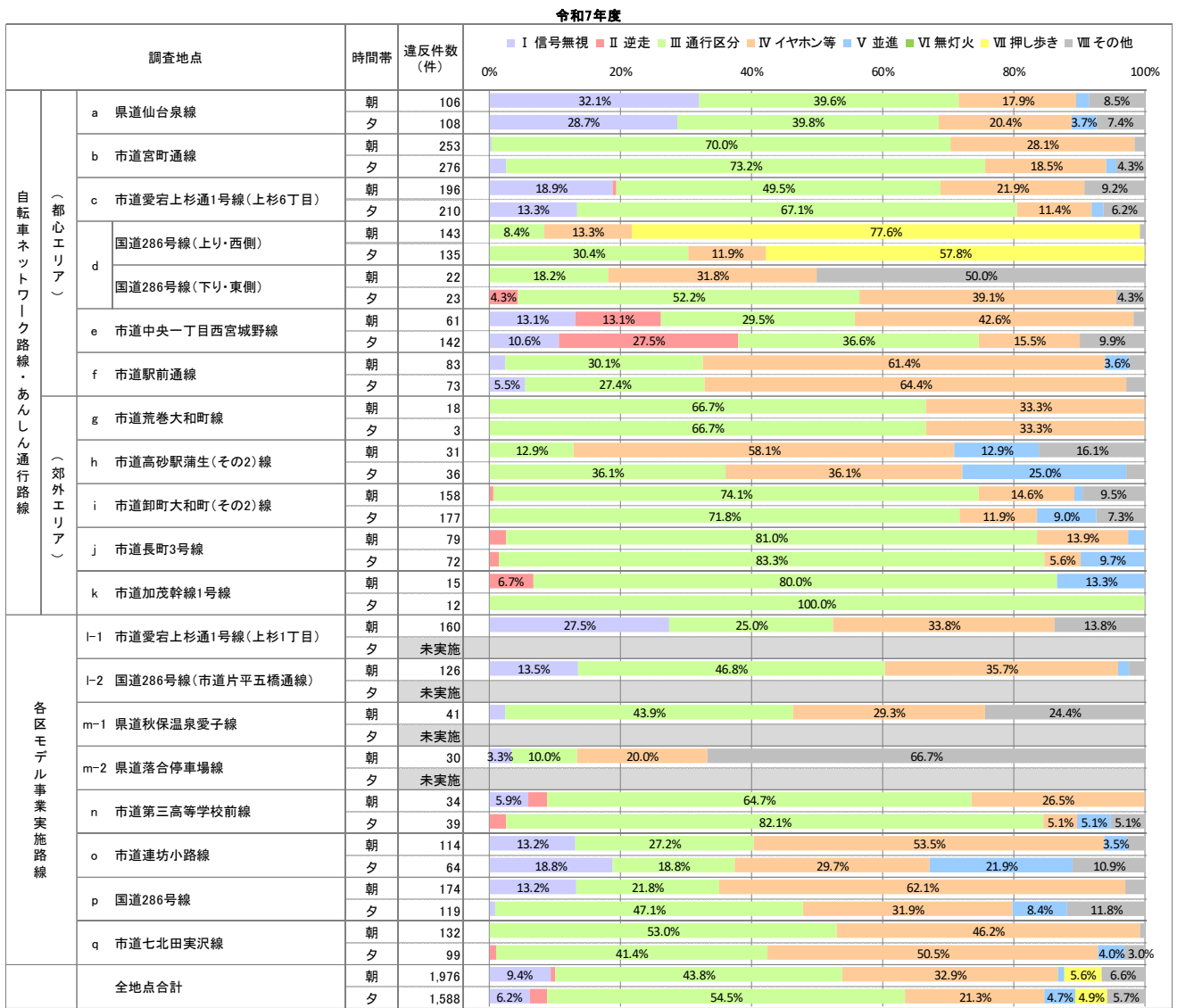


図 3.3.11 地点別×時間帯別 違反内容 (令和7年度)

令和6年度

調査地点	時間帯	違反件数 (件)	違反内容							
			I 信号無視	II 逆走	III 通行区分	IV イヤホン等	V 並進	VI 無灯火	VII 押し歩き	VIII その他
(都心エリア)	a 県道仙台泉線	朝	141	30.5%		40.4%		24.1%	3.5%	
		夕	136	16.9%		50.0%		26.5%	4.4%	
	b 市道宮町通線	朝	259			69.1%		27.8%		
		夕	270	3.3%		72.6%		21.9%		
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	181	23.2%		43.6%		28.2%	5.0%	
		夕	122	39.3%		46.7%		8.2%	4.1%	
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	151	12.6%	14.6%		66.9%		6.0%	
		夕	202	30.2%		20.8%		43.6%		
		朝	39	5.1%		69.2%		25.6%		
		夕	92			46.7%		38.0%	5.4%	8.7%
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	72	12.5%	22.2%		30.6%		31.9%	
		夕	98	9.2%	43.9%		37.8%		8.2%	
	f 市道駅前通線	朝	83	19.3%		22.9%		53.0%		
		夕	71	8.5%	25.4%		56.3%		8.5%	
	g 市道荒巻大和町線	朝	20	5.0%		80.0%		10.0%	5.0%	
		夕	19			68.4%		10.5%	21.1%	
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	42		23.8%		59.5%		4.8%	9.5%
		夕	29	13.8%		58.6%		6.9%	20.7%	
i 市道卸町大和町(その2)線	朝	146			91.8%			6.8%		
	夕	206			79.1%		16.0%			
j 市道長町3号線	朝	149	10.1%		81.9%			7.4%		
	夕	85			88.2%		5.9%	5.9%		
k 市道加茂幹線1号線	朝	20	25.0%		75.0%					
	夕	14	42.9%		57.1%					
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	119	20.2%		40.3%		35.3%	4.2%	
		夕	未実施							
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	78	3.8%		41.0%		53.8%		
		夕	未実施							
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	41	36.6%		17.1%	22.0%	4.9%	19.5%	
		夕	未実施							
	m-2 県道落合停車場線	朝	67	34.3%		9.0%		53.7%		
		夕	未実施							
	n 市道第三高等学校前線	朝	37			83.8%		8.1%	5.4%	
		夕	37			86.5%		5.4%		
	o 市道連坊小路線	朝	193	4.1%		61.1%		28.5%	4.1%	
		夕	88	11.4%		45.5%	20.5%	11.4%	11.4%	
	p 国道286号線	朝	138	3.6%	24.6%		71.0%			
		夕	85	3.5%	28.2%		63.5%			
	q 市道七北田実沢線	朝	103			68.0%		31.1%		
		夕	76		42.1%		53.9%			
	全地点合計	朝	2,079	8.0%		49.9%		29.1%	4.9%	5.3%
		夕	1,630	6.7%	3.2%	53.4%		24.6%	3.2%	5.4%

数値は3%以上を表示

図 3.3.12 地点別×時間帯別 違反内容(令和6年度)

令和5年度

調査地点	時間帯	違反件数 (件)	違反内容							
			I 信号無視	II 逆走	III 通行区分	IV イヤホン等	V 並進	VI 無灯火	VII 押し歩き	VIII その他
自転車ネットワーク路線・あんしん通行路線	a 県道仙台泉線	朝	127	36.2%		37.0%		19.7%	4.7%	
		夕	108	38.0%		45.4%		10.2%	5.6%	
	b 市道宮町通線	朝	239			75.3%		18.4%		
		夕	216	5.6%		77.8%		11.1%	4.2%	
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	146	11.6%		56.8%		28.8%		
		夕	91	9.9%		61.5%		26.4%		
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	164		33.5%	15.9%		47.0%	3.7%	
		夕	185		36.2%	16.2%		46.5%		
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	42		19.0%	35.7%		28.6%	14.3%	
		夕	131		56.5%		29.0%	11.5%		
	f 市道駅前通線	朝	82	7.3%		69.5%		23.2%		
		夕	80	3.8%		67.5%		27.5%		
	g 市道荒巻大和町線	朝	25			88.0%		12.0%		
		夕	13			92.3%		7.7%		
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	22			63.6%		36.4%		
		夕	31		32.3%	41.9%		25.8%		
	i 市道卸町大和町(その2)線	朝	148			89.2%		8.1%		
		夕	125			92.8%		4.8%		
j 市道長町3号線	朝	88			98.9%					
	夕	88			80.7%		9.1%	6.8%		
k 市道加茂幹線1号線	朝	19	5.3%		84.2%		10.5%			
	夕	9			100.0%					
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	62			66.1%		24.2%	8.1%	
		夕	未実施							
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	91			61.5%		36.3%		
		夕	未実施							
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	39			56.4%		43.6%		
		夕	未実施							
	m-2 県道落合停車場線	朝	33	15.2%	18.2%		66.7%			
		夕	未実施							
	n 市道元寺小路福室(その9)線	朝	62	11.3%		40.3%		43.5%	4.8%	
		夕	43	9.3%		46.5%		32.6%	7.0%	
	o 主要地方道仙台塩釜線	朝	12			91.7%		8.3%		
		夕	9			66.7%		33.3%		
	p 市道富沢駅北線	朝	38			92.1%		5.3%		
		夕	54			96.3%		3.7%		
q 市道七北田美沢線	朝	159			64.8%		28.9%	5.7%		
	夕	69			68.1%		26.1%	5.8%		
全地点合計	朝	1,624	5.1%		62.3%		22.0%	4.7%		
	夕	1,288	5.5%	5.8%	61.4%		16.1%	6.7%		

数値は3%以上を表示

図 3.3.13 地点別×時間帯別 違反内容 (令和5年度)

### 3.3.10 地点形状別の違反内容

令和7年度において、交差点、単路部ともに最も高い割合を占める違反項目は「通行区分違反」であった。交差点では、次いで「イヤホン等」が29.6%、「信号無視」が10.7%を占めている。単路部では、交差点部で観測のない「押し歩き」が20.6%と高い割合を占めている。

令和6年度から令和7年度の違反項目の割合の変化をみると、交差点部では、「通行区分違反」の割合が2.7ポイント減少(51.2%→48.5%)、「イヤホン等」が0.8ポイント増加(28.8%→29.6%)している。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

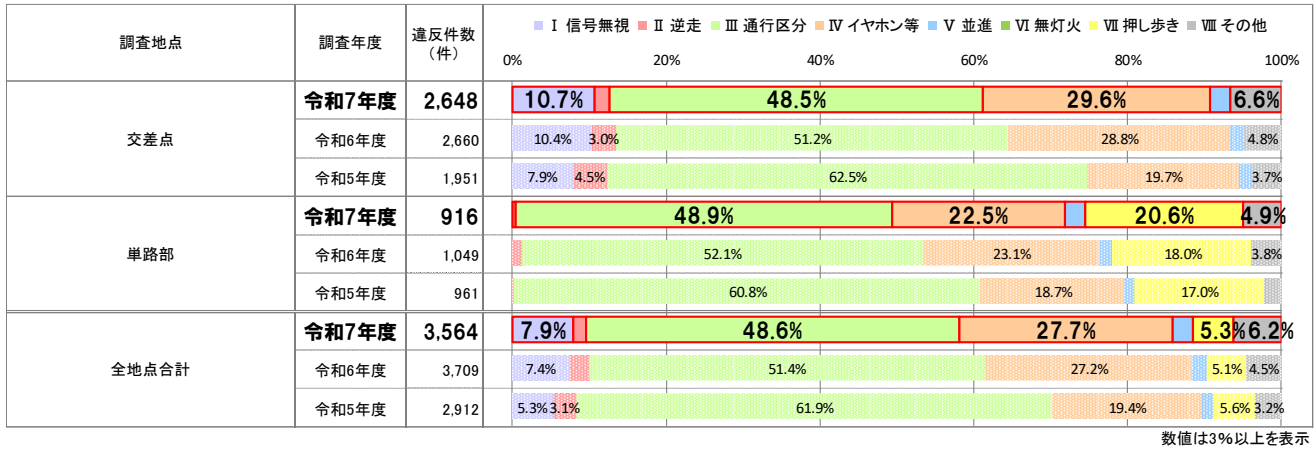


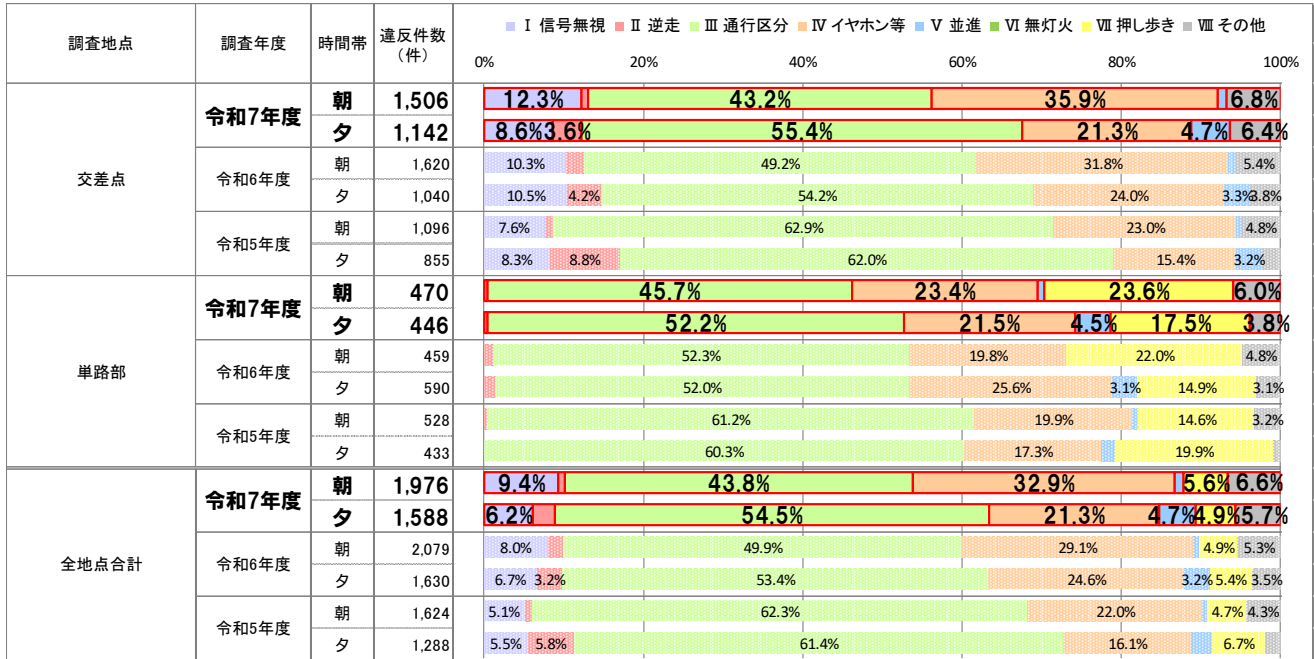
図 3.3.14 地点形状別 違反内容（令和5年度～令和7年度）

※令和5～7年度は、夕方の調査を日没前に実施したことから、全地点で「無灯火」が0件であった。

### 3.3.11 地点形状別×時間帯別の違反内容

令和7年度における、交差点での違反内容の割合は、「イヤホン等」は朝の方が高く、「通行区分」、「逆走」は夕方に高い傾向であった。また単路部での違反内容の割合では、「押し歩き」は朝の方が高く、「通行区分」、「並進」は夕方に高かった。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。



数値は3%以上を表示

図 3.3.15 地点形状別×時間帯別 違反内容（令和5年度～令和7年度）

※令和5～7年度は、夕方の調査を日没前に実施したことから、全地点で「無灯火」が0件であった。

### 3.3.12 道路構造別（歩道の自転車通行可否）の違反内容

令和7年度において、自転車歩行者道、自転車通行不可の歩道のいずれにおいても最も高い割合を占める違反項目は「通行区分違反」であったが、自転車歩行者道における36.9%に対し、自転車通行不可の歩道では67.9%と全体に占める割合が高かった。

令和5年度から令和7年度を通してみても、「通行区分違反」については、自転車歩行者道では36%から50%程度であるのに対し、自転車通行不可の歩道では、67%から77%程度となっており、自転車通行不可の歩道の方が高い傾向がみられる。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

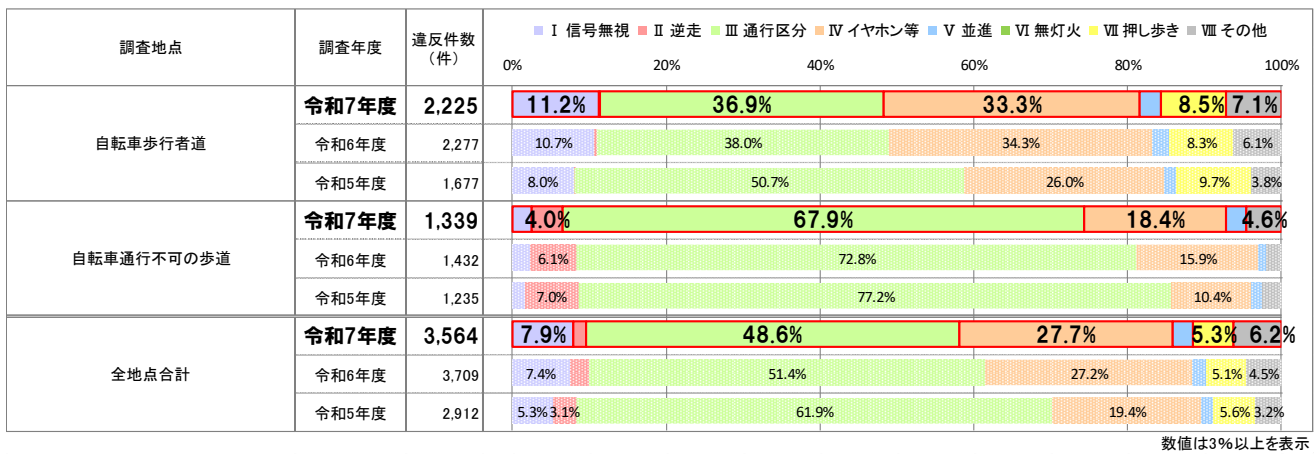


図 3.3.16 道路構造別 違反内容（令和5年度～令和7年度）

※令和5～7年度は、夕方の調査を日没前に実施したことから、全地点で「無灯火」が0件であった。

### 3.3.13 道路構造別（歩道の自転車通行可否）×時間帯別の違反内容

令和7年度において、自転車歩行者道では「通行区分違反」が朝32.6%、夕方43.7%と夕方で最も高い割合を示した。「イヤホン等」が朝37.1%、夕方27.5%と朝で最も高い割合を示した。

自転車通行不可の歩道では「通行区分違反」が朝68.3%、夕方67.5%と朝の方がやや高くなっている。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

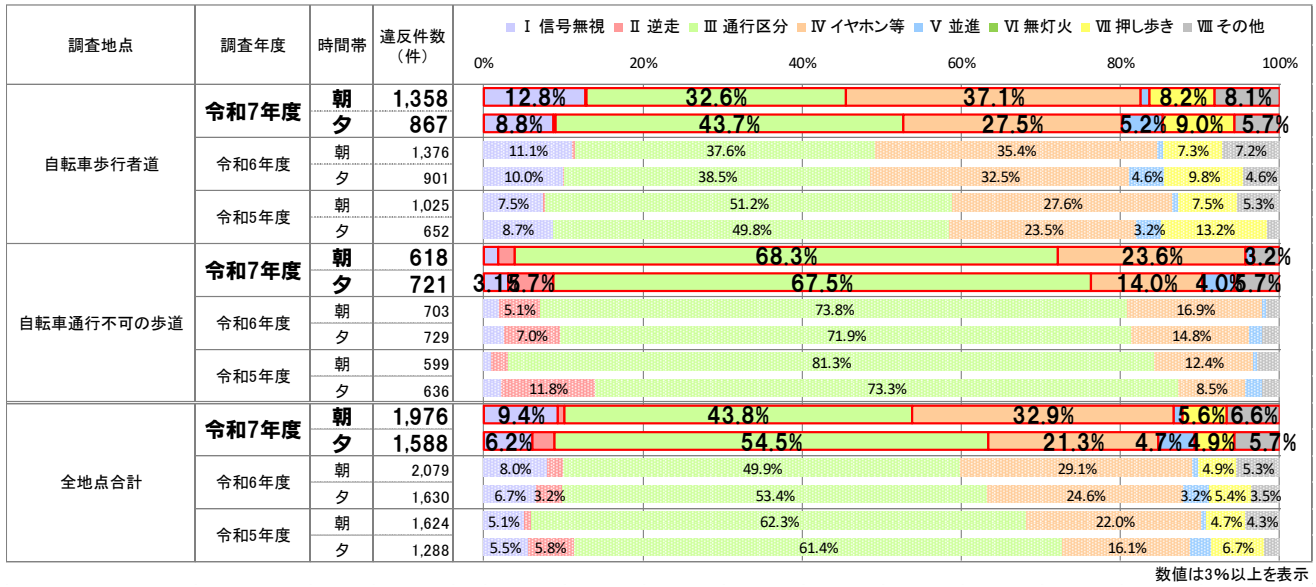
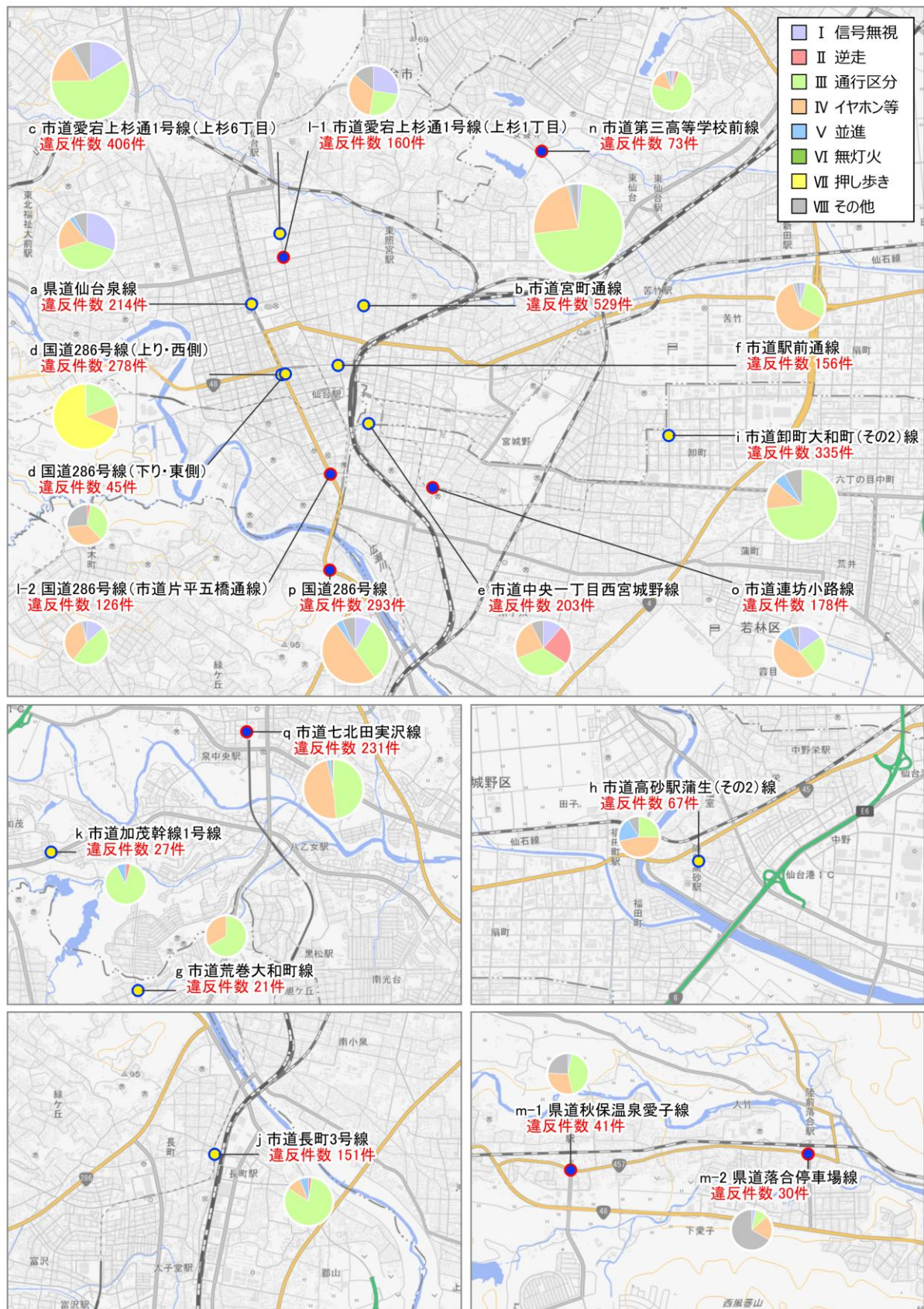


図 3.3.17 道路構造別×時間帯別 違反内容（令和5年度～令和7年度）

※令和5～7年度は、夕方の調査を日没前に実施したことから、全地点で「無灯火」が0件であった。

### 3.3.14 違反内容 全体図（令和7年度）



国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 3.3.18 違反内容 全体図

### 3.3.15 地点別の「その他」違反内容

令和7年度において、違反件数が10件以上発生した11地点中6地点で、「その他」の違反内容として「歩道上での高速走行」が最も多く発生している。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

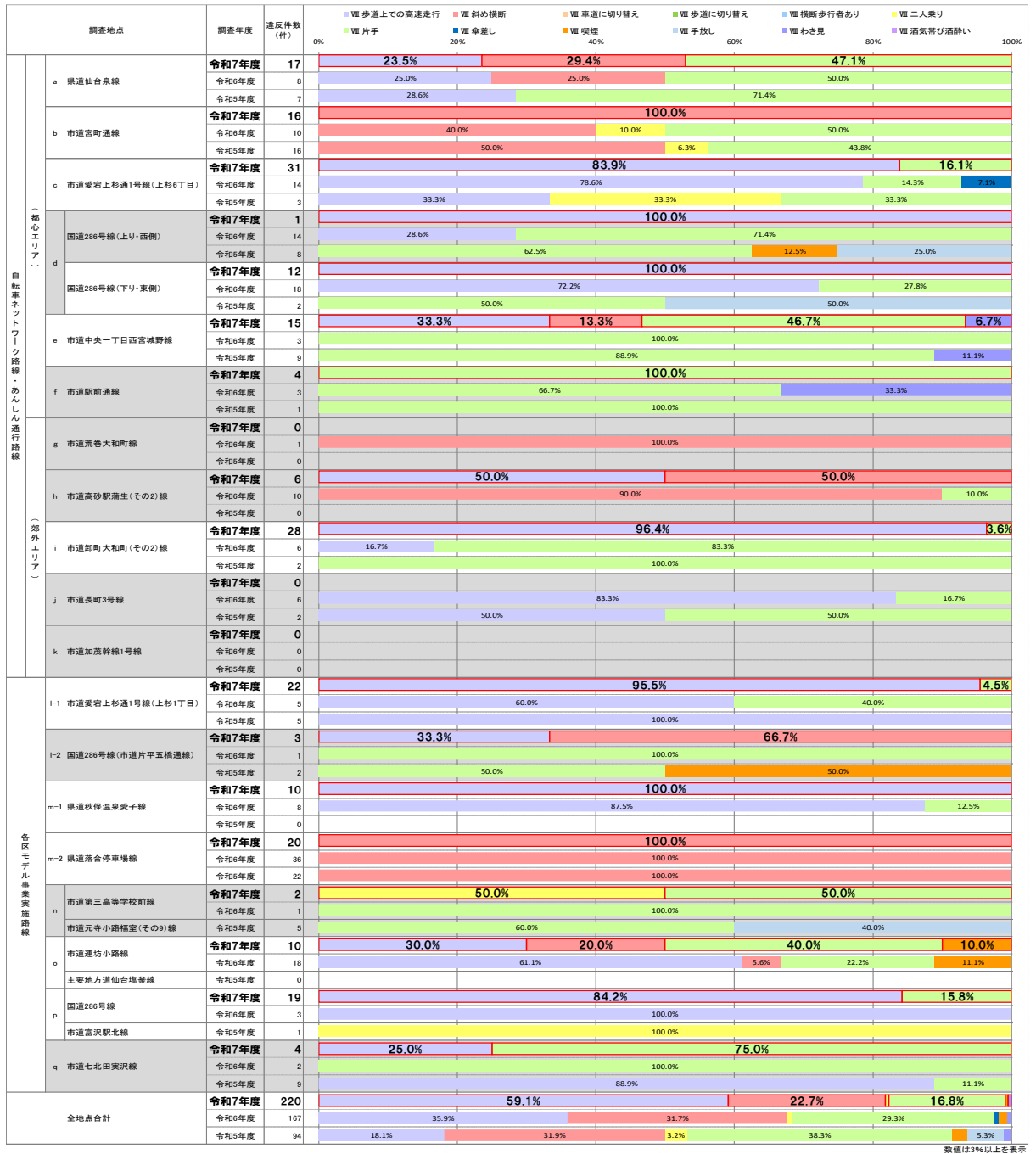


図 3.3.19 地点別×「その他」違反内容(令和5年度～令和7年度)

※令和7年度で「その他」の違反件数が10件未満の地点は評価していない。

### 3.3.16 地点形状別の「その他」違反内容詳細

令和7年度における「その他」違反内容で、交差点では「歩道上での高速走行」が50.9%で最も高い割合を占め、次いで「斜め横断」が28.6%であった。単路部でも「歩道上での高速走行」が91.1%で最も高い割合を占め、次いで「片手」が8.9%であった。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

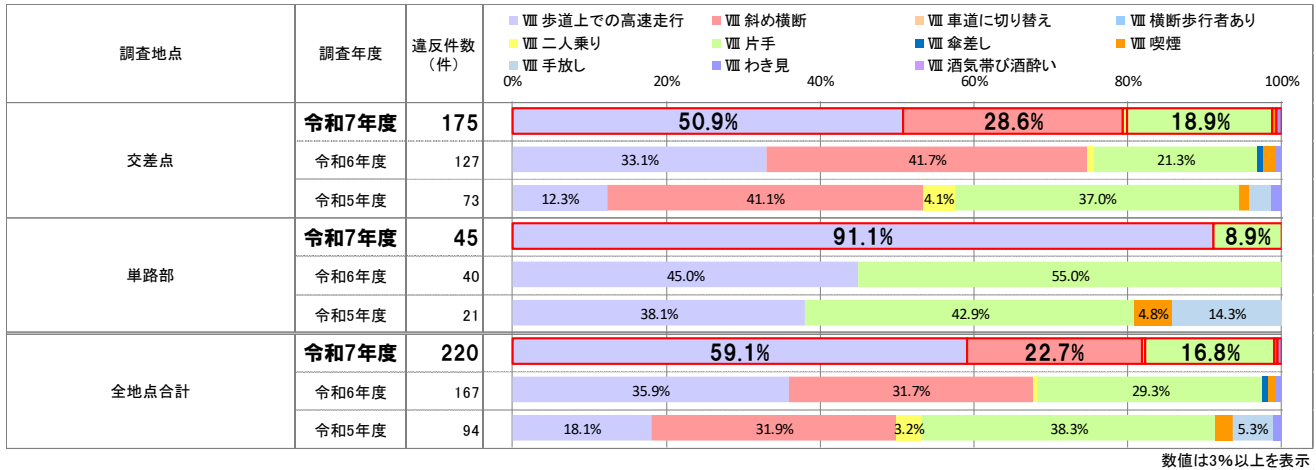


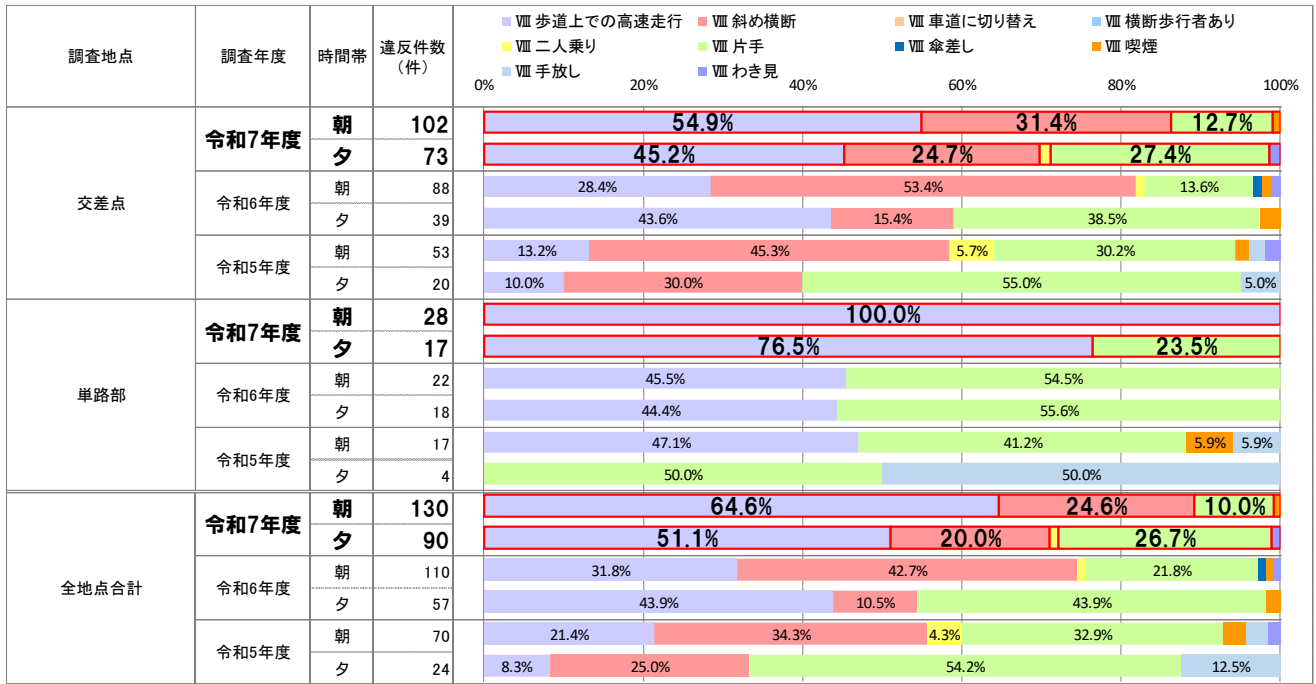
図 3.3.20 地点形状別 「その他」違反内容（令和5年度～令和7年度）

### 3.3.17 地点形状別×時間帯別の「その他」違反内容詳細

令和7年度の交差点における「その他」違反の件数は、夕方よりも朝が多い。朝は「歩道上での高速走行」が54.9%と最も高い割合を占め、次いで「斜め横断」が31.4%となっている。夕方「歩道上での高速走行」が45.2%と最も高く、次いで「片手」が27.4%となっている。

単路部でも、「その他」違反の件数は、夕方よりも朝が多くなっている。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。



数値は3%以上を表示

図 3.3.21 地点形状別×時間帯別 「その他」違反内容 (令和5年度～令和7年度)

### 3.3.18 道路構造別（歩道の自転車通行可否）の「その他」違反内容詳細

令和7年度における「その他」違反内容で、自転車歩行者道では、「歩道上での高速走行」が61.6%と最も高く、次いで「斜め横断」が20.1%となっている。自転車通行不可の歩道でも、「歩道上での高速走行」が52.5%と最も多く、次いで「斜め横断」が29.5%となっている。

※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

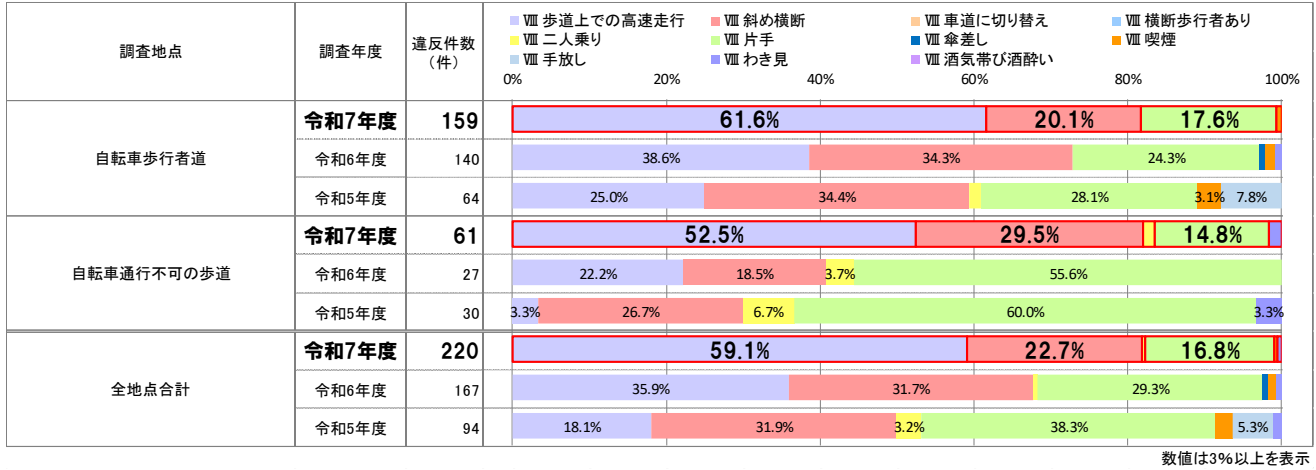
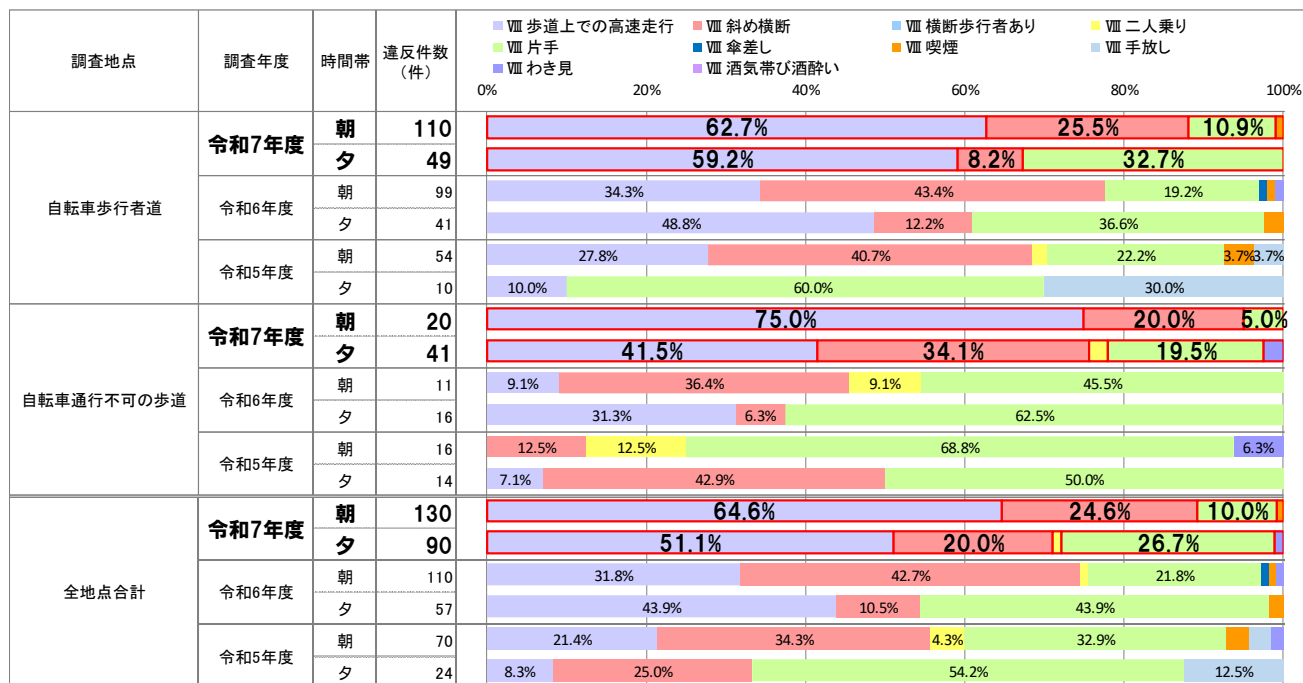


図 3.3.22 道路構造別 「その他」違反内容（令和5年度～令和7年度）

### 3.3.19 道路構造別（歩道の自転車通行可否）×時間帯別の「その他」違反内容詳細

令和7年度における「その他」違反内容の詳細として、自転車歩行者道では、「歩道上での高速走行」は朝62.7%に対し夕方59.2%、「斜め横断」は朝25.5%に対し夕方8.2%と朝が高く、「片手運転」は朝10.9%に対し夕方32.7%と夕方が高い割合を占める。自転車通行不可の歩道では、「歩道上での高速走行」が朝75.0%に対し夕方41.5%と朝が高く、「斜め横断」が朝20.0%に対し夕方34.1%と夕方が高くなっている。

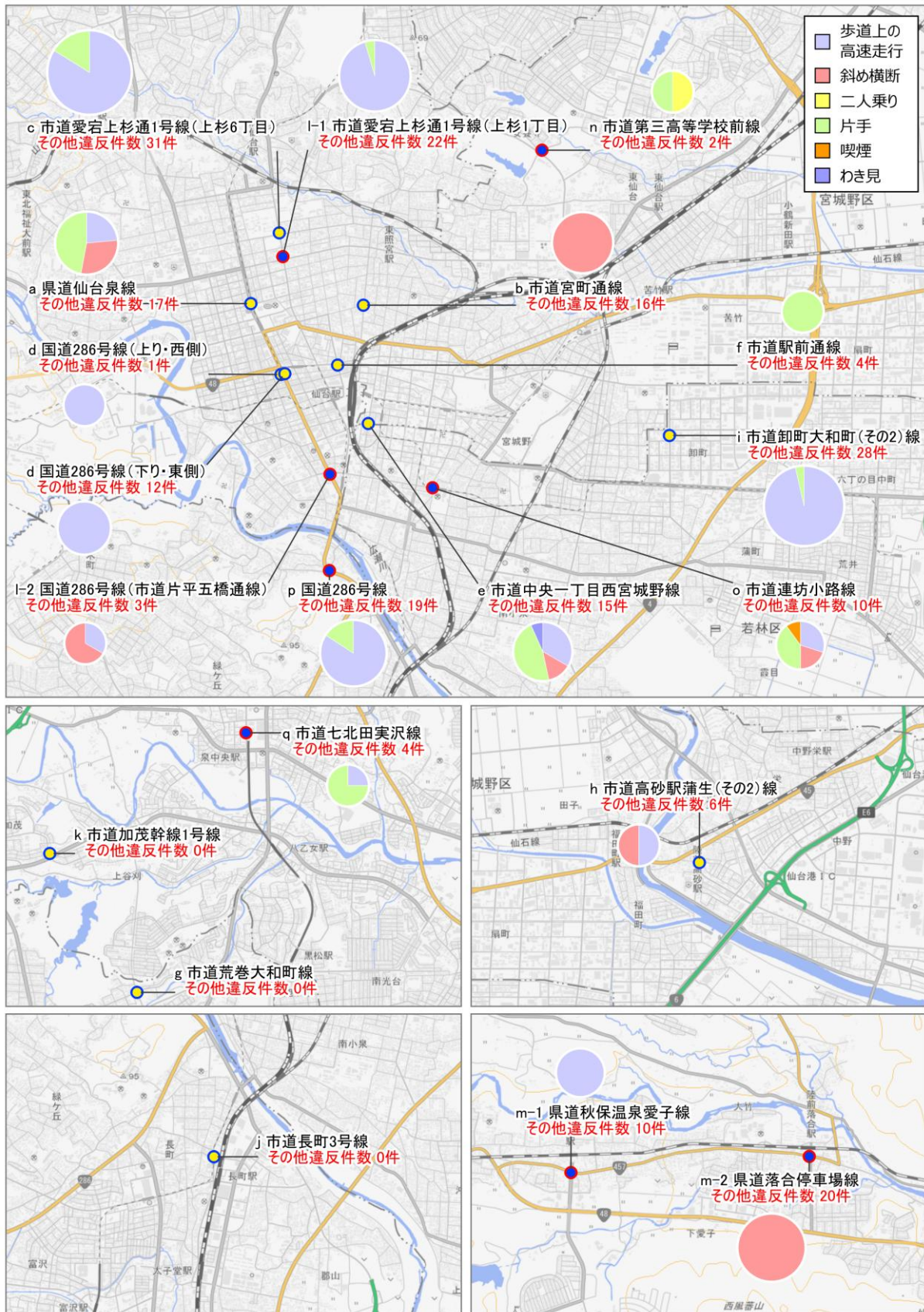
※令和6～7年度と令和5年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。



数値は3%以上を表示

図 3.3.23 道路構造別×時間帯別 「その他」違反内容（令和5年度～令和7年度）

### 3.3.20 「その他」違反内容 全体図 (令和7年度)



国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 3.3.24 「その他」違反内容 全体図

### 3.3.21 地点別のイヤホン等使用の違反内容詳細

令和7年度において、「イヤホン等使用」の違反件数が10件以上の17地点中16地点で「イヤホン」が最も高い割合を占めている。「スマホ・携帯電話」については、j市道長町3号線の26.7%、n市道第三高等学校前線の18.2%、a県道仙台泉線の9.8%の順で高く、「荷掛運転」については、d国道286号線(下り・東側)の56.3%、i市道卸町大和町(その2)線の45.5%の順で高かった。

調査地点	調査年度	違反件数 (件)	IV スマホ・携帯電話			IV イヤホン			IV 荷掛運転		
			0%	20%	40%	60%	80%	100%			
(都心エリア)	a 県道仙台泉線	令和7年度	41	9.8%	85.4%	4.9%					
		令和6年度	70	10.0%	65.7%	24.3%					
		令和5年度	36	19.4%	72.2%	8.3%					
	b 市道宮町通線	令和7年度	122		74.6%	25.4%					
		令和6年度	131	6.1%	70.2%	23.7%					
		令和5年度	68	4.4%	82.4%	13.2%					
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	令和7年度	67	6.0%	58.2%	35.8%					
		令和6年度	61	3.3%	32.8%	63.9%					
		令和5年度	66	7.6%	72.7%	19.7%					
	d 国道286号線(上り・西側)	令和7年度	35		91.4%	5.7%					
		令和6年度	64	10.9%	65.6%	23.4%					
		令和5年度	56	3.6%	96.4%						
e 市道中央一丁目西宮城野線	令和7年度	48	4.2%	77.1%	18.8%						
	令和6年度	31	6.5%	93.5%							
	令和5年度	27	11.1%	48.1%	40.7%						
f 市道駅前通線	令和7年度	98	5.1%	70.4%	24.5%						
	令和6年度	84	10.7%	61.9%	27.4%						
	令和5年度	41	7.3%	78.0%	14.6%						
g 市道荒巻大和町線	令和7年度	7		71.4%	28.6%						
	令和6年度	2		100.0%							
	令和5年度	4		75.0%	25.0%						
(郊外エリア)	h 市道高砂駅跡生(その2)線	令和7年度	31	9.7%	83.9%	6.5%					
		令和6年度	42		95.2%						
		令和5年度	21	23.8%	71.4%	4.8%					
	i 市道卸町大和町(その2)線	令和7年度	44		54.5%	45.5%					
		令和6年度	43	14.0%	32.6%	53.5%					
		令和5年度	18	5.6%	72.2%	22.2%					
	j 市道長町3号線	令和7年度	15	26.7%	46.7%	26.7%					
		令和6年度	16	6.3%	93.8%						
		令和5年度	9	22.2%	77.8%						
	k 市道加茂幹線1号線	令和7年度	0								
		令和6年度	0								
		令和5年度	2		100.0%						
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	令和7年度	54		81.5%	16.7%					
		令和6年度	42	4.8%	95.2%						
		令和5年度	15	13.3%	73.3%	13.3%					
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	令和7年度	45		93.3%	4.4%					
		令和6年度	42	4.8%	92.9%						
		令和5年度	33		87.9%	12.1%					
	m-1 県道秋保温泉愛子線	令和7年度	12	8.3%	58.3%	33.3%					
		令和6年度	9		100.0%						
		令和5年度	17		94.1%	5.9%					
	m-2 県道落合停車場線	令和7年度	6	16.7%	16.7%	66.7%					
		令和6年度	6	33.3%		66.7%					
		令和5年度	6		50.0%	50.0%					
	n 市道第三高等学校前線	令和7年度	11	18.2%	81.8%						
		令和6年度	4	25.0%	75.0%						
		令和5年度	41	22.0%	61.0%	17.1%					
	o 市道連坊小路線	令和7年度	80		66.3%	31.3%					
		令和6年度	73		76.7%	23.3%					
		令和5年度	4		100.0%						
p 国道286号線	令和7年度	146		84.9%	13.0%						
	令和6年度	152	5.3%	82.9%	11.8%						
	令和5年度	0									
q 市道七北田実沢線	令和7年度	111		63.1%	36.9%						
	令和6年度	73	5.5%	65.8%	28.8%						
	令和5年度	64		100.0%							
全地点合計	令和7年度	989	3.4%	73.0%	23.6%						
	令和6年度	1,007	7.4%	70.5%	22.0%						
	令和5年度	564	7.1%	77.5%	15.4%						

数値は3%以上を表示

図 3.3.25 地点別 イヤホン等使用違反内容 (令和5年度～令和7年度)

※令和7年度で「イヤホン使用等」の違反件数が10件未満の地点は評価していない。

### 3.3.22 地点別のヘルメット着用割合

ヘルメット着用率が最も高かった地点は、k 市道加茂幹線 1 号線の 71.7%、次いで n 市道第三高等学校前線が 56.4%、g 市道荒巻大和町線が 25.0%と高い割合となっている。

調査地点	調査年度	乗車人数 (人)	ヘルメット着用割合			
			ヘルメット着用	ヘルメット非着用		
(都心エリア)	a 県道仙台泉線	令和7年度	578	7.4%	92.6%	
		令和6年度	609	10.0%	90.0%	
		令和5年度	610	7.9%	92.1%	
	b 市道宮町通線	令和7年度	975	8.3%	91.7%	
		令和6年度	1,021	8.2%	91.8%	
		令和5年度	937	7.0%	93.0%	
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	令和7年度	1,096	14.0%	86.0%	
		令和6年度	1,003	11.1%	88.9%	
		令和5年度	1,008	15.0%	85.0%	
	d 国道286号線(上り・西側)	令和7年度	289	9.7%	90.3%	
		令和6年度	322	12.7%	87.3%	
		令和5年度	335	18.8%	81.2%	
		e 市道中央一丁目西宮城野線	令和7年度	403	5.5%	94.5%
			令和6年度	392	4.8%	95.2%
			令和5年度	412	6.6%	93.4%
f 市道駅前通線	令和7年度	432	6.7%	93.3%		
	令和6年度	427	5.6%	94.4%		
	令和5年度	379	4.0%	96.0%		
g 市道荒巻大和町線	令和7年度	48	25.0%	75.0%		
	令和6年度	63	12.7%	87.3%		
	令和5年度	50	18.0%	82.0%		
h 市道高砂駅蒲生(その2)線	令和7年度	308	12.7%	87.3%		
	令和6年度	292	13.4%	86.6%		
	令和5年度	283	16.3%	83.7%		
i 市道卸町大和町(その2)線	令和7年度	440	19.1%	80.9%		
	令和6年度	477	6.5%	93.5%		
	令和5年度	451	19.5%	80.5%		
j 市道長町3号線	令和7年度	165	16.4%	83.6%		
	令和6年度	237	5.5%	94.5%		
	令和5年度	179	14.0%	86.0%		
k 市道加茂幹線1号線	令和7年度	127	71.7%	28.3%		
	令和6年度	166	78.9%	21.1%		
	令和5年度	139	78.4%	21.6%		
(郊外エリア)	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	令和7年度	318	17.9%	82.1%	
		令和6年度	439	8.9%	91.1%	
		令和5年度	229	17.0%	83.0%	
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	令和7年度	390	13.6%	86.4%	
		令和6年度	488	15.0%	85.0%	
		令和5年度	248	17.3%	82.7%	
	m-1 県道秋保温泉愛子線	令和7年度	94	5.3%	94.7%	
		令和6年度	88	4.5%	95.5%	
		令和5年度	93		97.8%	
	m-2 県道落合停車場線	令和7年度	48	20.8%	79.2%	
		令和6年度	65	30.8%	69.2%	
		令和5年度	49	8.2%	91.8%	
	n 市道第三高等学校前線	令和7年度	163	56.4%	43.6%	
		令和6年度	181	48.1%	51.9%	
		令和5年度	340	14.4%	85.6%	
o 市道連坊小路線	令和7年度	681	16.7%	83.3%		
	令和6年度	696	8.6%	91.4%		
	令和5年度	66	13.6%	86.4%		
p 国道286号線	令和7年度	811	12.2%	87.8%		
	令和6年度	934	9.4%	90.6%		
	令和5年度	100	11.0%	89.0%		
q 市道七北田実沢線	令和7年度	558	12.5%	87.5%		
	令和6年度	569	9.8%	90.2%		
	令和5年度	674	6.8%	93.2%		
全地点合計	令和7年度	8,247	13.8%	86.2%		
	令和6年度	8,844	11.5%	88.5%		
	令和5年度	6,921	12.6%	87.4%		

数値は3%以上を表示

図 3.3.26 地点別 ヘルメット着用割合 (令和5年度～令和7年度)

都心エリア(地点 a～地点 f)の令和 7 年度における乗車人数に占めるヘルメット着用の割合は 9.4%で、令和 6 年度の 8.9%から 0.5 ポイント増加した。

郊外エリア(地点 g～地点 k)の令和 7 年度における乗車人数に占めるヘルメット着用の割合は 23.3%で、令和 6 年度の 18.0%から 5.3 ポイント増加した。

全地点合計の令和 7 年度における乗車人数に占めるヘルメット着用の割合は 13.8%で、令和 6 年度の 11.5%から 2.3 ポイント増加している。

※令和 6～7 年度と令和 5 年度は異なる調査箇所を含むので単純には比較できない。

調査地点	調査年度	乗車人数 (人)	ヘルメット着用割合	
			ヘルメット着用	ヘルメット非着用
a～f 合計	令和7年度	4,096	9.4%	90.6%
	令和6年度	4,149	8.9%	91.1%
	令和5年度	4,020	9.8%	90.2%
g～k 合計	令和7年度	1,088	23.3%	76.7%
	令和6年度	1,235	18.0%	82.0%
	令和5年度	1,102	25.1%	74.9%
a～k 合計	令和7年度	5,184	12.3%	87.7%
	令和6年度	5,384	11.0%	89.0%
	令和5年度	5,122	13.1%	86.9%
全地点合計	令和7年度	8,247	13.8%	86.2%
	令和6年度	8,844	11.5%	88.5%
	令和5年度	6,921	12.6%	87.4%

図 3.3.27 地点合計の乗車人数とヘルメット着用割合の推移

### 3.3.23 地点別×時間帯別のヘルメット着用割合

時間帯別のヘルメットの着用割合は、k 市道加茂幹線1号線で朝が70.1%、夕方は75.0%と突出して高い。n 市道第三高等学校前線では、朝が67.2%と、夕方の21.1%と比べて46.1ポイント高い。



図 3.3.28 地点別×時間帯別 ヘルメット着用割合 (令和7年度)

令和6年度

調査地点	時間帯	乗車人数 (人)	ヘルメット着用割合			
			ヘルメット着用	ヘルメット非着用		
(都心エリア)	a 県道仙台泉線	朝	317	13.9%	86.1%	
		夕	292	5.8%	94.2%	
	b 市道宮町通線	朝	615	8.6%	91.4%	
		夕	406	7.6%	92.4%	
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	602	11.5%	88.5%	
		夕	401	10.5%	89.5%	
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	147	15.0%	85.0%	
		夕	175	10.9%	89.1%	
		e 国道286号線(下り・東側)	朝	175	8.0%	92.0%
			夕	200	8.0%	92.0%
	f 市道中央一丁目西宮城野線	朝	228	3.9%	96.1%	
		夕	164	6.1%	93.9%	
	g 市道駅前通線	朝	237	6.3%	93.7%	
		夕	190	4.7%	95.3%	
	h 市道荒巻大和町線	朝	38	13.2%	86.8%	
		夕	25	12.0%	88.0%	
	i 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	169	14.8%	85.2%	
		夕	123	11.4%	88.6%	
j 市道卸町大和町(その2)線	朝	254	8.3%	91.7%		
	夕	223	4.5%	95.5%		
k 市道長町3号線	朝	150		98.0%		
	夕	87	11.5%	88.5%		
l 市道加茂幹線1号線	朝	99	78.8%	21.2%		
	夕	67	79.1%	20.9%		
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	439	8.9%	91.1%	
		夕	未実施			
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	488	15.0%	85.0%	
		夕	未実施			
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	88	4.5%	95.5%	
		夕	未実施			
	m-2 県道落合停車場線	朝	65	30.8%	69.2%	
		夕	未実施			
	n 市道第三高等学校前線	朝	137	56.2%	43.8%	
		夕	44	22.7%	77.3%	
	o 市道連坊小路線	朝	453	9.7%	90.3%	
		夕	243	6.6%	93.4%	
p 国道286号線	朝	589	9.5%	90.5%		
	夕	345	9.3%	90.7%		
q 市道七北田実沢線	朝	302	7.6%	92.4%		
	夕	267	12.4%	87.6%		
全地点合計	朝	5,592	12.4%	87.6%		
	夕	3,252	10.0%	90.0%		

数値は3%以上を表示

図 3.3.29 地点別×時間帯別 ヘルメット着用割合 (令和6年度)

令和5年度

調査地点	時間帯	乗車人数 (人)	ヘルメット着用割合		
			ヘルメット着用	ヘルメット非着用	
(都心エリア)	a 県道仙台泉線	朝	335	7.5%	92.5%
		夕	275	8.4%	91.6%
	b 市道宮町通線	朝	578	7.4%	92.6%
		夕	359	6.4%	93.6%
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	560	13.2%	86.8%
		夕	448	17.2%	82.8%
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	152	24.3%	75.7%
		夕	183	14.2%	85.8%
		朝	165	6.7%	93.3%
		夕	174	8.0%	92.0%
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	213	6.1%	93.9%
		夕	199	7.0%	93.0%
	f 市道駅前通線	朝	197	4.6%	95.4%
		夕	182	3.3%	96.7%
	g 市道荒巻大和町線	朝	33	12.1%	87.9%
		夕	17	29.4%	70.6%
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	165	15.8%	84.2%
		夕	118	16.9%	83.1%
i 市道卸町大和町(その2)線	朝	246	14.6%	85.4%	
	夕	205	25.4%	74.6%	
j 市道長町3号線	朝	99	14.1%	85.9%	
	夕	80	13.8%	86.3%	
k 市道加茂幹線1号線	朝	94	77.7%	22.3%	
	夕	45	80.0%	20.0%	
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	229	17.0%	83.0%
		夕	未実施		
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	248	17.3%	82.7%
		夕	未実施		
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	93		97.8%
		夕	未実施		
	m-2 県道落合停車場線	朝	49	8.2%	91.8%
		夕	未実施		
	n 市道元寺小路福室(その9)線	朝	220	13.6%	86.4%
		夕	120	15.8%	84.2%
	o 主要地方道仙台塩釜線	朝	31	9.7%	90.3%
		夕	35	17.1%	82.9%
	p 市道富沢駅北線	朝	42	11.9%	88.1%
		夕	58	10.3%	89.7%
q 市道七北田実沢線	朝	457	7.2%	92.8%	
	夕	217	6.0%	94.0%	
全地点合計	朝	4,206	12.5%	87.5%	
	夕	2,715	12.9%	87.1%	

数値は3%以上を表示

図 3.3.30 地点別×時間帯別 ヘルメット着用割合 (令和5年度)

### 3.3.24 違反率が高い地点の状況（令和7年度）

令和5年度から令和7年度の違反割合の状況は、全地点では「通行区分」が減少傾向ではあるものの、「イヤホン」が増加傾向にある。特に「イヤホン」は、ワイヤレス化・小型化により手軽に装着可能となり、自転車乗車時の装着が多くなっているものと考えられる。

違反率が特に高い以下の4地点の違反状況は、以下の要因が大きく影響していると考えられる。

#### ○d 国道286号線（上り・西側） 違反率：86.5%

例年違反割合が高く、85%～88%の高い違反割合で推移しており、令和7年度も高い違反率となった。仙台市が「自転車押し歩き推進区間」に指定している地点であるにも関わらず、歩道通行が多くなっている。「自転車押し歩き推進区間」前後の歩道が「普通自転車歩道通行可」であるため、そのままの流れで通行したり、「押し歩き推進区間」を認識せず走行していたりするものと考えられる。

また、歩行者が多い場所であるため、自転車は歩行者を避けるため、建物寄りを走行する自転車も見られた。なお、バス待ちの乗客はバス停側に並んでいるが、歩行者は歩道中央部を歩行中に、後ろから突然やってきた自転車に驚く場面が見受けられた。

#### ○i 市道卸町大和町（その2）線 違反率：60.8%

違反件数のうち72.8%は「通行区分違反」である。同地点は、自転車通行不可の歩道であるが、歩道を走行する自転車が多いため、違反率が高い。道路構造別の違反内容でも、「自転車歩行者道」よりも「自転車通行不可の歩道」の方が通行区分違反割合は高くなっており、当該地点は後者であることから、道路構造上、「通行区分」違反の起きやすさの特性が顕著に表れた。

なお、調査箇所付近の歩道幅員が広く、また歩行者も少ない環境のため、自転車は歩道を走行してしまっているものと考えられる。また、令和4年度までは自転車通行可の歩道であったため、以前からの利用者は、現在も歩道を通行できると認識している可能性もあると思われる。

#### ○j 市道長町3号線 違反率：89.4%

違反件数のうち82.1%は「通行区分違反」である。同地点は、自転車通行不可の歩道であるにもかかわらず、歩道を走行してしまう自転車が多いため、違反率が高い。一方で、ここ3年間の違反割合では、令和7年度の「通行区分」違反は、過去3年間で最も割合は低くなった。

交差点の西側・東側ともに、自転車が車道を安全に走行するにあたって、十分な走行スペースが確保されているとは言い難い。特に、交差点東側にはJRの高架橋があり、車道幅員が狭くなっている。更に、路線バスが走る路線にもなっており、車道幅員が狭い上にバスなどの大型車が通行する車道を自転車が走行するには、危険と感じている可能性がある。一方で、交差点東側は歩道が一定程度の幅員が確保されており、歩道走行の方が安全だとして走行していると考えられる。

#### ○m-2 県道落合停車場線 違反率：54.2%

違反件数のうち66.7%は「その他」である。「その他」の内訳は「斜め横断」が100%となっている。同地点は、歩車分離式信号制御が行われており、車両側の信号が赤になった際に斜め横断がしやすい環境となっている。地点の北西側に「陸前落合駅南口自転車等駐輪場」が位置しており、南東→北西に斜め横断する自転車が最も多くなっていることから、通勤・通学時に駅を利用するため、駐輪場に自転車を駐輪する際に斜め横断が発生しているものと考えられる。

3.3.25 主な違反の傾向

表 3.3.1 地点別 主な違反項目一覧表（令和5年度～令和7年度）

調査地点		調査年度	主な違反項目		
			違反項目1位		
			違反項目2位		
自転車ネットワーク路線・あんしん通行路線	（都心エリア）	a 県道仙台東線	令和7年度	通行区分 <b>39.7%</b>	信号無視 <b>30.4%</b>
			令和6年度	通行区分 45.1%	イヤホン等 25.3%
			令和5年度	通行区分 40.9%	信号無視 37.0%
		b 市道宮町通線	令和7年度	通行区分 <b>71.6%</b>	イヤホン等 <b>23.1%</b>
			令和6年度	通行区分 70.9%	イヤホン等 24.8%
			令和5年度	通行区分 76.5%	イヤホン等 14.9%
		c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	令和7年度	通行区分 <b>58.6%</b>	イヤホン等 <b>16.5%</b>
			令和6年度	通行区分 44.9%	信号無視 29.7%
			令和5年度	通行区分 58.6%	イヤホン等 27.8%
	d	国道286号線(上り・西側)	令和7年度	押し歩き <b>68.0%</b>	通行区分 <b>19.1%</b>
			令和6年度	押し歩き 53.5%	通行区分 22.7%
			令和5年度	押し歩き 46.7%	通行区分 35.0%
		国道286号線(下り・東側)	令和7年度	通行区分・イヤホン等 <b>35.6%</b>	
			令和6年度	イヤホン等 47.3%	通行区分 34.4%
			令和5年度	イヤホン等 58.1%	通行区分 35.5%
	e 市道中央一丁目西宮城野線	令和7年度	通行区分 <b>34.5%</b>	イヤホン等 <b>23.6%</b>	
		令和6年度	逆走・通行区分 34.7%		
		令和5年度	逆走 47.4%	通行区分 30.6%	
f 市道駅前通線	令和7年度	イヤホン等 <b>62.8%</b>	通行区分 <b>28.8%</b>		
	令和6年度	イヤホン等 54.5%	通行区分 24.0%		
	令和5年度	通行区分 68.5%	イヤホン等 25.3%		
（郊外エリア）	g 市道荒巻大和町線	令和7年度	通行区分 <b>66.7%</b>	イヤホン等 <b>33.3%</b>	
		令和6年度	通行区分 74.4%	並進 15.4%	
		令和5年度	通行区分 89.5%	イヤホン等 10.5%	
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	令和7年度	イヤホン等 <b>46.3%</b>	通行区分 <b>25.4%</b>	
		令和6年度	イヤホン等 59.2%	通行区分 19.7%	
		令和5年度	通行区分 45.3%	イヤホン等 39.6%	
	i 市道卸町大和町(その2)線	令和7年度	通行区分 <b>72.8%</b>	イヤホン等 <b>13.1%</b>	
		令和6年度	通行区分 84.4%	イヤホン等 12.2%	
		令和5年度	通行区分 90.8%	イヤホン等 6.6%	
	j 市道長町3号線	令和7年度	通行区分 <b>82.1%</b>	イヤホン等 <b>9.9%</b>	
		令和6年度	通行区分 84.2%	イヤホン等 6.8%	
		令和5年度	通行区分 89.8%	イヤホン等 5.1%	
k 市道加茂幹線1号線	令和7年度	通行区分 <b>88.9%</b>	並進 <b>7.4%</b>		
	令和6年度	通行区分 67.6%	逆走 32.4%		
	令和5年度	通行区分 89.3%	イヤホン等 7.1%		
各区モデル事業実施路線	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	令和7年度	イヤホン等 <b>33.8%</b>	信号無視 <b>27.5%</b>	
		令和6年度	通行区分 40.3%	イヤホン等 35.3%	
		令和5年度	通行区分 66.1%	イヤホン等 24.2%	
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	令和7年度	通行区分 <b>46.8%</b>	イヤホン等 <b>35.7%</b>	
		令和6年度	イヤホン等 53.8%	通行区分 41.0%	
		令和5年度	通行区分 61.5%	イヤホン等 36.3%	
	m-1 県道秋保温泉愛子線	令和7年度	通行区分 <b>43.9%</b>	イヤホン等 <b>29.3%</b>	
		令和6年度	信号無視 36.6%	イヤホン等 22.0%	
		令和5年度	通行区分 56.4%	イヤホン等 43.6%	
	m-2 県道落合停車場線	令和7年度	その他 <b>66.7%</b>	イヤホン等 <b>20.0%</b>	
		令和6年度	その他 53.7%	通行区分 34.3%	
		令和5年度	その他 66.7%	イヤホン等 18.2%	
	n	市道第三高等学校前線	令和7年度	通行区分 <b>74.0%</b>	イヤホン等 <b>15.1%</b>
		市道元寺小路福室(その9)線	令和6年度	通行区分 85.1%	イヤホン等・並進 5.4%
	o	市道連坊小路線	令和5年度	通行区分 42.9%	イヤホン等 39.0%
		主要地方道仙台塩釜線	令和7年度	イヤホン等 <b>44.9%</b>	通行区分 <b>24.2%</b>
	p	国道286号線	令和6年度	通行区分 56.2%	イヤホン等 26.0%
			令和5年度	通行区分 81.0%	イヤホン等 19.0%
			令和7年度	イヤホン等 <b>49.8%</b>	通行区分 <b>32.1%</b>
	q 市道七北田実沢線	令和6年度	イヤホン等 68.2%	通行区分 26.0%	
		令和5年度	通行区分 94.6%	並進 4.3%	
		令和7年度	通行区分・イヤホン等 <b>48.1%</b>		
	全地点合計	令和7年度	通行区分 <b>48.6%</b>	イヤホン等 <b>27.7%</b>	
		令和6年度	通行区分 51.4%	イヤホン等 27.2%	
令和5年度		通行区分 61.9%	イヤホン等 19.4%		

表 3.3.2 地点形状別 主な違反項目一覧表（令和5年度～令和7年度）

調査地点	調査年度	主な違反項目	
		違反項目1位	違反項目2位
交差点	<b>令和7年度</b>	<b>通行区分 48.5%</b>	<b>イヤホン等 29.6%</b>
	令和6年度	通行区分 51.2%	イヤホン等 28.8%
	令和5年度	通行区分 62.5%	イヤホン等 19.7%
単路部	<b>令和7年度</b>	<b>通行区分 48.9%</b>	<b>イヤホン等 22.5%</b>
	令和6年度	通行区分 52.1%	イヤホン等 23.1%
	令和5年度	通行区分 60.8%	イヤホン等 18.7%

表 3.3.3 道路構造別 主な違反項目一覧表（令和5年度～令和7年度）

調査地点	調査年度	主な違反項目	
		違反項目1位	違反項目2位
自転車歩行者道	<b>令和7年度</b>	<b>通行区分 36.9%</b>	<b>イヤホン等 33.3%</b>
	令和6年度	通行区分 38.0%	イヤホン等 34.3%
	令和5年度	通行区分 50.7%	イヤホン等 26.0%
自転車通行不可の歩道	<b>令和7年度</b>	<b>通行区分 67.9%</b>	<b>イヤホン等 18.4%</b>
	令和6年度	通行区分 72.8%	イヤホン等 15.9%
	令和5年度	通行区分 77.2%	イヤホン等 10.4%

地点 d 国道 286 号線（上り・西側）  
押し歩き推進区間での自転車乗車



地点 i 市道卸町大和町（その 2）線  
通行区分違反



地点 j 市道長町 3 号線  
通行区分違反



地点 m-2 県道落合停車場線  
斜め横断



図 3.3.31 違反事例

### 3.4 調査データ一覧

#### 3.4.1 地点別・時間帯別の違反内容一覧表（令和7年度）

表 3.4.1 地点別・時間帯別の違反内容（令和7年度）

調査年度	調査地点	時間帯	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
			信号無視	逆走	通行区分	イヤホン等	並進	無灯火	押し歩き	その他
令和7年度	a 県道仙台泉線	朝	34	0	42	19	2	0	0	9
		夕	31	0	43	22	4	0	0	8
	b 市道宮町通線	朝	1	0	177	71	0	0	0	4
		夕	7	0	202	51	4	0	0	12
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	37	1	97	43	0	0	0	18
		夕	28	0	141	24	4	0	0	13
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	0	0	12	19	0	0	111	1
		夕	0	0	41	16	0	0	78	0
	d 国道286号線(下り・東側)	朝	0	0	4	7	0	0	0	11
		夕	0	1	12	9	0	0	0	1
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	8	8	18	26	0	0	0	1
		夕	15	39	52	22	0	0	0	14
	f 市道駅前通線	朝	2	0	25	51	3	0	0	2
		夕	4	0	20	47	0	0	0	2
	g 市道荒巻大和町線	朝	0	0	12	6	0	0	0	0
		夕	0	0	2	1	0	0	0	0
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	0	0	4	18	4	0	0	5
		夕	0	0	13	13	9	0	0	1
	i 市道卸町大和町(その2)線	朝	0	1	117	23	2	0	0	15
		夕	0	0	127	21	16	0	0	13
	j 市道長町3号線	朝	0	2	64	11	2	0	0	0
		夕	0	1	60	4	7	0	0	0
	k 市道加茂幹線1号線	朝	0	1	12	0	2	0	0	0
		夕	0	0	12	0	0	0	0	0
	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	44	0	40	54	0	0	0	22
		夕	未実施							
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	17	0	59	45	2	0	0	3
		夕	未実施							
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	1	0	18	12	0	0	0	10
		夕	未実施							
m-2 県道落合停車場線	朝	1	0	3	6	0	0	0	20	
	夕	未実施								
n 市道第三高等学校前線	朝	2	1	22	9	0	0	0	0	
	夕	0	1	32	2	2	0	0	2	
o 市道連坊小路線	朝	15	0	31	61	4	0	0	3	
	夕	12	0	12	19	14	0	0	7	
p 国道286号線	朝	23	0	38	108	0	0	0	5	
	夕	1	0	56	38	10	0	0	14	
q 市道七北田実沢線	朝	0	0	70	61	0	0	0	1	
	夕	0	1	41	50	4	0	0	3	
全地点合計	朝	185	14	865	650	21	0	111	130	
	夕	98	43	866	339	74	0	78	90	

3.4.2 地点別・時間帯別の違反内容一覧表（令和5年度～令和6年度）

表 3.4.2 地点別・時間帯別の違反内容（令和5年度～令和6年度）

調査年度	調査地点	時間帯	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
			信号無視	逆走	通行区分	イヤホン等	並進	無灯火	押し歩き	その他	
令和6年度	a 県道仙台泉線	朝	43	0	57	34	2	0	0	0	5
		夕	23	0	68	36	6	0	0	0	3
	b 市道宮町通線	朝	3	0	179	72	0	0	0	0	5
		夕	9	1	196	59	0	0	0	0	5
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	42	0	79	51	0	0	0	0	9
		夕	48	0	57	10	2	0	0	0	5
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	0	0	19	22	0	0	0	101	9
		夕	0	0	61	42	6	0	0	88	5
	d 国道286号線(下り・東側)	朝	0	0	2	27	0	0	0	0	10
		夕	0	1	43	35	5	0	0	0	8
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	9	16	22	23	0	0	0	0	2
		夕	9	43	37	8	0	0	0	0	1
	f 市道駅前通線	朝	16	2	19	44	0	0	0	0	2
		夕	6	0	18	40	6	0	0	0	1
	g 市道荒巻大和町線	朝	1	0	16	0	2	0	0	0	1
		夕	0	0	13	2	4	0	0	0	0
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	0	1	10	25	2	0	0	0	4
		夕	0	0	4	17	2	0	0	0	6
	i 市道卸町大和町(その2)線	朝	0	0	134	10	0	0	0	0	2
		夕	0	1	163	33	5	0	0	0	4
	j 市道長町3号線	朝	0	15	122	11	0	0	0	0	1
		夕	0	0	75	5	0	0	0	0	5
	k 市道加茂幹線1号線	朝	0	5	15	0	0	0	0	0	0
		夕	0	6	8	0	0	0	0	0	0
	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	24	0	48	42	0	0	0	0	5
		夕	未実施								
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	0	3	32	42	0	0	0	0	1
		夕	未実施								
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	15	0	7	9	2	0	0	0	8
		夕	未実施								
m-2 県道落合停車場線	朝	0	0	23	6	2	0	0	0	36	
	夕	未実施									
n 市道第三高等学校前線	朝	1	0	31	3	2	0	0	0	0	
	夕	1	0	32	1	2	0	0	0	1	
o 市道蓮坊小路線	朝	8	0	118	55	4	0	0	0	8	
	夕	10	0	40	18	10	0	0	0	10	
p 国道286号線	朝	5	0	34	98	0	0	0	0	1	
	夕	3	0	24	54	2	0	0	0	2	
q 市道七北田実沢線	朝	0	0	70	32	0	0	0	0	1	
	夕	0	0	32	41	2	0	0	0	1	
全地点合計	朝	167	42	1,037	606	16	0	0	101	110	
	夕	109	52	871	401	52	0	0	88	57	
令和5年度	a 県道仙台泉線	朝	46	0	47	25	3	0	0	0	6
		夕	41	0	49	11	6	0	0	0	1
	b 市道宮町通線	朝	5	3	180	44	0	0	0	0	7
		夕	12	1	168	24	2	0	0	0	9
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	17	1	83	42	2	0	0	0	1
		夕	9	0	56	24	0	0	0	0	2
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	0	0	55	26	0	0	0	77	6
		夕	0	0	67	30	0	0	0	86	2
	d 国道286号線(下り・東側)	朝	0	0	6	18	2	0	0	0	0
		夕	0	0	16	18	0	0	0	0	2
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	1	8	15	12	0	0	0	0	6
		夕	1	74	38	15	0	0	0	0	3
	f 市道駅前通線	朝	6	0	57	19	0	0	0	0	0
		夕	3	0	54	22	0	0	0	0	1
	g 市道荒巻大和町線	朝	0	0	22	3	0	0	0	0	0
		夕	0	0	12	1	0	0	0	0	0
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	0	0	14	8	0	0	0	0	0
		夕	0	0	10	13	8	0	0	0	0
	i 市道卸町大和町(その2)線	朝	0	0	132	12	2	0	0	0	2
		夕	0	0	116	6	3	0	0	0	0
	j 市道長町3号線	朝	0	0	87	1	0	0	0	0	0
		夕	1	0	71	8	6	0	0	0	2
	k 市道加茂幹線1号線	朝	0	1	16	2	0	0	0	0	0
		夕	0	0	9	0	0	0	0	0	0
	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	1	0	41	15	0	0	0	0	5
		夕	未実施								
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	0	0	56	33	0	0	0	0	2
		夕	未実施								
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	0	0	22	17	0	0	0	0	0
		夕	未実施								
m-2 県道落合停車場線	朝	0	0	5	6	0	0	0	0	22	
	夕	未実施									
n 市道元寺小路福室(その9)線	朝	7	0	25	27	0	0	0	0	3	
	夕	4	0	20	14	3	0	0	0	2	
o 主要地方道仙台塩釜線	朝	0	0	11	1	0	0	0	0	0	
	夕	0	0	6	3	0	0	0	0	0	
p 市道富沢駅北線	朝	0	0	35	0	2	0	0	0	1	
	夕	0	0	52	0	2	0	0	0	0	
q 市道七北田実沢線	朝	0	1	103	46	0	0	0	0	9	
	夕	0	0	47	18	4	0	0	0	0	
全地点合計	朝	83	14	1,012	357	11	0	0	77	70	
	夕	71	75	791	207	34	0	0	86	24	

### 3.4.3 地点別・時間帯別の「その他」違反内容詳細一覧表（令和7年度）

表 3.4.3 地点別・時間帯別の「その他」違反内容（令和7年度）

調査年度	調査地点	時間帯	歩道までの乗越禁止	歩道への横断	歩道に切り替え	歩道に切り替え	横断歩行者あり	二人乗り	片手	傘差し	喫煙	手放し	わき見	点滅ライトのみ	車追い越し	酒気帯び運転
令和7年度	a 県道仙台東線	朝	4	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
		夕	0	3	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	b 市道宮町通線	朝	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	14	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
		夕	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	d 国道286号線(下り・東側)	朝	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		夕	5	2	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	0
	f 市道駅前通線	朝	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	g 市道荒巻大和町線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	i 市道御町大和町(その2)線	朝	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	j 市道長町3号線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	k 市道加茂幹線1号線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	21	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		夕	未実施													
	l-2 国道286号線(市道片平五橋通線)	朝	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	未実施													
	m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	未実施													
m-2 県道落合停車場線	朝	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	未実施														
n 市道第三高等学校前線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
o 市道蓮坊小路線	朝	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	夕	2	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
p 国道286号線	朝	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	夕	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
q 市道七北田実沢線	朝	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
全地点合計	朝	84	32	0	0	0	0	0	13	0	1	0	0	0	0	
	夕	46	18	0	0	0	0	1	24	0	0	0	1	0	0	

3.4.4 地点別・時間帯別の「その他」違反内容詳細一覧表（令和5年度～令和6年度）

表 3.4.4 地点別・時間帯別の「その他」違反内容（令和5年度～令和6年度）

調査年度	調査地点	時間帯	違反項目														
			歩道よりの乗車禁止	車道に切り替え	歩道に切り替え	横断歩行者あり	二人乗り	片手	傘差し	乗降	手放し	わき見	点滅ライトのみ	車道い越し	酒気帯び酒酔い		
令和6年度	a 県道仙台泉線	朝	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		夕	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	b 市道宮町通線	朝	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	7	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		夕	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	3	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	d 国道286号線(下り・東側)	朝	7	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	f 市道駅前通線	朝	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	g 市道荒巻大和町線	朝	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	i 市道御町大和町(その2)線	朝	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	j 市道長町3号線	朝	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	k 市道加茂幹線1号線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		夕	未実施														
l-2 国道286号線(市道片平五横通線)	朝	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	未実施															
m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	未実施															
m-2 県道落合停車場線	朝	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	未実施															
n 市道第三高等学校前線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
o 市道達坊小路線	朝	5	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
	夕	6	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	
p 国道286号線	朝	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
q 市道七北田実沢線	朝	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
全地点合計	朝	35	47	0	0	0	1	24	1	1	0	1	0	0	0	0	
	夕	25	6	0	0	0	0	25	0	1	0	0	0	0	0	0	
令和5年度	a 県道仙台泉線	朝	2	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	b 市道宮町通線	朝	0	2	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
	c 市道愛宕上杉通1号線(上杉6丁目)	朝	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	d 国道286号線(上り・西側)	朝	0	0	0	0	0	0	4	0	1	1	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
	d 国道286号線(下り・東側)	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
	e 市道中央一丁目西宮城野線	朝	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
	f 市道駅前通線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	g 市道荒巻大和町線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	h 市道高砂駅蒲生(その2)線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	i 市道御町大和町(その2)線	朝	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	j 市道長町3号線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	k 市道加茂幹線1号線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	l-1 市道愛宕上杉通1号線(上杉1丁目)	朝	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		夕	未実施														
l-2 国道286号線(市道片平五横通線)	朝	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		
	夕	未実施															
m-1 県道秋保温泉愛子線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	夕	未実施															
m-2 県道落合停車場線	朝	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	夕	未実施															
n 市道元寺小路福室(その9)線	朝	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0		
	夕	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0		
o 主要地方道仙台塩釜線	朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
p 市道富沢駅北線	朝	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
q 市道七北田実沢線	朝	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	夕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
全地点合計	朝	15	24	0	0	0	3	23	0	2	2	1	0	0	0		
	夕	2	6	0	0	0	0	13	0	0	3	0	0	0	0		

## 第4章 自転車に関するWEBアンケート調査

### 4.1 調査の概要

市内に在住するWEBモニターに対して、日頃利用する自転車の利用頻度や自転車ルール・マナーの認知度等のアンケート調査を実施した。

表 4.1.1 調査概要

調査期間	令和7年6月28日(土)～7月3日(木)
調査方法	WEBモニターに対してWEBアンケート調査を実施
調査対象	市内在住10代～80代のWEBモニター
回答者数	800人

### 4.2 調査結果

#### <集計表、グラフに関する説明>

- ・設問ごとの有効回答者数は「n=〇〇」と表記した。
- ・集計表内の%、グラフ内の数値は、基本的に有効回答者数に占める割合としているが、複数回答可の設問の一部について、総サンプル数に対する割合としている。
- ・回答数や集計結果が10以下となる項目は、サンプル数が少なく適切に集計できないため、評価対象外とした。

#### 4.2.1 居住区

居住区は、「仙台市青葉区」が 28.8%で最も多く、次いで「仙台市太白区」が 22.9%、「仙台市宮城野区」が 18.1%であった。

表 4.2.1 居住区

居住区	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
仙台市青葉区	230	28.8	221	27.6	267	33.4
仙台市宮城野区	145	18.1	146	18.3	144	18.0
仙台市若林区	98	12.3	118	14.8	79	9.9
仙台市太白区	183	22.9	180	22.5	154	19.2
仙台市泉区	144	18.0	135	16.9	156	19.5
仙台市外	0	0.0	0	0.0	0	0.0

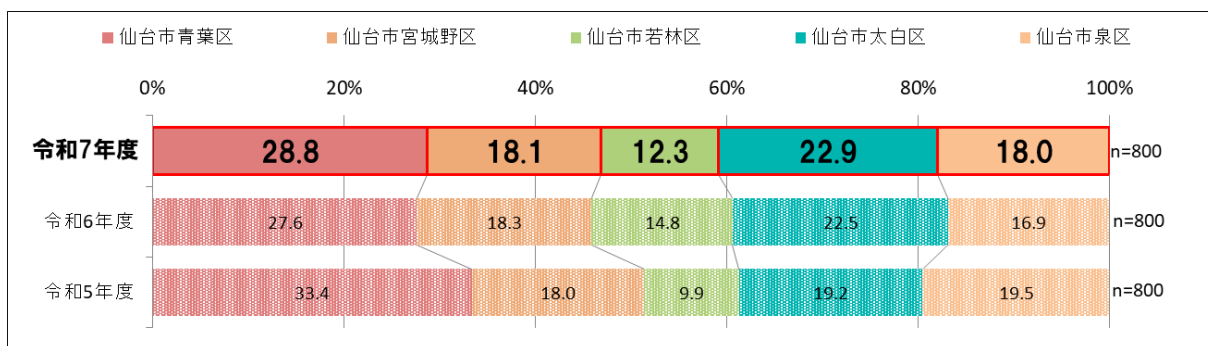


図 4.2.1 居住区

#### 4.2.2 性別

性別は、「男性」が 48.1%、「女性」が 51.9%の回答割合であった。

表 4.2.2 性別

性別	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
男性	385	48.1	386	48.3	415	51.9
女性	415	51.9	414	51.8	385	48.1

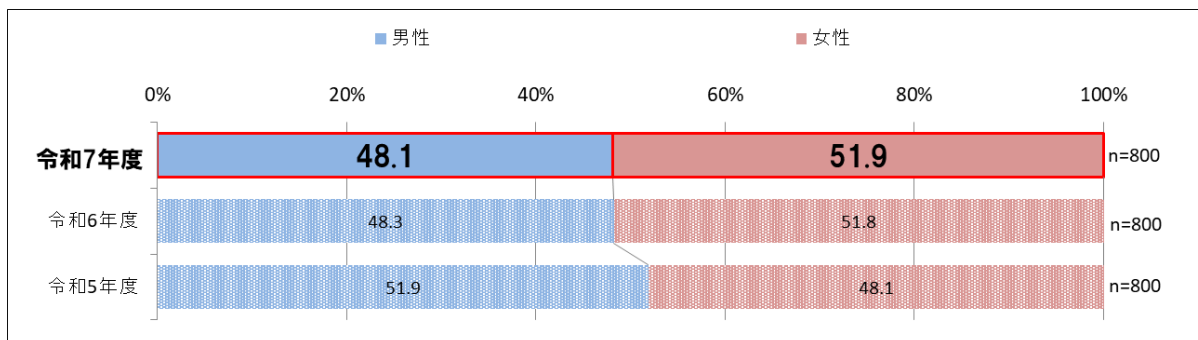


図 4.2.2 性別

#### 4.2.3 年代

年代は、「60代」が19.5%で最も多く、次いで「40代」が19.4%、「30代」が18.1%であった。

表 4.2.3 年代

年代	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
10代	13	1.6	19	2.4	57	7.1
20代	108	13.5	102	12.8	129	16.1
30代	145	18.1	145	18.1	132	16.5
40代	155	19.4	155	19.4	131	16.4
50代	130	16.3	130	16.3	137	17.1
60代	156	19.5	156	19.5	129	16.1
70代	78	9.8	78	9.8	78	9.8
80代以上	15	1.9	15	1.9	7	0.9

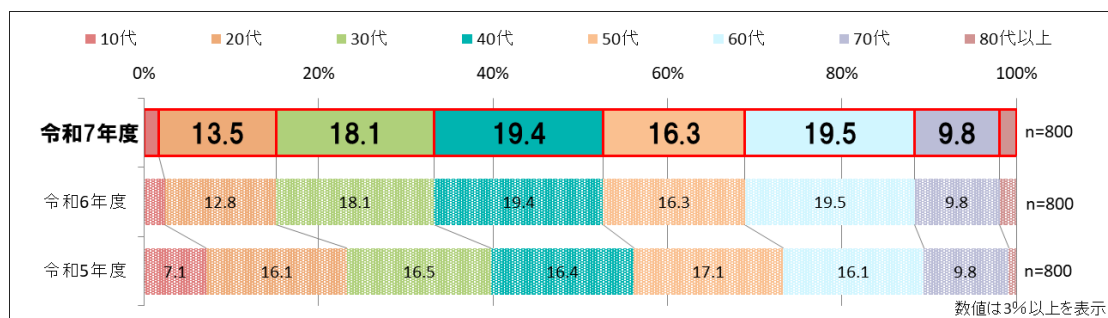


図 4.2.3 年代

#### 4.2.4 職業

職業は、「会社員」が40.1%で最も多く、次いで「無職」が17.4%、「パート・アルバイト」が15.5%であった。

表 4.2.4 職業

職業	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
会社員	321	40.1	325	40.6	292	36.5
公務員・団体職員等	58	7.3	54	6.8	52	6.5
自営業(家族従業員含む)	40	5.0	46	5.8	22	2.7
パート・アルバイト	124	15.5	120	15.0	104	13.0
学生	29	3.6	29	3.6	82	10.2
家事専業	80	10.0	74	9.3	98	12.3
無職	139	17.4	145	18.1	106	13.3
その他	9	1.1	7	0.9	44	5.5

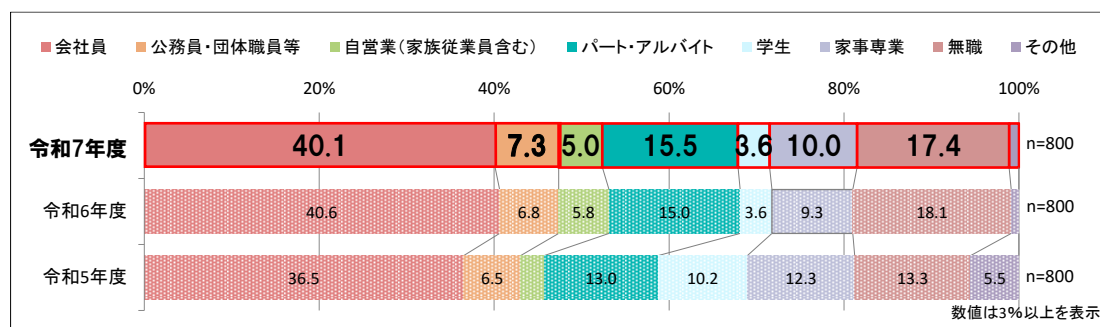


図 4.2.4 職業

#### 4.2.5 自転車利用頻度

自転車利用頻度は、「全く利用しない」が 57.4%で最も多く、次いで「年に数回」が 11.4%、「ほとんど毎日」が 11.0%であった。

「全く利用しない」が令和 6 年度から 7.0 ポイント、令和 5 年度から 10.5 ポイント増加した。

表 4.2.5 自転車利用頻度

利用頻度	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
ほとんど毎日	88	11.0	101	12.6	133	16.6
週2～3回程度	59	7.4	70	8.8	87	10.9
週1回程度	48	6.0	47	5.9	45	5.6
月に1～2回程度	55	6.9	59	7.4	58	7.2
年に数回	91	11.4	120	15.0	102	12.8
全く利用しない	459	57.4	403	50.4	375	46.9

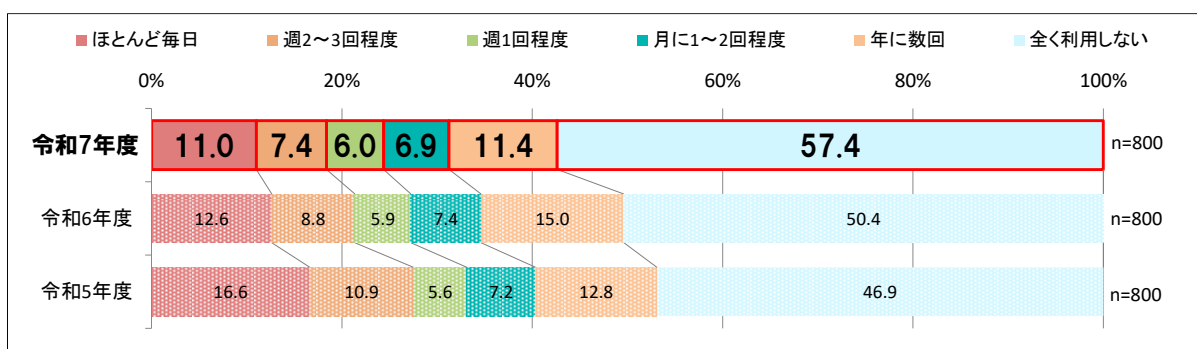


図 4.2.5 自転車利用頻度

年代別でみると、自転車を週1回程度以上利用する(「ほとんど毎日」、「週2〜3回程度」、「週1回程度」の合計)と回答した割合が最も高かったのは「10代」で38.5%、次いで、「40代」が28.5%、「50代」が26.9%であった。全年代で自転車を「全く利用しない」が半数以上となっている。

表 4.2.6 年代別・自転車利用頻度

年代	全体		ほとんど毎日		週2〜3回程度		週1回程度		月に1〜2回程度		年に数回		全く利用しない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	88	11.0	59	7.4	48	6.0	55	6.9	91	11.4	459	57.4
10代	13	100.0	3	23.1	1	7.7	1	7.7	1	7.7	0	0.0	7	53.8
20代	108	100.0	10	9.3	7	6.5	7	6.5	8	7.4	13	12.0	63	58.3
30代	145	100.0	19	13.1	7	4.8	9	6.2	14	9.7	16	11.0	80	55.2
40代	155	100.0	19	12.3	15	9.7	10	6.5	9	5.8	15	9.7	87	56.1
50代	130	100.0	12	9.2	14	10.8	9	6.9	4	3.1	18	13.8	73	56.2
60代	156	100.0	18	11.5	11	7.1	7	4.5	12	7.7	22	14.1	86	55.1
70代	78	100.0	7	9.0	4	5.1	5	6.4	5	6.4	7	9.0	50	64.1
80代以上	15	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0	13	86.7

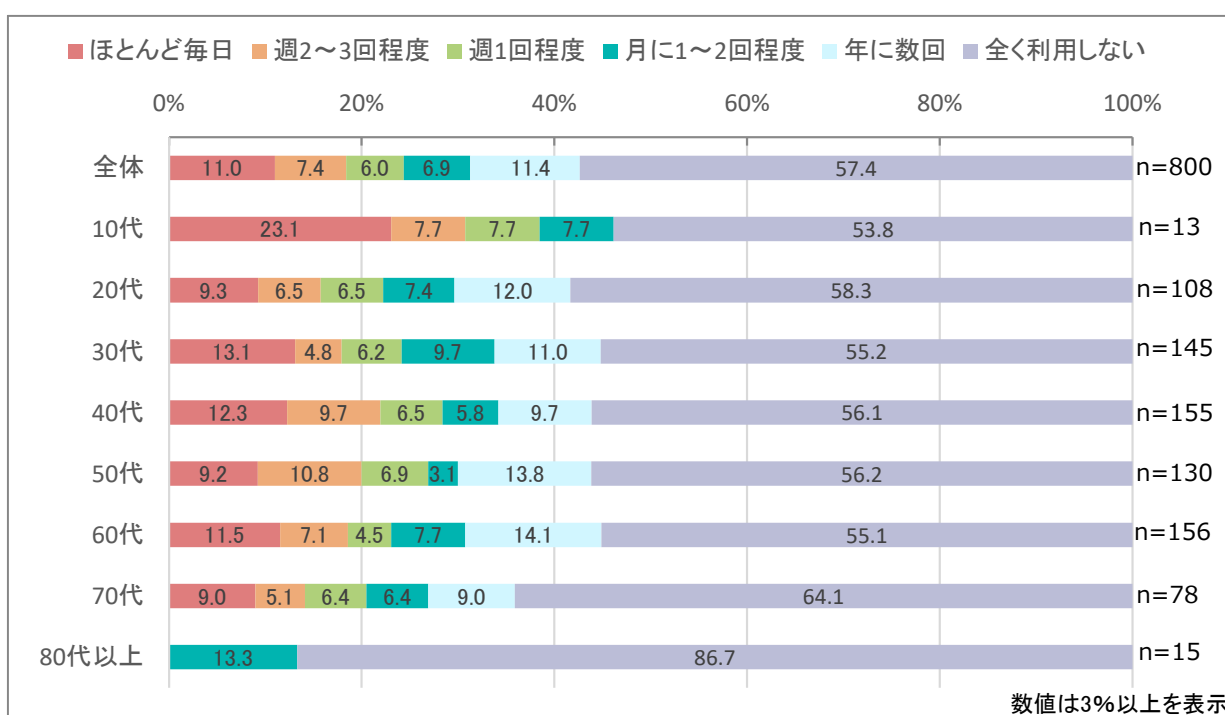


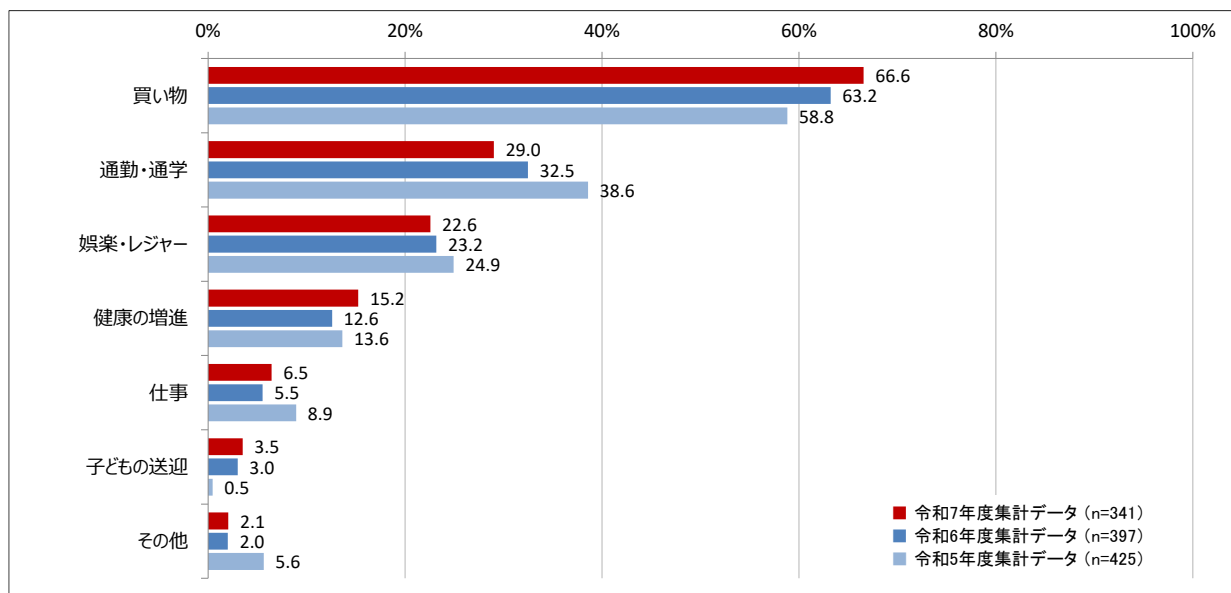
図 4.2.6 年代別・自転車利用頻度

#### 4.2.6 自転車利用目的（複数回答）

自転車利用目的は、「買い物」が66.6%で最も多く、次いで「通勤・通学」が29.0%、「娯楽・レジャー」が22.6%であり、過年度と同様の傾向がみられた。

表 4.2.7 自転車利用目的

利用目的	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	341	100.0	397	100.0	425	100.0
買い物	227	66.6	251	63.2	250	58.8
通勤・通学	99	29.0	129	32.5	164	38.6
娯楽・レジャー	77	22.6	92	23.2	106	24.9
健康の増進	52	15.2	50	12.6	58	13.6
仕事	22	6.5	22	5.5	38	8.9
子どもの送迎	12	3.5	12	3.0	2	0.5
その他	7	2.1	8	2.0	24	5.6



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

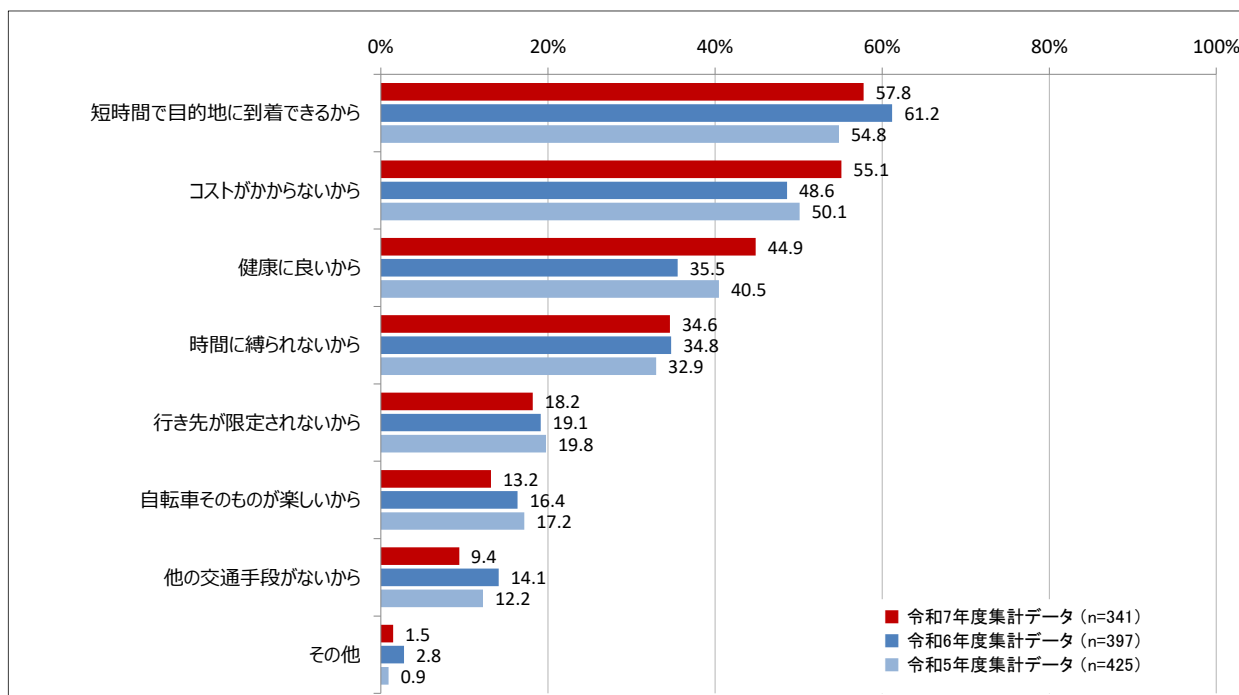
図 4.2.7 自転車利用目的

#### 4.2.7 自転車利用理由（複数回答）

自転車利用理由は、「短時間で目的地に到着できるから」が 57.8%で最も多く、次いで「コストがかからないから」が 55.1%、「健康に良いから」が 44.9%であり、過年度と同様の傾向がみられた。

表 4.2.8 自転車利用理由

利用理由	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	341	100.0	397	100.0	425	100.0
短時間で目的地に到着できるから	197	57.8	243	61.2	233	54.8
コストがかからないから	188	55.1	193	48.6	213	50.1
健康に良いから	153	44.9	141	35.5	172	40.5
時間に縛られないから	118	34.6	138	34.8	140	32.9
行き先が限定されないから	62	18.2	76	19.1	84	19.8
自転車そのものが楽しいから	45	13.2	65	16.4	73	17.2
他の交通手段がないから	32	9.4	56	14.1	52	12.2
その他	5	1.5	11	2.8	4	0.9



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.8 自転車利用理由

#### 4.2.8 直近1か月の主な移動手段

直近1か月の主な移動手段は、「自動車(バイク以外)」が47.6%で最も多く、次いで「鉄道(地下鉄含む)」が20.8%、「徒歩」が15.8%となっている。

「自転車」と回答した割合は7.8%となっており、過年度と同様の傾向がみられた。各回答割合に多少の増減がみられるものの、令和6年度から大きな傾向の変化はない。

表 4.2.9 直近1か月の主な交通手段

直近1か月の移動手段	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
鉄道(地下鉄含む)	166	20.8	134	16.8	162	20.3
バス	49	6.1	61	7.6	69	8.6
自動車(バイク以外)	381	47.6	400	50.0	365	45.6
バイク(自動二輪車や原付)	16	2.0	15	1.9	14	1.8
自転車	62	7.8	67	8.4	81	10.1
徒歩	126	15.8	123	15.4	109	13.6

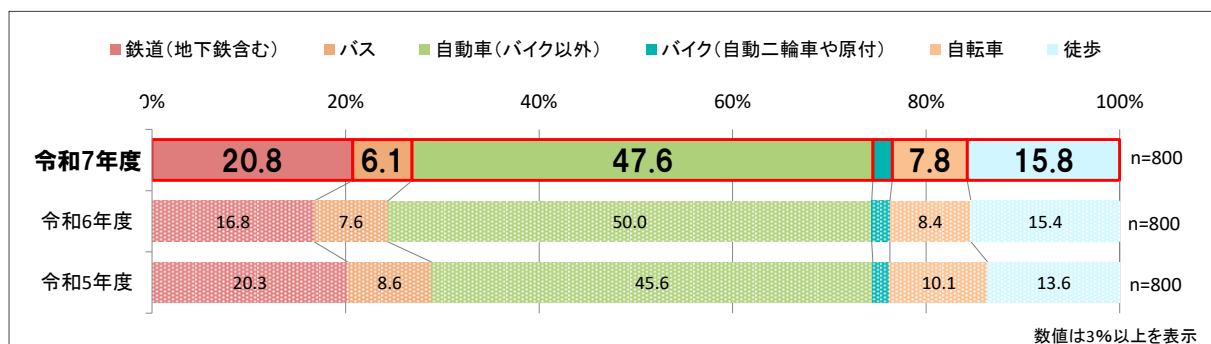
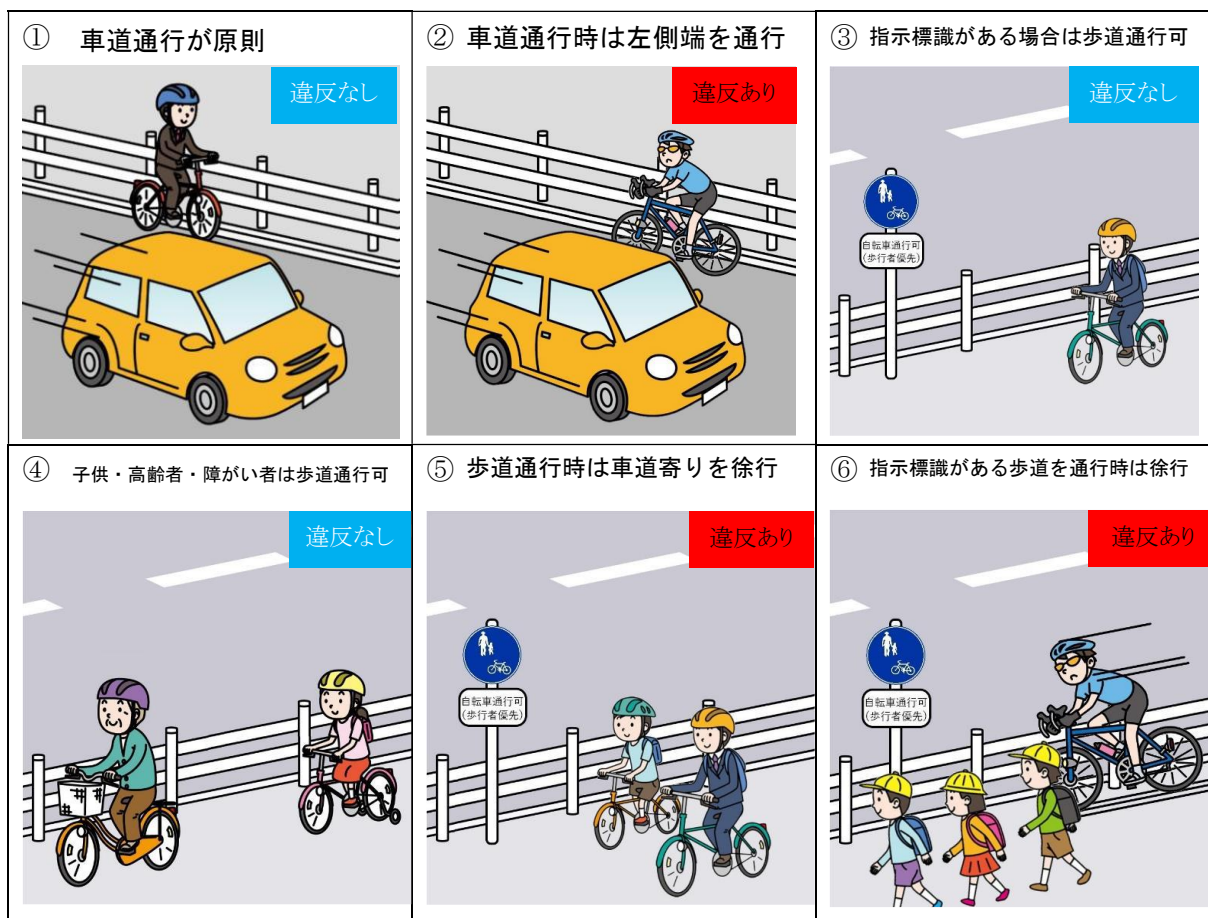


図 4.2.9 直近1か月の主な交通手段

#### 4.2.9 自転車ルール認知度

自転車ルールの認知度は、下図①～⑥イラストが交通ルールに違反する走行方法であるかを問う設問により把握した。



※出典：内閣府 HP より加工して作成 <https://www8.cao.go.jp/koutu/kyouiku/index.html#illust>

図 4.2.10 WEB アンケート（問9）自転車ルールのイラスト

認知している自転車ルール項目は、「車道通行が原則」が 94.0%で最も多く、次いで「車道通行時は左側端を通行」が 88.9%、「指示標識がある歩道を通行時は徐行」が 81.3%であった。

令和 6 年度と比較すると、「歩道通行時は車道寄りを徐行」は 3.5 ポイント増加している。

表 4.2.10 自転車ルールの認知度

ルール認知	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	800	100.0	800	100.0	800	100.0
車道通行が原則	752	94.0	754	94.3	743	92.9
車道通行時は左側端を通行	711	88.9	718	89.8	723	90.4
指示標識がある歩道を通行時は徐行	650	81.3	630	78.8	645	80.6
指示標識がある場合は歩道通行可	615	76.9	618	77.3	573	71.6
子供・高齢者・障がい者は歩道通行可	570	71.3	551	68.9	588	73.5
歩道通行時は車道寄りを徐行	539	67.4	511	63.9	557	69.6
認知度の平均	640	79.9	630	78.8	638	79.8

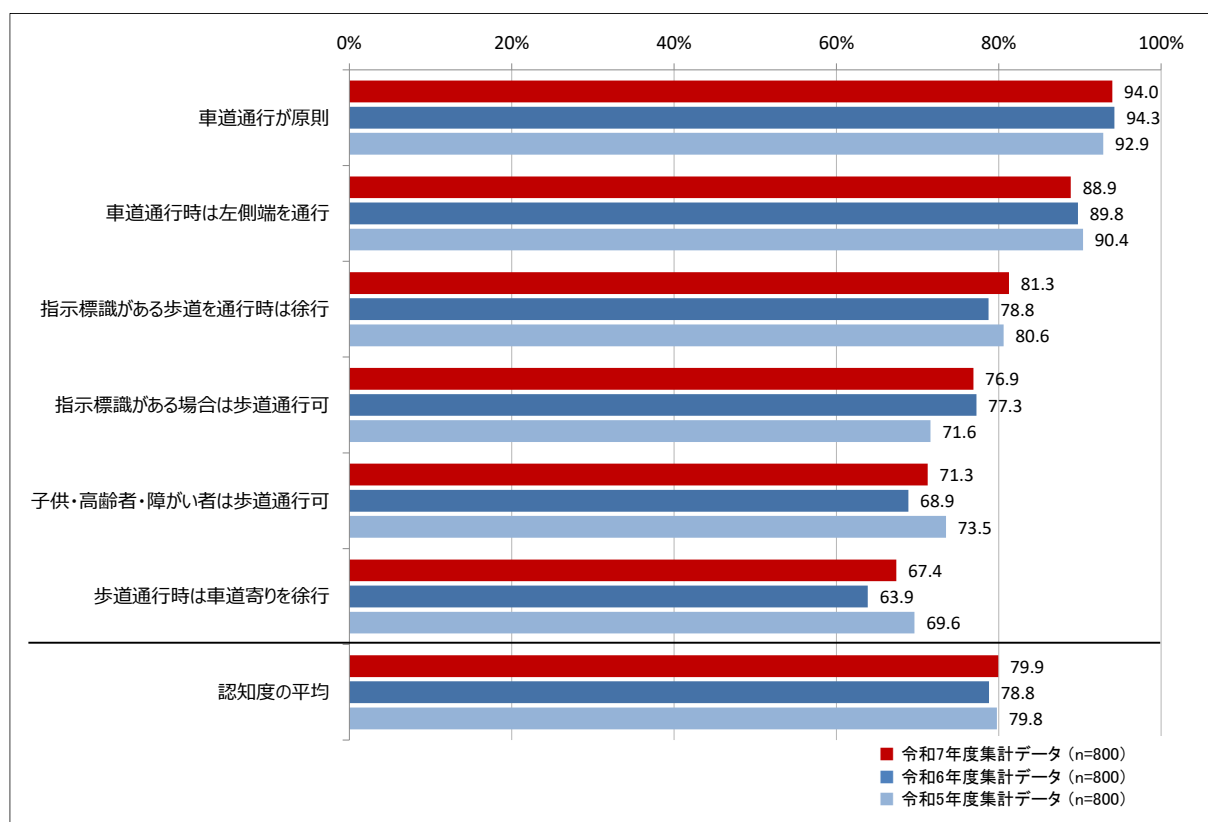


図 4.2.11 自転車ルールの認知度

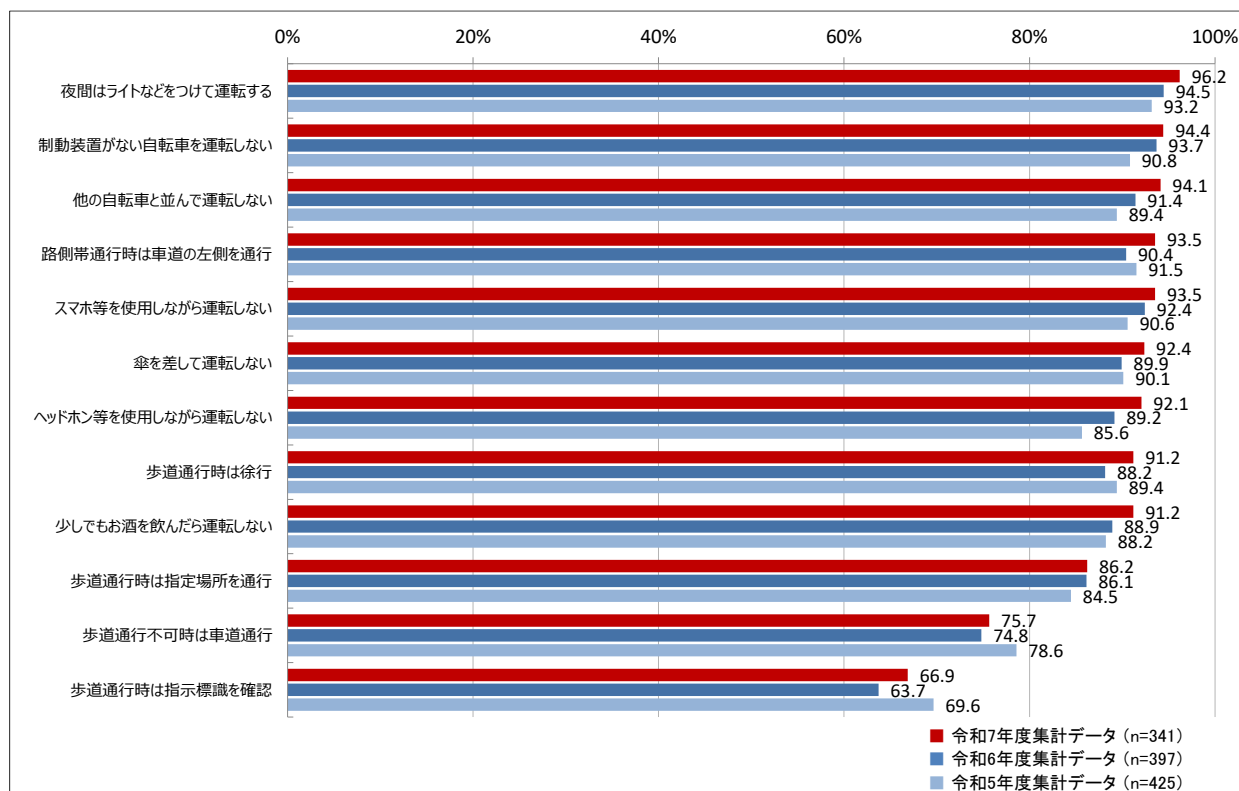
#### 4.2.10 自転車ルールへの遵守度

遵守度が高い自転車ルールの項目は、「夜間はライトなどをつけて運転する」が96.2%、次いで「制動装置がない自転車を運転しない」が94.4%であった。

遵守度が低い自転車ルールの項目は、「歩道通行時は指示標識を確認」が66.9%、次いで「歩道通行不可時は車道通行」が75.7%となっており、過年度と同様の傾向がみられた。

表 4.2.11 自転車ルールへの遵守度

守っているルール	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	341	100.0	397	100.0	425	100.0
夜間はライトなどをつけて運転する	328	96.2	375	94.5	396	93.2
制動装置がない自転車を運転しない	322	94.4	372	93.7	386	90.8
他の自転車と並んで運転しない	321	94.1	363	91.4	380	89.4
路側帯通行時は車道の左側を通行	319	93.5	359	90.4	389	91.5
スマホ等を使用しながら運転しない	319	93.5	367	92.4	385	90.6
傘を差して運転しない	315	92.4	357	89.9	383	90.1
ヘッドホン等を使用しながら運転しない	314	92.1	354	89.2	364	85.6
歩道通行時は徐行	311	91.2	350	88.2	380	89.4
少しでもお酒を飲んだら運転しない	311	91.2	353	88.9	375	88.2
歩道通行時は指定場所を通行	294	86.2	342	86.1	359	84.5
歩道通行不可時は車道通行	258	75.7	297	74.8	334	78.6
歩道通行時は指示標識を確認	228	66.9	253	63.7	296	69.6



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

※「よくあてはまる」と「ややあてはまる」と回答した人を「遵守している」として集計

図 4.2.12 自転車ルールへの遵守度

#### 4.2.11 自転車乗車時の注視ポイント

自転車乗車時の注視ポイントは、回答者が自転車に乗車して下図の場面(信号交差点手前)に差し掛かった場合、1～9のどのポイントを注視するかを問う設問により把握した。

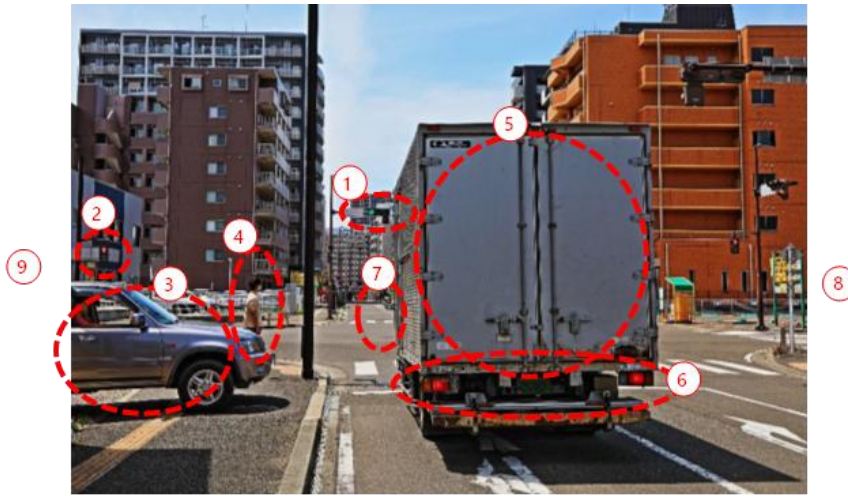
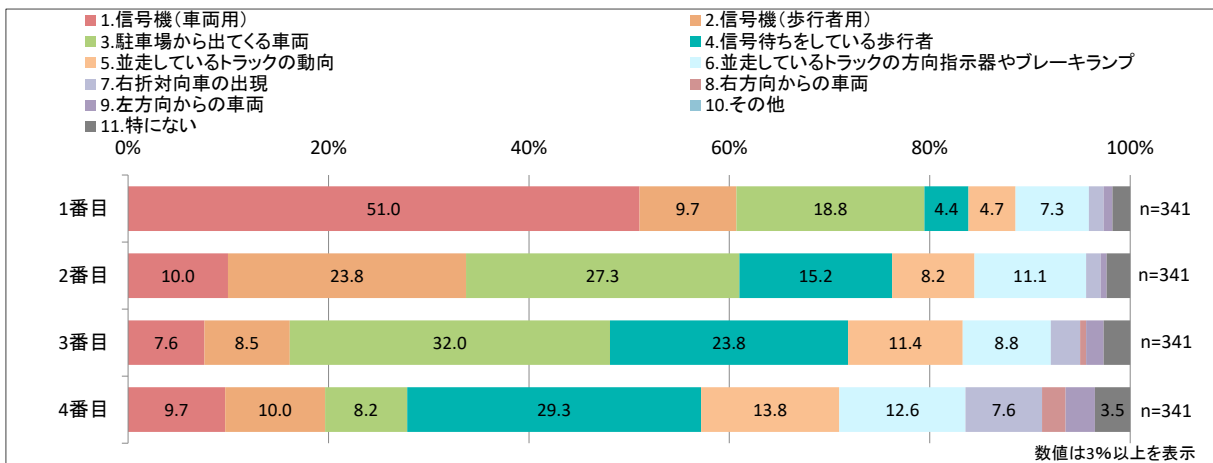


図 4.2.13 アンケートに用いた図

自転車で信号交差点を直進する場面において、注視するポイントとして多かった項目は1番目が「1.信号機(車両用)」で51.0%、2番目は「3.駐車場から出てくる車両」で27.3%、3番目も「3.駐車場から出てくる車両」で32.0%、4番目は「4.信号待ちをしている歩行者」で29.3%であった。

表 4.2.12 自転車乗車時の注視ポイント

危険予測ポイント	順位	1番目		2番目		3番目		4番目	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体		341	100.0	341	100.0	341	100.0	341	100.0
1.信号機(車両用)		174	51.0	34	10.0	26	7.6	33	9.7
2.信号機(歩行者用)		33	9.7	81	23.8	29	8.5	34	10.0
3.駐車場から出てくる車両		64	18.8	93	27.3	109	32.0	28	8.2
4.信号待ちをしている歩行者		15	4.4	52	15.2	81	23.8	100	29.3
5.並走しているトラックの動向		16	4.7	28	8.2	39	11.4	47	13.8
6.並走しているトラックの方向指示器やブレーキランプ		25	7.3	38	11.1	30	8.8	43	12.6
7.右折対向車の出現		5	1.5	5	1.5	10	2.9	26	7.6
8.右方向からの車両		0	0.0	0	0.0	2	0.6	8	2.3
9.左方向からの車両		3	0.9	2	0.6	6	1.8	10	2.9
10.その他		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11.特にない		6	1.8	8	2.3	9	2.6	12	3.5



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.14 自転車乗車時の注視ポイント

#### 4.2.12 自転車の正しいルールを知るために効果的と考える方法（複数回答）

自転車の正しい利用ルールを知るために効果的と考える方法は、「中学校・高校での交通安全教室」が60.9%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオでの紹介」が44.8%、「路上での路面表示や看板などによる周知」が43.6%であった。

表 4.2.13 自転車の正しい利用ルールを知るために効果的と考える方法

自転車の正しいルールを知るために効果的と考える方法	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	800	100.0
中学校・高校での交通安全教室	487	60.9
テレビ・ラジオでの紹介	358	44.8
路上での路面表示や看板などによる周知	349	43.6
街頭での啓発活動	275	34.4
自転車の乗り方やルールを楽しく学べる啓発イベント等の開催	267	33.4
免許センターでの周知(ポスター掲示、免許更新時の講習など)	263	32.9
SNS(XやInstagram)での紹介	259	32.4
ショッピングセンターでのポスターやサイネージでの掲示、リーフレットの配布	183	22.9
市政だよりへの掲載	183	22.9
仙台市ホームページへの掲載	141	17.6
地元情報誌での特集記事掲載	123	15.4
新聞の折り込み広告	96	12.0
その他	15	1.9

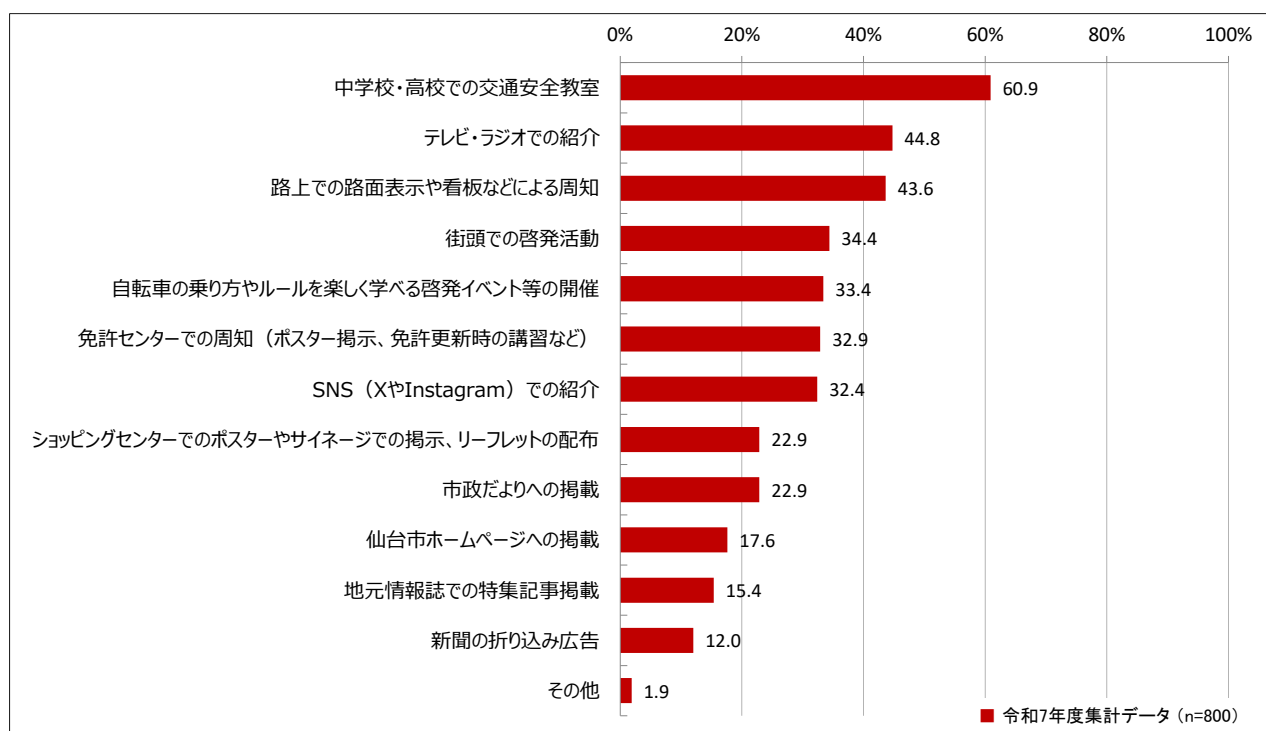
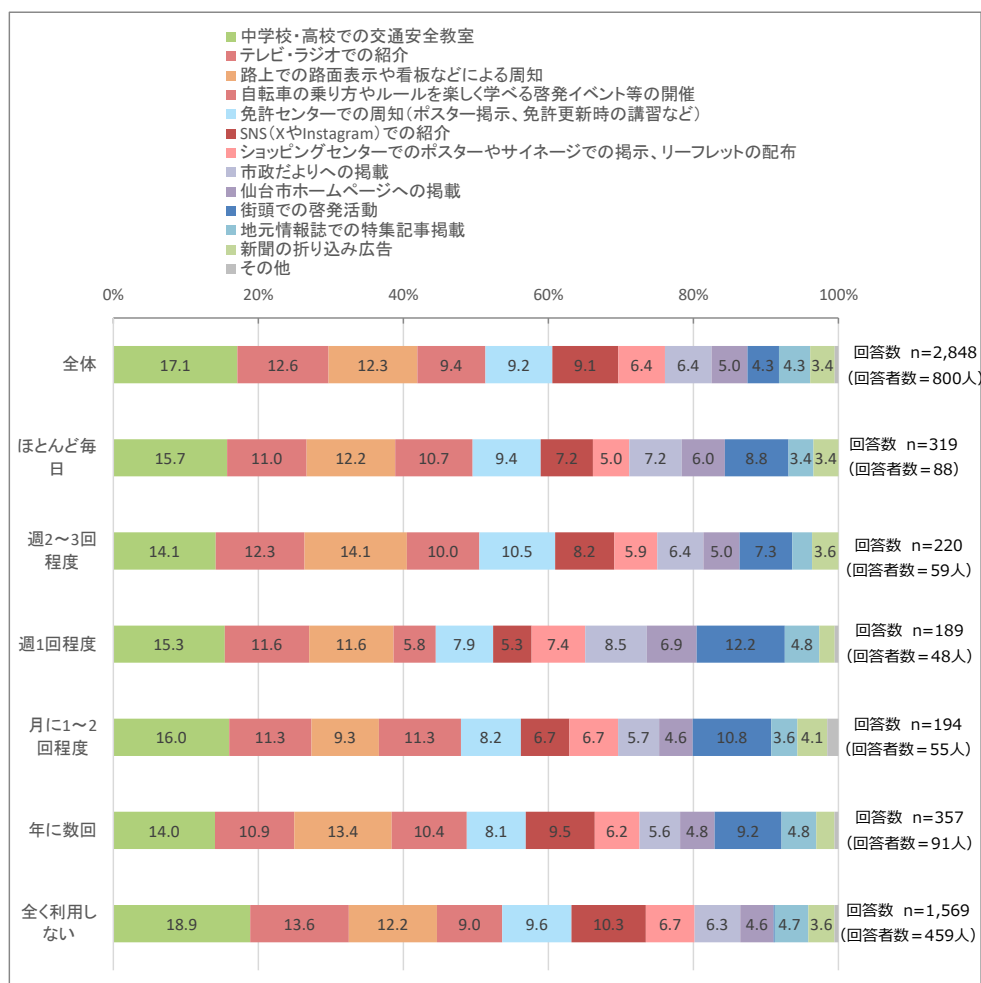


図 4.2.15 自転車の正しい利用ルールを知るために効果的と考える方法

自転車の利用頻度別でみると、「ほとんど毎日」では、「中学校・高校での交通安全教室」、「週 2～3 回程度」では「中学校・高校での交通安全教室」と「路上での路面表示や看板などによる周知」、それ以外では「中学校・高校での交通安全教室」が最も多くなっている。

表 4.2.14 自転車利用頻度と自転車の正しい利用ルールを知るために効果的と考える方法

自転車利用頻度	全体		ほとんど毎日		週2～3回程度		週1回程度		月に1～2回程度		年に数回		全く利用しない	
	回答数 (回答者数)	%	回答数 (回答者数)	%	回答数 (回答者数)	%	回答数 (回答者数)	%	回答数 (回答者数)	%	回答数 (回答者数)	%	回答数 (回答者数)	%
自転車の正しいルールを知るために効果的と考える方法														
全体	2,848 (800)	100.0	319 (88)	100.0	220 (59)	100.0	189 (48)	100.0	194 (55)	100.0	357 (91)	100.0	1,569 (459)	100.0
中学校・高校での交通安全教室	487	17.1	50	15.7	31	14.1	29	15.3	31	16.0	50	14.0	296	18.9
テレビ・ラジオでの紹介	358	12.6	35	11.0	27	12.3	22	11.6	22	11.3	39	10.9	213	13.6
路上での路面表示や看板などによる周知	349	12.3	39	12.2	31	14.1	22	11.6	18	9.3	48	13.4	191	12.2
自転車の乗り方やルールを楽しく学べる啓発イベント等の開催	267	9.4	34	10.7	22	10.0	11	5.8	22	11.3	37	10.4	141	9.0
免許センターでの周知(ポスター掲示、免許更新時の講習など)	263	9.2	30	9.4	23	10.5	15	7.9	16	8.2	29	8.1	150	9.6
SNS(XやInstagram)での紹介	259	9.1	23	7.2	18	8.2	10	5.3	13	6.7	34	9.5	161	10.3
ショッピングセンターでのポスターやサイネージでの掲示、リーフレットの配布	183	6.4	16	5.0	13	5.9	14	7.4	13	6.7	22	6.2	105	6.7
市政だよりへの掲載	183	6.4	23	7.2	14	6.4	16	8.5	11	5.7	20	5.6	99	6.3
仙台市ホームページへの掲載	141	5.0	19	6.0	11	5.0	13	6.9	9	4.6	17	4.8	72	4.6
街頭での啓発活動	124	4.4	28	8.8	16	7.3	23	12.2	21	10.8	33	9.2	3	0.2
地元情報誌での特集記事掲載	123	4.3	11	3.4	6	2.7	9	4.8	7	3.6	17	4.8	73	4.7
新聞の折り込み広告	96	3.4	11	3.4	8	3.6	4	2.1	8	4.1	9	2.5	56	3.6
その他	15	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.5	3	1.5	2	0.6	9	0.6



※数値は総サンプル数に対する割合、3%以上を表示

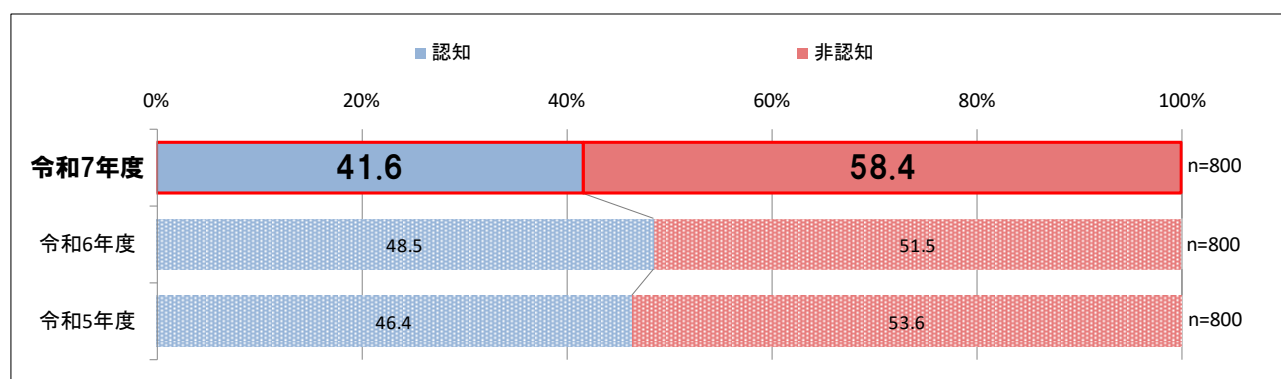
図 4.2.16 自転車の正しい利用ルールを知るために効果的と考える方法

#### 4.2.13 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」が平成31年に施行されたことを認知している割合は、41.6%であり、令和6年度から6.9ポイント減少となっている。

表 4.2.15 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」が平成31年に施行された	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
認知	333	41.6	388	48.5	371	46.4
詳しく知っている	58	7.3	54	6.8	60	7.5
少し知っている	275	34.4	334	41.8	311	38.9
非認知	467	58.4	412	51.5	429	53.6
知らない	467	58.4	412	51.5	429	53.6



※「詳しく知っている」と「少し知っている」と回答した人を「認知している」として集計

図 4.2.17 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度

認知度(「詳しく知っている」、「少し知っている」の割合の合計)が高い条例の内容は、「自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければならない」が84.9%で最も多く、次いで「歩行者や他の自転車の通行に配慮するよう努めなければならない」が81.5%であった。

一方、認知度が最も低いのは「道路交通法その他の関係法令を遵守するとともに、自転車の安全利用に必要な知識の習得に努めなければならない」で70.3%であった。

表 4.2.16 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度（令和7年度）

条例の内容	全体		認知						非認知	
	回答数	%	回答数	%	詳しく知っている		少し知っている		知らない	
					回答数	%	回答数	%	回答数	%
道路交通法その他の関係法令を遵守するとともに、自転車の安全利用に必要な知識の習得に努めなければならない	800	100.0	562	70.3	189	23.6	373	46.6	238	29.8
自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければならない	800	100.0	679	84.9	337	42.1	342	42.8	121	15.1
歩行者や他の自転車の通行に配慮するよう努めなければならない	800	100.0	652	81.5	321	40.1	331	41.4	148	18.5
自転車を定期的に点検・整備するよう努めなければならない	800	100.0	584	73.0	258	32.3	326	40.8	216	27.0
自転車損害賠償保険等に必ず加入しなければならない	800	100.0	588	73.5	294	36.8	294	36.8	212	26.5

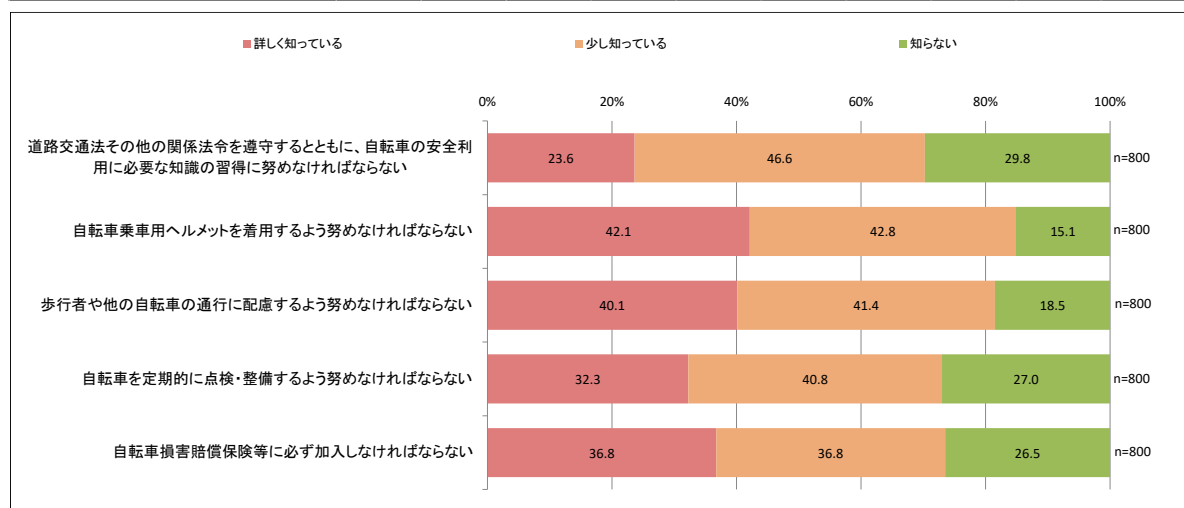


図 4.2.18 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度（令和7年度）

表 4.2.17 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度（令和6年度）

条例の内容	全体		認知						非認知	
	回答数	%	回答数	%	詳しく知っている		少し知っている		知らない	
					回答数	%	回答数	%	回答数	%
道路交通法その他の関係法令を遵守するとともに、自転車の安全利用に必要な知識の習得に努めなければならない	800	100.0	589	73.6	210	26.3	379	47.4	211	26.4
自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければならない	800	100.0	682	85.3	366	45.8	316	39.5	118	14.8
歩行者や他の自転車の通行に配慮するよう努めなければならない	800	100.0	659	82.4	337	42.1	322	40.3	141	17.6
自転車を定期的に点検・整備するよう努めなければならない	800	100.0	601	75.1	261	32.6	340	42.5	199	24.9
自転車損害賠償保険等に必ず加入しなければならない	800	100.0	607	75.9	317	39.6	290	36.3	193	24.1

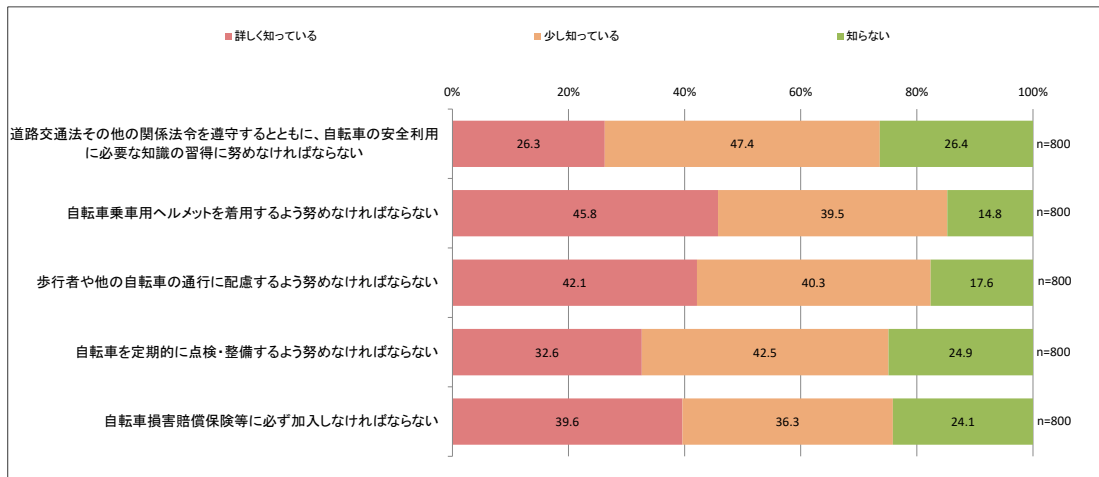


図 4.2.19 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度（令和6年度）

表 4.2.18 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度（令和5年度）

条例の内容	全体		認知						非認知	
	回答数	%	回答数	%	詳しく知っている		少し知っている		知らない	
					回答数	%	回答数	%	回答数	%
道路交通法その他の関係法令を遵守するとともに、自転車の安全利用に必要な知識の習得に努めなければならない	800	100.0	524	65.5	113	14.1	411	51.4	276	34.5
自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければならない	800	100.0	686	85.8	286	35.8	400	50.0	114	14.3
歩行者や他の自転車の通行に配慮するよう努めなければならない	800	100.0	676	84.5	261	32.6	415	51.9	124	15.5
自転車を定期的に点検・整備するよう努めなければならない	800	100.0	608	76.0	221	27.6	387	48.4	192	24.0
自転車損害賠償保険等に必ず加入しなければならない	800	100.0	625	78.1	277	34.6	348	43.5	175	21.9

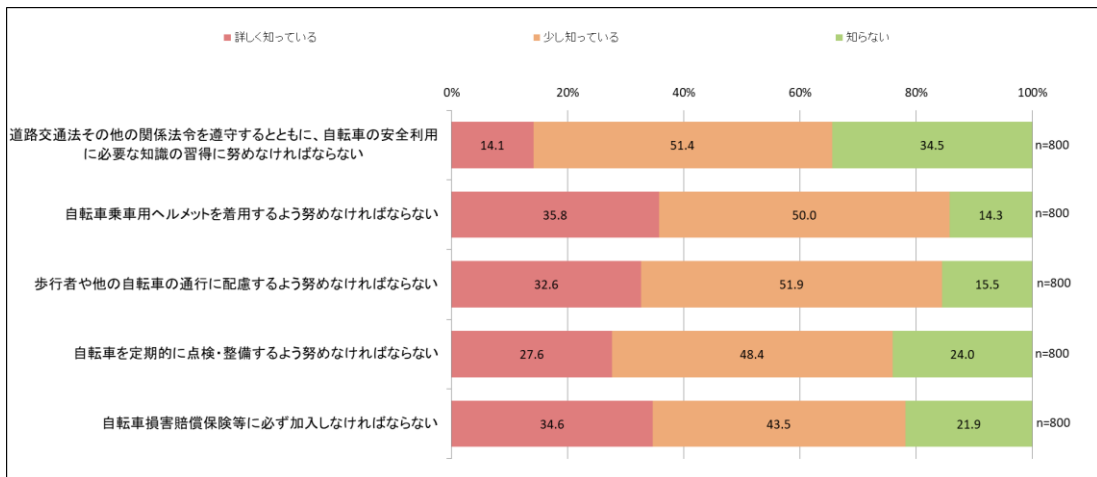


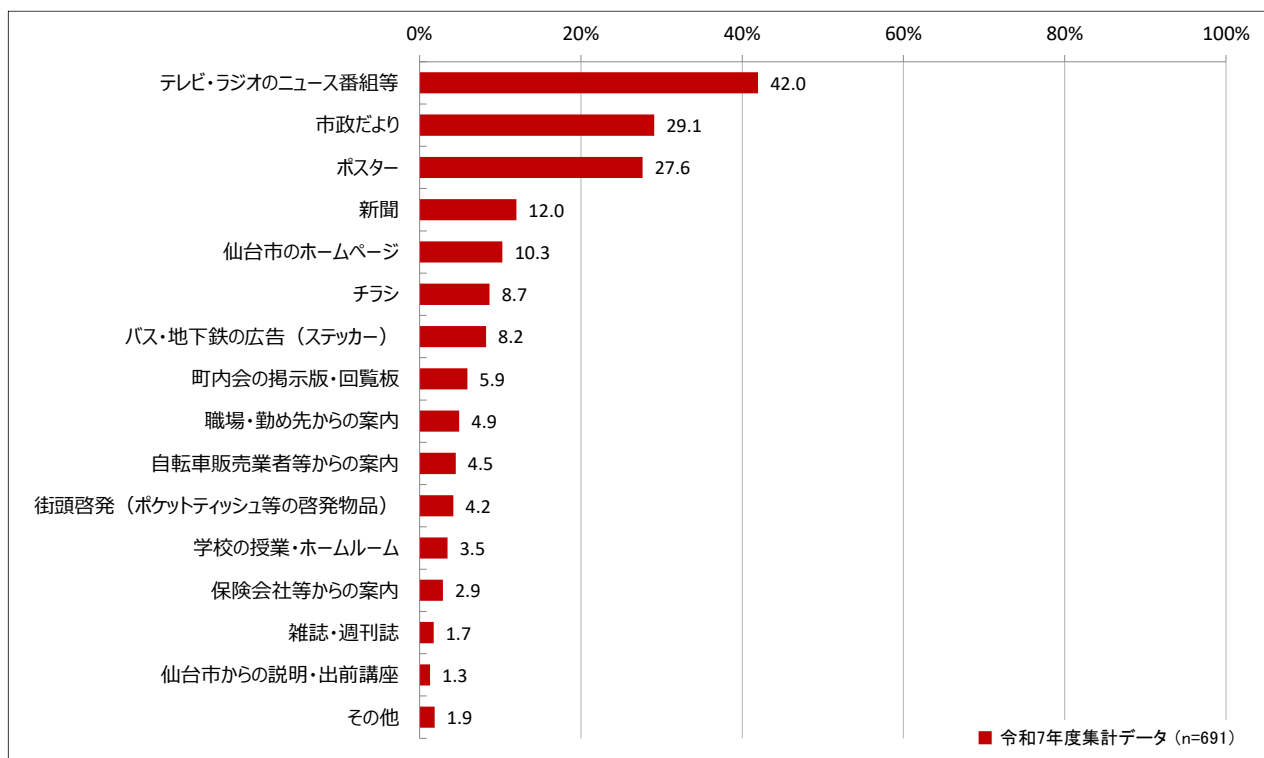
図 4.2.20 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知度（令和5年度）

#### 4.2.14 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知媒体（複数回答）

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」の認知媒体は、「テレビ・ラジオのニュース番組等」が 42.0%、次いで「市政だより」が 29.1%、「ポスター」が 27.6%であった。

表 4.2.19 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」を知った媒体

条例を知った媒体	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	691	100.0
テレビ・ラジオのニュース番組等	290	42.0
市政だより	201	29.1
ポスター	191	27.6
新聞	83	12.0
仙台市のホームページ	71	10.3
チラシ	60	8.7
バス・地下鉄の広告(ステッカー)	57	8.2
町内会の掲示版・回覧板	41	5.9
職場・勤め先からの案内	34	4.9
自転車販売業者等からの案内	31	4.5
街頭啓発(ポケットティッシュ等の啓発物品)	29	4.2
学校の授業・ホームルーム	24	3.5
保険会社等からの案内	20	2.9
雑誌・週刊誌	12	1.7
仙台市からの説明・出前講座	9	1.3
その他	13	1.9



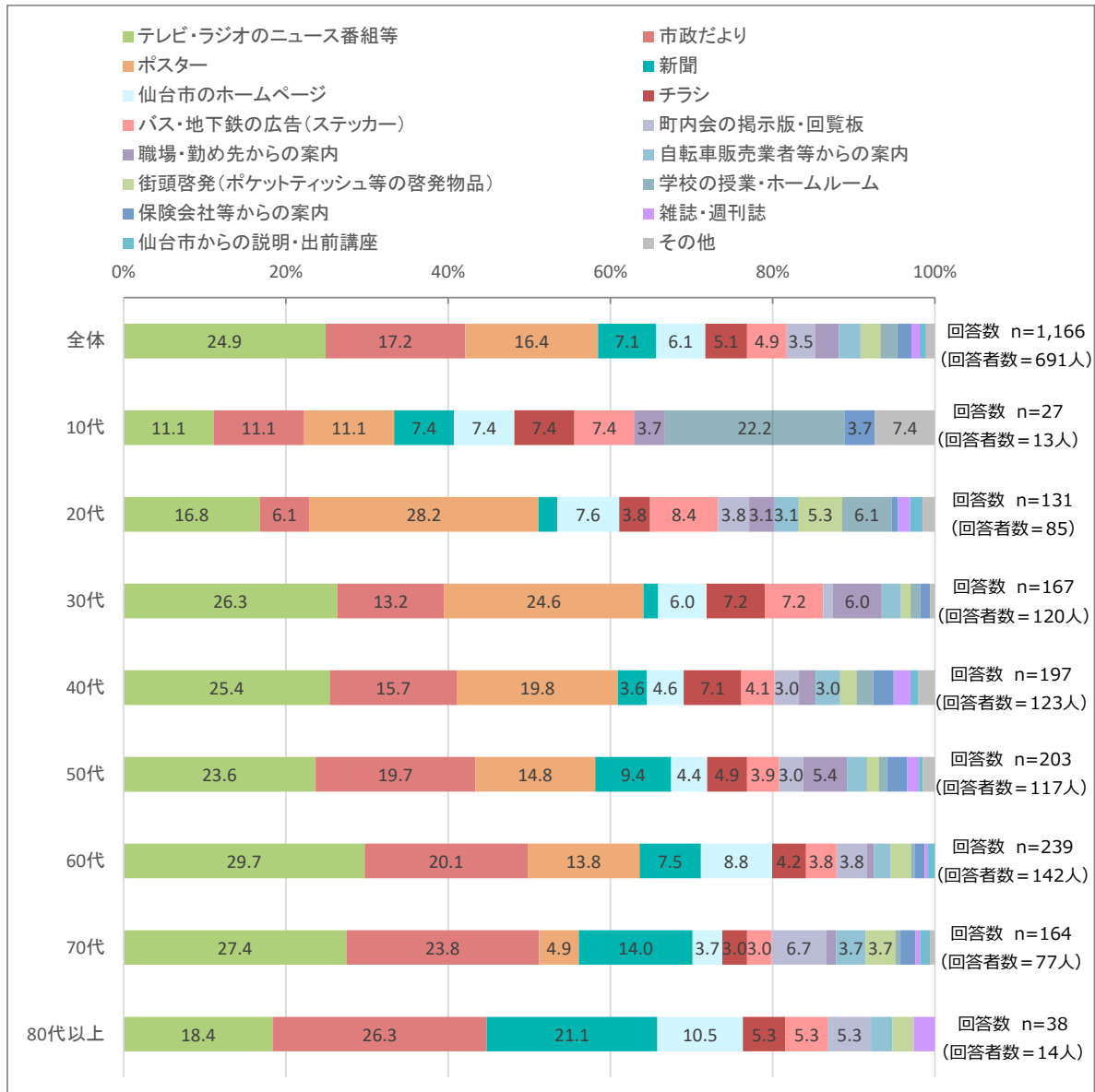
※4.2.12 仙台市自転車の安全利用に関する条例を1つ以上「認知」している人を対象として集計

図 4.2.21 「仙台市自転車の安全利用に関する条例」を知った媒体

年代別でみると、「30代」から「70代」は「テレビ・ラジオのニュース番組等」、「10代」は「学校の授業・ホームルーム」、「20代」はポスター、「80代以上」は「市政だより」が高い認知媒体となっている。

表 4.2.20 年代別・「仙台市自転車の安全利用に関する条例」を知った媒体

年代	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%	回答数 回答者数	%
全体	1,166 (691)	100.0	27 (13)	100.0	131 (85)	100.0	167 (120)	100.0	197 (123)	100.0	203 (117)	100.0	239 (142)	100.0	164 (77)	100.0	38 (14)	100.0
テレビ・ラジオのニュース番組等	290	24.9	3	11.1	22	16.8	44	26.3	50	25.4	48	23.6	71	29.7	45	27.4	7	18.4
市政だより	201	17.2	3	11.1	8	6.1	22	13.2	31	15.7	40	19.7	48	20.1	39	23.8	10	26.3
ポスター	191	16.4	3	11.1	37	28.2	41	24.6	39	19.8	30	14.8	33	13.8	8	4.9	0	0.0
新聞	83	7.1	2	7.4	3	2.3	3	1.8	7	3.6	19	9.4	18	7.5	23	14.0	8	21.1
仙台市のホームページ	71	6.1	2	7.4	10	7.6	10	6.0	9	4.6	9	4.4	21	8.8	6	3.7	4	10.5
チラシ	60	5.1	2	7.4	5	3.8	12	7.2	14	7.1	10	4.9	10	4.2	5	3.0	2	5.3
バス・地下鉄の広告(ステッカー)	57	4.9	2	7.4	11	8.4	12	7.2	8	4.1	8	3.9	9	3.8	5	3.0	2	5.3
町内会の掲示版・回覧板	41	3.5	0	0.0	5	3.8	2	1.2	6	3.0	6	3.0	9	3.8	11	6.7	2	5.3
職場・勤め先からの案内	34	2.9	1	3.7	4	3.1	10	6.0	4	2.0	11	5.4	2	0.8	2	1.2	0	0.0
自転車販売業者等からの案内	31	2.7	0	0.0	4	3.1	4	2.4	6	3.0	5	2.5	5	2.1	6	3.7	1	2.6
街頭啓発(ポケットティッシュ等の啓発物品)	29	2.5	0	0.0	7	5.3	2	1.2	4	2.0	3	1.5	6	2.5	6	3.7	1	2.6
学校の授業・ホームルーム	24	2.1	6	22.2	8	6.1	2	1.2	4	2.0	2	1.0	1	0.4	1	0.6	0	0.0
保険会社等からの案内	20	1.7	1	3.7	1	0.8	2	1.2	5	2.5	5	2.5	3	1.3	3	1.8	0	0.0
雑誌・週刊誌	12	1.0	0	0.0	2	1.5	0	0.0	4	2.0	3	1.5	1	0.4	1	0.6	1	2.6
仙台市からの説明・出前講座	9	0.8	0	0.0	2	1.5	0	0.0	2	1.0	1	0.5	2	0.8	2	1.2	0	0.0
その他	13	1.1	2	7.4	2	1.5	1	0.6	4	2.0	3	1.5	0	0.0	1	0.6	0	0.0



※数値は総サンプル数に対する割合、3%以上を表示

※4.2.12 仙台市自転車の安全利用に関する条例を1つ以上「認知」している人を対象として集計

図 4.2.22 年代別・「仙台市自転車の安全利用に関する条例」を知った媒体

#### 4.2.15 自転車損害賠償保険等の加入有無

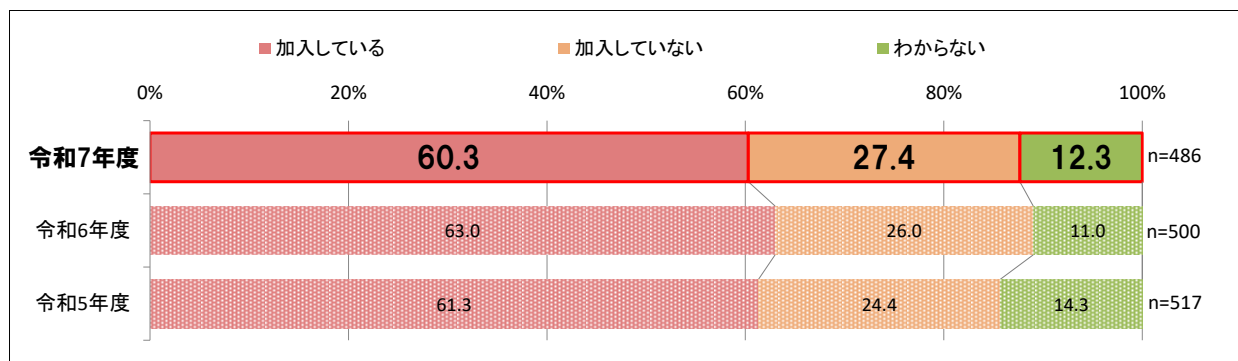
##### (1) 自転車損害賠償保険等の加入状況

自転車損害賠償保険等への加入状況は、「加入している」が 60.3%、「加入していない」が 27.4%、「わからない」が 12.3%となっており、「加入している」は令和 6 年度から 2.7 ポイント減少している。

※平成 31 年 4 月 1 日に「仙台市自転車の安全利用に関する条例」が施行され、自転車損害賠償保険等への加入が義務づけられている。

表 4.2.21 自転車保険等の加入状況

保険加入の有無	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	486	100.0	500	100.0	517	100.0
加入している	293	60.3	315	63.0	317	61.3
加入していない	133	27.4	130	26.0	126	24.4
わからない	60	12.3	55	11.0	74	14.3



※「自転車に乗らない（自転車を利用する家族もいない）」を除いて集計

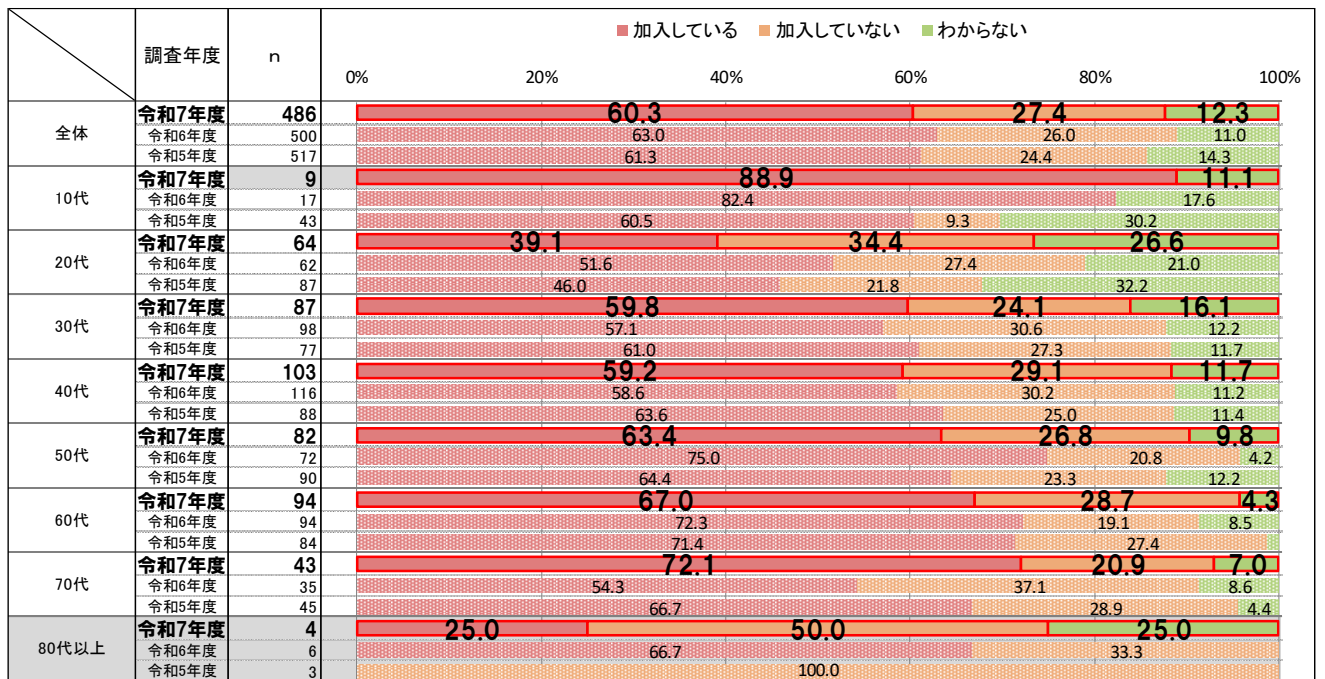
図 4.2.23 自転車保険等の加入状況

(2) 年代別・自転車保険等の加入状況

年代別の加入状況を見ると、「加入している」と回答したうち「70代」が72.1%と最も高く、次いで「60代」が67.0%、「50代」が63.4%となった。令和5年度以降、「70代」が最も加入割合が高くなった一方、「20代」は39.1%、「50代」は63.4%、「60代」は67.0%と、令和5年度以降のこれらの年代では最も加入割合が低い結果となった。

表 4.2.22 年代別・自転車保険等の加入状況

年代	調査年度	全体		加入している		加入していない		わからない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		令和7年度	486	100.0	293	60.3	133	27.4	60
全体	令和6年度	500	100.0	315	63.0	130	26.0	55	11.0
	令和5年度	517	100.0	317	61.3	126	24.4	74	14.3
	令和7年度	9	100.0	8	88.9	0	0.0	1	11.1
10代	令和6年度	17	100.0	14	82.4	0	0.0	3	17.6
	令和5年度	43	100.0	26	60.5	4	9.3	13	30.2
	令和7年度	64	100.0	25	39.1	22	34.4	17	26.6
20代	令和6年度	62	100.0	32	51.6	17	27.4	13	21.0
	令和5年度	87	100.0	40	46.0	19	21.8	28	32.2
	令和7年度	87	100.0	52	59.8	21	24.1	14	16.1
30代	令和6年度	98	100.0	56	57.1	30	30.6	12	12.2
	令和5年度	77	100.0	47	61.0	21	27.3	9	11.7
	令和7年度	103	100.0	61	59.2	30	29.1	12	11.7
40代	令和6年度	116	100.0	68	58.6	35	30.2	13	11.2
	令和5年度	88	100.0	56	63.6	22	25.0	10	11.4
	令和7年度	82	100.0	52	63.4	22	26.8	8	9.8
50代	令和6年度	72	100.0	54	75.0	15	20.8	3	4.2
	令和5年度	90	100.0	58	64.4	21	23.3	11	12.2
	令和7年度	94	100.0	63	67.0	27	28.7	4	4.3
60代	令和6年度	94	100.0	68	72.3	18	19.1	8	8.5
	令和5年度	84	100.0	60	71.4	23	27.4	1	1.2
	令和7年度	43	100.0	31	72.1	9	20.9	3	7.0
70代	令和6年度	35	100.0	19	54.3	13	37.1	3	8.6
	令和5年度	45	100.0	30	66.7	13	28.9	2	4.4
	令和7年度	4	100.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0
80代以上	令和6年度	6	100.0	4	66.7	2	33.3	0	0.0
	令和5年度	3	100.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0



数値は3%以上を表示

※「自転車に乗らない（自転車を利用する家族もいない）」を除いて集計

図 4.2.24 年代別・自転車保険等の加入状況

(3) 自転車利用頻度と自転車保険等の加入状況

自転車利用頻度と保険加入状況を見ると、「加入している」と回答したうち加入率が高いのは利用頻度が「ほとんど毎日」で79.5%、次いで「週1回程度」の64.6%、「週2～3回程度」の64.4%となっている。加入率が低かったのは利用頻度が「年に数回」の61.5%であった。

令和6年度と比較すると、加入している割合は、「ほとんど毎日」が5.2ポイント増加したが、「週1回程度」は5.6ポイント減少となった。

表 4.2.23 自転車利用頻度と自転車保険等の加入状況

自転車利用頻度	自転車保険等の加入状況	調査年度	全体		加入している		加入していない		わからない	
			回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	令和7年度	341	100.0	230	67.4	75	22.0	36	10.6	
	令和6年度	397	100.0	261	65.7	99	24.9	37	9.3	
	令和5年度	391	100.0	261	66.8	84	21.5	46	11.8	
ほとんど毎日	令和7年度	88	100.0	70	79.5	13	14.8	5	5.7	
	令和6年度	101	100.0	75	74.3	21	20.8	5	5.0	
	令和5年度	122	100.0	90	73.8	17	13.9	15	12.3	
週2～3回程度	令和7年度	59	100.0	38	64.4	13	22.0	8	13.6	
	令和6年度	70	100.0	46	65.7	18	25.7	6	8.6	
	令和5年度	84	100.0	58	69.0	18	21.4	8	9.5	
週1回程度	令和7年度	48	100.0	31	64.6	15	31.3	2	4.2	
	令和6年度	47	100.0	33	70.2	8	17.0	6	12.8	
	令和5年度	43	100.0	31	72.1	9	20.9	3	7.0	
月に1～2回程度	令和7年度	55	100.0	35	63.6	13	23.6	7	12.7	
	令和6年度	59	100.0	37	62.7	17	28.8	5	8.5	
	令和5年度	54	100.0	37	68.5	11	20.4	6	11.1	
年に数回	令和7年度	91	100.0	56	61.5	21	23.1	14	15.4	
	令和6年度	120	100.0	70	58.3	35	29.2	15	12.5	
	令和5年度	88	100.0	45	51.1	29	33.0	14	15.9	

※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人と本設問で「自転車に乗らない（自転車を利用する家族もいない）」と回答した人を除いて集計

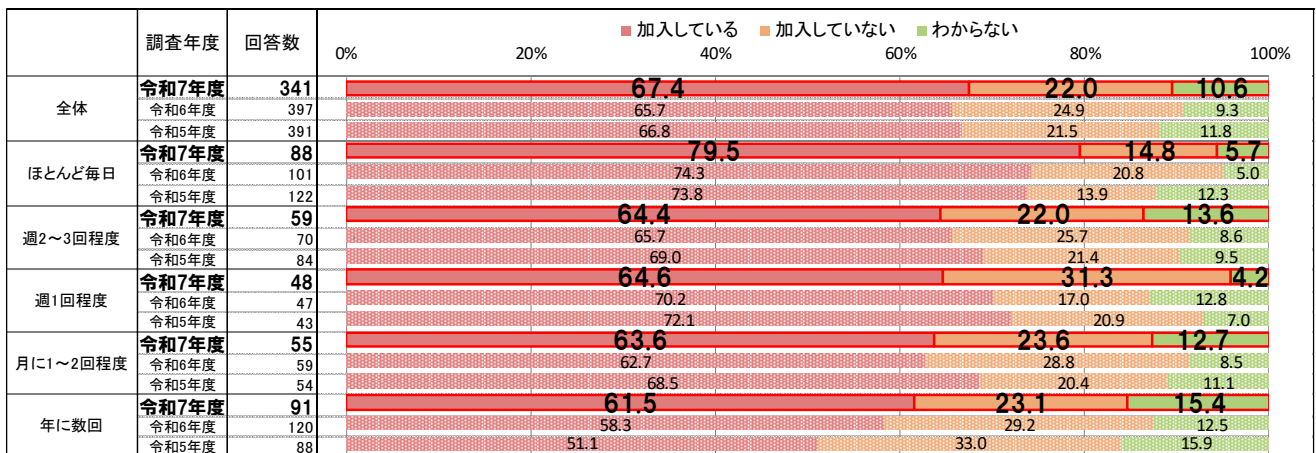


図 4.2.25 自転車利用頻度と自転車保険等の加入状況

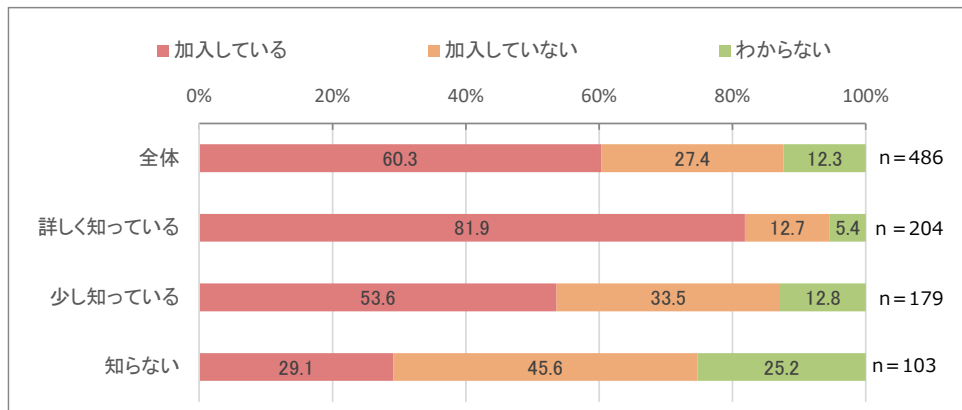
(4) 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」において「自転車損害賠償保険等に必ず加入しなければならない」という条例がある。この条例の認知度と保険加入状況の関係でみると、「保険に加入している」と回答したうち、「詳しく知っている」が81.9%、「少し知っている」が53.6%、「知らない」は29.1%となっている。

認知度が高いほど加入率も高くなる傾向があり、過年度と同様の傾向がみられた。

表 4.2.24 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況（令和7年度）

条例の認知度	加入状況		加入している		加入していない		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	486	100.0	293	60.3	133	27.4	60	12.3
詳しく知っている	204	100.0	167	81.9	26	12.7	11	5.4
少し知っている	179	100.0	96	53.6	60	33.5	23	12.8
知らない	103	100.0	30	29.1	47	45.6	26	25.2

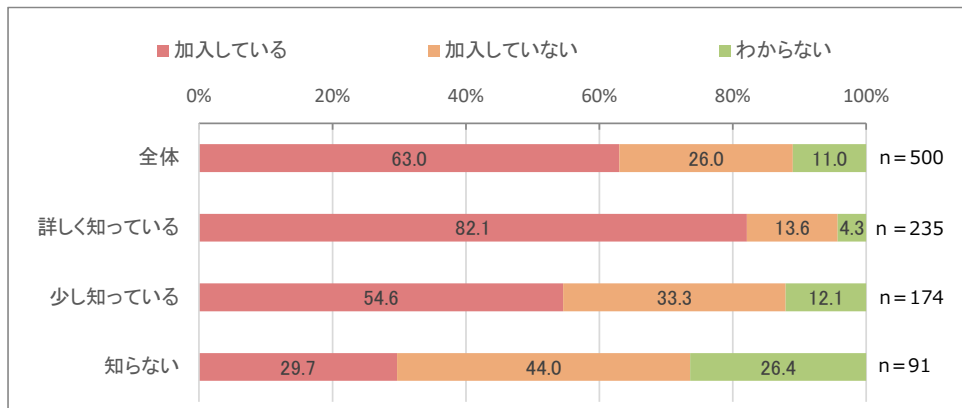


※「自転車に乗らない（自転車を利用する家族もない）」と回答した人を除いて集計

図 4.2.26 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況（令和7年度）

表 4.2.25 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況（令和6年度）

条例の認知度	加入状況		加入している		加入していない		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	500	100.0	315	63.0	130	26.0	55	11.0
詳しく知っている	235	100.0	193	82.1	32	13.6	10	4.3
少し知っている	174	100.0	95	54.6	58	33.3	21	12.1
知らない	91	100.0	27	29.7	40	44.0	24	26.4

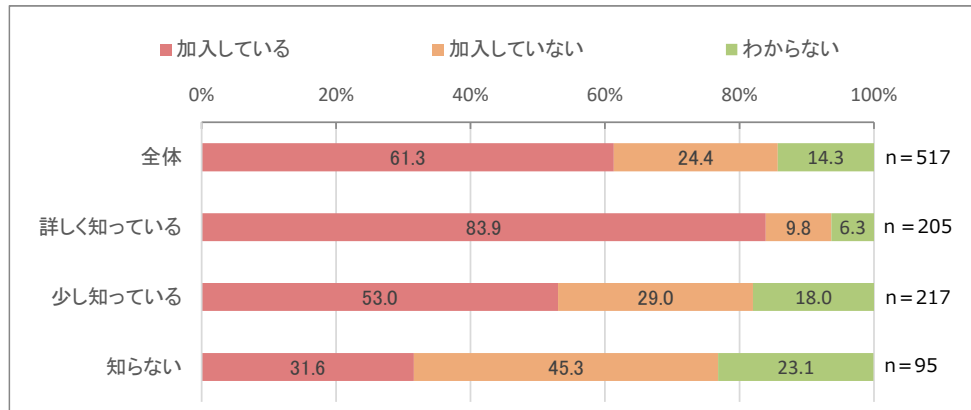


※「自転車に乗らない（自転車を利用する家族もない）」と回答した人を除いて集計

図 4.2.27 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況（令和6年度）

表 4.2.26 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況（令和5年度）

条例の認知度(保険)	加入状況		全体		加入している		加入していない		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	517	100.0	317	61.3	126	24.4	74	14.3		
詳しく知っている	205	100.0	172	83.9	20	9.8	13	6.3		
少し知っている	217	100.0	115	53.0	63	29.0	39	18.0		
知らない	95	100.0	30	31.6	43	45.3	22	23.1		



※「自転車に乗らない（自転車を利用する家族もない）」と回答した人を除いて集計

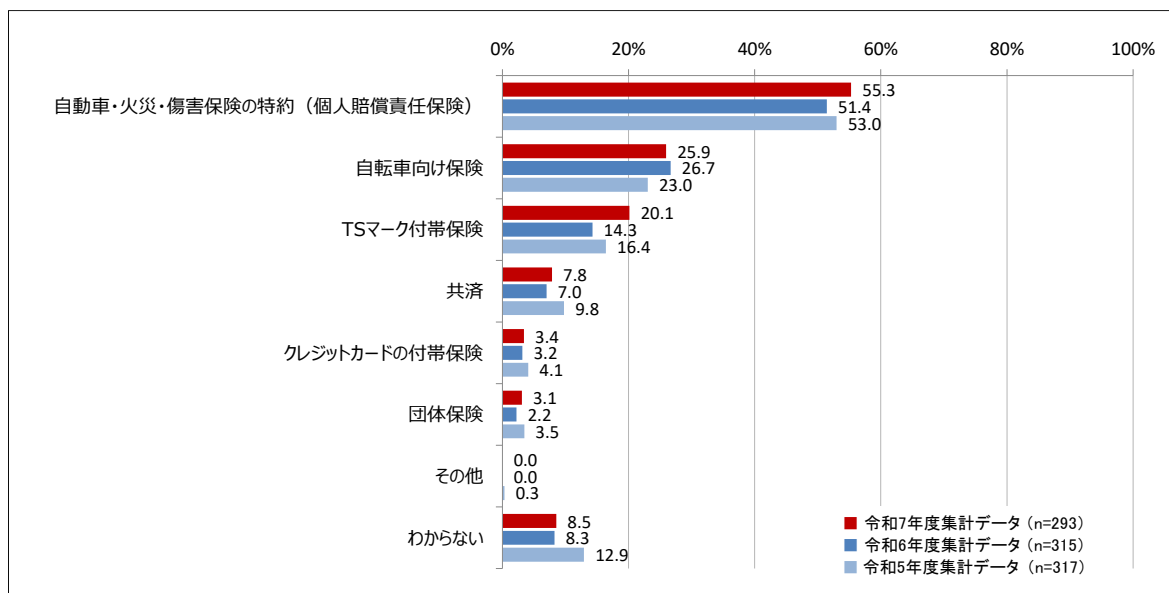
図 4.2.28 「保険加入に関する条例」の認知度と自転車保険等の加入状況（令和5年度）

#### 4.2.16 自転車損害賠償保険等の加入種類（複数回答）

加入している自転車損害賠償保険等は「自動車・火災・傷害保険の特約（個人賠償責任保険）」が55.3%で最も多く、次いで「自転車向け保険」が25.9%、「TSマーク付帯保険」が20.1%であった。

表 4.2.27 自転車保険加入者の保険の種類

加入している保険の種類	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	293	100.0	315	100.0	317	100.0
自動車・火災・傷害保険の特約(個人賠償責任保険)	162	55.3	162	51.4	168	53.0
自転車向け保険	76	25.9	84	26.7	73	23.0
TSマーク付帯保険	59	20.1	45	14.3	52	16.4
共済	23	7.8	22	7.0	31	9.8
クレジットカードの付帯保険	10	3.4	10	3.2	13	4.1
団体保険	9	3.1	7	2.2	11	3.5
その他	0	0.0	0	0.0	1	0.3
わからない	25	8.5	26	8.3	41	12.9



※保険に「加入している」と回答した人を対象として集計

図 4.2.29 自転車保険加入者の保険の種類

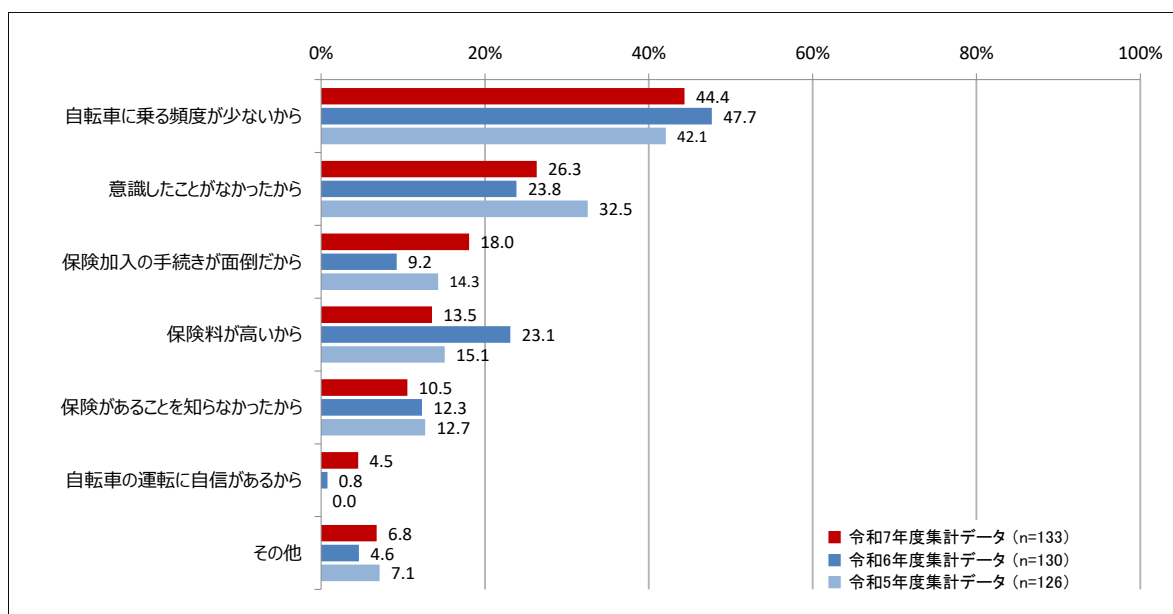
#### 4.2.17 自転車損害賠償保険等の未加入の理由（複数回答）

自転車損害賠償保険等未加入の理由は、「自転車に乗る頻度が少ないから」が44.4%と最も多く、次いで「意識したことがなかったから」が26.3%、「保険加入の手続きが面倒だから」が18.0%であった。

過年度と比較すると、「保険料が高いから」は令和6年度から9.6ポイント減少している。一方で、「保険加入の手続きが面倒だから」は8.8ポイント増加している。

表 4.2.28 自転車保険等未加入の理由

未加入の理由	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	133	100.0	130	100.0	126	100.0
自転車に乗る頻度が少ないから	59	44.4	62	47.7	53	42.1
意識したことがなかったから	35	26.3	31	23.8	41	32.5
保険加入の手続きが面倒だから	24	18.0	16	12.3	18	14.3
保険料が高いから	18	13.5	30	23.1	19	15.1
保険があることを知らなかったから	14	10.5	12	9.2	16	12.7
自転車の運転に自信があるから	6	4.5	1	0.8	0	0.0
その他	9	6.8	6	4.6	9	7.1



※保険に「加入していない」と回答した人を対象として集計

図 4.2.30 自転車保険等未加入の理由

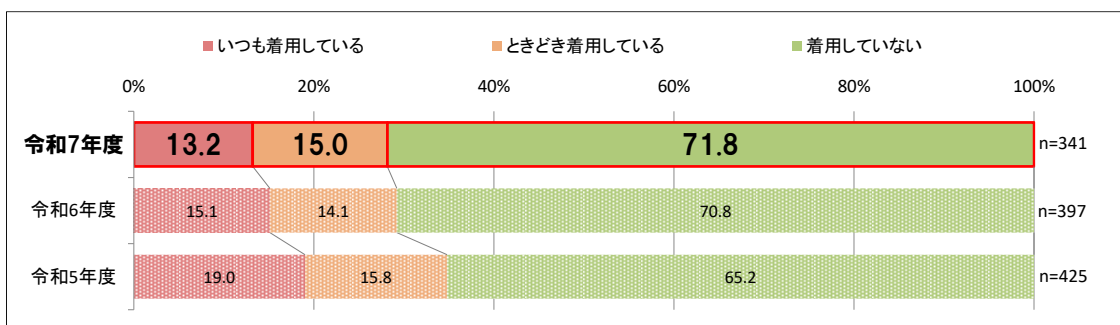
#### 4.2.18 ヘルメットの着用有無

##### (1) ヘルメットの着用率

ヘルメットの着用率は28.2%であり、令和6年度から1.0ポイント減少している。

表 4.2.29 ヘルメットの着用率

ヘルメットの着用	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	397	100.0	425	100.0
着用している	96	28.2	116	29.2	148	34.8
いつも着用している	45	13.2	60	15.1	81	19.0
ときどき着用している	51	15.0	56	14.1	67	15.8
着用していない	245	71.8	281	70.8	277	65.2



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

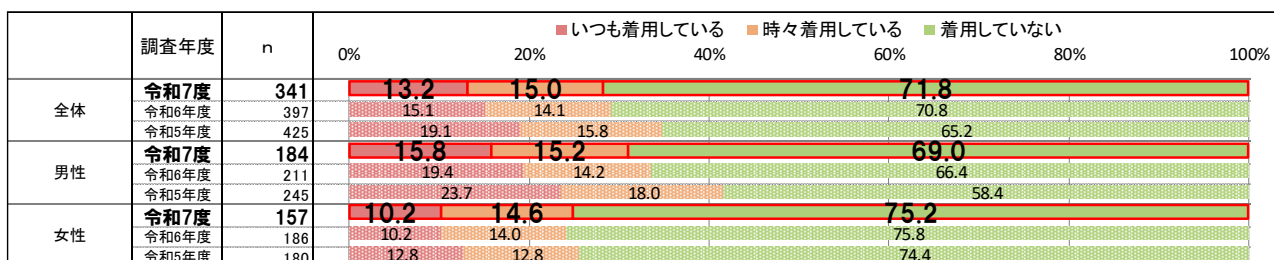
図 4.2.31 ヘルメットの着用率

##### (2) 性年代別・ヘルメットの着用率

男女別にみると、男性の着用率は31.0%と女性の24.8%に比べ高くなっている。

表 4.2.30 性別・ヘルメットの着用率

性別	ヘルメット着用率	調査年度	全体		着用している				着用していない		
			回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%	
					回答数	%	回答数	%			
全体	令和7年度	341	100.0	96	28.2	45	13.2	51	15.0	245	71.8
	令和6年度	397	100.0	116	29.2	60	15.1	56	14.1	281	70.8
	令和5年度	425	100.0	148	34.8	81	19.1	67	15.8	277	65.2
男性	令和7年度	184	100.0	57	31.0	29	15.8	28	15.2	127	69.0
	令和6年度	211	100.0	71	33.6	41	19.4	30	14.2	140	66.4
	令和5年度	245	100.0	102	41.6	58	23.7	44	18.0	143	58.4
女性	令和7年度	157	100.0	39	24.8	16	10.2	23	14.6	118	75.2
	令和6年度	186	100.0	45	24.2	19	10.2	26	14.0	141	75.8
	令和5年度	180	100.0	46	25.6	23	12.8	23	12.8	134	74.4



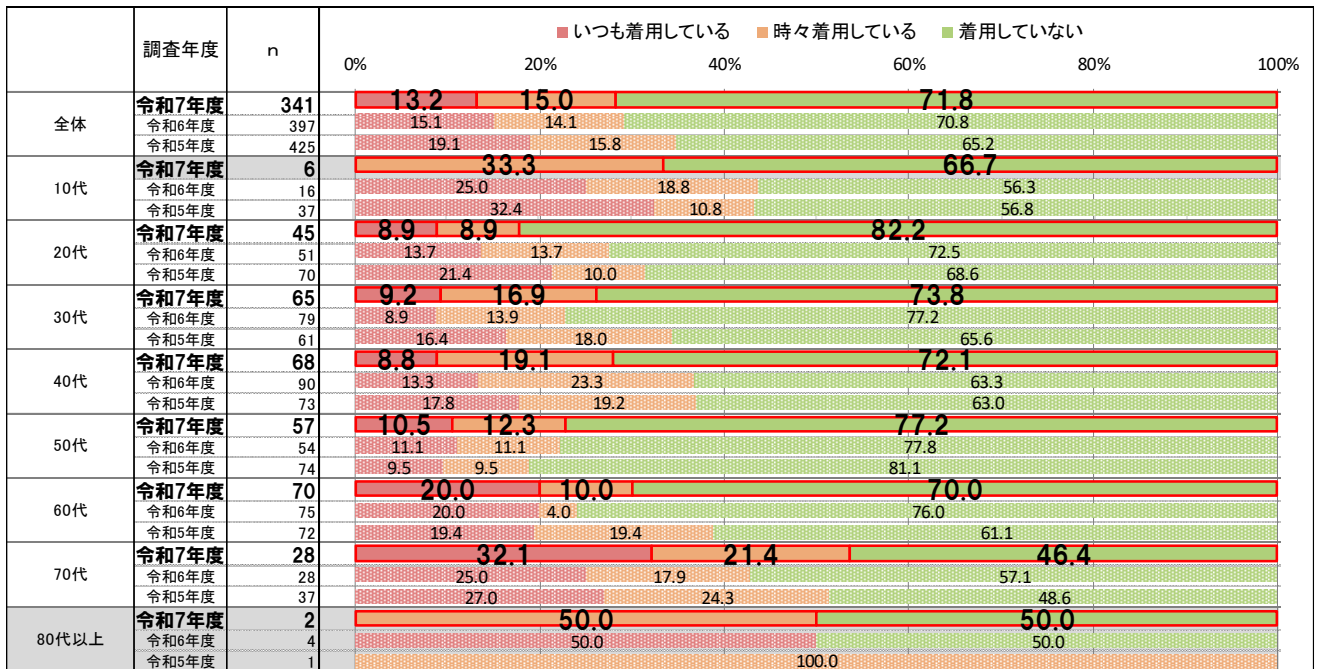
※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.32 性別・ヘルメットの着用率

年代別でみると、着用率は「70代」が53.6%で最も高く、次いで「60代」が30.0%であった。  
令和6年度と比較すると、「20代」と「40代」を除く年代では、ヘルメットの着用率は高くなっている。

表 4.2.31 年代別・ヘルメットの着用率

年代	ヘルメット着用率 調査年度	全体		着用している						着用していない	
		回答数	%	回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%
						回答数	%	回答数	%		
全体	令和7年度	341	100.0	96	28.2	45	13.2	51	15.0	245	71.8
	令和6年度	397	100.0	116	29.2	60	15.1	56	14.1	281	70.8
	令和5年度	425	100.0	148	34.8	81	19.1	67	15.8	277	65.2
10代	令和7年度	6	100.0	2	33.3	0	0.0	2	33.3	4	66.7
	令和6年度	16	100.0	7	43.8	4	25.0	3	18.8	9	56.3
	令和5年度	37	100.0	16	43.2	12	32.4	4	10.8	21	56.8
20代	令和7年度	45	100.0	8	17.8	4	8.9	4	8.9	37	82.2
	令和6年度	51	100.0	14	27.5	7	13.7	7	13.7	37	72.5
	令和5年度	70	100.0	22	31.4	15	21.4	7	10.0	48	68.6
30代	令和7年度	65	100.0	17	26.2	6	9.2	11	16.9	48	73.8
	令和6年度	79	100.0	18	22.8	7	8.9	11	13.9	61	77.2
	令和5年度	61	100.0	21	34.4	10	16.4	11	18.0	40	65.6
40代	令和7年度	68	100.0	19	27.9	6	8.8	13	19.1	49	72.1
	令和6年度	90	100.0	33	36.7	12	13.3	21	23.3	57	63.3
	令和5年度	73	100.0	27	37.0	13	17.8	14	19.2	46	63.0
50代	令和7年度	57	100.0	13	22.8	6	10.5	7	12.3	44	77.2
	令和6年度	54	100.0	12	22.2	6	11.1	6	11.1	42	77.8
	令和5年度	74	100.0	14	18.9	7	9.5	7	9.5	60	81.1
60代	令和7年度	70	100.0	21	30.0	14	20.0	7	10.0	49	70.0
	令和6年度	75	100.0	18	24.0	15	20.0	3	4.0	57	76.0
	令和5年度	72	100.0	28	38.9	14	19.4	14	19.4	44	61.1
70代	令和7年度	28	100.0	15	53.6	9	32.1	6	21.4	13	46.4
	令和6年度	28	100.0	12	42.9	7	25.0	5	17.9	16	57.1
	令和5年度	37	100.0	19	51.4	10	27.0	9	24.3	18	48.6
80代以上	令和7年度	2	100.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0
	令和6年度	4	100.0	2	50.0	2	50.0	0	0.0	2	50.0
	令和5年度	1	100.0	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.33 年代別・ヘルメットの着用率

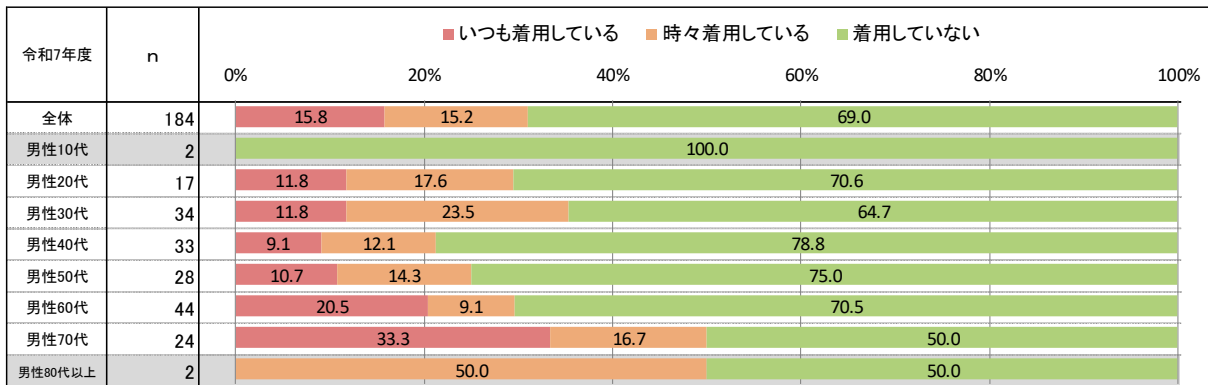
性年代別でみると、男性は「70代」の着用率が50.0%で最も高く、次いで「30代」が35.3%、女性は「40代」の着用率が34.3%で最も高く、次いで「60代」が30.8%となっている。

令和6年度と比較すると、男女ともに着用率は減少傾向となっている。

※回答数が「10」以下の場合は評価していない。

表 4.2.32 男性年代別・ヘルメットの着用率（令和7年度）

令和7年度	全体		着用している						着用していない	
	回答数	%	回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%
全体	184	100.0	57	31.0	29	15.8	28	15.2	127	69.0
男性10代	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0
男性20代	17	100.0	5	29.4	2	11.8	3	17.6	12	70.6
男性30代	34	100.0	12	35.3	4	11.8	8	23.5	22	64.7
男性40代	33	100.0	7	21.2	3	9.1	4	12.1	26	78.8
男性50代	28	100.0	7	25.0	3	10.7	4	14.3	21	75.0
男性60代	44	100.0	13	29.5	9	20.5	4	9.1	31	70.5
男性70代	24	100.0	12	50.0	8	33.3	4	16.7	12	50.0
男性80代以上	2	100.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	1	50.0

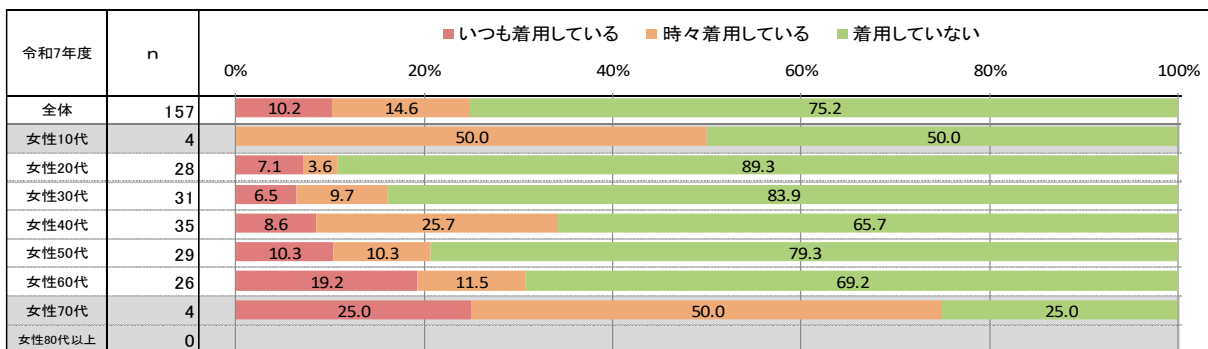


※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除き、男性を対象として集計

図 4.2.34 男性年代別・ヘルメットの着用率（令和7年度）

表 4.2.33 女性年代別・ヘルメットの着用率（令和7年度）

令和7年度	全体		着用している						着用していない	
	回答数	%	回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%
全体	157	100.0	39	24.8	16	10.2	23	14.6	118	75.2
女性10代	4	100.0	2	50.0	0	0.0	2	50.0	2	50.0
女性20代	28	100.0	3	10.7	2	7.1	1	3.6	25	89.3
女性30代	31	100.0	5	16.1	2	6.5	3	9.7	26	83.9
女性40代	35	100.0	12	34.3	3	8.6	9	25.7	23	65.7
女性50代	29	100.0	6	20.7	3	10.3	3	10.3	23	79.3
女性60代	26	100.0	8	30.8	5	19.2	3	11.5	18	69.2
女性70代	4	100.0	3	75.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0
女性80代以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除き、女性を対象として集計

図 4.2.35 女性年代別・ヘルメットの着用率（令和7年度）

表 4.2.34 男性年代別・ヘルメットの着用率（令和6年度）

令和6年度	全体		着用している						着用していない	
	回答数	%	回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%
全体	211	100.0	71	33.6	41	19.4	30	14.2	140	66.4
男性10代	7	100.0	5	71.4	4	57.1	1	14.3	2	28.6
男性20代	23	100.0	9	39.1	5	21.7	4	17.4	14	60.9
男性30代	35	100.0	11	31.4	5	14.3	6	17.1	24	68.6
男性40代	45	100.0	14	31.1	5	11.1	9	20.0	31	68.9
男性50代	30	100.0	7	23.3	4	13.3	3	10.0	23	76.7
男性60代	43	100.0	13	30.2	10	23.3	3	7.0	30	69.8
男性70代	24	100.0	10	41.7	6	25.0	4	16.7	14	58.3
男性80代以上	4	100.0	2	50.0	2	50.0	0	0.0	2	50.0

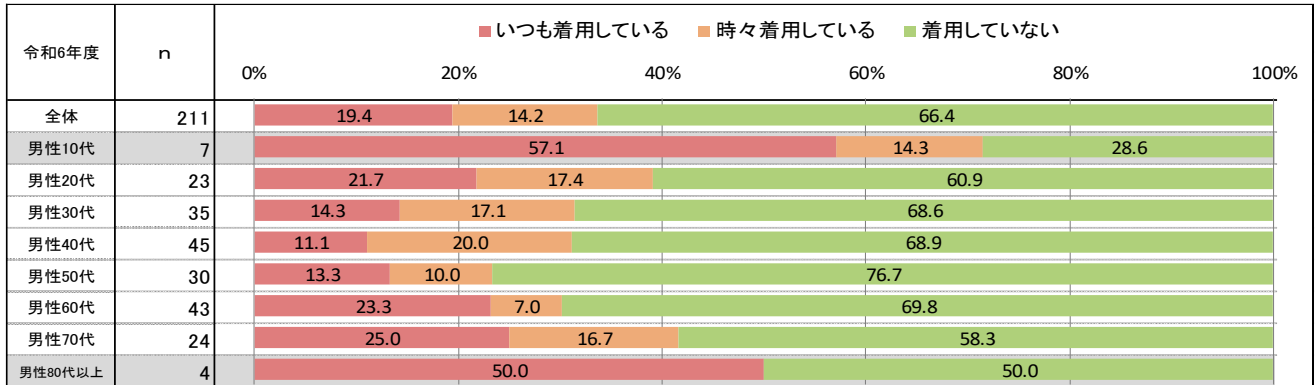
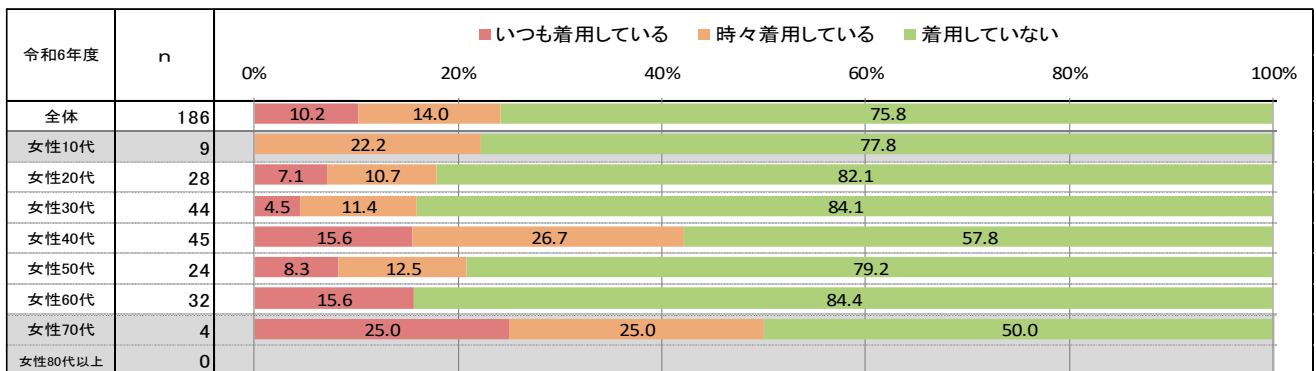


図 4.2.36 男性年代別・ヘルメットの着用率（令和6年度）

表 4.2.35 女性年代別・ヘルメットの着用率（令和6年度）

令和6年度	全体		着用している						着用していない	
	回答数	%	回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%
全体	186	100.0	45	24.2	19	10.2	26	14.0	141	75.8
女性10代	9	100.0	2	22.2	0	0.0	2	22.2	7	77.8
女性20代	28	100.0	5	17.9	2	7.1	3	10.7	23	82.1
女性30代	44	100.0	7	15.9	2	4.5	5	11.4	37	84.1
女性40代	45	100.0	19	42.2	7	15.6	12	26.7	26	57.8
女性50代	24	100.0	5	20.8	2	8.3	3	12.5	19	79.2
女性60代	32	100.0	5	15.6	5	15.6	0	0.0	27	84.4
女性70代	4	100.0	2	50.0	1	25.0	1	25.0	2	50.0
女性80代以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

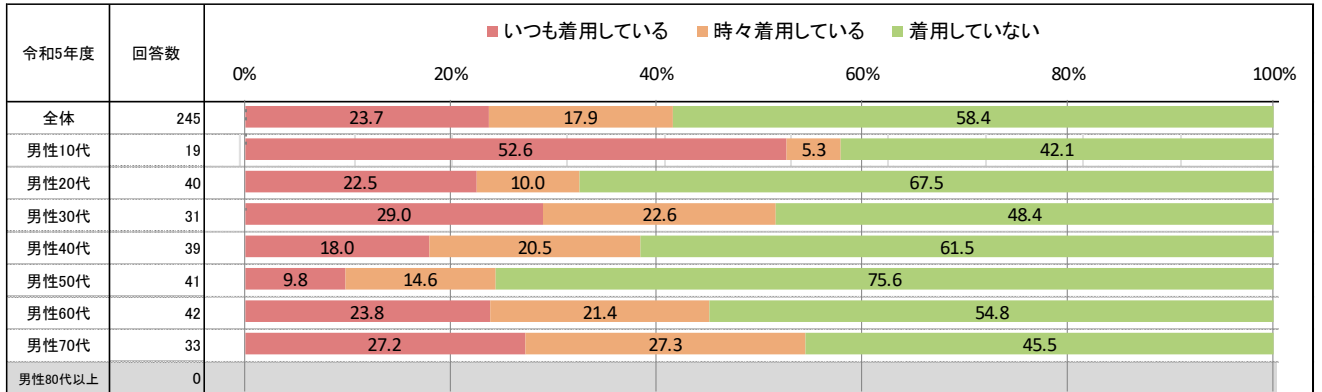


※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除き、女性を対象として集計

図 4.2.37 女性年代別・ヘルメットの着用率（令和6年度）

表 4.2.36 男性年代別・ヘルメットの着用率（令和5年度）

令和5年度	全体		着用している						着用していない	
			いつも着用している		時々着用している					
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	245	100.0	102	41.6	58	23.7	44	17.9	143	58.4
男性10代	19	100.0	11	57.9	10	52.6	1	5.3	8	42.1
男性20代	40	100.0	13	32.5	9	22.5	4	10.0	27	67.5
男性30代	31	100.0	16	51.6	9	29.0	7	22.6	15	48.4
男性40代	39	100.0	15	38.5	7	18.0	8	20.5	24	61.5
男性50代	41	100.0	10	24.4	4	9.8	6	14.6	31	75.6
男性60代	42	100.0	19	45.2	10	23.8	9	21.4	23	54.8
男性70代	33	100.0	18	54.5	9	27.2	9	27.3	15	45.5
男性80代以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

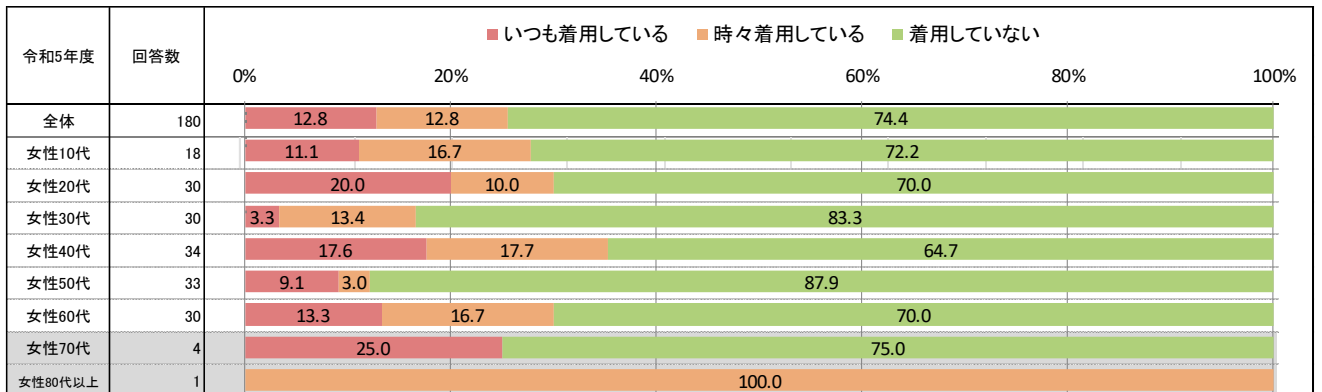


※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除き、男性を対象として集計

図 4.2.38 男性年代別・ヘルメットの着用率（令和5年度）

表 4.2.37 女性年代別・ヘルメットの着用率（令和5年度）

令和5年度	全体		着用している						着用していない	
			いつも着用している		時々着用している					
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	180	100.0	46	25.6	23	12.8	23	12.8	134	74.4
女性10代	18	100.0	5	27.8	2	11.1	3	16.7	13	72.2
女性20代	30	100.0	9	30.0	6	20.0	3	10.0	21	70.0
女性30代	30	100.0	5	16.7	1	3.3	4	13.4	25	83.3
女性40代	34	100.0	12	35.3	6	17.6	6	17.7	22	64.7
女性50代	33	100.0	4	12.1	3	9.1	1	3.0	29	87.9
女性60代	30	100.0	9	30.0	4	13.3	5	16.7	21	70.0
女性70代	4	100.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	3	75.0
女性80代以上	1	100.0	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除き、女性を対象として集計

図 4.2.39 女性年代別・ヘルメットの着用率（令和5年度）

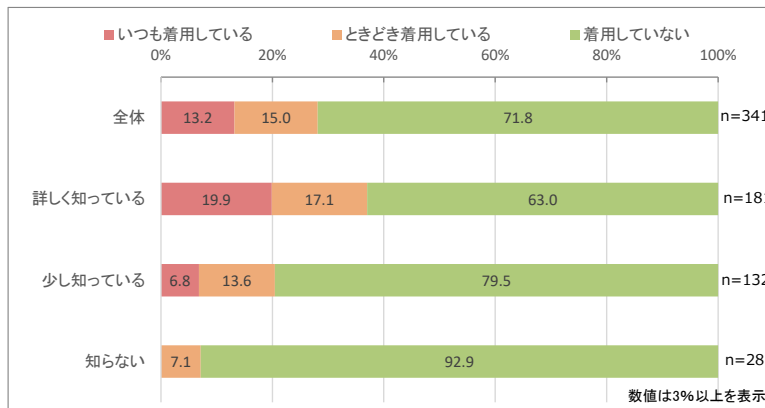
(3) 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」において、「自転車乗車時ヘルメット着用に努める必要がある」ことの認知度とヘルメットの着用率の関係でみると、「詳しく知っている」が37.0%、「少し知っている」が20.5%、「知らない」は7.1%であり、認知度が高いほど着用率が高くなる傾向がみられた。

令和6年度と比較すると、認知度の高い低いに関わらず、ヘルメットの着用率は若干低くなっているが、同水準で推移している。

表 4.2.38 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率（令和7年度）

条例認知度(ヘルメット)	ヘルメットの着用		着用している						着用していない	
	全体		いつも着用している		時々着用している		着用していない			
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	96	28.2	45	13.2	51	15.0	245	71.8
詳しく知っている	181	100.0	67	37.0	36	19.9	31	17.1	114	63.0
少し知っている	132	100.0	27	20.5	9	6.8	18	13.6	105	79.5
知らない	28	100.0	2	7.1	0	0.0	2	7.1	26	92.9

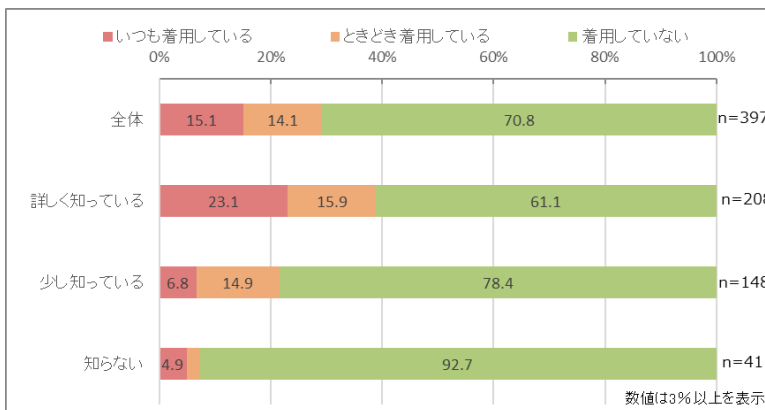


※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.40 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率（令和7年度）

表 4.2.39 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率（令和6年度）

条例認知度(ヘルメット)	ヘルメットの着用		着用している						着用していない	
	全体		いつも着用している		時々着用している		着用していない			
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	397	100.0	116	29.2	60	15.1	56	14.1	281	70.8
詳しく知っている	208	100.0	81	38.9	48	23.1	33	15.9	127	61.1
少し知っている	148	100.0	32	21.6	10	6.8	22	14.9	116	78.4
知らない	41	100.0	3	7.3	2	4.9	1	2.4	38	92.7

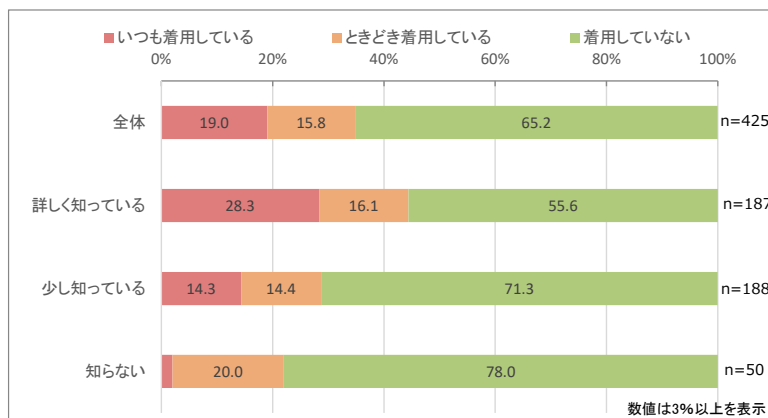


※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.41 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率（令和6年度）

表 4.2.40 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率（令和5年度）

ヘルメットの着用 条例認知度(ヘルメット)	全体		着用している						着用していない	
	回答数	%	いつも着用している		時々着用している		回答数	%		
			回答数	%	回答数	%				
全体	425	100.0	148	34.8	81	19.0	67	15.8	277	65.2
詳しく知っている	187	100.0	83	44.4	53	28.3	30	16.1	104	55.6
少し知っている	188	100.0	54	28.7	27	14.3	27	14.4	134	71.3
知らない	50	100.0	11	22.0	1	2.0	10	20.0	39	78.0



※4.2.5 自転車利用頻度で自転車を「全く利用しない」と回答した人を除いて集計

図 4.2.42 「ヘルメット着用に関する条例」の認知度とヘルメットの着用率（令和5年度）

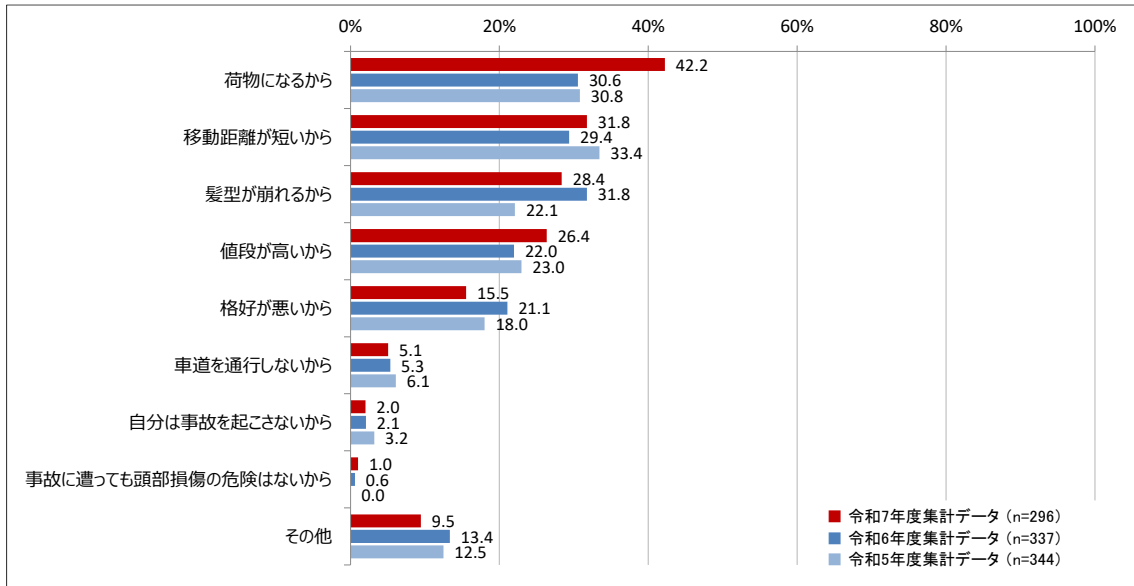
#### 4.2.19 ヘルメットの未着用の理由（複数回答）

ヘルメット未着用の理由は、「荷物になるから」が42.2%で最も多く、次いで「移動距離が短いから」が31.8%、「髪型が崩れるから」が28.4%である。

「荷物になるから」は令和6年度から11.6ポイント増加しているが、「格好が悪いから」は5.6ポイント減少している。

表 4.2.41 ヘルメットの未着用の理由

未着用の理由	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	296	100.0	337	100.0	344	100.0
荷物になるから	125	42.2	103	30.6	106	30.8
移動距離が短いから	94	31.8	99	29.4	115	33.4
髪型が崩れるから	84	28.4	107	31.8	76	22.1
値段が高いから	78	26.4	74	22.0	79	23.0
格好が悪いから	46	15.5	71	21.1	62	18.0
車道を通行しないから	15	5.1	18	5.3	21	6.1
自分は事故を起こさないから	6	2.0	7	2.1	11	3.2
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	3	1.0	2	0.6	0	0.0
その他	28	9.5	45	13.4	43	12.5

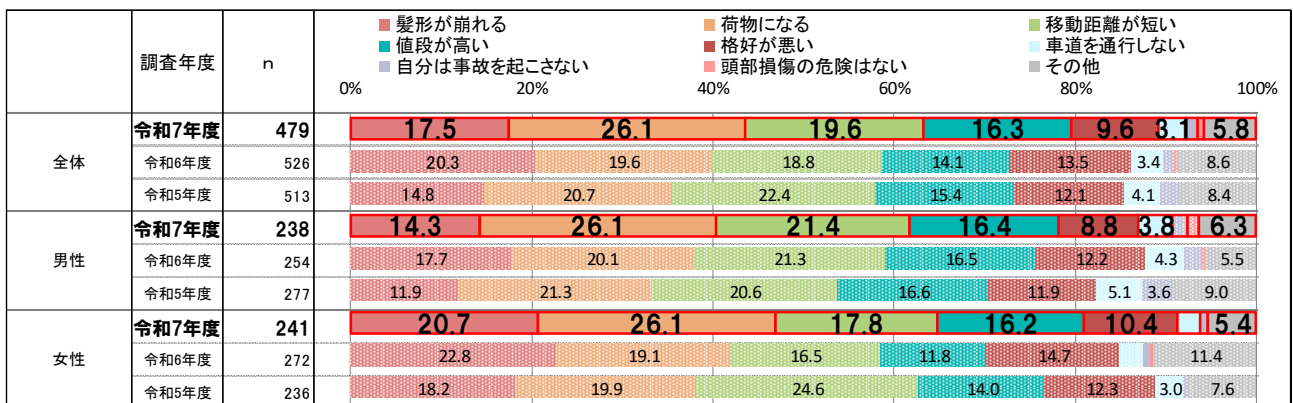


※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除いて集計  
 図 4.2.43 ヘルメットの未着用の理由

男女別にみると、男女ともに「荷物になるから」が26.1%で最も多く、次いで、男性では「移動距離が短いから」が21.4%、女性は「髪型が崩れるから」が20.7%と多くなっている。女性は男性に比べて、「髪型が崩れるから」の回答割合が高い。

表 4.2.42 性別・ヘルメットの未着用の理由

性別	調査年度	全体		髪型が崩れるから		荷物になるから		移動距離が短いから		値段が高いから		格好が悪いから		車道を通行しないから		自分は事故を起こさないから		事故に遭っても頭部損傷の危険はないから		その他	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	令和7年度	479	100.0	84	17.5	125	26.1	94	19.6	78	16.3	46	9.6	15	3.1	6	1.3	3	0.6	28	5.8
	令和6年度	526	100.0	107	20.3	103	19.6	99	18.8	74	14.1	71	13.5	18	3.4	7	1.3	2	0.4	45	8.6
	令和5年度	513	100.0	76	14.8	106	20.7	115	22.4	89	15.4	62	12.1	21	4.1	11	2.1	0	0.0	43	8.4
男性	令和7年度	238	100.0	34	14.3	62	26.1	51	21.4	39	16.4	21	8.8	9	3.8	4	1.7	3	1.3	15	6.3
	令和6年度	254	100.0	45	17.7	51	20.1	54	21.3	42	16.5	31	12.2	11	4.3	5	2.0	1	0.4	14	5.5
	令和5年度	277	100.0	33	11.9	59	21.3	57	20.6	46	16.6	33	11.9	14	5.1	10	3.6	0	0.0	25	9.0
女性	令和7年度	241	100.0	50	20.7	63	26.1	43	17.8	39	16.2	25	10.4	6	2.5	2	0.8	0	0.0	13	5.4
	令和6年度	272	100.0	62	22.8	52	19.1	45	16.5	32	11.8	40	14.7	7	2.6	2	0.7	1	0.4	31	11.4
	令和5年度	236	100.0	43	18.2	47	19.9	58	24.6	33	14.0	29	12.3	7	3.0	1	0.4	0	0.0	18	7.6



※数値は総サンプル数に対する割合、3%以上を表示

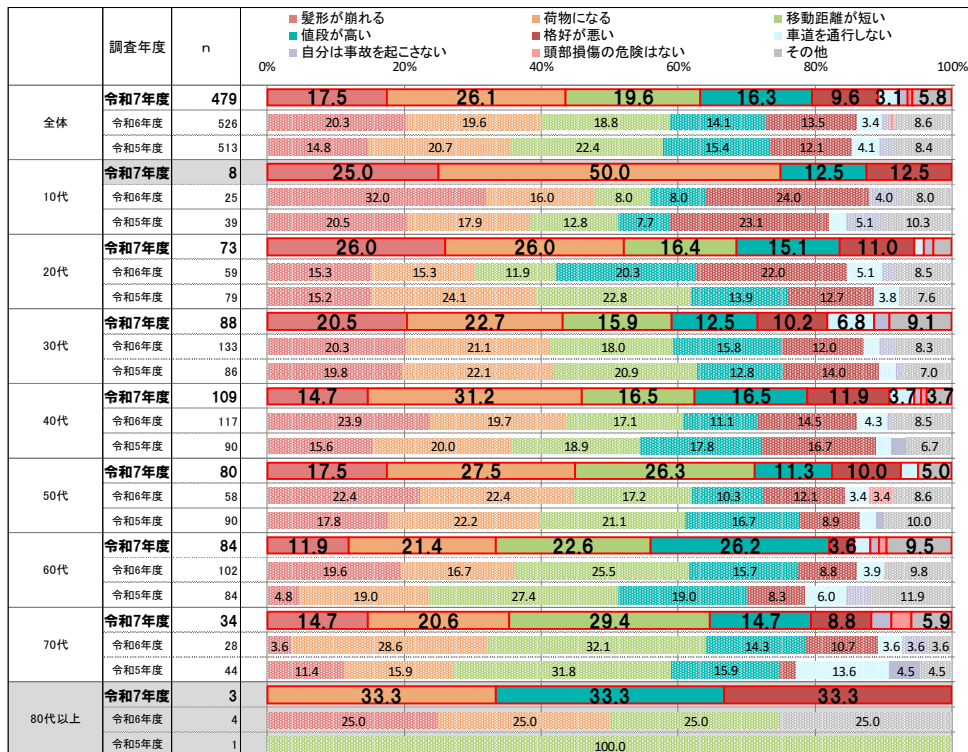
※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除いて集計  
 図 4.2.44 性別・ヘルメットの未着用の理由

年代別でみると、「40代」は「荷物になるから」が31.2%、「70代」は「移動距離が短いから」が29.4%と他の年代に比べて高くなっている。

表 4.2.43 年代別・ヘルメットの未着用の理由

年代	調査年度	全体		髪形が崩れるから		荷物になるから		移動距離が短いから		値段が高いから		格好が悪いから		車道を通りしないから		自分は事故を起こさないから		事故に遭っても頭部損傷の危険はないから		その他	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		令和7年度	479	100.0	84	17.5	125	26.1	94	19.6	78	16.3	46	9.6	15	3.1	6	1.3	3	0.6	28
令和6年度	526	100.0	107	20.3	103	19.6	99	18.8	74	14.1	71	13.5	18	3.4	7	1.3	2	0.4	45	8.6	
令和5年度	513	100.0	76	14.8	106	20.7	115	22.4	79	15.4	62	12.1	21	4.1	11	2.1	0	0.0	43	8.4	
10代	令和7年度	8	100.0	2	25.0	4	50.0	0	0.0	1	12.5	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	令和6年度	25	100.0	8	32.0	4	16.0	2	8.0	2	8.0	6	24.0	0	0.0	1	4.0	0	0.0	2	8.0
	令和5年度	39	100.0	8	20.5	7	17.9	5	12.8	3	7.7	9	23.1	1	2.6	2	5.1	0	0.0	4	10.3
20代	令和7年度	73	100.0	19	26.0	19	26.0	12	16.4	11	15.1	8	11.0	1	1.4	1	1.4	0	0.0	2	2.7
	令和6年度	59	100.0	9	15.3	9	15.3	7	11.9	12	20.3	13	22.0	3	5.1	1	1.7	0	0.0	5	8.5
	令和5年度	79	100.0	12	15.2	19	24.1	18	22.8	11	13.9	10	12.7	3	3.8	4	5.1	0	0.0	6	7.6
30代	令和7年度	88	100.0	18	20.5	20	22.7	14	15.9	11	12.5	9	10.2	6	6.8	2	2.3	0	0.0	8	9.1
	令和6年度	133	100.0	27	20.3	28	21.1	24	18.0	21	15.8	16	12.0	3	2.3	3	2.3	0	0.0	11	8.3
	令和5年度	86	100.0	17	19.8	19	22.1	18	20.9	11	12.8	12	14.0	2	2.3	1	1.2	0	0.0	6	7.0
40代	令和7年度	109	100.0	16	14.7	34	31.2	18	16.5	18	16.5	13	11.9	4	3.7	1	0.9	1	0.9	4	3.7
	令和6年度	117	100.0	28	23.9	23	19.7	20	17.1	13	11.1	17	14.5	5	4.3	1	0.9	0	0.0	10	8.5
	令和5年度	90	100.0	14	15.6	18	20.0	17	18.9	16	17.8	15	16.7	2	2.2	2	2.2	0	0.0	6	6.7
50代	令和7年度	80	100.0	14	17.5	22	27.5	21	26.3	9	11.3	8	10.0	2	2.5	0	0.0	0	0.0	4	5.0
	令和6年度	58	100.0	13	22.4	13	22.4	10	17.2	6	10.3	7	12.1	2	3.4	0	0.0	2	3.4	5	8.6
	令和5年度	90	100.0	16	17.8	20	22.2	19	21.1	15	16.7	8	8.9	2	2.2	1	1.1	0	0.0	9	10.0
60代	令和7年度	84	100.0	10	11.9	18	21.4	19	22.6	22	26.2	3	3.6	2	2.4	1	1.2	1	1.2	8	9.5
	令和6年度	102	100.0	20	19.6	17	16.7	26	25.5	16	15.7	9	8.8	4	3.9	0	0.0	0	0.0	10	9.8
	令和5年度	84	100.0	4	4.8	16	19.0	23	27.4	16	19.0	7	8.3	5	6.0	3	3.6	0	0.0	10	11.9
70代	令和7年度	34	100.0	5	14.7	7	20.6	10	29.4	5	14.7	3	8.8	0	0.0	1	2.9	1	2.9	2	5.9
	令和6年度	28	100.0	1	3.6	8	28.6	9	32.1	4	14.3	3	10.7	1	3.6	1	3.6	0	0.0	1	3.6
	令和5年度	44	100.0	5	11.4	7	15.9	14	31.8	7	15.9	1	2.3	6	14.0	2	4.5	0	0.0	2	4.5
80代以上	令和7年度	3	100.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	令和6年度	4	100.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0
	令和5年度	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

※%は総サンプル数に対する割合



※数値は総サンプル数に対する割合、3%以上を表示

※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除いて集計

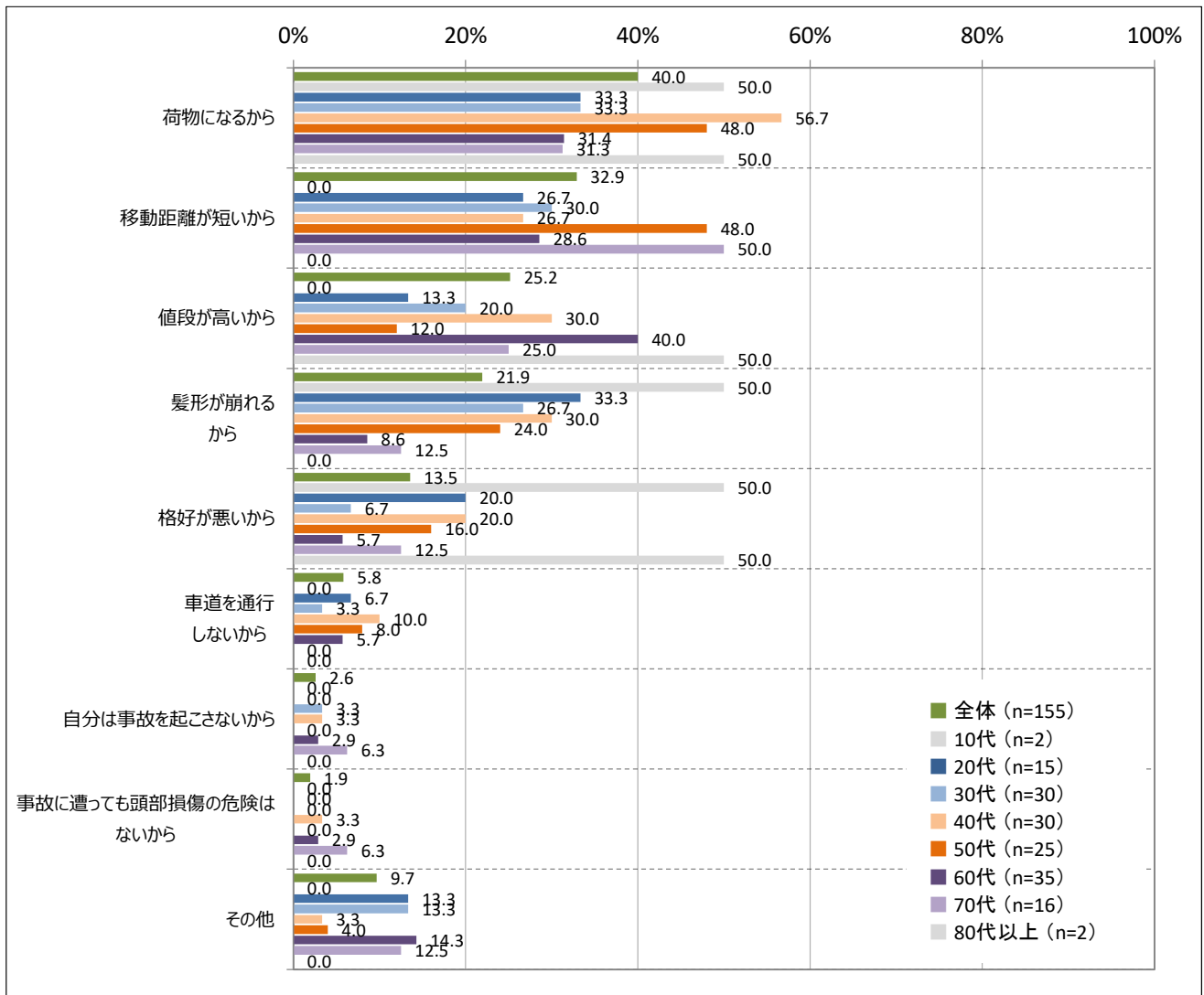
図 4.2.45 年代別・ヘルメットの未着用の理由

性年代別で未着用の理由をみると、男女ともに「40代」で「荷物になるから」が多く、男性の「70代」で「移動距離が短いから」、女性は「20代」と「30代」で「荷物になるから」と「髪型が崩れるから」がそれぞれ多くなっている。

※回答数が「10」以下の場合は評価していない。

表 4.2.44 男性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和7年度）

未着用の理由	全体		男性10代		男性20代		男性30代		男性40代		男性50代		男性60代		男性70代		男性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	155	100.0	2	100.0	15	100.0	30	100.0	30	100.0	25	100.0	35	100.0	16	100.0	2	100.0
荷物になるから	62	40.0	1	50.0	5	33.3	10	33.3	17	56.7	12	48.0	11	31.4	5	31.3	1	50.0
移動距離が短いから	51	32.9	0	0.0	4	26.7	9	30.0	8	26.7	12	48.0	10	28.6	8	50.0	0	0.0
値段が高いから	39	25.2	0	0.0	2	13.3	6	20.0	9	30.0	3	12.0	14	40.0	4	25.0	1	50.0
髪形が崩れるから	34	21.9	1	50.0	5	33.3	8	26.7	9	30.0	6	24.0	3	8.6	2	12.5	0	0.0
格好が悪いから	21	13.5	1	50.0	3	20.0	2	6.7	6	20.0	4	16.0	2	5.7	2	12.5	1	50.0
車道を通行しないから	9	5.8	0	0.0	1	6.7	1	3.3	3	10.0	2	8.0	2	5.7	0	0.0	0	0.0
自分は事故を起こさないから	4	2.6	0	0.0	0	0.0	1	3.3	1	3.3	0	0.0	1	2.9	1	6.3	0	0.0
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	3	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.3	0	0.0	1	2.9	1	6.3	0	0.0
その他	15	9.7	0	0.0	2	13.3	4	13.3	1	3.3	1	4.0	5	14.3	2	12.5	0	0.0

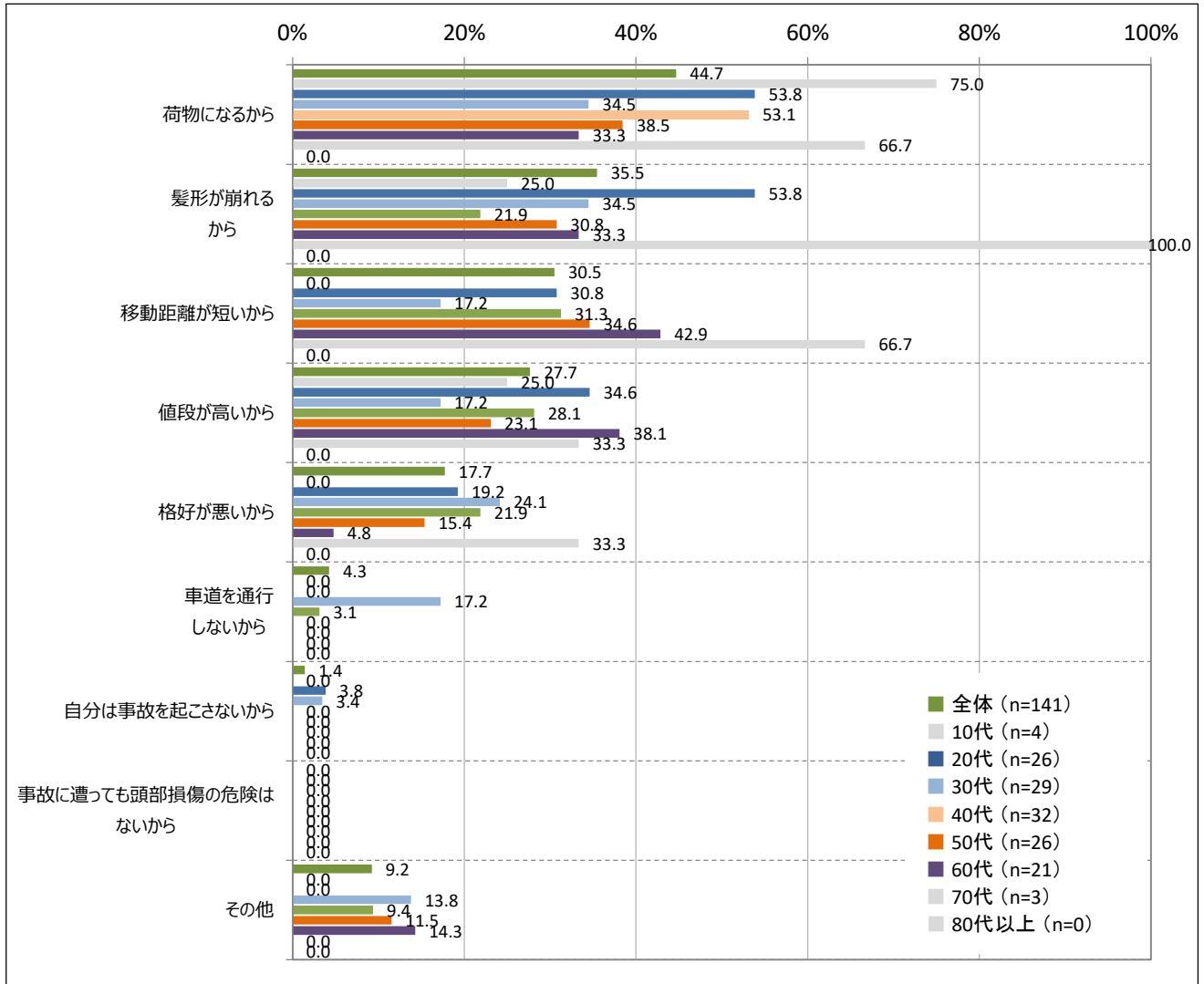


※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除き、男性を対象として集計

図 4.2.46 男性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和7年度）

表 4.2.45 女性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和7年度）

未着用の理由	全体		女性10代		女性20代		女性30代		女性40代		女性50代		女性60代		女性70代		女性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	141	100.0	4	100.0	26	100.0	29	100.0	32	100.0	26	100.0	21	100.0	3	100.0	0	0.0
荷物になるから	63	44.7	3	75.0	14	53.8	10	34.5	17	53.1	10	38.5	7	33.3	2	66.7	0	0.0
髪形が崩れるから	50	35.5	1	25.0	14	53.8	10	34.5	7	21.9	8	30.8	7	33.3	3	100.0	0	0.0
移動距離が短いから	43	30.5	0	0.0	8	30.8	5	17.2	10	31.3	9	34.6	9	42.9	2	66.7	0	0.0
値段が高いから	39	27.7	1	25.0	9	34.6	5	17.2	9	28.1	6	23.1	8	38.1	1	33.3	0	0.0
格好が悪いから	25	17.7	0	0.0	5	19.2	7	24.1	7	21.9	4	15.4	1	4.8	1	33.3	0	0.0
車道を通行しないから	6	4.3	0	0.0	0	0.0	5	17.2	1	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自分は事故を起こさないから	2	1.4	0	0.0	1	3.8	1	3.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	13	9.2	0	0.0	0	0.0	4	13.8	3	9.4	3	11.5	3	14.3	0	0.0	0	0.0

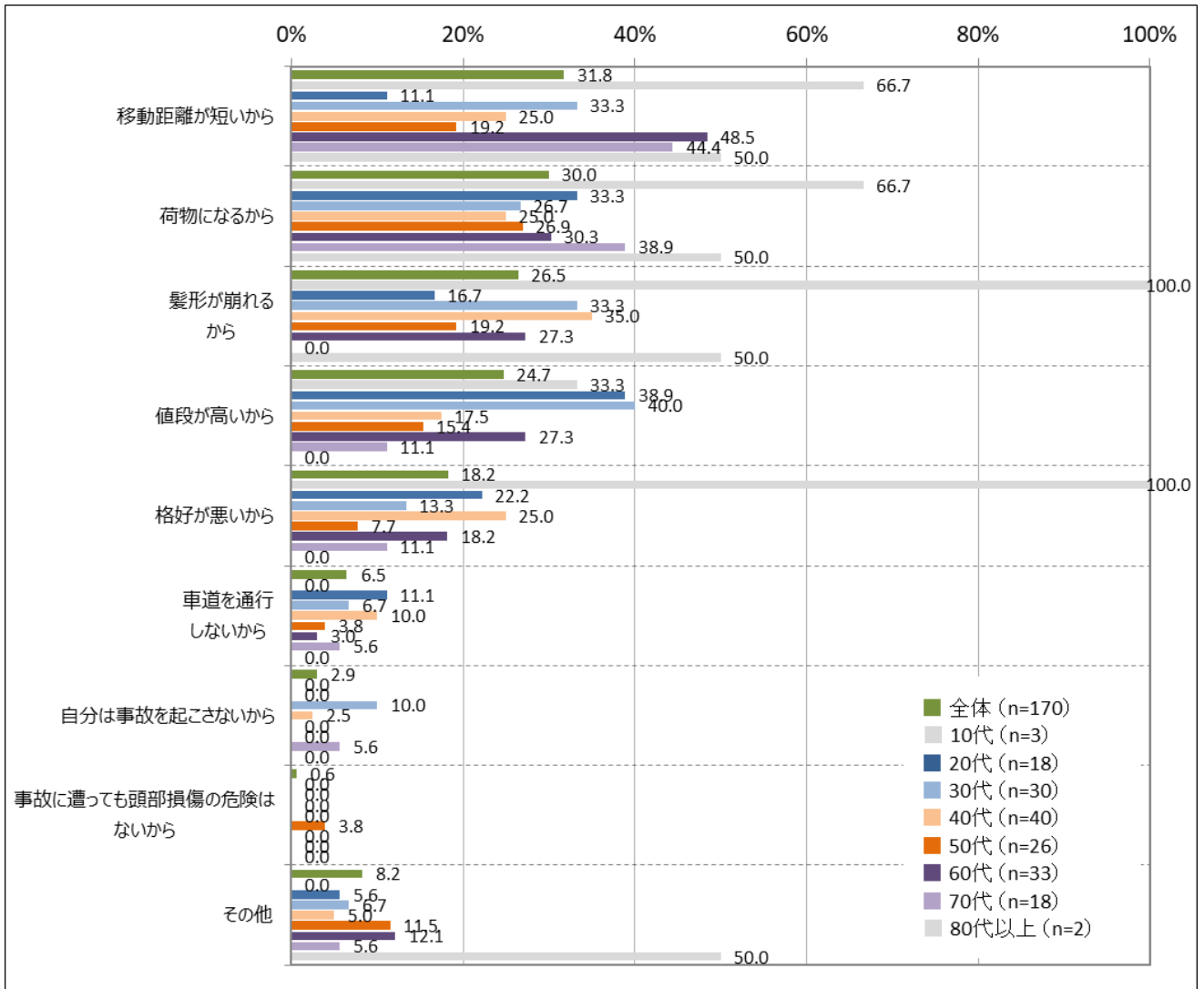


※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除き、女性を対象として集計

図 4.2.47 女性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和7年度）

表 4.2.46 男性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和6年度）

未着用の理由	全体		男性10代		男性20代		男性30代		男性40代		男性50代		男性60代		男性70代		男性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	170	100.0	3	100.0	18	100.0	30	100.0	40	100.0	26	100.0	33	100.0	18	100.0	2	100.0
移動距離が短いから	54	31.8	2	66.7	2	11.1	10	33.3	10	25.0	5	19.2	16	48.5	8	44.4	1	50.0
荷物になるから	51	30.0	2	66.7	6	33.3	8	26.7	10	25.0	7	26.9	10	30.3	7	38.9	1	50.0
髪形が崩れるから	45	26.5	3	100.0	3	16.7	10	33.3	14	35.0	5	19.2	9	27.3	0	0.0	1	50.0
値段が高いから	42	24.7	1	33.3	7	38.9	12	40.0	7	17.5	4	15.4	9	27.3	2	11.1	0	0.0
格好が悪いから	31	18.2	3	100.0	4	22.2	4	13.3	10	25.0	2	7.7	6	18.2	2	11.1	0	0.0
車道を通行しないから	11	6.5	0	0.0	2	11.1	2	6.7	4	10.0	1	3.8	1	3.0	1	5.6	0	0.0
自分は事故を起こさないから	5	2.9	0	0.0	0	0.0	3	10.0	1	2.5	0	0.0	0	0.0	1	5.6	0	0.0
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	14	8.2	0	0.0	1	5.6	2	6.7	2	5.0	3	11.5	4	12.1	1	5.6	1	50.0

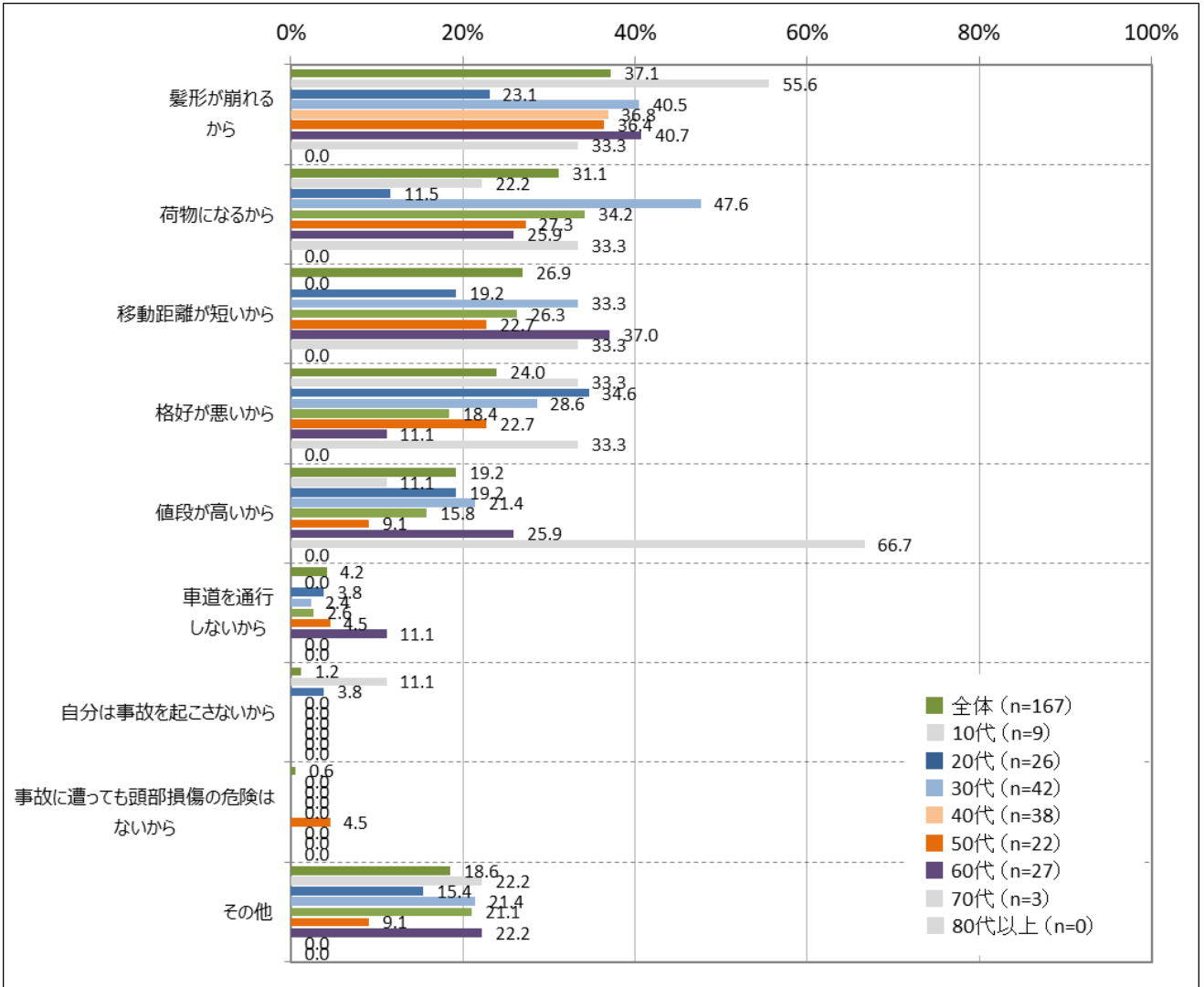


※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除き、男性を対象として集計

図 4.2.48 男性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和6年度）

表 4.2.47 女性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和6年度）

未着用の理由	全体		女性10代		女性20代		女性30代		女性40代		女性50代		女性60代		女性70代		女性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	167	100.0	9	100.0	26	100.0	42	100.0	38	100.0	22	100.0	27	100.0	3	100.0	0	0.0
髪形が崩れるから	62	37.1	5	55.6	6	23.1	17	40.5	14	36.8	8	36.4	11	40.7	1	33.3	0	0.0
荷物になるから	52	31.1	2	22.2	3	11.5	20	47.6	13	34.2	6	27.3	7	25.9	1	33.3	0	0.0
移動距離が短いから	45	26.9	0	0.0	5	19.2	14	33.3	10	26.3	5	22.7	10	37.0	1	33.3	0	0.0
格好が悪いから	40	24.0	3	33.3	9	34.6	12	28.6	7	18.4	5	22.7	3	11.1	1	33.3	0	0.0
値段が高いから	32	19.2	1	11.1	5	19.2	9	21.4	6	15.8	2	9.1	7	25.9	2	66.7	0	0.0
車道を通行しないから	7	4.2	0	0.0	1	3.8	1	2.4	1	2.6	1	4.5	3	11.1	0	0.0	0	0.0
自分は事故を起こさないから	2	1.2	1	11.1	1	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	31	18.6	2	22.2	4	15.4	9	21.4	8	21.1	2	9.1	6	22.2	0	0.0	0	0.0

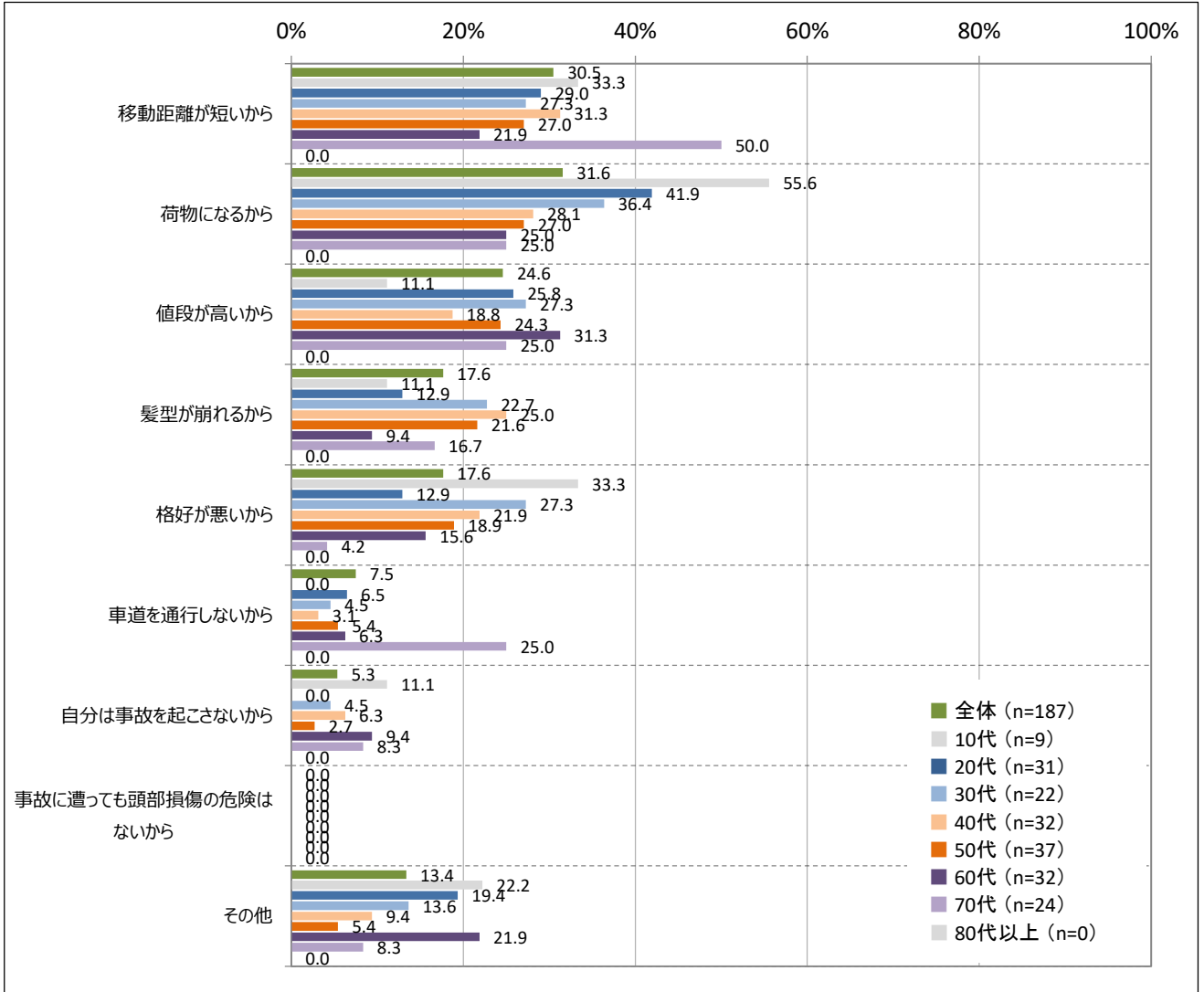


※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除き、女性を対象として集計

図 4.2.49 女性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和6年度）

表 4.2.48 男性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和5年度）

未着用の理由	全体		男性10代		男性20代		男性30代		男性40代		男性50代		男性60代		男性70代		男性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	187	100.0	9	100.0	31	100.0	22	100.0	32	100.0	37	100.0	32	100.0	24	100.0	0	0.0
移動距離が短いから	57	30.5	3	33.3	9	29.0	6	27.3	10	31.3	10	27.0	7	21.9	12	50.0	0	0.0
荷物になるから	59	31.6	5	55.6	13	41.9	8	36.4	9	28.1	10	27.0	8	25.0	6	25.0	0	0.0
値段が高いから	46	24.6	1	11.1	8	25.8	6	27.3	6	18.8	9	24.3	10	31.3	6	25.0	0	0.0
髪型が崩れるから	33	17.6	1	11.1	4	12.9	5	22.7	8	25.0	8	21.6	3	9.4	4	16.7	0	0.0
格好が悪いから	33	17.6	3	33.3	4	12.9	6	27.3	7	21.9	7	18.9	5	15.6	1	4.2	0	0.0
車道を通行しないから	14	7.5	0	0.0	2	6.5	1	4.5	1	3.1	2	5.4	2	6.3	6	25.0	0	0.0
自分は事故を起こさないから	10	5.3	1	11.1	0	0.0	1	4.5	2	6.3	1	2.7	3	9.4	2	8.3	0	0.0
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	25	13.4	2	22.2	6	19.4	3	13.6	3	9.4	2	5.4	7	21.9	2	8.3	0	0.0

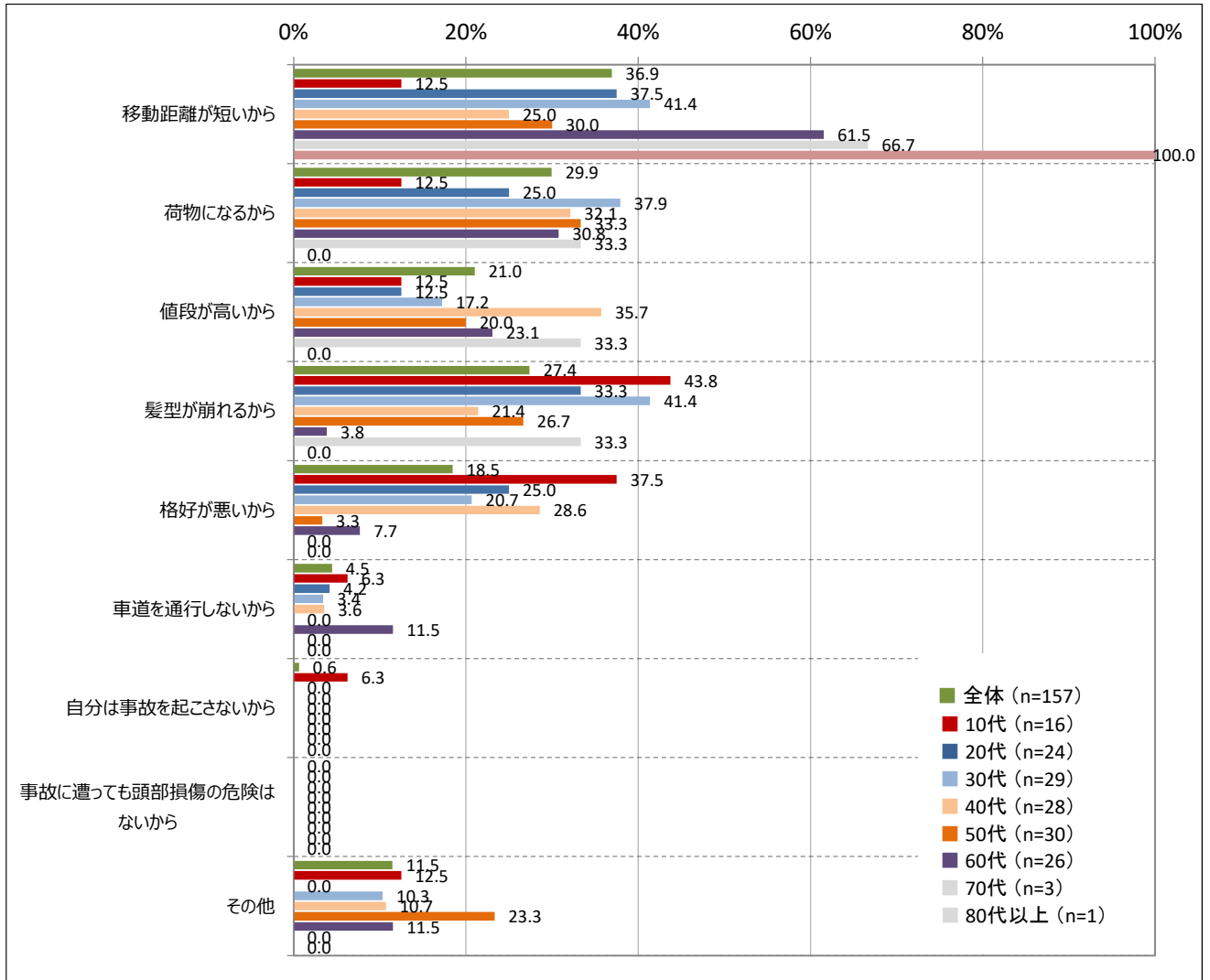


※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除き、男性を対象として集計

図 4.2.50 男性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和5年度）

表 4.2.49 女性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和5年度）

未着用の理由	全体		女性10代		女性20代		女性30代		女性40代		女性50代		女性60代		女性70代		女性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	157	100.0	16	100.0	24	100.0	29	100.0	28	100.0	30	100.0	26	100.0	3	100.0	1	100.0
移動距離が短いから	58	36.9	2	12.5	9	37.5	12	41.4	7	25.0	9	30.0	16	61.5	2	66.7	1	100.0
荷物になるから	47	29.9	2	12.5	6	25.0	11	37.9	9	32.1	10	33.3	8	30.8	1	33.3	0	0.0
値段が高いから	33	21.0	2	12.5	3	12.5	5	17.2	10	35.7	6	20.0	6	23.1	1	33.3	0	0.0
髪型が崩れるから	43	27.4	7	43.8	8	33.3	12	41.4	6	21.4	8	26.7	1	3.8	1	33.3	0	0.0
格好が悪いから	29	18.5	6	37.5	6	25.0	6	20.7	8	28.6	1	3.3	2	7.7	0	0.0	0	0.0
車道を通行しないから	7	4.5	1	6.3	1	4.2	1	3.4	1	3.6	0	0.0	3	11.5	0	0.0	0	0.0
自分は事故を起こさないから	1	0.6	1	6.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
事故に遭っても頭部損傷の危険はないから	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	18	11.5	2	12.5	0	0.0	3	10.3	3	10.7	7	23.3	3	11.5	0	0.0	0	0.0



※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除き、女性を対象として集計

図 4.2.51 女性年代別・ヘルメットの未着用の理由（令和5年度）

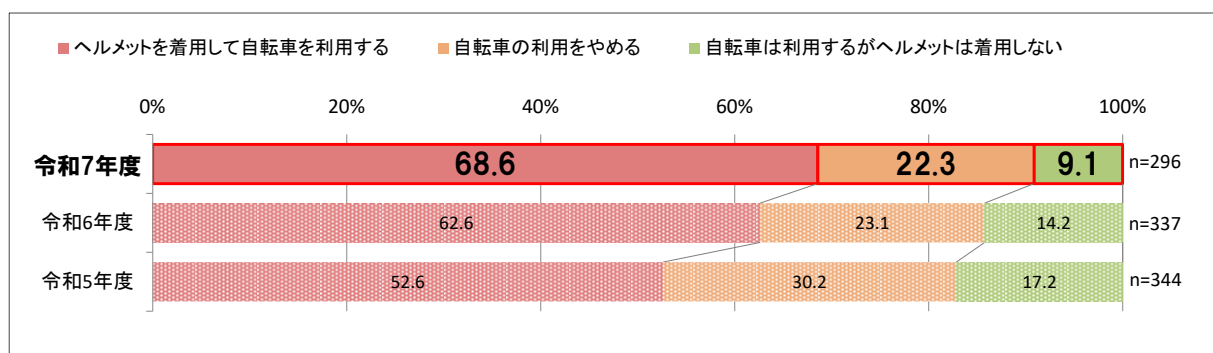
#### 4.2.20 自転車利用時のヘルメット着用が義務化した場合

自転車利用時のヘルメット着用が義務化した場合の自転車の利用意向は、「ヘルメットを着用して自転車を利用する」が68.6%で最も多く、次いで「自転車の利用をやめる」が22.3%、「自転車は利用するがヘルメットは着用しない」が9.1%であった。

令和6年度と比較すると、「ヘルメットを着用して自転車を利用する」からが6.0ポイント増加、「自転車は利用するがヘルメットは着用しない」からが5.1ポイント減少、「自転車の利用をやめる」は令和6年度と同水準で推移している。

表 4.2.50 ヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

ヘルメット着用の義務	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	296	100.0	337	100.0	344	100.0
ヘルメットを着用して自転車を利用する	203	68.6	211	62.6	181	52.6
自転車の利用をやめる	66	22.3	78	23.1	104	30.2
自転車は利用するがヘルメットは着用しない	27	9.1	48	14.2	59	17.2



※4.2.18 ヘルメット着用状況でヘルメットを「いつも着用している」と回答した人を除いて集計  
 図 4.2.52 ヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

ヘルメット着用が義務化した場合、「ヘルメットを着用して自転車を利用する」は、男性は「60代」が82.9%、女性も「60代」が85.7%と最も多い。

一方、「自転車の利用をやめる」は、男性は「40代」が36.7%、女性は「20代」が38.5%、「自転車は利用するがヘルメットは着用しない」は、男性は「70代」が18.8%、女性は「20代」が11.5%とそれぞれ多くなっている。

表 4.2.51 男性年代別・ヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

令和7年度	全体		ヘルメットを着用して自転車を利用する		自転車の利用をやめる		自転車は利用するがヘルメットは着用しない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	155	100.0	101	65.2	36	23.2	18	11.6
男性10代	2	100.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0
男性20代	15	100.0	11	73.3	2	13.3	2	13.3
男性30代	30	100.0	19	63.3	7	23.3	4	13.3
男性40代	30	100.0	15	50.0	11	36.7	4	13.3
男性50代	25	100.0	15	60.0	8	32.0	2	8.0
男性60代	35	100.0	29	82.9	3	8.6	3	8.6
男性70代	16	100.0	10	62.5	3	18.8	3	18.8
男性80代以上	2	100.0	1	50.0	1	50.0	0	0.0

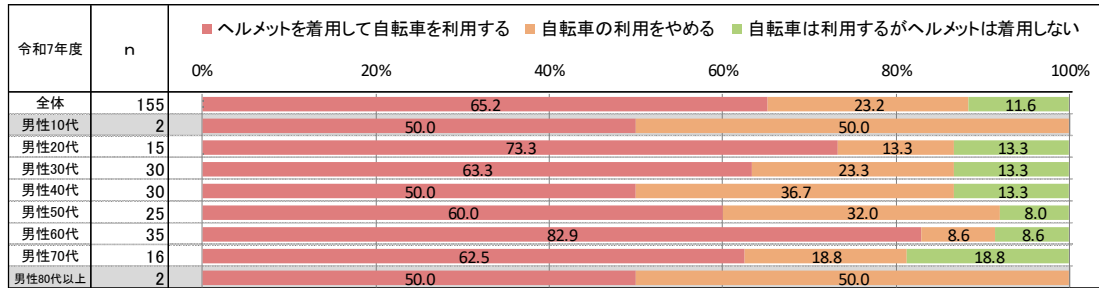


図 4.2.53 男性年代別・ヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

表 4.2.52 女性年代別・ヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

令和7年度	全体		ヘルメットを着用して自転車を利用する		自転車の利用をやめる		自転車は利用するがヘルメットは着用しない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	141	100.0	102	72.3	30	21.3	9	6.4
女性10代	4	100.0	4	100.0	0	0.0	0	0.0
女性20代	26	100.0	13	50.0	10	38.5	3	11.5
女性30代	29	100.0	18	62.1	10	34.5	1	3.4
女性40代	32	100.0	26	81.3	4	12.5	2	6.3
女性50代	26	100.0	21	80.8	3	11.5	2	7.7
女性60代	21	100.0	18	85.7	2	9.5	1	4.8
女性70代	3	100.0	2	66.7	1	33.3	0	0.0
女性80代以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

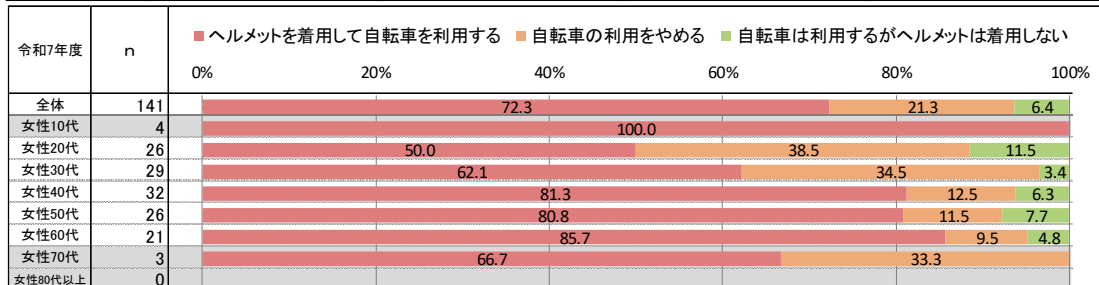


図 4.2.54 女性年代別・ヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

自転車の利用頻度との関係を見ると、ヘルメット着用が義務化した場合、「ヘルメットを着用して自転車を利用する」が全ての項目で半数以上となっている。

一方、「自転車の利用をやめる」で「週に1回程度」が33.3%、「自転車は利用するがヘルメットは着用しない」で「ほとんど毎日」が12.8%とそれぞれ多くなっている。

表 4.2.53 自転車利用頻度とヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

利用頻度	ヘルメット着用義務化後の 利用意向		全体		ヘルメットを着用して 自転車を利用する		自転車の利用を やめる		自転車は利用する がヘルメットは着用 しない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	296	100.0	203	68.6	66	22.3	27	9.1		
ほとんど毎日	78	100.0	61	78.2	7	9.0	10	12.8		
週2～3回程度	50	100.0	36	72.0	8	16.0	6	12.0		
週1回程度	42	100.0	27	64.3	14	33.3	1	2.4		
月に1～2回程度	47	100.0	31	66.0	13	27.7	3	6.4		
年に数回	79	100.0	48	60.8	24	30.4	7	8.9		

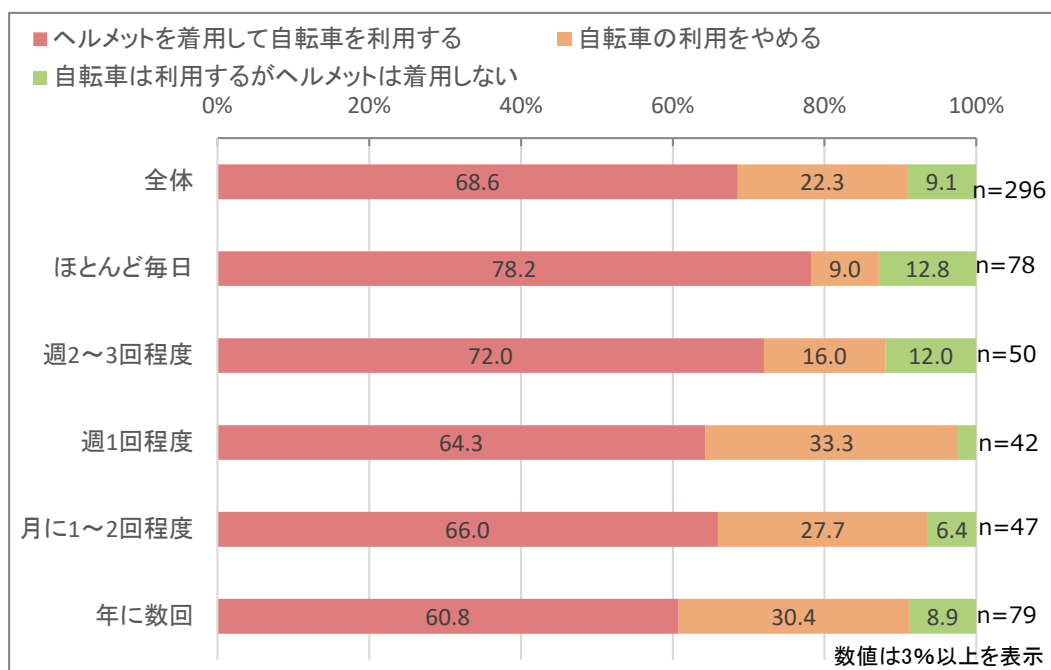


図 4.2.55 自転車利用頻度とヘルメット着用義務化した場合の自転車利用意向

#### 4.2.21 着用したいヘルメットの種類（複数回答）

着用したいヘルメットの種類は、「安全規格を満たす商品」が47.5%で最も多く、次いで「価格が安い商品」が23.1%、「カジュアルなデザインの商品」が22.5%であり、「着用したいと思うヘルメットはない」は25.3%であった。

表 4.2.54 着用したいヘルメットの種類

着用したいヘルメット	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
安全規格(SG、CE、JCF等)を満たす商品	380	47.5	387	48.4	428	53.5
価格が安い商品	185	23.1	178	22.3	161	20.1
カジュアルなデザインの商品	180	22.5	147	18.4	134	16.8
帽子のようなデザインの商品	174	21.8	145	18.1	126	15.8
頭の形にフィットする商品	141	17.6	131	16.4	141	17.6
折り畳み等の機能がある商品	101	12.6	101	12.6	81	10.1
スポーティなデザインの商品	80	10.0	92	11.5	94	11.8
ブランド価値がある商品	16	2.0	11	1.4	20	2.5
その他	7	0.9	11	1.4	6	0.8
着用したいと思うヘルメットはない	202	25.3	188	23.5	166	20.8

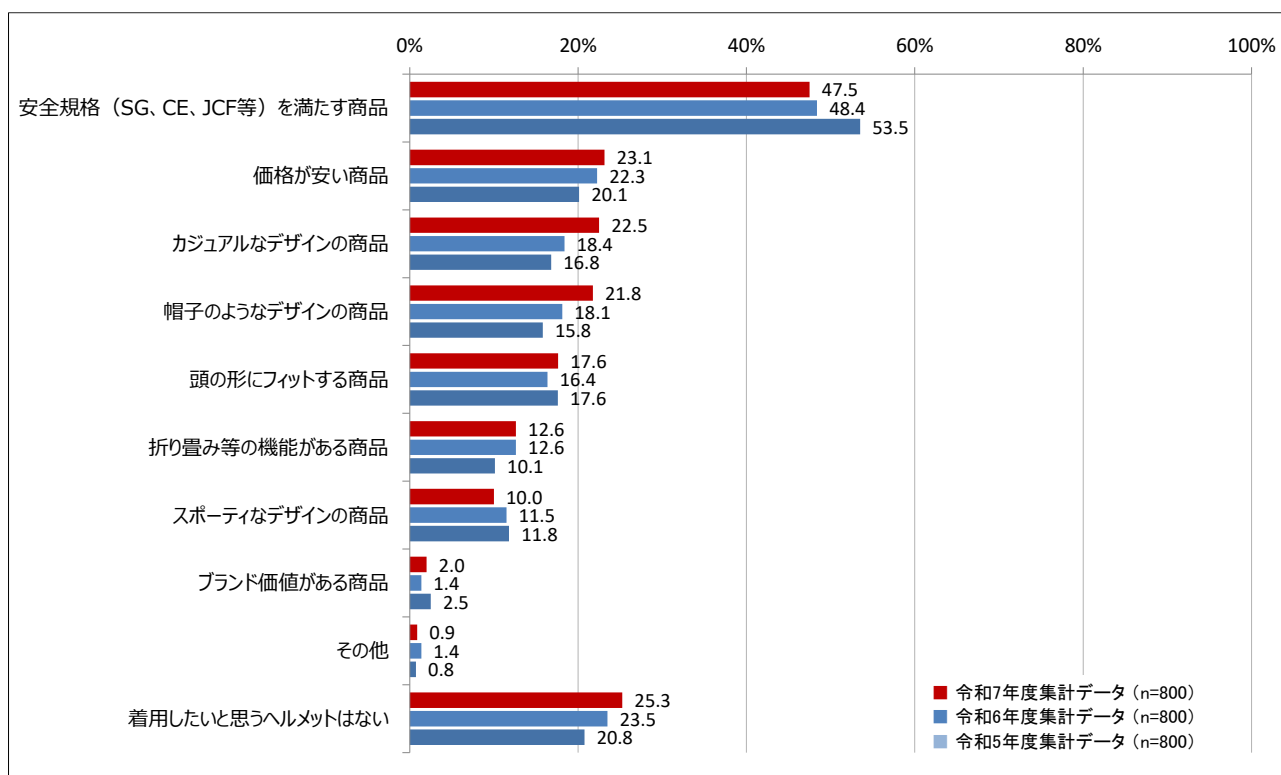


図 4.2.56 着用したいヘルメットの種類

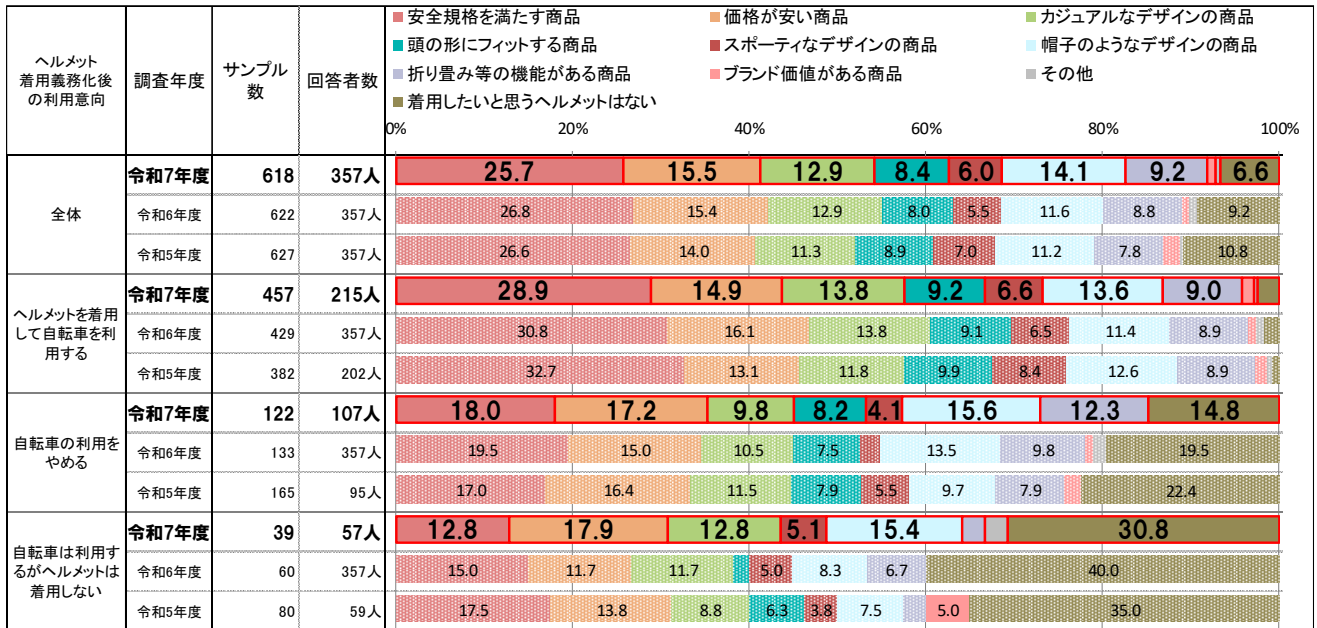
ヘルメット着用が義務化した場合に「ヘルメットを着用して自転車を利用する」とした回答のうち希望するヘルメットの種類は、「安全規格を満たす商品」が 28.9%と最も多い。

一方、「自転車の利用をやめる」とした回答のうちでは、「安全規格を満たす商品」、「自転車は利用するがヘルメットは着用しない」では「着用したいと思うヘルメットはない」が多くなっている。

表 4.2.55 ヘルメット着用が義務化した場合の自転車利用意向別・着用したいヘルメットの種類

ヘルメット 着用義務化後 の利用意向	調査年度	全体		安全規格を満たす商品		価格が安い商品		カジュアルなデザインの商品		頭の形にフィットする商品		スポーティなデザインの商品		帽子のようなデザインの商品		折り畳み等の機能がある商品		ブランド価値がある商品		その他		着用したいと思うヘルメットはない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		全体	令和7年度	618	100.0	159	25.7	96	15.5	80	12.9	52	8.4	37	6.0	87	14.1	57	9.2	6	1.0	3	0.5
	令和6年度	622	100.0	167	26.8	96	15.4	80	12.9	50	8.0	34	5.5	72	11.6	55	8.8	5	0.8	6	1.0	57	9.2
	令和5年度	627	100.0	167	26.6	88	14.0	71	11.3	56	8.9	44	7.0	70	11.2	49	7.8	12	1.9	2	0.3	68	10.8
ヘルメットを着用して自転車を利用する	令和7年度	457	100.0	132	28.9	68	14.9	63	13.8	42	9.2	30	6.6	62	13.6	41	9.0	6	1.3	2	0.4	11	2.4
	令和6年度	429	100.0	132	30.8	69	16.1	59	13.8	39	9.1	28	6.5	49	11.4	38	8.9	4	0.9	4	0.9	7	1.6
	令和5年度	382	100.0	125	32.7	50	13.1	45	11.8	38	9.9	32	8.4	48	12.6	34	8.9	5	1.3	2	0.5	3	0.8
自転車の利用をやめる	令和7年度	122	100.0	22	18.0	21	17.2	12	9.8	10	8.2	5	4.1	19	15.6	15	12.3	0	0.0	0	0.0	18	14.8
	令和6年度	133	100.0	26	19.5	20	15.0	14	10.5	10	7.5	3	2.3	18	13.5	13	9.8	1	0.8	2	1.5	26	19.5
	令和5年度	165	100.0	28	17.0	27	16.4	19	11.5	13	7.9	9	5.5	16	9.7	13	7.9	3	1.8	0	0.0	37	22.4
自転車は利用するがヘルメットは着用しない	令和7年度	39	100.0	5	12.8	7	17.9	5	12.8	0	0.0	2	5.1	6	15.4	1	2.6	0	0.0	1	2.6	12	30.8
	令和6年度	60	100.0	9	15.0	7	11.7	7	11.7	1	1.7	3	5.0	5	8.3	4	6.7	0	0.0	0	0.0	24	40.0
	令和5年度	80	100.0	14	17.5	11	13.8	7	8.8	5	6.3	3	3.8	6	7.5	2	2.5	4	5.0	0	0.0	28	35.0

※%は総サンプル数に対する割合



※数値は総サンプル数に対する割合、3%以上を表示

図 4.2.57 ヘルメット着用が義務化した場合の自転車利用意向別・着用したいヘルメットの種類

性年代別では、男性、女性とも全ての年代において「安全規格を満たす商品」が最も多くなっている。

表 4.2.56 男性年代別・希望種類

希望種類	全体		男性10代		男性20代		男性30代		男性40代		男性50代		男性60代		男性70代		男性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	385	100.0	6	100.0	39	100.0	64	100.0	68	100.0	60	100.0	82	100.0	54	100.0	12	100.0
安全規格(SG、CE、JCF等)を満たす商品	184	47.8	4	66.7	12	30.8	20	31.3	27	39.7	34	56.7	50	61.0	30	55.6	7	58.3
価格が安い商品	91	23.6	4	66.7	7	17.9	13	20.3	16	23.5	16	26.7	24	29.3	8	14.8	3	25.0
カジュアルなデザインの商品	77	20.0	0	0.0	10	25.6	18	28.1	14	20.6	12	20.0	10	12.2	11	20.4	2	16.7
頭の形にフィットする商品	65	16.9	3	50.0	6	15.4	7	10.9	9	13.2	6	10.0	17	20.7	11	20.4	6	50.0
帽子のようなデザインの商品	54	14.0	2	33.3	6	15.4	7	10.9	6	8.8	7	11.7	11	13.4	14	25.9	1	8.3
スポーティなデザインの商品	53	13.8	1	16.7	9	23.1	4	6.3	11	16.2	11	18.3	12	14.6	5	9.3	0	0.0
折り畳み等の機能がある商品	42	10.9	0	0.0	3	7.7	6	9.4	7	10.3	7	11.7	9	11.0	6	11.1	4	33.3
ブランド価値がある商品	10	2.6	0	0.0	0	0.0	2	3.1	1	1.5	1	1.7	3	3.7	2	3.7	1	8.3
その他	2	0.5	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.9	0	0.0
着用したいと思うヘルメットはない	107	27.8	2	33.3	13	33.3	21	32.8	23	33.8	18	30.0	14	17.1	13	24.1	3	25.0

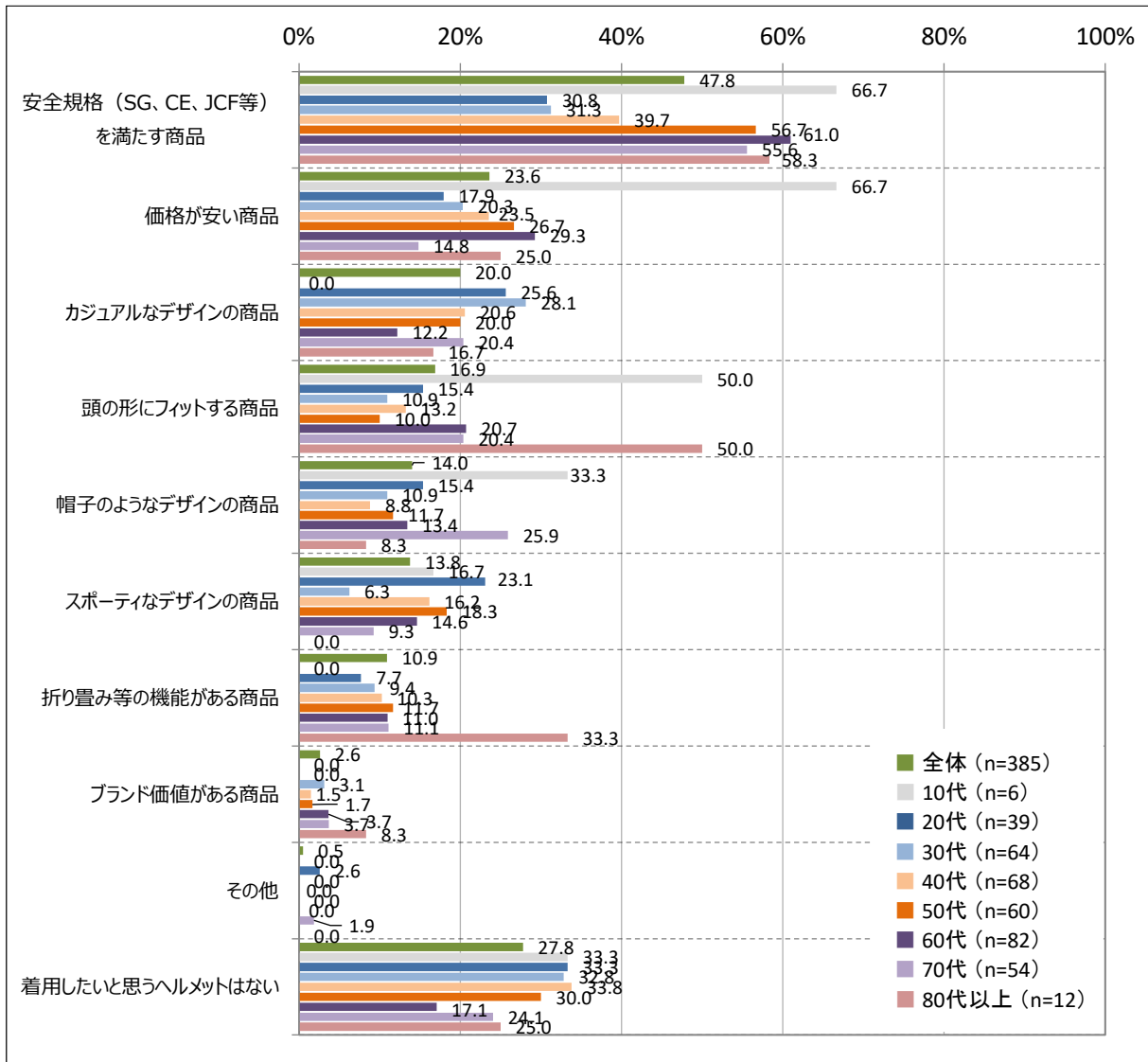


図 4.2.58 男性年代別・希望種類

表 4.2.57 女性年代別・希望種類

未着用の理由	全体		女性10代		女性20代		女性30代		女性40代		女性50代		女性60代		女性70代		女性80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体(回答者数)	415	100.0	7	100.0	69	100.0	81	100.0	87	100.0	70	100.0	74	100.0	24	100.0	3	100.0
安全規格(SG、CE、JCF等)を満たす商品	196	47.2	4	57.1	23	33.3	32	39.5	43	49.4	37	52.9	43	58.1	12	50.0	2	66.7
帽子のようなデザインの商品	120	28.9	4	57.1	22	31.9	28	34.6	24	27.6	17	24.3	18	24.3	7	29.2	0	0.0
カジュアルなデザインの商品	103	24.8	3	42.9	19	27.5	23	28.4	25	28.7	17	24.3	15	20.3	1	4.2	0	0.0
価格が安い商品	94	22.7	1	14.3	18	26.1	22	27.2	19	21.8	16	22.9	15	20.3	3	12.5	0	0.0
頭の形にフィットする商品	76	18.3	2	28.6	5	7.2	12	14.8	21	24.1	13	18.6	16	21.6	6	25.0	1	33.3
折り畳み等の機能がある商品	59	14.2	2	28.6	7	10.1	10	12.3	12	13.8	12	17.1	11	14.9	5	20.8	0	0.0
スポーティなデザインの商品	27	6.5	0	0.0	7	10.1	6	7.4	6	6.9	3	4.3	5	6.8	0	0.0	0	0.0
ブランド価値がある商品	6	1.4	0	0.0	0	0.0	1	1.2	3	3.4	1	1.4	1	1.4	0	0.0	0	0.0
その他	5	1.2	1	14.3	0	0.0	1	1.2	1	1.1	1	1.4	0	0.0	1	4.2	0	0.0
着用したいと思うヘルメットはない	95	22.9	0	0.0	20	29.0	15	18.5	19	21.8	15	21.4	17	23.0	8	33.3	1	33.3

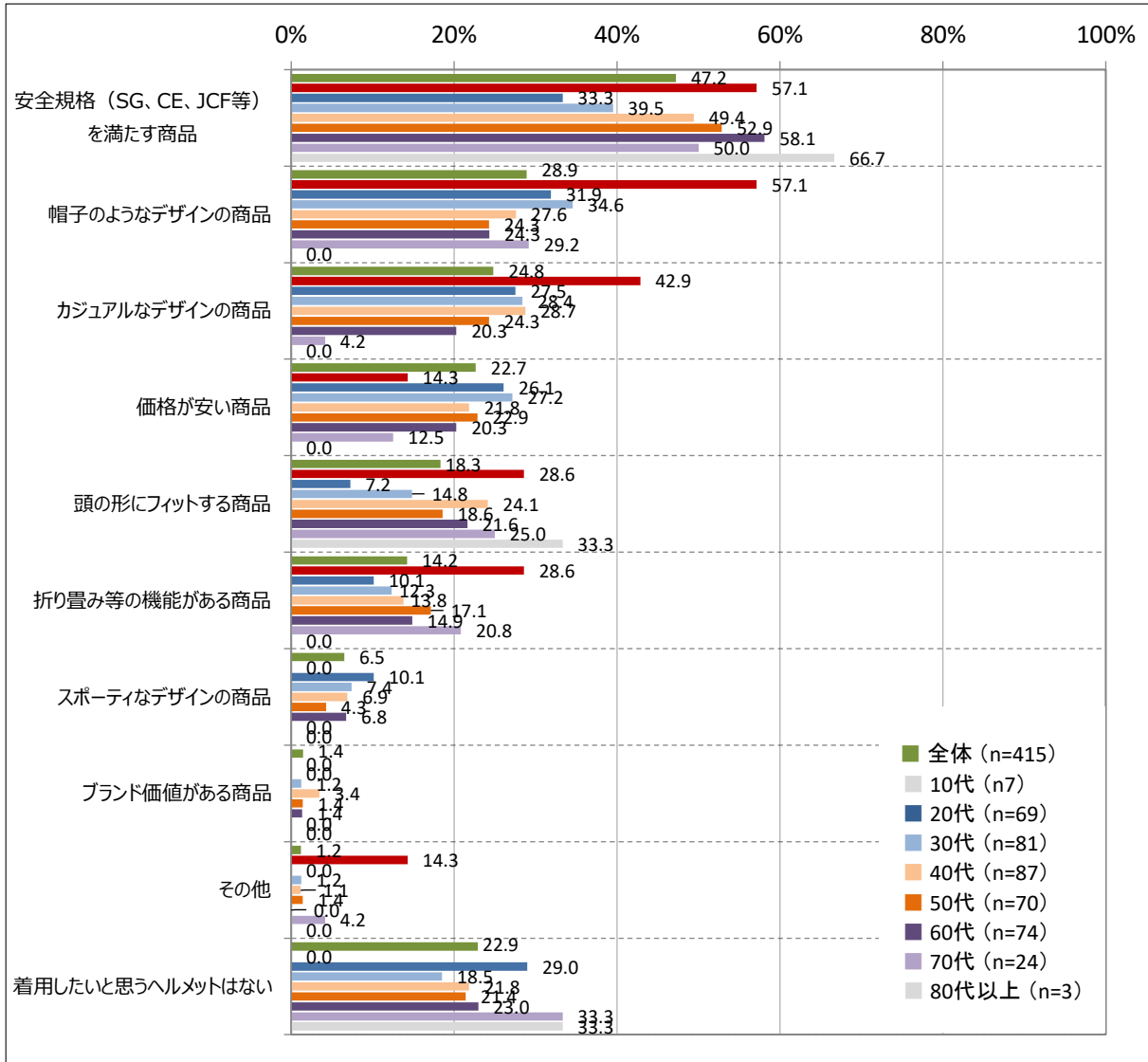


図 4.2.59 女性年代別・希望種類

#### 4.2.22 未成年の子どもへのヘルメット着用状況

未成年の子どもを同乗させる場合のヘルメット着用状況は、「はい(着用させている)」が 90.5%であり、令和6年度から0.8ポイント減少している。

未成年の子どもに一人で運転させる場合のヘルメット着用状況は、「はい(着用させている)」が 69.2%であり、令和6年度から0.2ポイント増加している。

表 4.2.58 未成年の子どもへのヘルメット着用努力義務の遵守率（同乗の場合）

子どものヘルメット着用 (同乗の場合)	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	21	100.0	23	100.0	36	100.0
はい(着用させている)	19	90.5	21	91.3	30	83.3
いいえ(着用させていない)	2	9.5	2	8.7	6	16.7

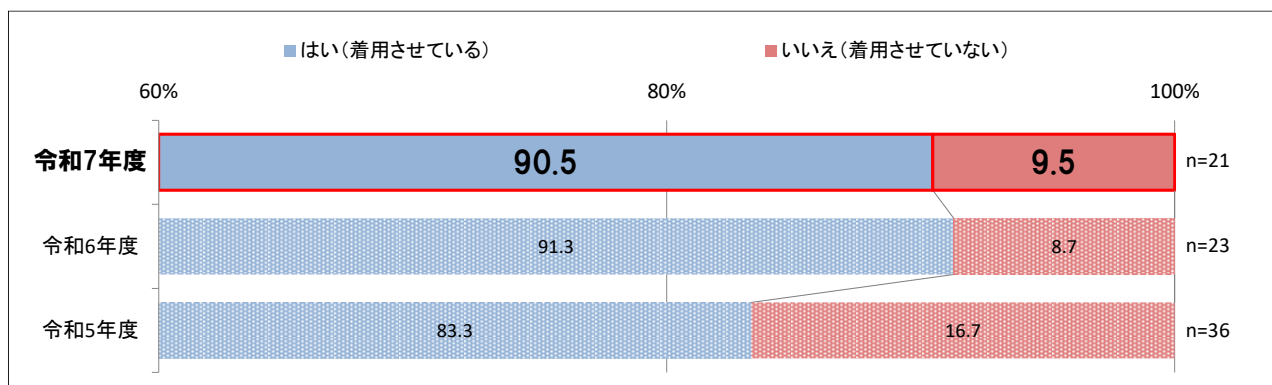


図 4.2.60 未成年の子どもへのヘルメット着用努力義務の遵守率（同乗の場合）

表 4.2.59 未成年の子どもへのヘルメット着用努力義務の遵守率（一人の場合）

子どものヘルメット着用 (一人の場合)	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	78	100.0	84	100.0	105	100.0
はい(着用させている)	54	69.2	58	69.0	61	58.1
いいえ(着用させていない)	24	30.8	26	31.0	44	41.9

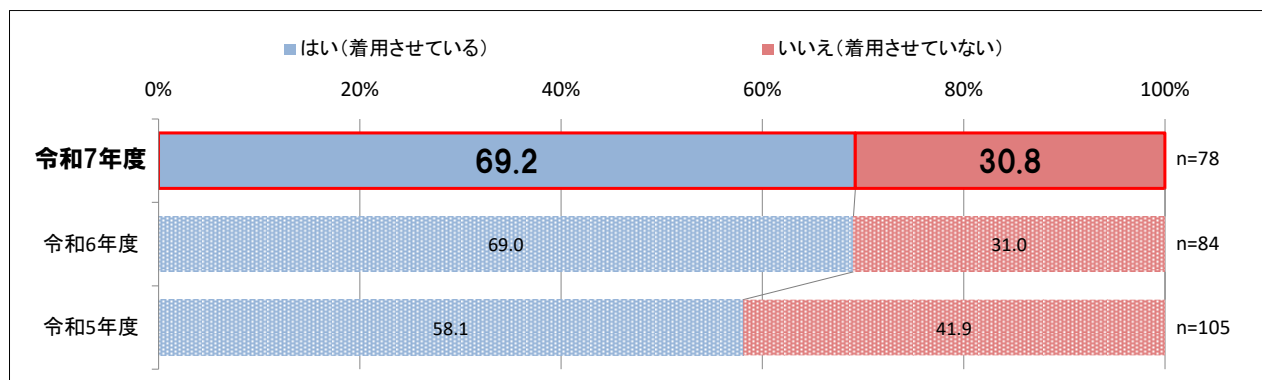


図 4.2.61 未成年の子どもへのヘルメット着用努力義務の遵守率（一人の場合）

子どもの年齢別では、「はい(着用させている)」と回答した割合が最も高かった年齢は、「7歳～12歳(小学生)」で86.5%であり、過年度と同様、年齢が上がるにつれて非着用の割合が高くなっている。

※回答数が「10」以下の場合は評価していない。

表 4.2.60 年齢別・未成年の子どもへの着用努力義務の遵守率（一人の場合）

子どもの年齢	令和7年度					
	全体		はい(着用させている)		いいえ(着用させていない)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	78	100.0	54	69.2	24	30.8
0歳～6歳(未就学)	6	100.0	6	100.0	0	0.0
7歳～12歳(小学生)	37	100.0	32	86.5	5	13.5
13歳～15歳(中学生)	12	100.0	6	50.0	6	50.0
16歳～19歳(高校生以上)	23	100.0	10	43.5	13	56.5

子どもの年齢	令和6年度					
	全体		はい(着用させている)		いいえ(着用させていない)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	84	100.0	58	69.0	26	31.0
0歳～6歳(未就学)	9	100.0	9	100.0	0	0.0
7歳～12歳(小学生)	43	100.0	35	81.4	8	18.6
13歳～15歳(中学生)	23	100.0	11	47.8	12	52.2
16歳～19歳(高校生以上)	9	100.0	3	33.3	6	66.7

子どもの年齢	令和5年度					
	全体		はい(着用させている)		いいえ(着用させていない)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	105	100.0	61	58.1	44	41.9
0歳～6歳(未就学)	15	100.0	14	93.3	1	6.7
7歳～12歳(小学生)	43	100.0	25	58.1	18	41.9
13歳～15歳(中学生)	27	100.0	14	51.9	13	48.1
16歳～19歳(高校生以上)	20	100.0	8	40.0	12	60.0

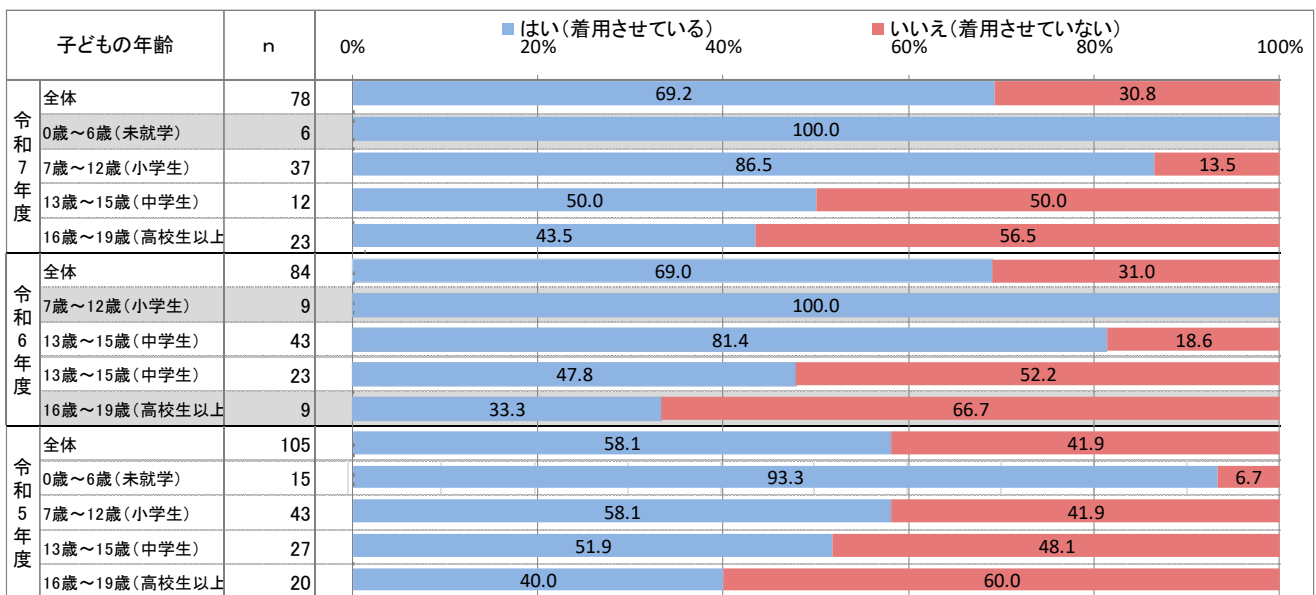


図 4.2.62 年齢別・未成年の子どもへの着用努力義務の遵守率（一人の場合）

#### 4.2.23 自転車を運転する高齢者のヘルメット着用状況

70歳以上の高齢者へのヘルメット着用の助言の状況は、「着用するよう助言している」が48.4%と令和6年度から6.6ポイント減少、「着用を助言していない」は51.6%と令和6年度から6.6ポイント増加している。

表 4.2.61 70歳以上の高齢者へのヘルメット着用助言努力義務の遵守率

高齢者へのヘルメット着用助言努力義務	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	64	100.0	60	100.0	64	100.0
着用するよう助言している	31	48.4	33	55.0	43	67.2
着用を助言していない	33	51.6	27	45.0	21	32.8

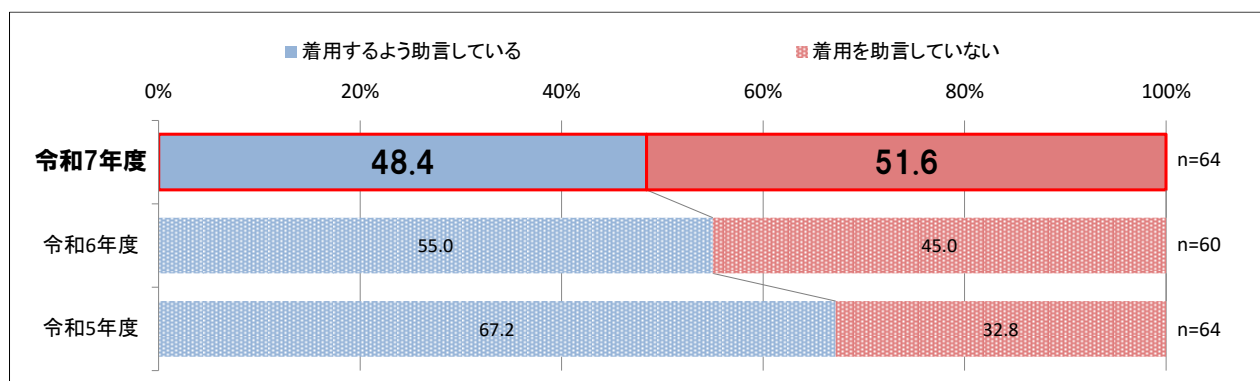


図 4.2.63 70歳以上の高齢者へのヘルメット着用助言努力義務の遵守率

#### 4.2.24 自転車運転中のヒヤリハット

1年以内の自転車運転中のヒヤリハットの経験は「ある」が25.5%となっており、令和6年度から1.2ポイント減少している。

1年以内の自転車運転中のヒヤリハットの相手は「自動車」が40.2%で最も多く、次いで「自転車(大人)」が26.4%、「歩行者(大人)」が11.5%であった。

表 4.2.62 1年以内のヒヤリハットの有無（自転車運転中）

ヒヤリハット (自転車運転中)	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	397	100.0	425	100.0
ある	87	25.5	106	26.7	108	25.4
ない	254	74.5	291	73.3	317	74.6

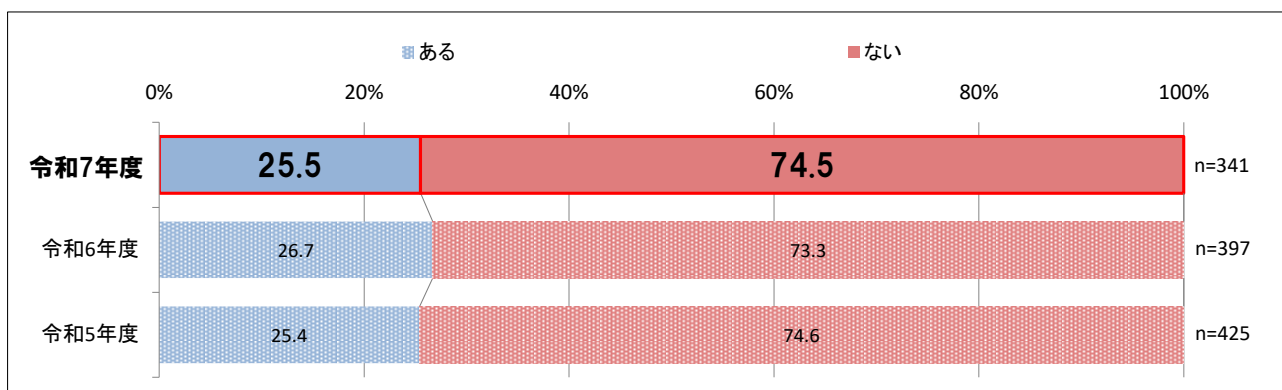


図 4.2.64 1年以内のヒヤリハットの有無（自転車運転中）

表 4.2.63 1年以内に経験したヒヤリハットの相手（自転車運転中）

ヒヤリハットの相手(自転車運転中)	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	87	100.0
自転車(大人)	23	26.4
自転車(子供)	7	8.0
歩行者(大人)	10	11.5
歩行者(子供)	6	6.9
バイク	1	1.1
自動車	35	40.2
道路構造物	1	1.1
その他	4	4.6

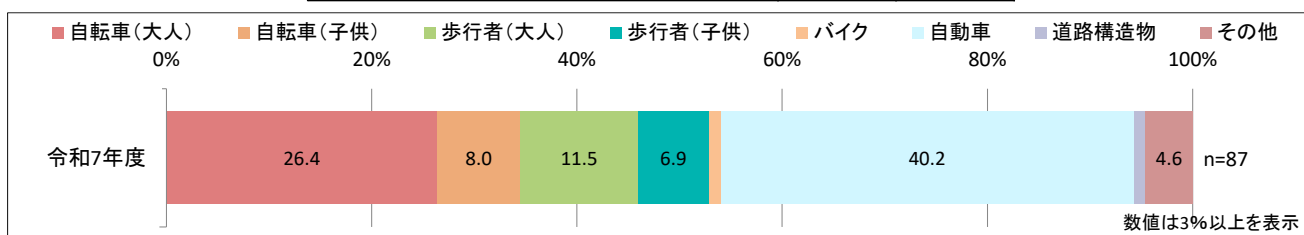


図 4.2.65 1年以内に経験したヒヤリハットの相手（自転車運転中）

1年以内の自転車運転中のヒヤリハットの場所は「交差点」が40.2%で最も多く、次いで「人通り・交通量の多い場所」が33.3%、「横断歩道」が24.1%であった。

表 4.2.64 1年以内に経験したヒヤリハットの場所（自転車運転中）

ヒヤリハットを感じた場所 (自転車運転中)	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	87	100.0
交差点	35	40.2
人通り・交通量の多い場所	29	33.3
横断歩道	21	24.1
住宅街	18	20.7
カーブ・曲がり角	16	18.4
駅付近	8	9.2
暗い場所	7	8.0
人通り・交通量の少ない場所	6	6.9
学校付近	6	6.9
バス停付近	6	6.9
明るい場所	6	6.9
踏切	2	2.3
その他	5	5.7

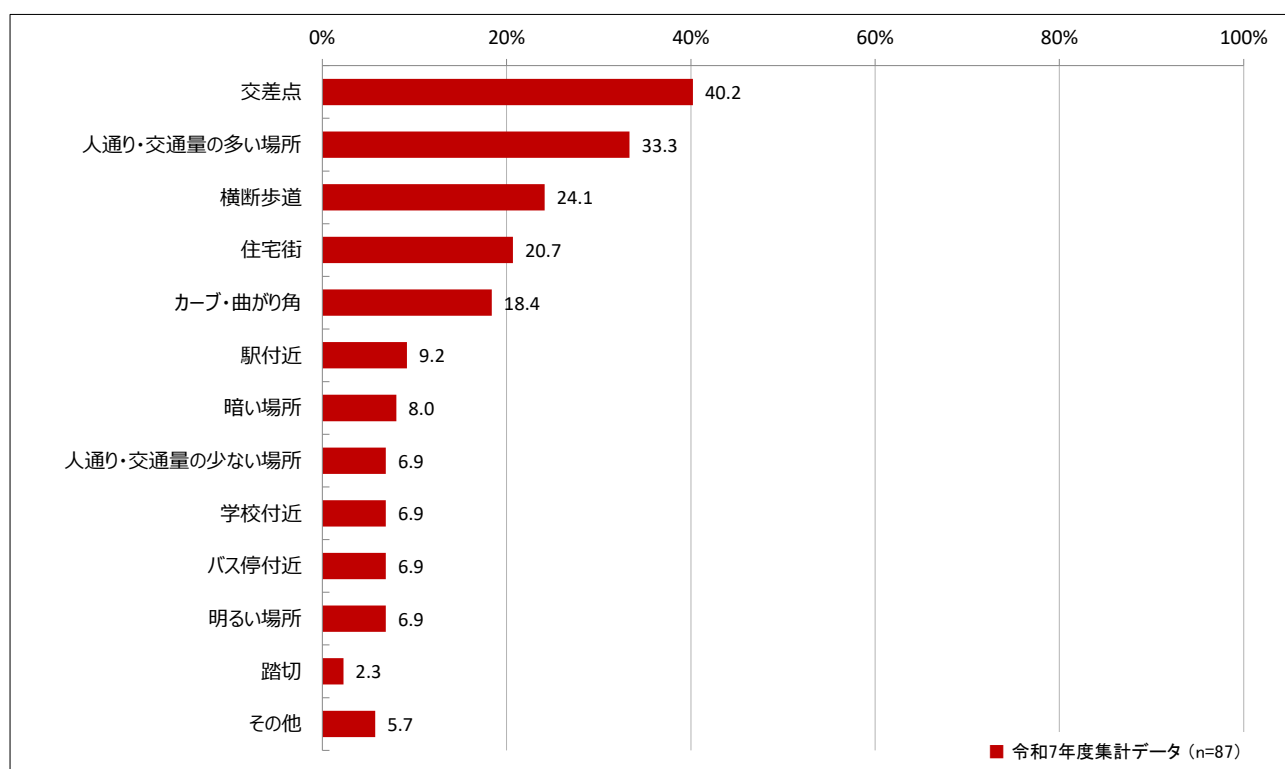
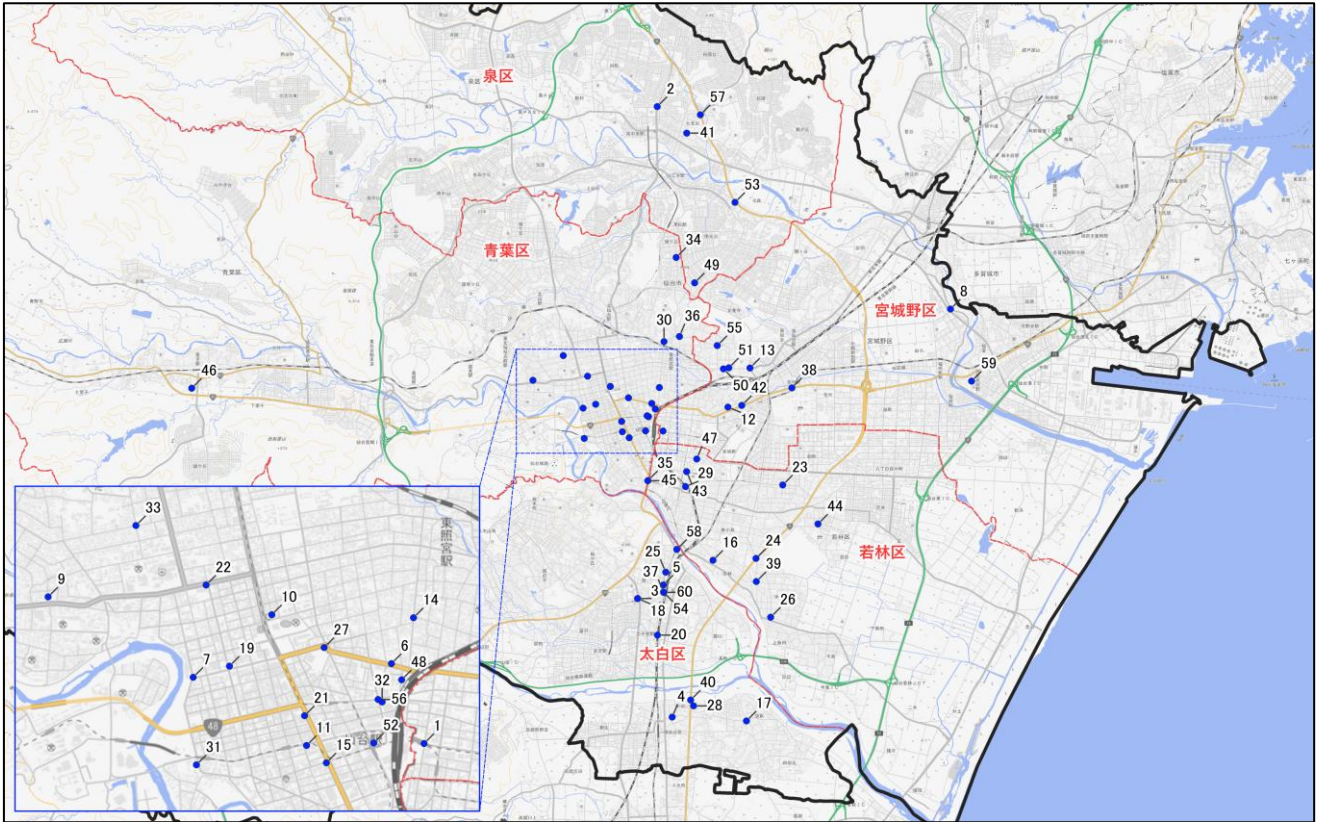


図 4.2.66 1年以内に経験したヒヤリハットの場所（自転車運転中）

表 4.2.65 自転車運転中にヒヤリハットした場所の一覧（一年以内）

No	交差点	横断歩道	人通り・交通量の多い場所	人通り・交通量の少ない場所	住宅街	学校付近	駅付近	踏切	バス停付近	カーブ・曲がり角	明るい場所	暗い場所	その他
1			●										
2	●											●	
3			●										
4		●				●				●			
5													●
6		●											
7		●											
8			●										
9	●				●								
10	●												
11	●	●					●		●				
12	●		●										
13	●		●										
14										●	●		
15				●								●	
16					●								
17	●	●											
18			●			●		●		●			
19	●												
20		●											
21			●										
22					●	●							
23													●
24		●	●									●	
25							●				●		●
26	●		●		●			●	●	●	●		
27					●	●				●			
28	●	●								●			
29					●								
30	●												
31			●										
32								●	●				
33	●												
34	●												
35	●									●			
36	●	●											
37	●												
38			●										
39			●							●			
40	●		●										
41	●	●											
42	●	●											●
43	●				●		●						
44			●		●								
45			●							●			
46					●						●		
47	●									●			
48		●											
49	●												
50			●										
51				●	●							●	
52							●						
53	●		●										
54		●											
55		●											
56	●	●	●										
57	●		●								●		
58		●								●			
59			●										●
60	●	●	●		●		●						



※自転車乗車中のヒヤリハット箇所を特定できた回答のみ図示  
 国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 4.2.67 自転車運転中にヒヤリハットした場所 (一年以内)

1年以内の自転車運転中のヒヤリハットの状況は、「飛び出し」が34.5%で最も多く、次いで「スピードの出しすぎ」が28.7%、「そばをすり抜け」が27.6%であった。

表 4.2.66 1年以内に経験したヒヤリハットの状況（自転車運転中）

ヒヤリハットの状況 (自転車運転中)	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	87	100.0
飛び出し	30	34.5
スピードの出しすぎ	25	28.7
そばをすり抜け	24	27.6
急に進路を変える	21	24.1
ながらスマホ	18	20.7
車道の右側走行	15	17.2
信号無視	14	16.1
並列運転	11	12.6
傘さし運転	10	11.5
イヤホン等使用運転	8	9.2
急ブレーキ・蛇行運転	6	6.9
無灯火	5	5.7
相手の嫌がらせ・煽り運転	4	4.6
その他	15	17.2

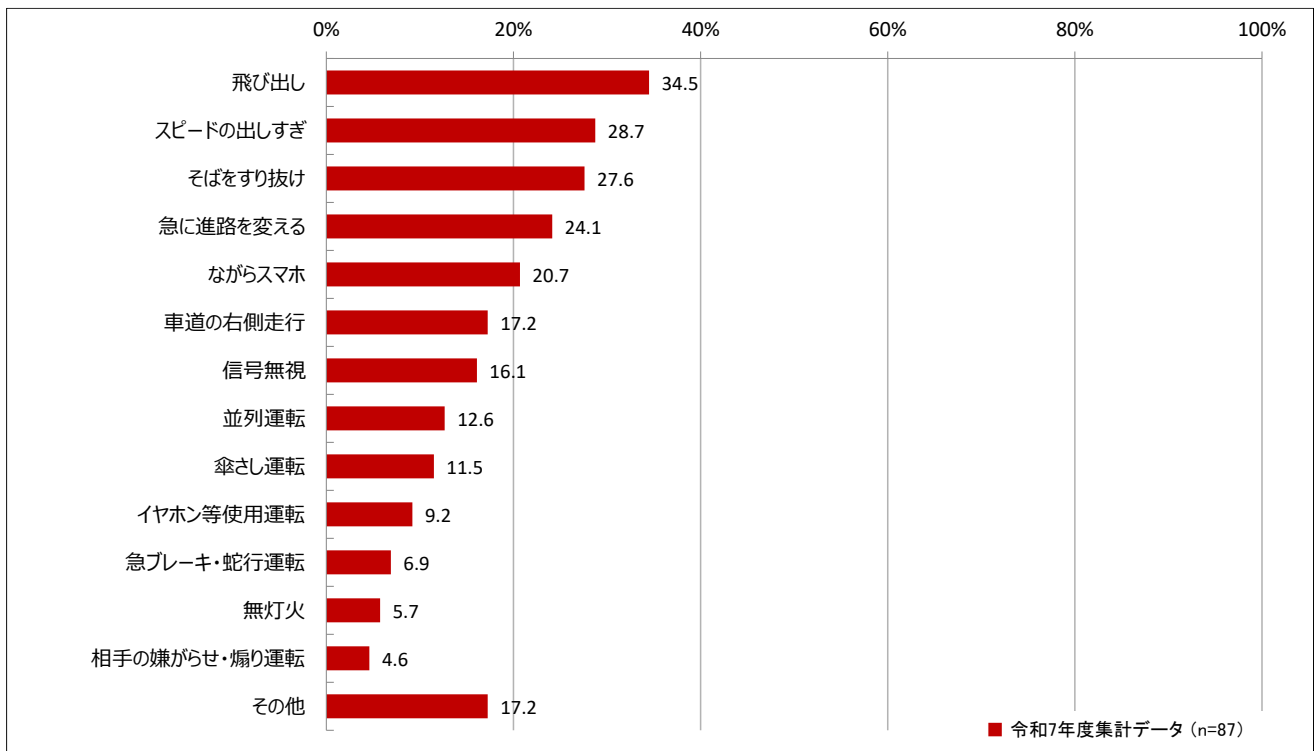


図 4.2.68 1年以内に経験したヒヤリハットの状況（自転車運転中）

1年以内に自転車運転中のヒヤリハットの経験が「ある」と回答したうち、ヘルメットを「着用している」「いつも着用している」「ときどき着用している」の合計)のは32.2%であり、「ない」と回答した26.8%より5.4ポイント高くなっている。

また、1年以内に自転車運転中のヒヤリハットの経験が「ある」と回答したうち、自転車保険に「加入している」のは72.4%で、「ない」と回答した65.7%より6.7ポイント高い。

表 4.2.67 1年以内のヒヤリハットの有無とヘルメット着用率

ヘルメットの着用有無 ヒヤリハットの有無	全体		着用している						着用していない	
			いつも着用している		ときどき着用している					
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	96	28.2	45	13.2	51	15.0	245	71.8
ある	87	100.0	28	32.2	11	12.6	17	19.5	59	67.8
ない	254	100.0	68	26.8	34	13.4	34	13.4	186	73.2

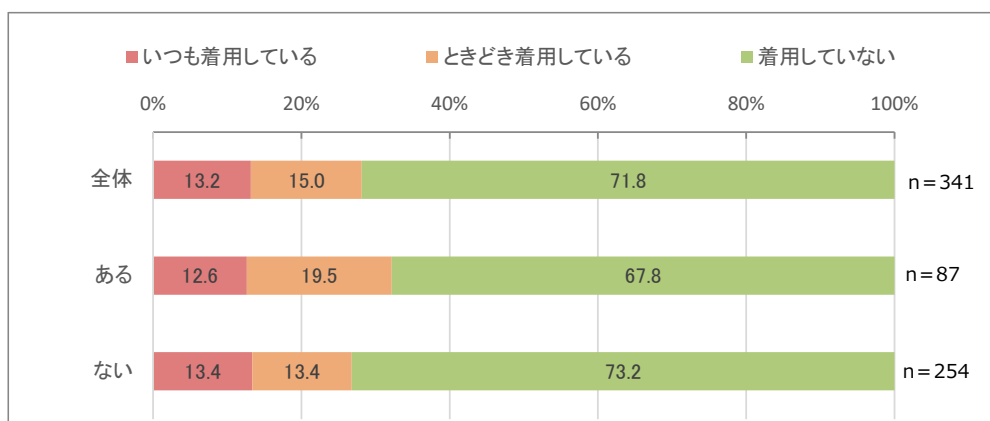
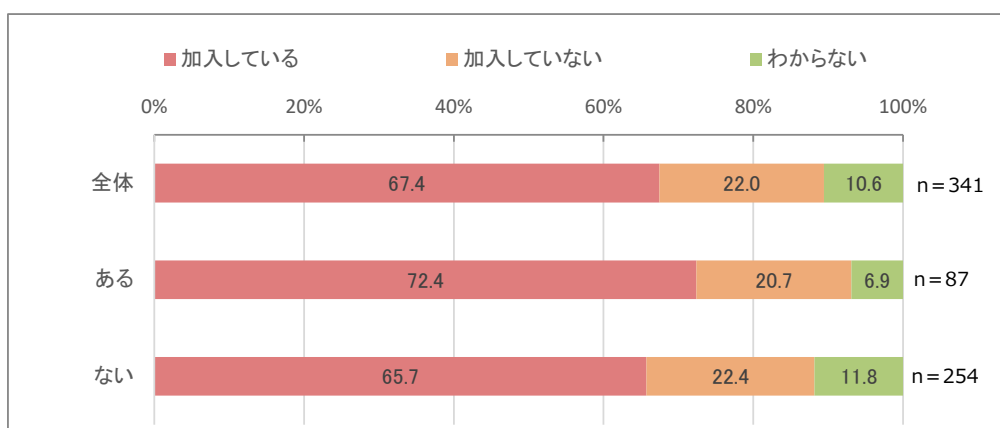


図 4.2.69 1年以内のヒヤリハットの有無とヘルメット着用率

表 4.2.68 1年以内のヒヤリハットの有無と自転車保険等の加入状況

ヒヤリハットの有無	保険加入状況		全体		加入している		加入していない		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	230	67.4	75	22.0	36	10.6		
ある	87	100.0	63	72.4	18	20.7	6	6.9		
ない	254	100.0	167	65.7	57	22.4	30	11.8		



※保険加入状況の「自転車に乗らない(自転車を利用する家族もいない)」を除いて集計

図 4.2.70 1年以内のヒヤリハットの有無とヘルメット着用率

#### 4.2.25 自転車とのヒヤリハット

1年以内の歩行中のヒヤリハットの経験は「ある」が14.6%と令和6年度から3.3ポイント減少している。

表 4.2.69 1年以内のヒヤリハットの有無（歩行中の対自転車）

ヒヤリハット (歩行中)	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
ある	117	14.6	143	17.9	228	28.5
ない	683	85.4	657	82.1	572	71.5

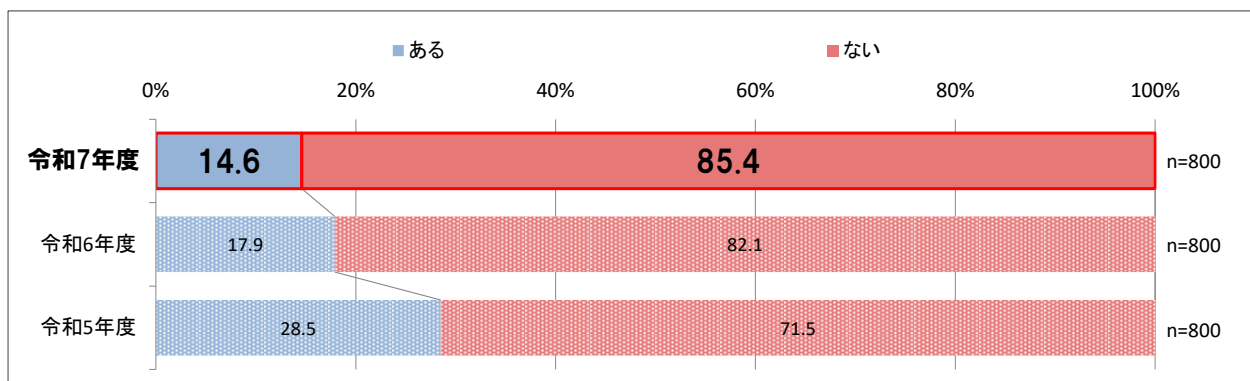


図 4.2.71 1年以内のヒヤリハットの有無（歩行中の対自転車）

歩行中に自転車に対してヒヤリハットした場所は、「人通り・交通量の多い場所」が45.3%で最も多く、次いで「交差点」が40.2%、「横断歩道」が36.8%であった。

表 4.2.70 1年以内のヒヤリハット場所（歩行中の対自転車）

危険を感じた場所(歩行中の対自転車)	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	117	100.0
人通り・交通量の多い場所	53	45.3
交差点	47	40.2
横断歩道	43	36.8
住宅街	24	20.5
カーブ・曲がり角	23	19.7
バス停付近	15	12.8
駅付近	13	11.1
人通り・交通量の少ない場所	11	9.4
学校付近	10	8.5
暗い場所	10	8.5
明るい場所	6	5.1
踏切	3	2.6
その他	6	5.1

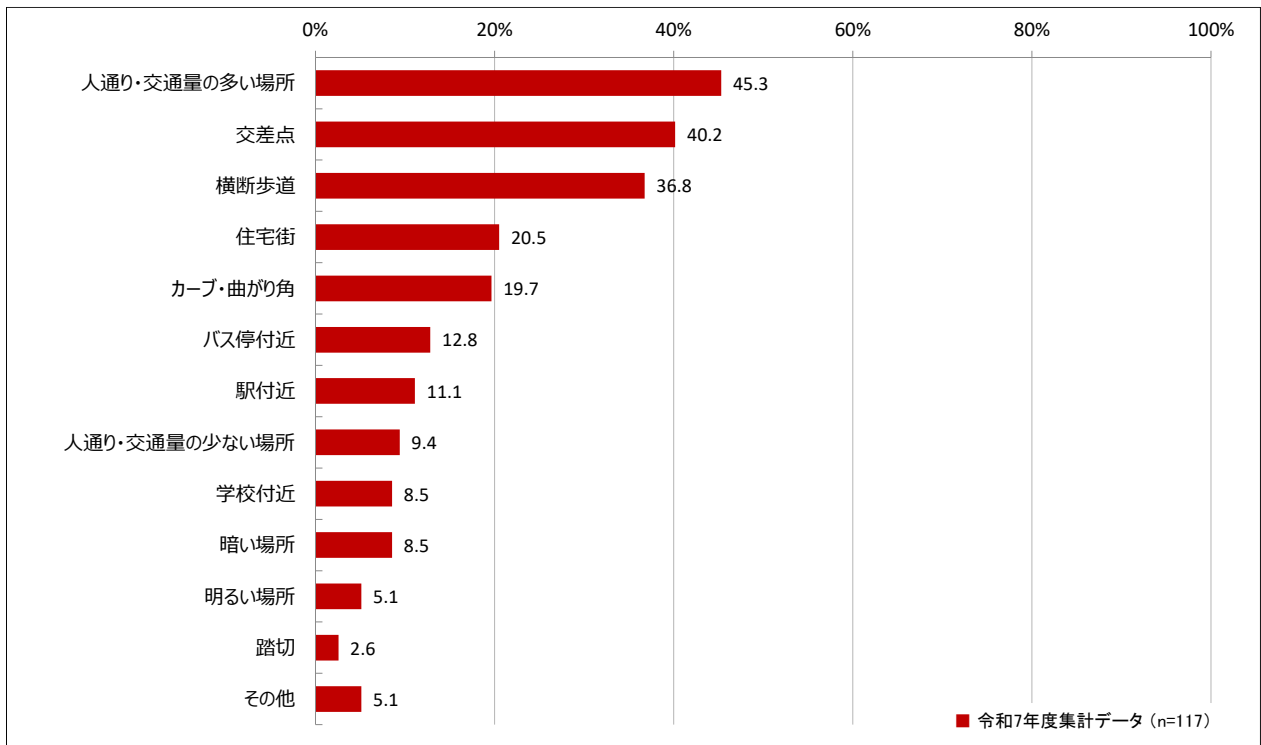
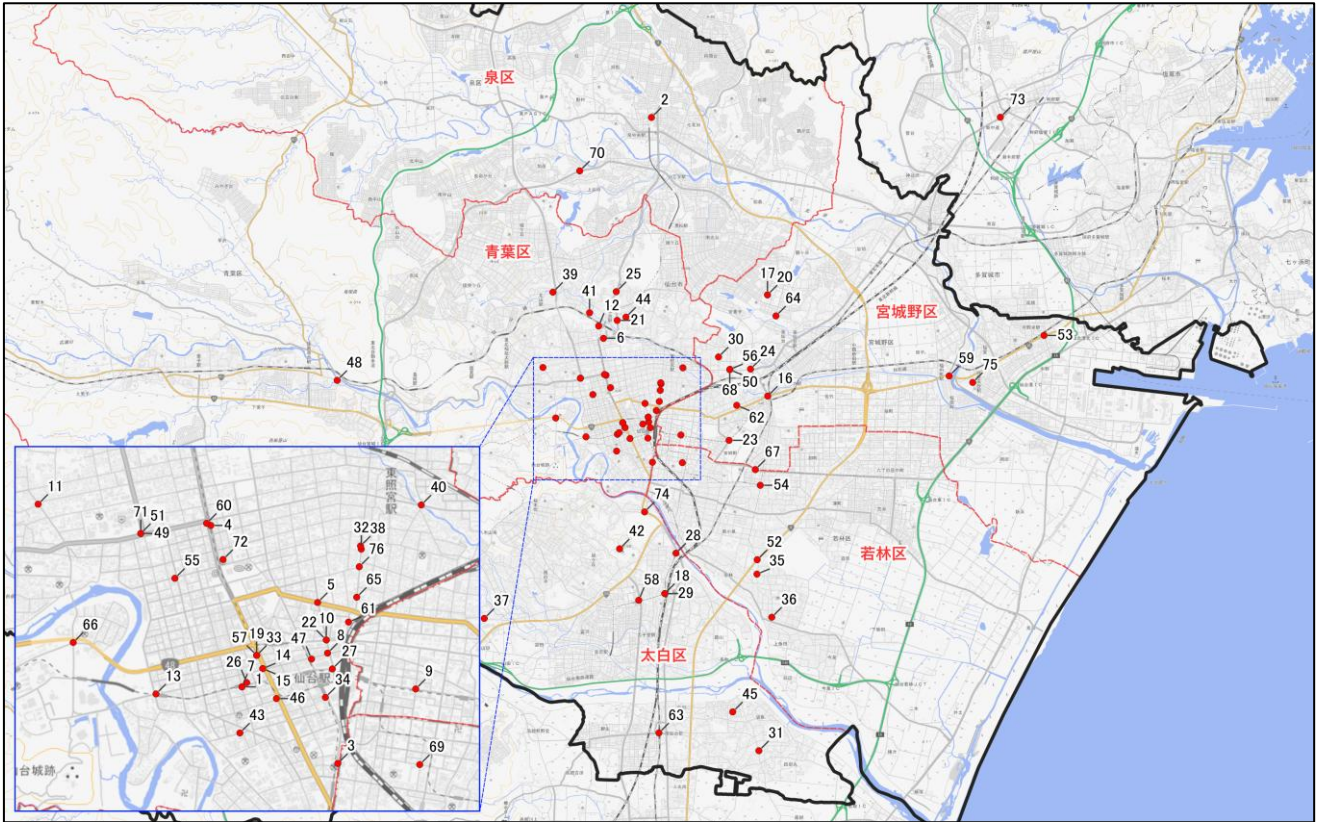


図 4.2.72 1年以内のヒヤリハット場所（歩行中の対自転車）

表 4.2.71 歩行中に自転車に対してヒヤリハットした場所の一覧（一年以内）

No	交差点	横断歩道	人通り・交通量の多い場所	人通り・交通量の少ない場所	住宅街	学校付近	駅付近	踏切	バス停付近	カーブ・曲がり角	明るい場所	暗い場所	その他
1	●		●										
2	●	●										●	
3			●				●						
4			●						●			●	
5	●	●	●										
6									●				
7	●	●	●					●	●			●	
8			●				●			●		●	
9	●					●				●			
10		●	●				●						
11			●										
12	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	
13			●				●						
14		●	●				●				●		
15													●
16				●	●		●		●			●	
17	●	●	●		●								
18	●	●	●				●		●	●		●	
19			●										●
20		●											
21				●									
22	●	●											
23	●	●								●			
24		●											
25	●												
26		●											
27	●												
28		●	●				●						
29	●		●				●			●			
30			●		●				●				
31				●		●							
32			●										
33	●	●	●										
34										●			
35	●			●									
36	●		●		●				●		●		
37									●				
38	●	●	●		●	●							
39			●						●				
40	●	●	●										
41			●							●			
42													●
43		●											
44			●						●				
45										●			
46			●										
47		●	●										
48	●				●								
49			●						●				●
50	●	●	●		●	●			●	●	●		
51	●	●	●										
52	●	●	●										
53		●	●		●		●			●			
54	●	●	●							●			
55		●	●										
56	●	●											
57			●										
58			●								●		
59												●	●
60		●							●				●
61		●											
62						●							
63			●							●			
64	●			●	●					●			
65						●							
66	●		●										
67	●			●									
68				●									
69			●		●								
70									●				
71	●		●										
72	●	●	●		●		●						
73											●		
74		●											
75	●	●	●								●		
76	●	●			●	●							



※歩行中に自転車とヒヤリハットした箇所を特定できた回答のみ図示

国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 4.2.73 歩行中に自転車に対してヒヤリハットした場所

歩行中に自転車に対してヒヤリハットした状況は、「歩行者のそばをすり抜け」が 66.7%で最も多く、次いで「スピードの出しすぎ」が 58.1%、「ながらスマホ」が 31.6%であった。

表 4.2.72 1年以内のヒヤリハット状況（歩行中の対自転車）

危険を感じた時(歩行中の対自転車)	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	117	100.0
歩行者のそばをすり抜け	78	66.7
スピードの出しすぎ	68	58.1
ながらスマホ	37	31.6
飛び出し	36	30.8
急に進路を変える	30	25.6
イヤホン等使用運転	24	20.5
車道の右側走行	22	18.8
信号無視	19	16.2
並列運転	19	16.2
傘さし運転	17	14.5
無灯火	12	10.3
急ブレーキ・蛇行運転	10	8.5
相手の嫌がらせ・煽り運転	5	4.3
その他	4	3.4

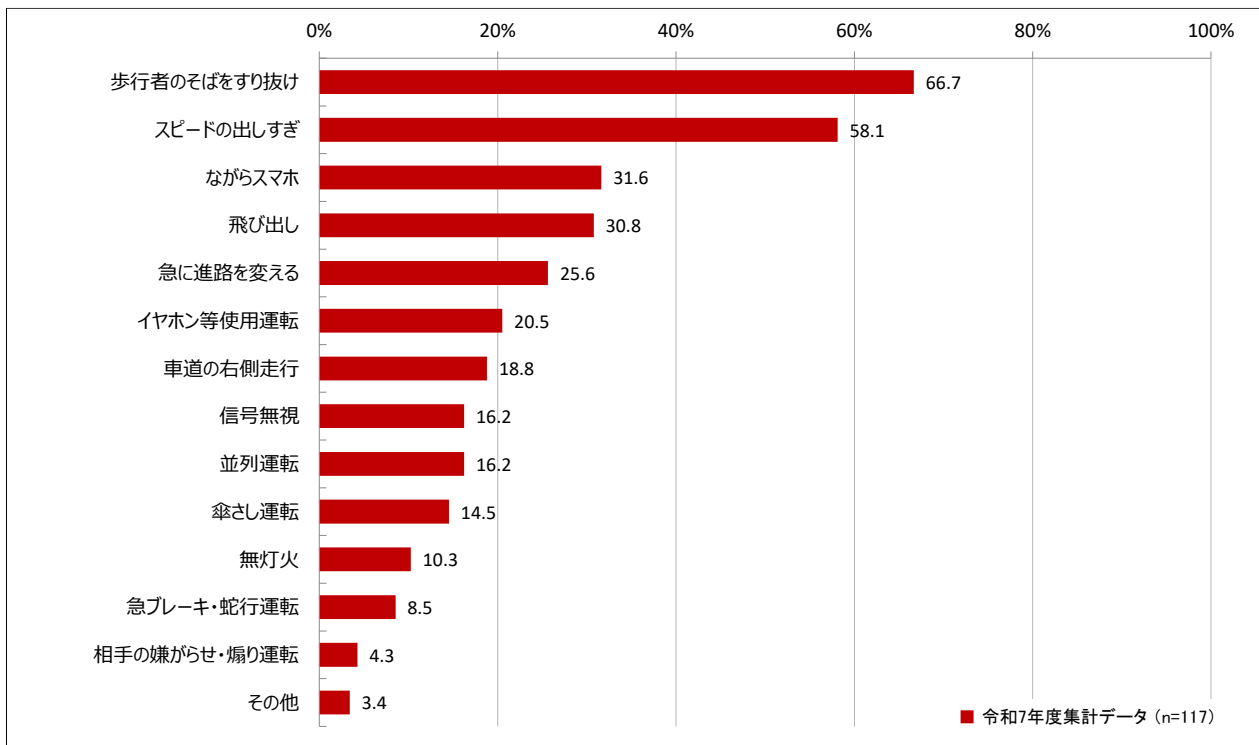


図 4.2.74 1年以内のヒヤリハット状況（歩行中の対自転車）

#### 4.2.26 自転車の危険走行を見かける頻度

自転車の危険走行を「見かける」(「いつも見かける」、「ときどき見かける」、「たまに見かける」の合計)頻度が高いものは、「歩行者のそばをすり抜ける」が88.3%で最も多く、次いで「イヤホン・ヘッドフォンを使用しながら運転」が87.4%、「並列運転」が85.0%であった。

表 4.2.73 自転車の危険走行を見かける頻度（令和7年度）

見かける頻度	全体		見かける						見かけない			
	回答数	%	回答数	%	いつも見かける 回答数 %	ときどき見かける 回答数 %	たまに見かける 回答数 %	回答数	%			
自転車の危険走行	800	100.0	651	81.4	124	15.5	285	35.6	242	30.3	149	18.6
信号無視	800	100.0	598	74.8	110	13.8	235	29.4	253	31.6	202	25.3
交差点での飛び出し	800	100.0	679	84.9	157	19.6	286	35.8	236	29.5	121	15.1
スピードの出し過ぎ	800	100.0	706	88.3	206	25.8	281	35.1	219	27.4	94	11.8
歩行者のそばをすり抜ける	800	100.0	573	71.6	120	15.0	195	24.4	258	32.3	227	28.4
急に進路を変える	800	100.0	649	81.1	179	22.4	230	28.8	240	30.0	151	18.9
車道の右側走行	800	100.0	680	85.0	144	18.0	263	32.9	273	34.1	120	15.0
並列運転	800	100.0	622	77.8	107	13.4	222	27.8	293	36.6	178	22.3
傘さし運転	800	100.0	553	69.1	102	12.8	183	22.9	268	33.5	247	30.9
無灯火	800	100.0	658	82.3	166	20.8	265	33.1	227	28.4	142	17.8
携帯電話・スマートフォンを使用しながら運転	800	100.0	699	87.4	217	27.1	268	33.5	214	26.8	101	12.6

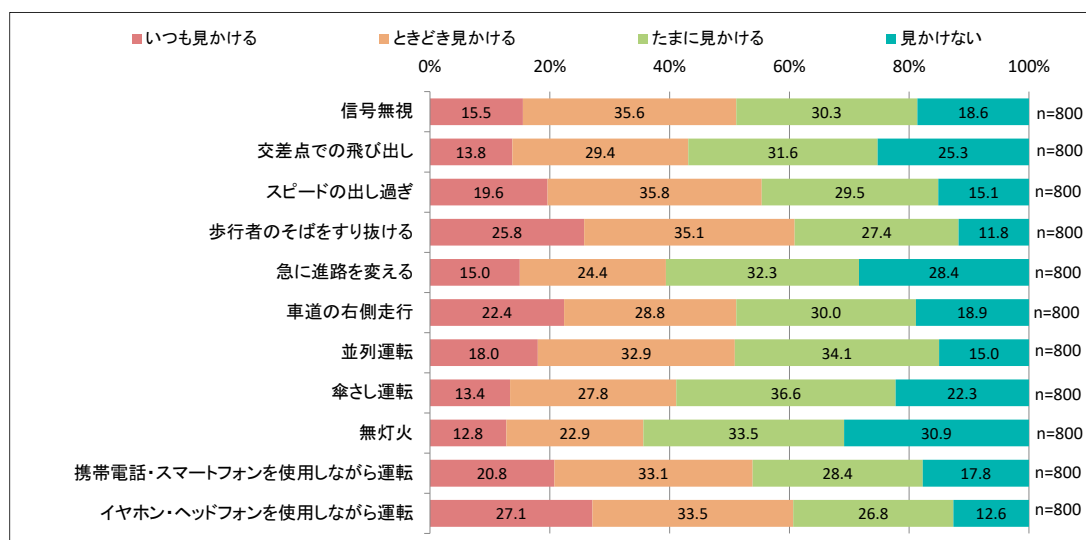


図 4.2.75 自転車の危険走行発見頻度（令和7年度）

表 4.2.74 自転車の危険走行を見かける頻度（令和6年度）

自転車の危険走行	見かける頻度		見かける									見かけない	
	全体				いつも見かける		ときどき見かける		たまに見かける				
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	
信号無視	800	100.0	667	83.4	119	14.9	292	36.5	256	32.0	133	16.6	
交差点での飛び出し	800	100.0	601	75.1	99	12.4	227	28.4	275	34.4	199	24.9	
スピードの出し過ぎ	800	100.0	710	88.8	156	19.5	283	35.4	271	33.9	90	11.3	
歩行者のそばをすり抜ける	800	100.0	739	92.4	206	25.8	292	36.5	241	30.1	61	7.6	
急に進路を変える	800	100.0	597	74.6	105	13.1	222	27.8	270	33.8	203	25.4	
車道の右側走行	800	100.0	661	82.6	169	21.1	241	30.1	251	31.4	139	17.4	
並列運転	800	100.0	689	86.1	137	17.1	277	34.6	275	34.4	111	13.9	
傘さし運転	800	100.0	625	78.1	95	11.9	242	30.3	288	36.0	175	21.9	
無灯火	800	100.0	576	72.0	90	11.3	203	25.4	283	35.4	224	28.0	
携帯電話・スマートフォンを使用しながら運転	800	100.0	662	82.8	162	20.3	249	31.1	251	31.4	138	17.3	
イヤホン・ヘッドフォンを使用しながら運転	800	100.0	707	88.4	225	28.1	268	33.5	214	26.8	93	11.6	

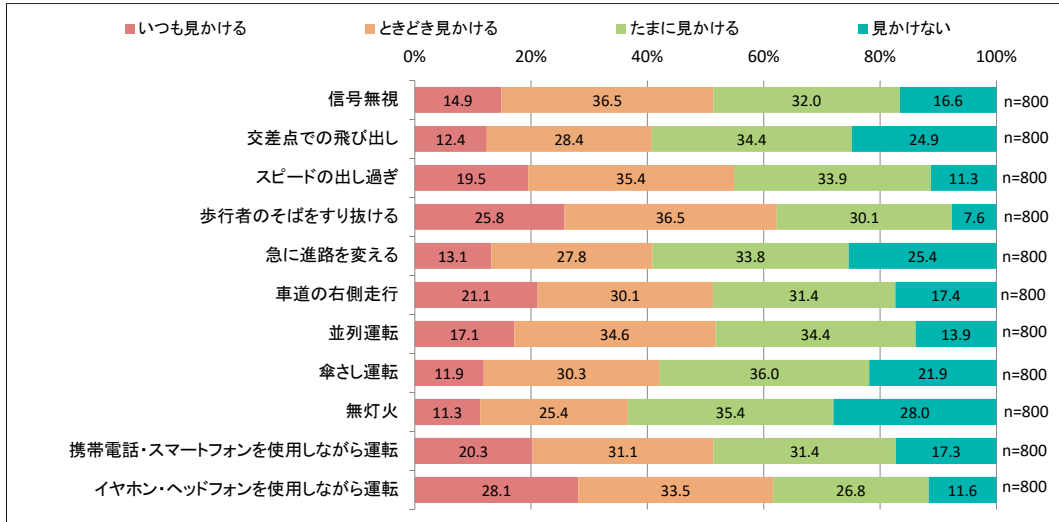


図 4.2.76 自転車の危険走行発見頻度（令和6年度）

表 4.2.75 自転車の危険走行を見かける頻度（令和5年度）

自転車の危険走行	見かける頻度		見かける									見かけない	
	全体				いつも見かける		ときどき見かける		たまに見かける				
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	
信号無視	800	100.0	676	84.5	111	13.9	323	40.4	242	30.2	124	15.5	
交差点での飛び出し	800	100.0	626	78.2	85	10.6	288	36.0	253	31.6	174	21.8	
スピードの出し過ぎ	800	100.0	725	90.6	161	20.1	342	42.7	222	27.8	75	9.4	
歩行者のそばをすり抜ける	800	100.0	742	92.8	221	27.6	310	38.8	211	26.4	58	7.2	
急に進路を変える	800	100.0	622	77.8	101	12.7	252	31.5	269	33.6	178	22.2	
車道の右側走行	800	100.0	643	80.4	147	18.4	250	31.2	246	30.8	157	19.6	
並列運転	800	100.0	682	85.3	125	15.6	295	36.9	262	32.8	118	14.7	
傘さし運転	800	100.0	633	79.1	85	10.6	267	33.4	281	35.1	167	20.9	
無灯火	800	100.0	574	71.8	70	8.8	208	26.0	296	37.0	226	28.2	
携帯電話・スマートフォンを使用しながら運転	800	100.0	645	80.6	118	14.7	269	33.6	258	32.3	155	19.4	
イヤホン・ヘッドフォンを使用しながら運転	800	100.0	698	87.3	171	21.4	306	38.3	221	27.6	102	12.7	

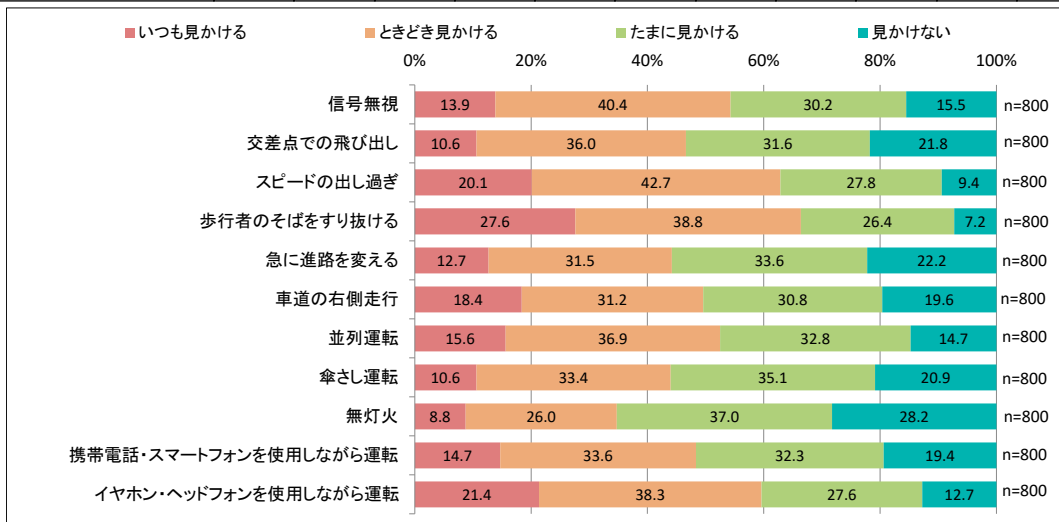


図 4.2.77 自転車の危険走行発見頻度（令和5年度）

#### 4.2.27 サイクリングへの興味・関心の有無

##### (1) サイクリングへの興味・関心の有無

サイクリングへの興味・関心について、「関心がある」（「非常に強い関心がある」、「強い関心がある」、「関心がある」の合計）が 28.3%、「関心はない」（「あまり関心はない」、「全く関心はない」の合計）は 71.8%であり、過年度と同様の傾向がみられた。

令和 6 年度と比較すると、「あまり関心はない」は 3.8 ポイント減少し、「全く関心はない」は 5.0 ポイント増加している。

表 4.2.76 サイクリングへの興味・関心の有無

サイクリングへの興味・関心	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
関心がある	226	28.3	235	29.4	257	32.1
非常に強い関心がある	21	2.6	25	3.1	49	6.1
強い関心がある	37	4.6	30	3.8	43	5.4
関心がある	168	21.0	180	22.5	165	20.6
関心はない	574	71.8	565	70.6	543	67.9
あまり関心はない	314	39.3	345	43.1	255	31.9
全く関心はない	260	32.5	220	27.5	288	36.0

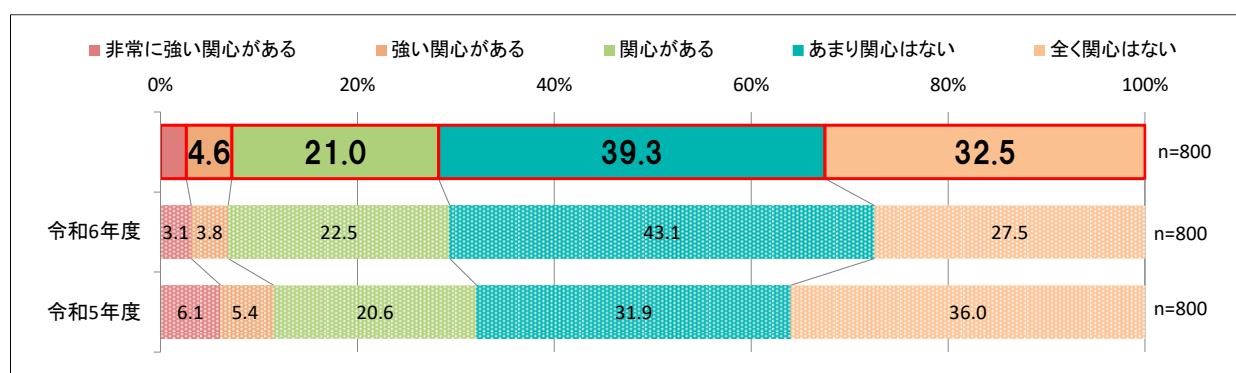


図 4.2.78 サイクリングへの興味・関心の有無

(2) 年代別・サイクリングへの興味・関心の有無

サイクリングへの興味・関心を年代別にみると、「非常に強い関心がある」は「20代」と「30代」で23.8%、「強い関心がある」は「30代」が32.4%と多くなっている。

表 4.2.77 年代別・サイクリングへの興味・関心の有無

年代 サイクリングへの 興味の有無	全体		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	13	1.6	108	13.5	145	18.1	155	19.4	130	16.3	156	19.5	78	9.8	15	1.9
関心がある	226	100.0	6	2.7	31	13.7	46	20.4	43	19.0	38	16.8	37	16.4	20	8.8	5	2.2
非常に強い関心がある	21	100.0	1	4.8	5	23.8	5	23.8	4	19.0	1	4.8	4	19.0	0	0.0	1	4.8
強い関心がある	37	100.0	2	5.4	6	16.2	12	32.4	3	8.1	6	16.2	5	13.5	3	8.1	0	0.0
関心がある	168	100.0	3	1.8	20	11.9	29	17.3	36	21.4	31	18.5	28	16.7	17	10.1	4	2.4
関心はない	574	100.0	7	1.2	77	13.4	99	17.2	112	19.5	92	16.0	119	20.7	58	10.1	10	1.7
あまり関心はない	314	100.0	4	1.3	32	10.2	48	15.3	58	18.5	48	15.3	80	25.5	38	12.1	6	1.9
全く関心はない	260	100.0	3	1.2	45	17.3	51	19.6	54	20.8	44	16.9	39	15.0	20	7.7	4	1.5

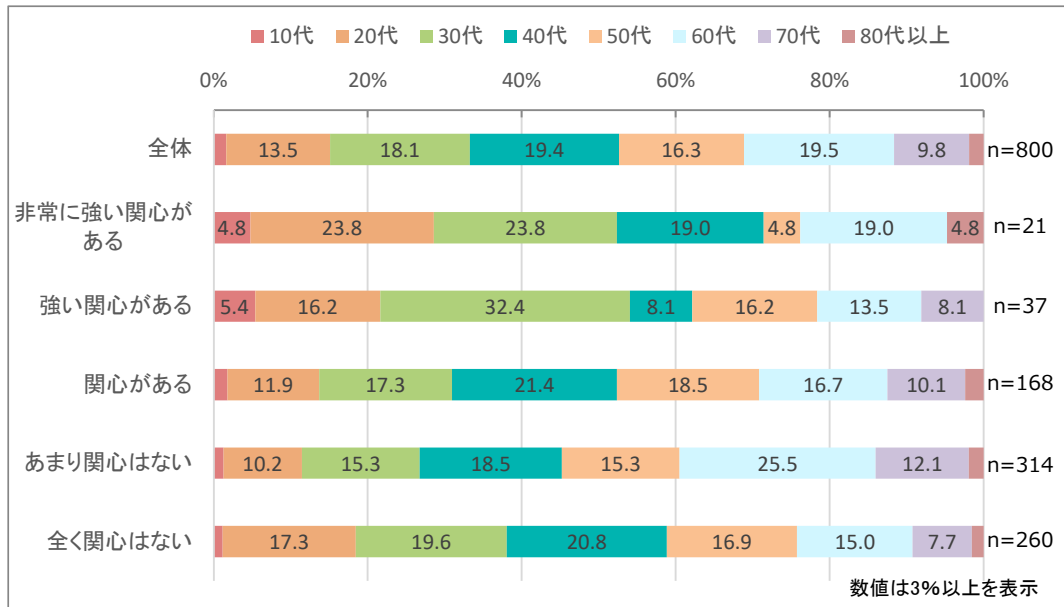


図 4.2.79 年代別・サイクリングへの興味・関心の有無

(3) サイクリングへの興味・関心の有無と自転車保険等の加入状況

サイクリングへの興味・関心と自転車保険等の加入状況を見ると、サイクリングに「非常に強い関心がある」、「強い関心がある」と回答した7割以上が保険に「加入している」と回答しており、サイクリングへの興味・関心が高いほど保険の加入率も高くなる傾向にある。

表 4.2.78 サイクリングへの興味・関心の有無と自転車保険等の加入状況

サイクリングへの興味・関心の有無	全体		加入している		加入していない		わからない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	486	100.0	293	60.3	133	27.4	60	12.3
関心がある	184	100.0	130	70.7	33	17.9	21	11.4
非常に強い関心がある	21	100.0	17	81.0	2	9.5	2	9.5
強い関心がある	32	100.0	24	75.0	7	21.9	1	3.1
関心がある	131	100.0	89	67.9	24	18.3	18	13.7
関心はない	302	100.0	163	54.0	100	33.1	39	12.9
あまり関心はない	194	100.0	114	58.8	60	30.9	20	10.3
全く関心はない	108	100.0	49	45.4	40	37.0	19	17.6

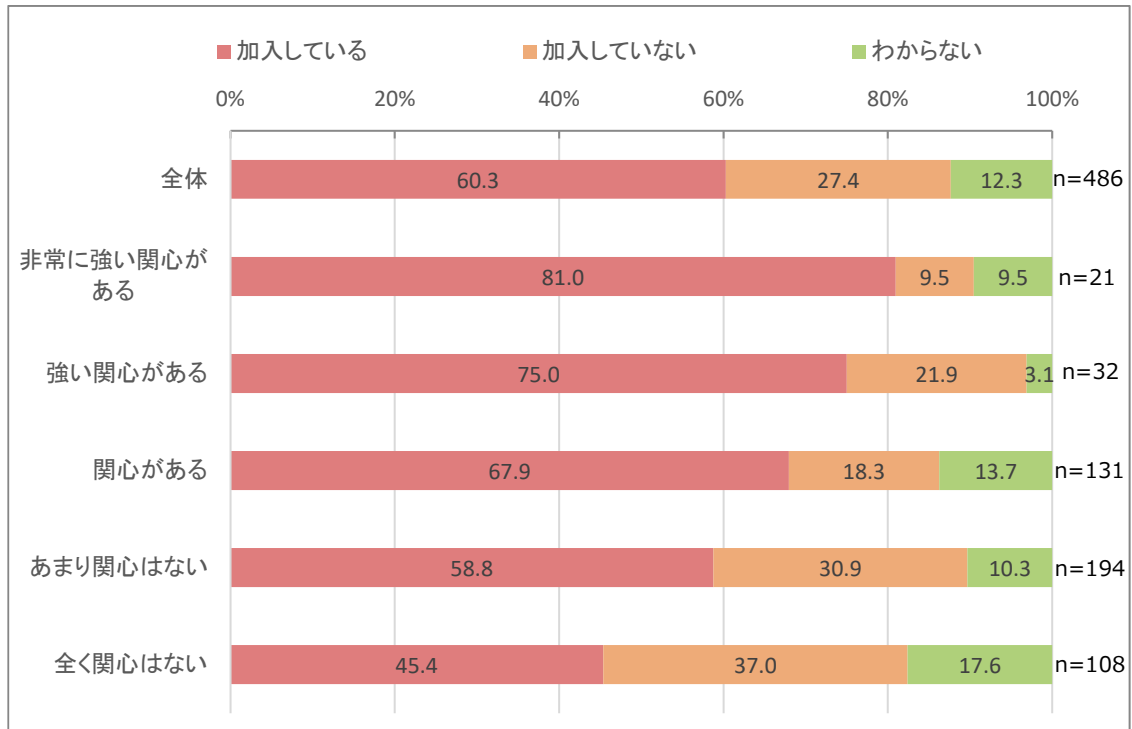


図 4.2.80 サイクリングへの興味・関心の有無と自転車保険等の加入状況

#### (4) サイクリングへの興味・関心の有無とヘルメット着用状況

サイクリングへの興味・関心とヘルメット着用状況をみると、ヘルメットを「いつも着用している」と回答したうち「非常に強い関心がある」は35.0%、「強い関心がある」は17.2%となっており、サイクリングへの関心度が高いほどヘルメットの着用率が高くなる傾向となっている。

表 4.2.79 サイクリングへの興味・関心の有無とヘルメットの着用有無

サイクリングへの興味・関心の有無	ヘルメットの着用有無		全体		いつも着用している		ときどき着用している		着用していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	45	13.2	51	15.0	245	71.8		
関心がある	158	100.0	23	14.6	36	22.8	99	62.7		
非常に強い関心がある	20	100.0	7	35.0	4	20.0	9	45.0		
強い関心がある	29	100.0	5	17.2	8	27.6	16	55.2		
関心がある	109	100.0	11	10.1	24	22.0	74	67.9		
関心はない	183	100.0	22	12.0	15	8.2	146	79.8		
あまり関心はない	130	100.0	17	13.1	14	10.8	99	76.2		
全く関心はない	53	100.0	5	9.4	1	1.9	47	88.7		

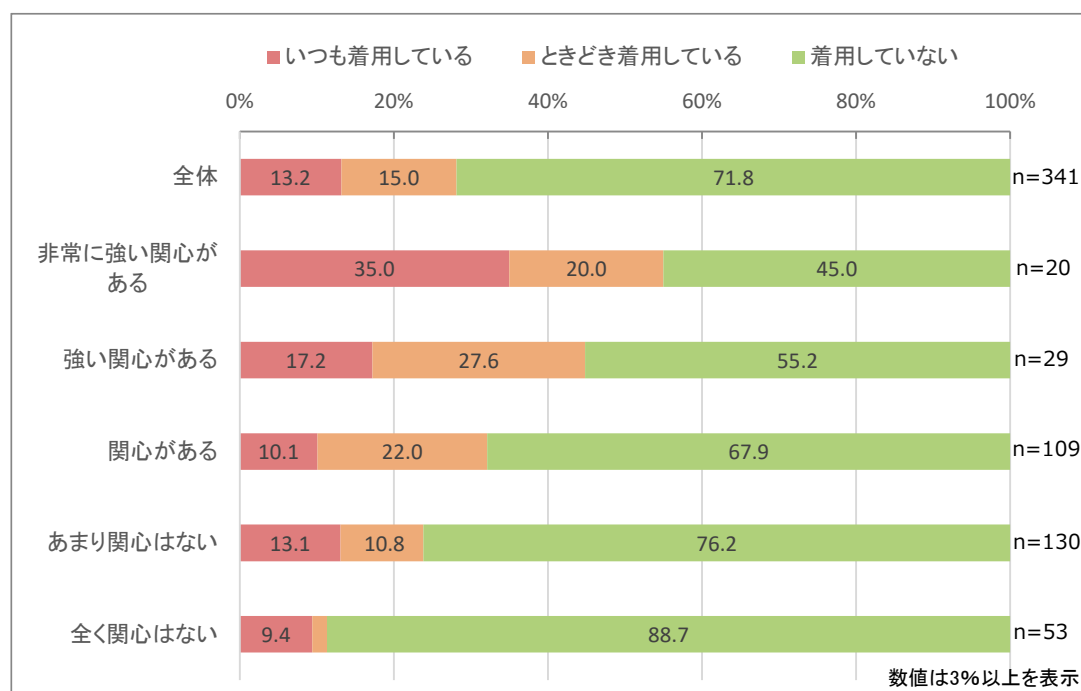


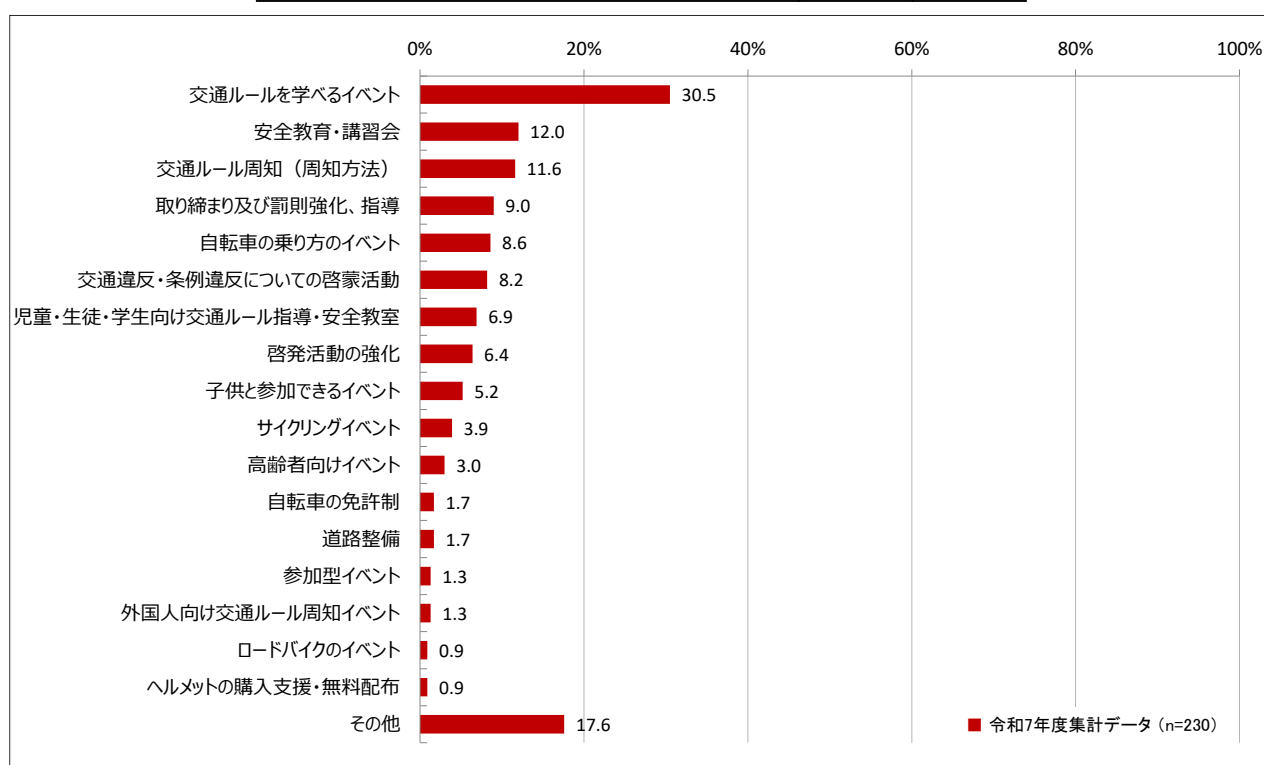
図 4.2.81 サイクリングへの興味・関心の有無とヘルメットの着用有無

#### 4.2.28 実施してほしいイベント・取り組み（複数回答）

実施してほしいイベント・取り組みは、「交通ルールを学べるイベント」が 30.5%で最も高く、次いで「安全教育・講習会」が 12.0%、「交通ルールの周知(周知方法)」が 11.6%であった。

表 4.2.80 実施してほしいイベント・取り組み

実施してほしいイベント	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	230	100.0
交通ルールを学べるイベント	71	30.5
安全教育・講習会	28	12.0
交通ルール周知(周知方法)	27	11.6
取り締まり及び罰則強化、指導	21	9.0
自転車の乗り方のイベント	20	8.6
交通違反・条例違反についての啓蒙活動	19	8.2
児童・生徒・学生向け交通ルール指導・安全教室	16	6.9
啓発活動の強化	15	6.4
子供と参加できるイベント	12	5.2
サイクリングイベント	9	3.9
高齢者向けイベント	7	3.0
自転車の免許制	4	1.7
道路整備	4	1.7
参加型イベント	3	1.3
外国人向け交通ルール周知イベント	3	1.3
ロードバイクのイベント	2	0.9
ヘルメットの購入支援・無料配布	2	0.9
その他	41	17.6



※無回答及び「特になし」、「分からない」といった回答を除き集計

図 4.2.82 実施してほしいイベント・取り組み

#### 4.2.29 仙台市の自転車に関する取り組みの認知度

「ダテバイクのような、みんなが使える自転車を広めたり、自転車の楽しさを感じられる環境づくり」の「詳しく知っている」割合が18.4%と最も多く、認知度が最も高い取り組みである。

一方、「自転車の乗り方やルールを楽しく学べる啓発イベント等の開催」は「知らない」の割合が69.8%と、最も認知度が低い取り組みとなっている。

表 4.2.81 仙台市の自転車に関する取り組みの認知度

取り組みへの認知度	全体		詳しく知っている		少し知っている		知らない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
自転車利用者のルール遵守・マナー向上のための啓発や自転車安全利用教室の開催	800	100.0	36	4.5	292	36.5	472	59.0
自転車専用道・自転車専用通行帯や、矢羽根・ピクトグラム等の設置による自転車走行空間の整備	800	100.0	123	15.4	346	43.3	331	41.4
需要に応じた駐輪場の確保、放置自転車の対策	800	100.0	104	13.0	368	46.0	328	41.0
ダテバイクのような、みんなが使える自転車を広めたり、自転車の楽しさを感じられる環境づくり	800	100.0	147	18.4	365	45.6	288	36.0
自転車の乗り方やルールを楽しく学べる啓発イベント等の開催	800	100.0	24	3.0	218	27.3	558	69.8

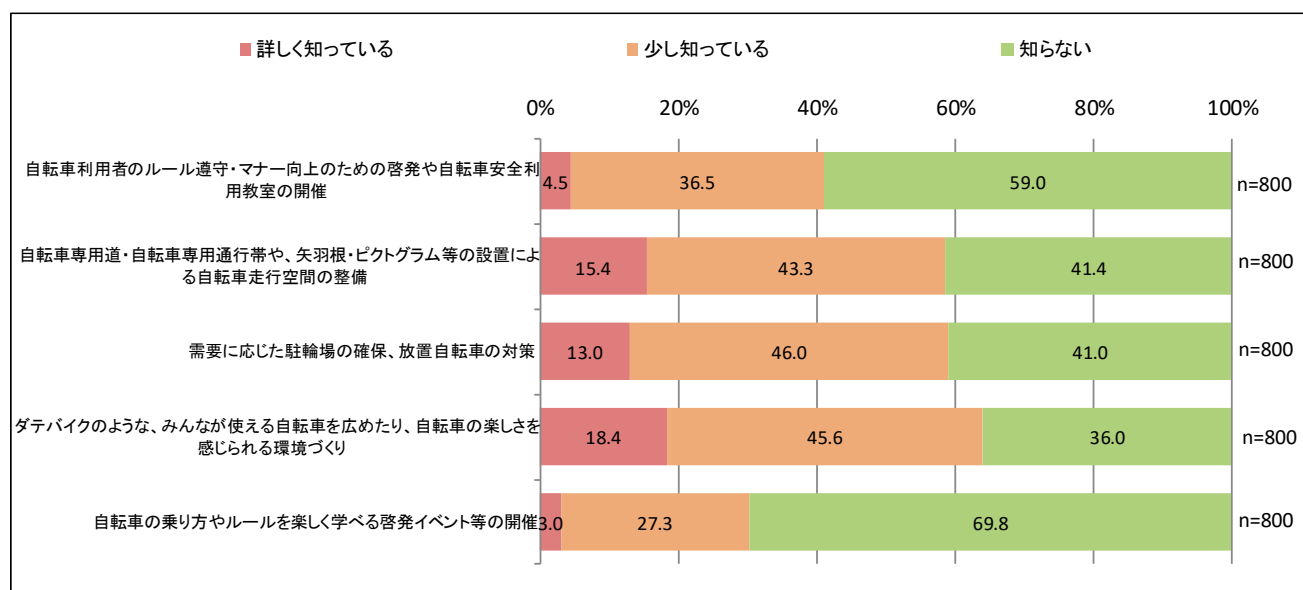


図 4.2.83 仙台市の自転車に関する取り組みの認知度

#### 4. 2. 30 仙台市の自転車に関する取り組みの満足度

仙台市の自転車に関する取り組みへの満足度は、「とても満足している」が1.8%、「まあ満足している」が23.3%であった。

各回答割合に多少の増減がみられるものの、令和6年度から大きな傾向の変化はない。

表 4. 2. 82 仙台市の自転車に関する取り組みの満足度

取り組みへの満足度	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
とても満足している	14	1.8	8	1.0	35	4.4
まあ満足している	186	23.3	186	23.3	264	33.0
どちらとも言えない	420	52.5	431	53.9	354	44.2
あまり満足していない	114	14.3	115	14.4	63	7.9
全く満足していない	66	8.3	60	7.5	84	10.5

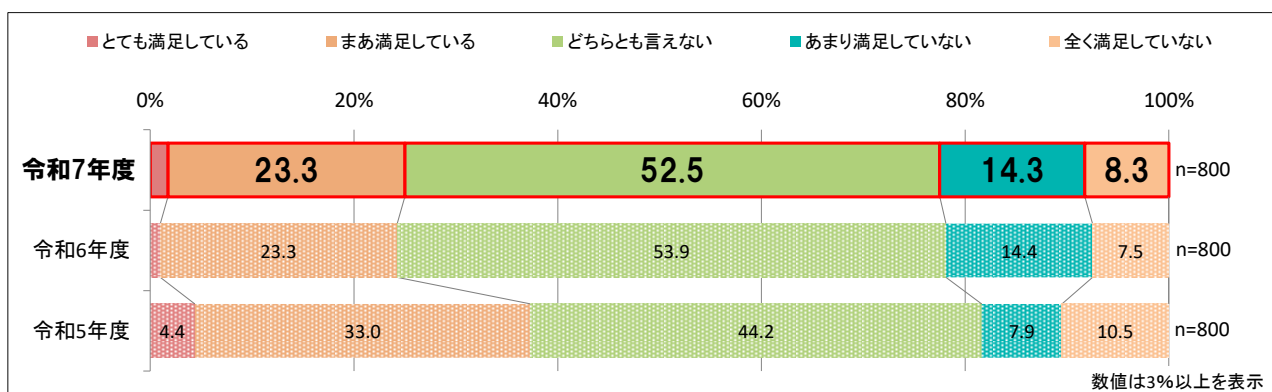


図 4. 2. 84 仙台市の自転車に関する取り組みの満足度

#### 4.2.31 仙台市の自転車に関する取り組みの重要度

仙台市の自転車に関する取り組みで重要度が高いと感じる取り組み(「非常に重要だと思う」、「まあ重要だと思う」の合計)は、「車道に自転車が安全に走れる車線を作る」が 78.1%で最も高く、次いで「自転車に関する交通安全教育を充実させる」が 74.5%、「違法駐輪している自転車の撤去を強化する」が 70.5%であった。

一方、重要度が低いと感じる取り組み(「あまり重要だと思わない」「重要だと思わない」の合計)は、「(法律を改正し)自転車に関する規制を緩和」であり、34.0%であった。

表 4.2.83 仙台市の自転車に関する取り組みの重要度

取り組みの重要度	全体		非常に重要だと思う		まあ重要だと思う		どちらともいえない		あまり重要だと思わない		重要だと思わない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
車道に自転車が安全に走れる車線を作る	800	100.0	337	42.1	288	36.0	123	15.4	26	3.3	26	3.3
自転車が走れる歩道を増やす	800	100.0	273	34.1	274	34.3	196	24.5	30	3.8	27	3.4
歩道を自転車が走れないようにする	800	100.0	134	16.8	192	24.0	308	38.5	99	12.4	67	8.4
サイクリングロードなど自転車のための道路整備	800	100.0	166	20.8	266	33.3	255	31.9	72	9.0	41	5.1
ダテバイクのようなみんなので使える自転車を増やす	800	100.0	100	12.5	209	26.1	300	37.5	124	15.5	67	8.4
テレビCMや新聞広告などで自転車のルールを周知	800	100.0	225	28.1	329	41.1	186	23.3	32	4.0	28	3.5
街頭看板・のぼり等で自転車の走り方を周知	800	100.0	156	19.5	311	38.9	241	30.1	58	7.3	34	4.3
自転車に関する交通安全教育を充実させる	800	100.0	276	34.5	320	40.0	156	19.5	24	3.0	24	3.0
駅や商業施設の近くで使える駐輪場を増やす	800	100.0	219	27.4	343	42.9	185	23.1	29	3.6	24	3.0
違法駐輪している自転車の撤去を強化する	800	100.0	260	32.5	304	38.0	181	22.6	27	3.4	28	3.5
警察が、違反した自転車を取り締まる	800	100.0	285	35.6	264	33.0	190	23.8	29	3.6	32	4.0
(法律を改正し)自転車に関する規制を緩和	800	100.0	101	12.6	123	15.4	304	38.0	141	17.6	131	16.4
(法律を改正し)自転車に関する規制を厳しくする	800	100.0	201	25.1	233	29.1	294	36.8	37	4.6	35	4.4

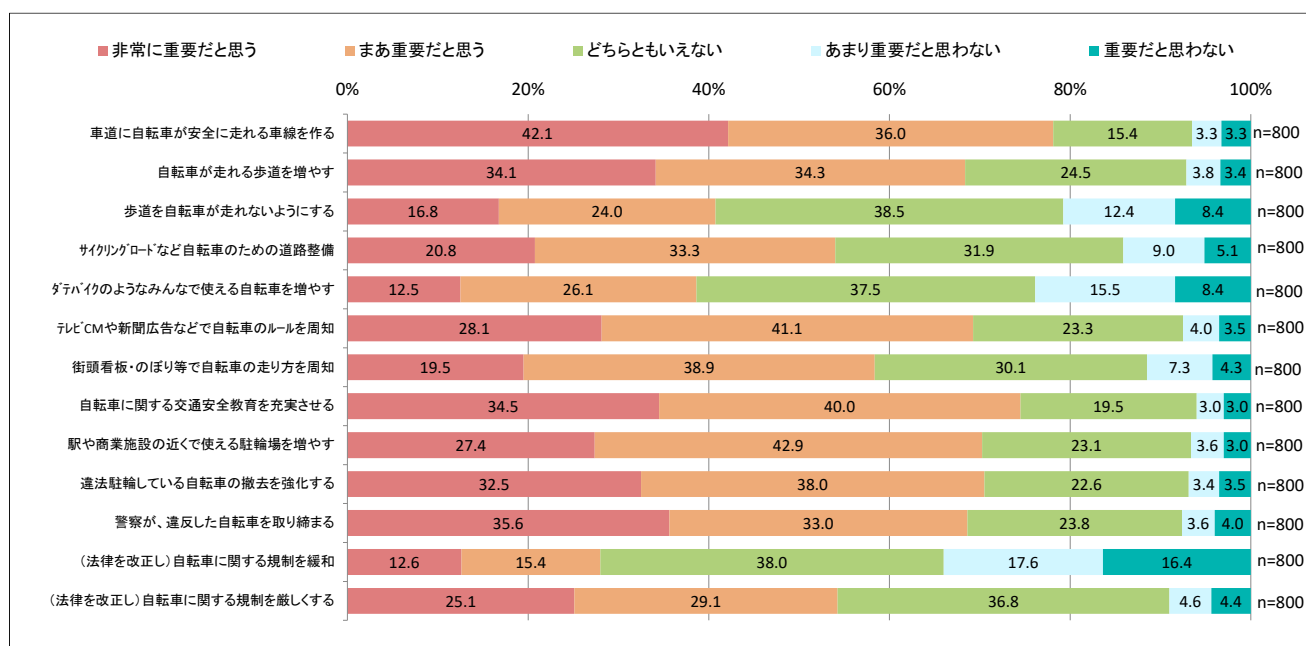


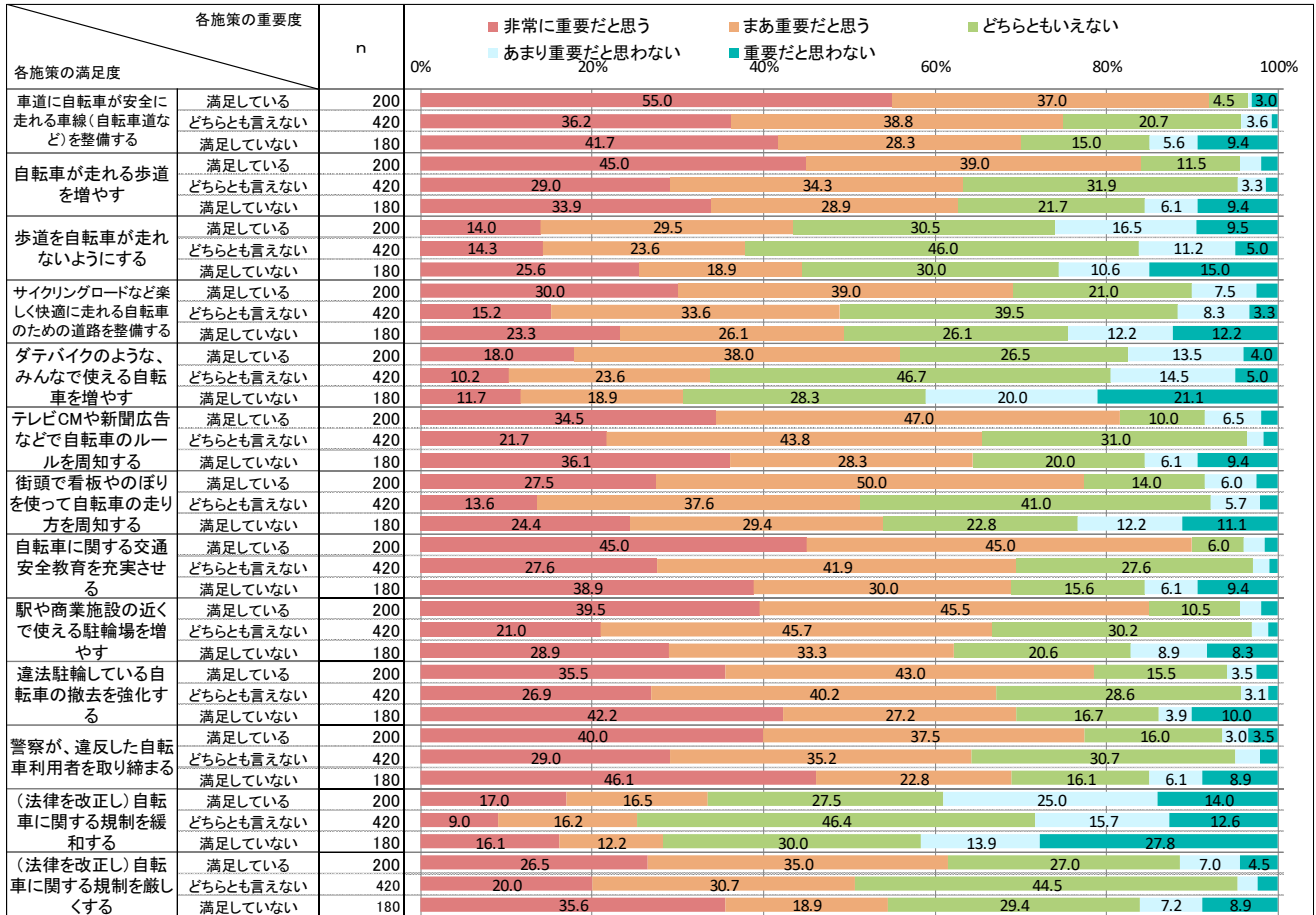
図 4.2.85 仙台市の自転車に関する取り組みの重要度

仙台市の自転車に関する取り組みの満足度(3段階)と重要度別でみると、「満足している」と回答しているうち重要度が高いと感じる取り組み(「非常に重要だと思う」、「まあ重要だと思う」の合計)は、「車道に自転車が安全に走れる車線(自転車道など)を整備する」が92.0%で最も高く、次いで「自転車に関する交通安全教育を充実させる」が90.0%、「駅や商業施設の近くで使える駐輪場を増やす」が85.0%であった。

一方、取り組みの満足度で「満足していない」、かつ重要度を「非常に重要だと思う」回答した施策の中で、「満足している」かつ「非常に重要だと思う」の回答を上回った施策は、「歩道を自転車が走れないようにする」、「テレビCMや新聞広告などで自転車のルールを周知する」、「違法駐輪している自転車の撤去を強化する」、「警察が、違反した自転車利用者を取り締まる」、「(法律を改正し)自転車に関する規制を厳しくする」がそれぞれ3~4割程度であった。

表 4.2.84 仙台市の自転車に関する取り組みの満足度(3段階)と重要度

各施策	重要度 満足度	全体		非常に重要だと思う		まあ重要だと思う		どちらともいえない		あまり重要だと思わない		重要だと思わない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		車道に自転車が安全に走れる車線(自転車道など)を整備する	満足している	200	100.0	110	55.0	74	37.0	9	4.5	1	0.5
	どちらとも言えない	420	100.0	152	36.2	163	38.8	87	20.7	15	3.6	3	0.7
	満足していない	180	100.0	75	41.7	51	28.3	27	15.0	10	5.6	17	9.4
自転車が走れる歩道を増やす	満足している	200	100.0	90	45.0	78	39.0	23	11.5	5	2.5	4	2.0
	どちらとも言えない	420	100.0	122	29.0	144	34.3	134	31.9	14	3.3	6	1.4
	満足していない	180	100.0	61	33.9	52	28.9	39	21.7	11	6.1	17	9.4
歩道を自転車が走れないようにする	満足している	200	100.0	28	14.0	59	29.5	61	30.5	33	16.5	19	9.5
	どちらとも言えない	420	100.0	60	14.3	99	23.6	193	46.0	47	11.2	21	5.0
	満足していない	180	100.0	46	25.6	34	18.9	54	30.0	19	10.6	27	15.0
サイクリングロードなど楽しく快適に走れる自転車のための道路を整備する	満足している	200	100.0	60	30.0	78	39.0	42	21.0	15	7.5	5	2.5
	どちらとも言えない	420	100.0	64	15.2	141	33.6	166	39.5	35	8.3	14	3.3
	満足していない	180	100.0	42	23.3	47	26.1	47	26.1	22	12.2	22	12.2
ダテバイクのような、みんなで使える自転車を増やす	満足している	200	100.0	36	18.0	76	38.0	53	26.5	27	13.5	8	4.0
	どちらとも言えない	420	100.0	43	10.2	99	23.6	196	46.7	61	14.5	21	5.0
	満足していない	180	100.0	21	11.7	34	18.9	51	28.3	36	20.0	38	21.1
テレビCMや新聞広告などで自転車のルールを周知する	満足している	200	100.0	69	34.5	94	47.0	20	10.0	13	6.5	4	2.0
	どちらとも言えない	420	100.0	91	21.7	184	43.8	130	31.0	8	1.9	7	1.7
	満足していない	180	100.0	65	36.1	51	28.3	36	20.0	11	6.1	17	9.4
街頭で看板やのぼりを使って自転車の走り方を周知する	満足している	200	100.0	55	27.5	100	50.0	28	14.0	12	6.0	5	2.5
	どちらとも言えない	420	100.0	57	13.6	158	37.6	172	41.0	24	5.7	9	2.1
	満足していない	180	100.0	44	24.4	53	29.4	41	22.8	22	12.2	20	11.1
自転車に関する交通安全教育を充実させる	満足している	200	100.0	90	45.0	90	45.0	12	6.0	5	2.5	3	1.5
	どちらとも言えない	420	100.0	116	27.6	176	41.9	116	27.6	8	1.9	4	1.0
	満足していない	180	100.0	70	38.9	54	30.0	28	15.6	11	6.1	17	9.4
駅や商業施設の近くで使える駐輪場を増やす	満足している	200	100.0	79	39.5	91	45.5	21	10.5	5	2.5	4	2.0
	どちらとも言えない	420	100.0	88	21.0	192	45.7	127	30.2	8	1.9	5	1.2
	満足していない	180	100.0	52	28.9	60	33.3	37	20.6	16	8.9	15	8.3
違法駐輪している自転車の撤去を強化する	満足している	200	100.0	71	35.5	86	43.0	31	15.5	7	3.5	5	2.5
	どちらとも言えない	420	100.0	113	26.9	169	40.2	120	28.6	13	3.1	5	1.2
	満足していない	180	100.0	76	42.2	49	27.2	30	16.7	7	3.9	18	10.0
警察が、違反した自転車利用者を取り締まる	満足している	200	100.0	80	40.0	75	37.5	32	16.0	6	3.0	7	3.5
	どちらとも言えない	420	100.0	122	29.0	148	35.2	129	30.7	12	2.9	9	2.1
	満足していない	180	100.0	83	46.1	41	22.8	29	16.1	11	6.1	16	8.9
(法律を改正し)自転車に関する規制を緩和する	満足している	200	100.0	34	17.0	33	16.5	55	27.5	50	25.0	28	14.0
	どちらとも言えない	420	100.0	38	9.0	68	16.2	195	46.4	66	15.7	53	12.6
	満足していない	180	100.0	29	16.1	22	12.2	54	30.0	25	13.9	50	27.8
(法律を改正し)自転車に関する規制を厳しくする	満足している	200	100.0	53	26.5	70	35.0	54	27.0	14	7.0	9	4.5
	どちらとも言えない	420	100.0	84	20.0	129	30.7	187	44.5	10	2.4	10	2.4
	満足していない	180	100.0	64	35.6	34	18.9	53	29.4	13	7.2	16	8.9



数値は3%以上を表示

図 4.2.86 仙台市の自転車に関する取り組みの満足度(3段階)と重要度

#### 4.2.32 自転車通行環境の満足度

仙台市の自転車通行環境の満足度(「とても満足している」、「だいたい満足している」の合計)は20.3%、「どちらとも言えない」は46.3%、満足していない(「あまり満足していない」、「全く満足していない」の合計)は33.5%であった。

表 4.2.85 自転車通行環境の満足度

自転車通行環境の満足度	令和7年度	
	回答数	%
全体	800	100.0
とても満足している	15	1.9
まあ満足している	147	18.4
どちらとも言えない	370	46.3
あまり満足していない	184	23.0
全く満足していない	84	10.5

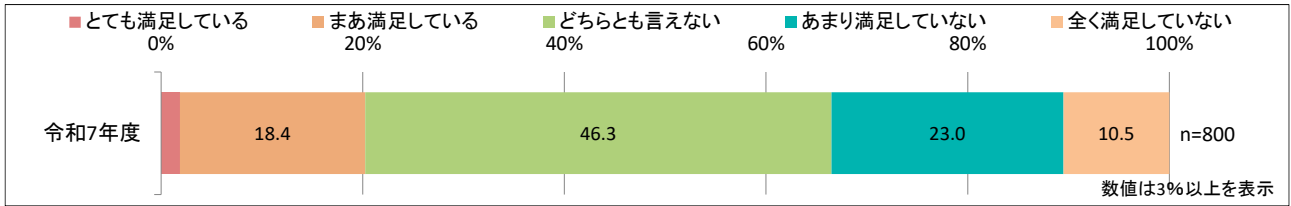


図 4.2.87 自転車通行環境の満足度

自転車の利用頻度別にみると、利用頻度が多いと「とても満足している」、「まあ満足している」と回答する割合が多い傾向となっている。

表 4.2.86 自転車利用頻度と自転車通行環境の満足度

自転車利用頻度	通行環境の満足度		とても満足している		まあ満足している		どちらとも言えない		あまり満足していない		全く満足していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	15	1.9	147	18.4	370	46.3	184	23.0	84	10.5
ほとんど毎日	88	100.0	9	10.2	23	26.1	28	31.8	22	25.0	6	6.8
週2～3回程度	59	100.0	0	0.0	20	33.9	23	39.0	11	18.6	5	8.5
週1回程度	48	100.0	1	2.1	11	22.9	20	41.7	11	22.9	5	10.4
月に1～2回程度	55	100.0	1	1.8	12	21.8	27	49.1	10	18.2	5	9.1
年に数回	91	100.0	1	1.1	17	18.7	45	49.5	20	22.0	8	8.8
全く利用しない	459	100.0	3	0.7	64	13.9	227	49.5	110	24.0	55	12.0

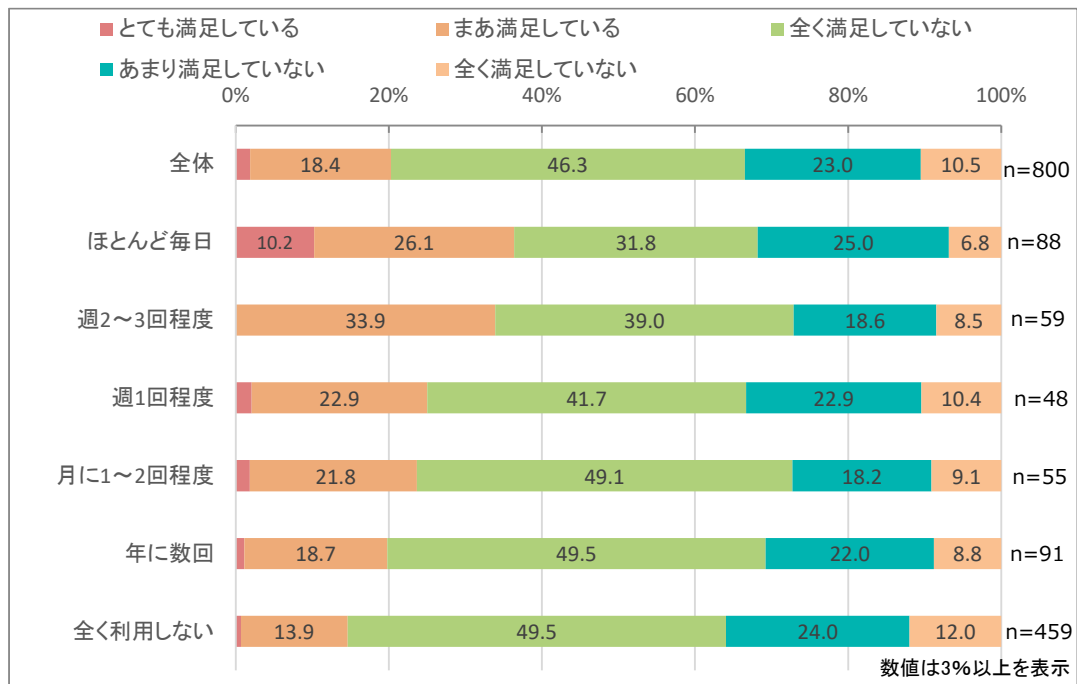


図 4.2.88 自転車利用頻度と自転車通行環境の満足度

#### 4.2.33 自転車通行環境で改善してほしいこと

仙台市の通行環境で改善してほしいことは、「自転車道・自転車専用通行帯や矢羽根、ピクトグラム等の設置による自転車通行空間の整備範囲を拡大してほしい」が41.9%で最も多く、次いで「特になし」が40.6%、「矢羽根、ピクトグラム等が消えかかっているところがあるので補修してほしい」が12.4%であった。

通行環境の満足度でみると、「とても満足している」と「どちらとも言えない」では「特になし」、「まあ満足している」、「あまり満足していない」、「全く満足していない」では「自転車道・自転車専用通行帯や矢羽根、ピクトグラム等の設置による自転車通行空間の整備範囲を拡大してほしい」が最も高かった。

表 4.2.87 自転車通行環境で改善してほしいこと

通行環境で改善してほしいこと	令和7年度	
	回答数	%
全体	800	100.0
自転車道・自転車専用通行帯や矢羽根、ピクトグラム等の設置による自転車通行空間の整備範囲を拡大してほしい	335	41.9
矢羽根、ピクトグラム等が消えかかっているところがあるので補修してほしい	99	12.4
その他	41	5.1
特になし	325	40.6

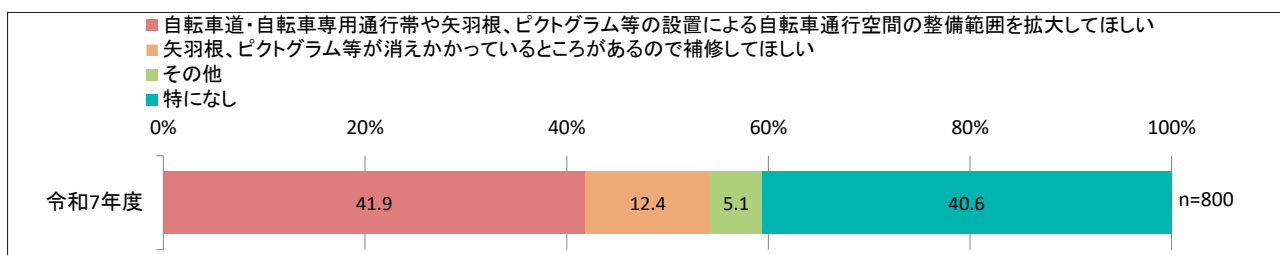


図 4.2.89 自転車通行環境で改善してほしいこと

表 4.2.88 自転車通行環境の満足度と改善してほしいこと

通行環境の満足度 \ 通行環境で改善してほしいこと	全体		自転車道・自転車専用通行帯や矢羽根、ピクトグラム等の設置による自転車通行空間の整備範囲を拡大してほしい		矢羽根、ピクトグラム等が消えかかっているところがあるので補修してほしい		その他		特になし	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	335	41.9	99	12.4	41	5.1	325	40.6
とても満足している	15	100.0	5	33.3	3	20.0	0	0.0	7	46.7
まあ満足している	147	100.0	67	45.6	28	19.0	0	0.0	52	35.4
どちらとも言えない	370	100.0	123	33.2	48	13.0	9	2.4	190	51.4
あまり満足していない	184	100.0	103	56.0	16	8.7	18	9.8	47	25.5
全く満足していない	84	100.0	37	44.0	4	4.8	14	16.7	29	34.5

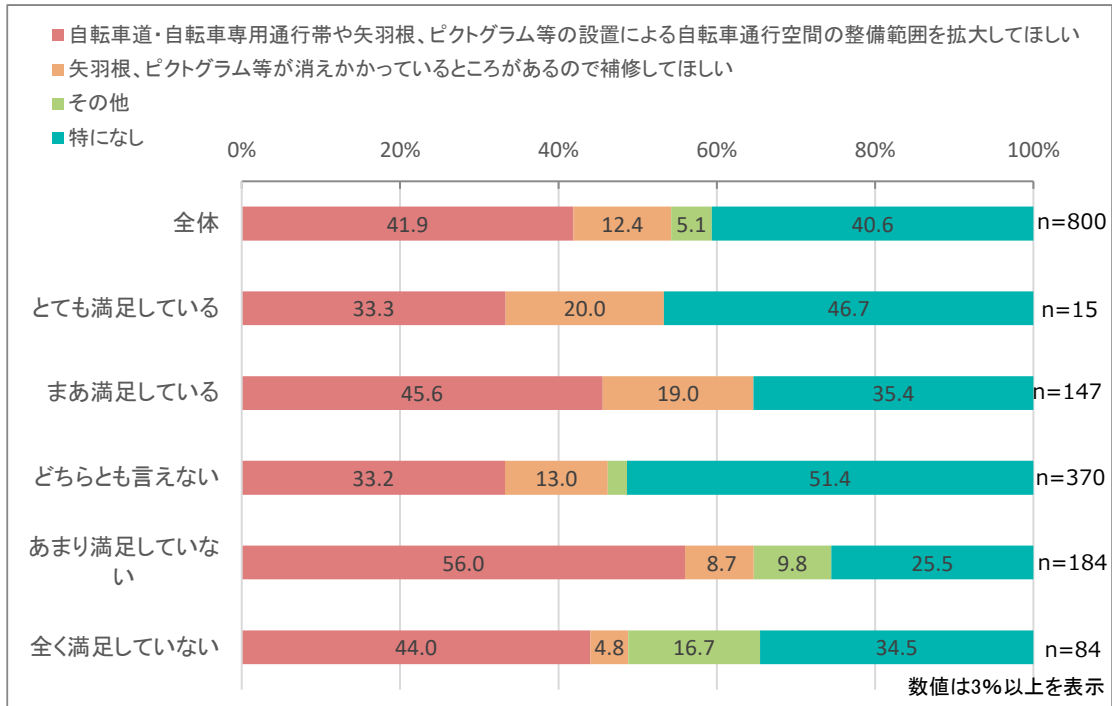
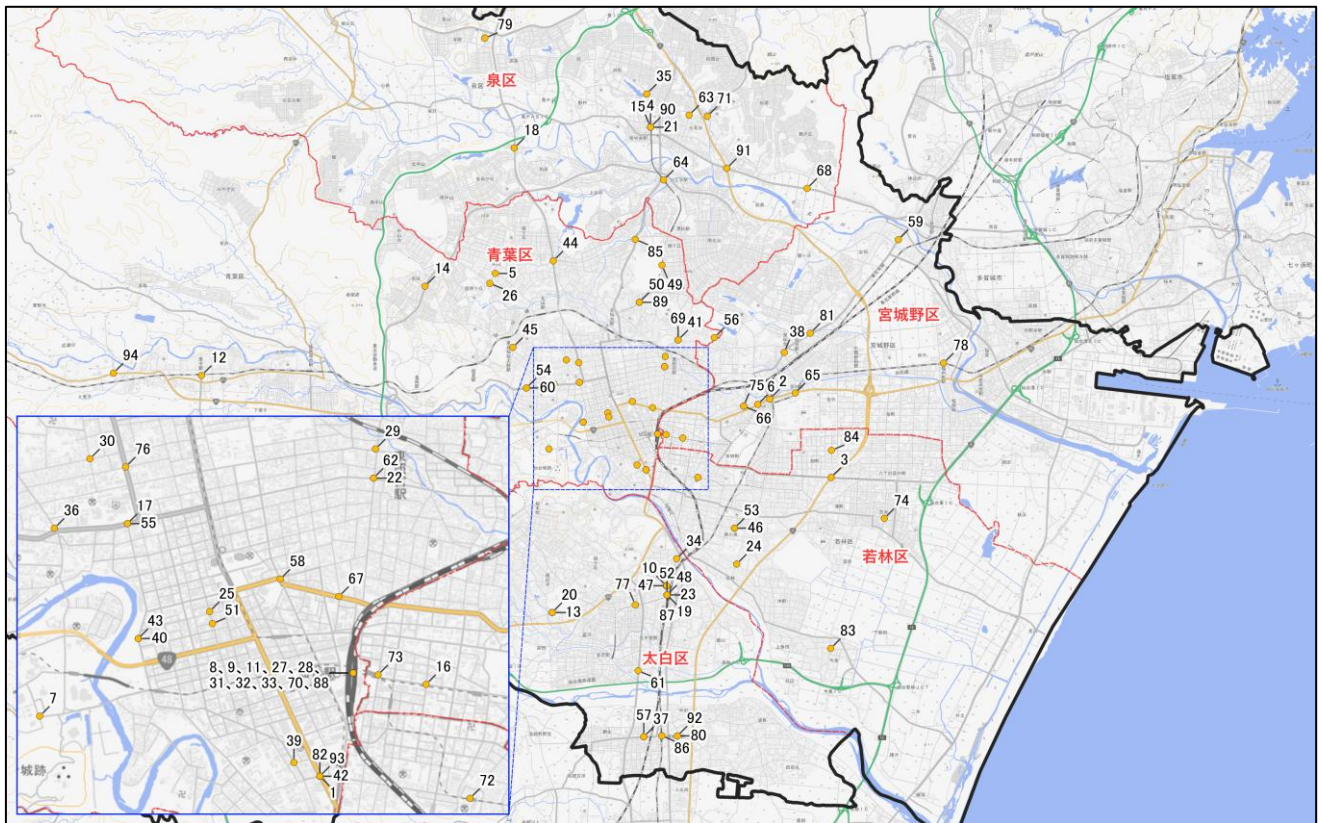


図 4.2.90 自転車通行環境の満足度と改善してほしいこと



※自転車通行空間の整備範囲の具体的な場所を特定できた回答のみ図示  
 国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 4.2.91 整備範囲の拡大や補修区間・地域 (自転車通行空間の整備範囲の具体的な場所)

自転車通行空間で具体的に整備範囲の拡大を希望する区間・地域について、抽象的な場所の回答のうち「市全域」が26.1%で最も多く、次いで「交通量が多い」場所が12.7%、「中心部」が11.3%であった。

表 4.2.89 整備範囲の拡大や補修区間・地域（自転車通行空間の整備範囲の抽象的な場所）

自転車通行環境で改善してほしいこと （自転車通行空間の整備範囲）	令和7年度	
	回答数	%
全体	142	100.0
市全域	37	26.1
交通量が多い	18	12.7
中心部	16	11.3
狭小道路	13	9.2
青葉区	11	7.7
通学路	8	5.6
若林区	7	4.9
道路整備	7	4.9
宮城野区	5	3.5
自転車以外の要因	4	2.8
住宅街	2	1.4
泉区	2	1.4
太白区	2	1.4
その他	10	7.0

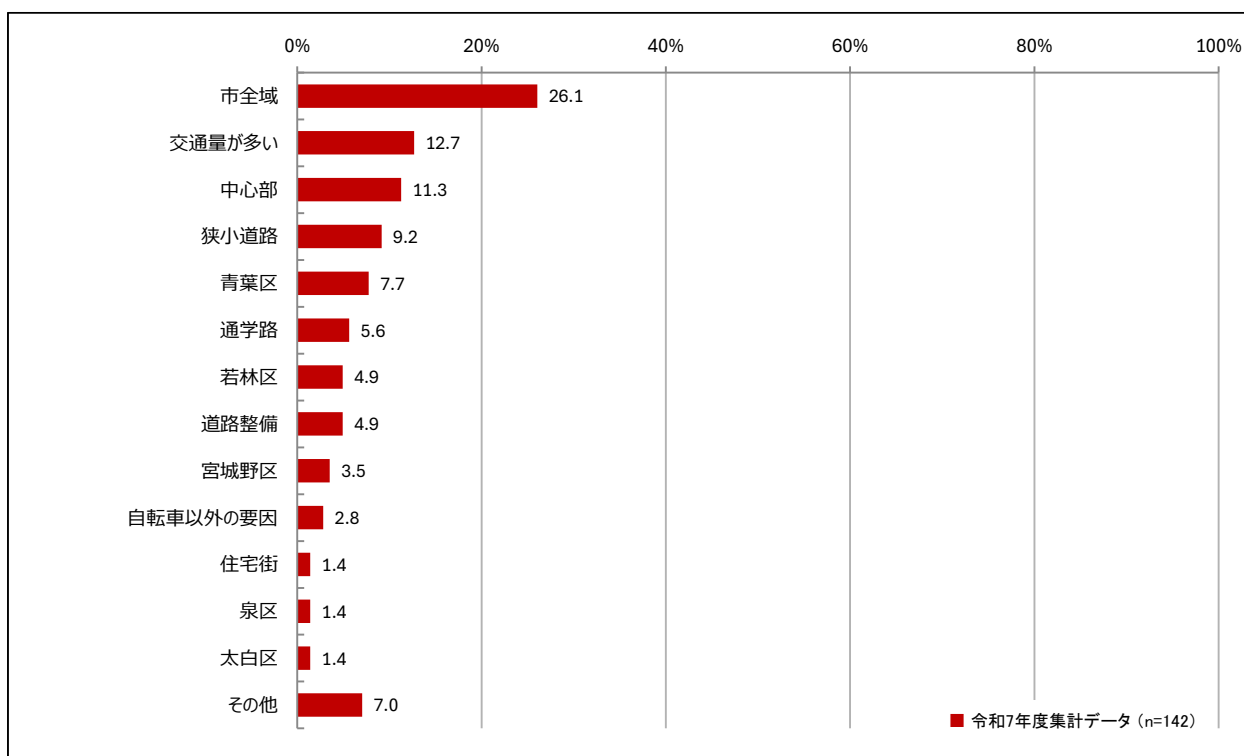
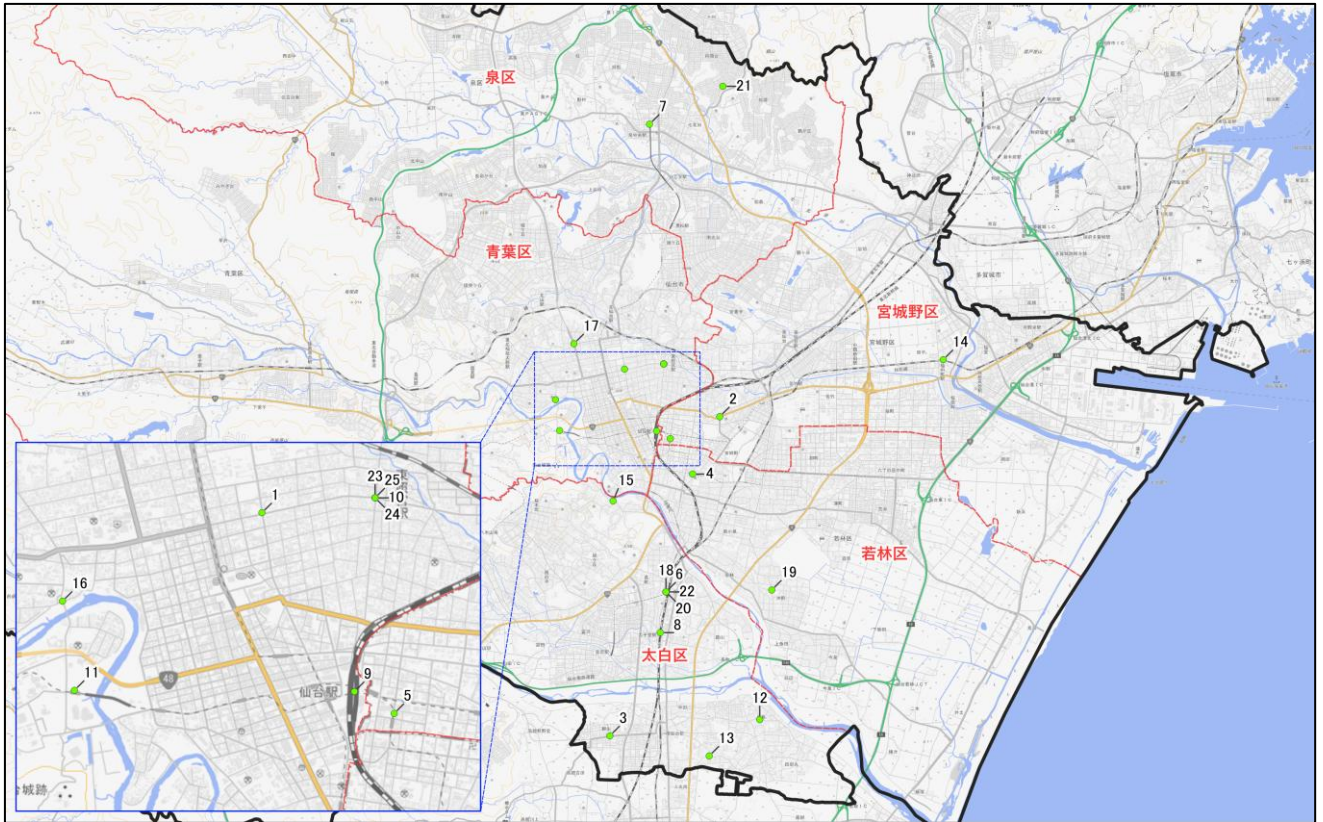


図 4.2.92 整備範囲の拡大や補修区間・地域（自転車通行空間の整備範囲の抽象的な場所）



※補修区間の具体的な場所を特定できた回答のみ図示  
 国土地理院地図(電子国土 Web)を加工・作成

図 4.2.93 整備範囲の拡大や補修区間・地域（補修区間の具体的な場所）

自転車通行空間で具体的に補修を希望する区間・地域について、抽象的な場所の回答のうち「青葉区」が20.8%で最も多く、次いで「交通量が多い」が16.7%であった。

表 4.2.90 整備範囲の拡大や補修区間・地域（補修区間の具体的な場所）

自転車通行環境で改善してほしいこと (補修区間)	令和7年度	
	回答数	%
全体	24	100.0
青葉区	5	20.8
交通量が多い	4	16.7
市全域	3	12.5
中心部	3	12.5
道路整備	3	12.5
狭小道路	2	8.3
太白区	2	8.3
宮城野区	1	4.2
泉区	1	4.2

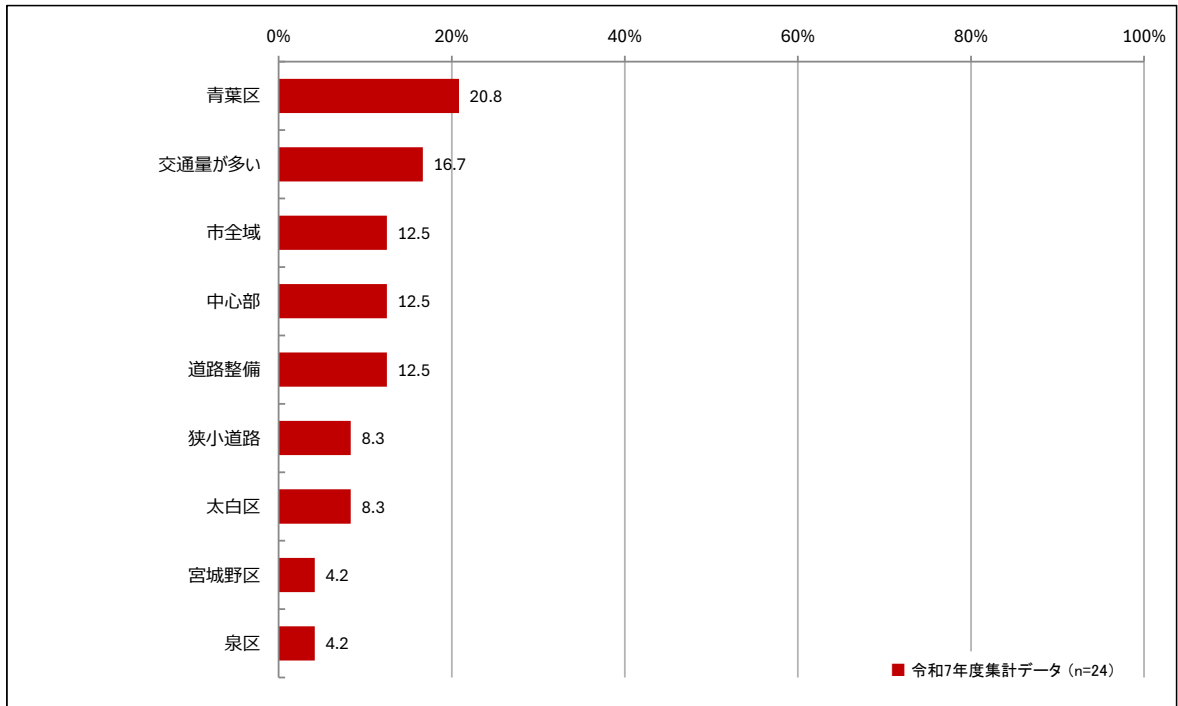


図 4.2.94 整備範囲の拡大や補修区間・地域（補修区間の具体的な場所）

#### 4.2.34 駐輪環境の満足度

仙台市の駐輪環境への満足度（「とても満足している」、「だいたい満足している」の合計）は 22.0%、「どちらとも言えない」は 52.4%、満足していない（「あまり満足していない」、「全く満足していない」の合計）は 25.7%であった。

自転車の利用頻度別でみると、満足度（「とても満足している」、「だいたい満足している」の合計）が高いのは「ほとんど毎日」で 32.9%、「週 2～3 回程度」で 37.3%と利用頻度が多いと満足度も高い傾向がある一方で、「ほとんど毎日」では満足していない（「あまり満足していない」、「全く満足していない」の合計）が 35.3%と「週 1 回程度」の 37.5%に次いで高くなっている。

表 4.2.91 駐輪環境の満足度

駐輪環境の満足度	令和7年度	
	回答数	%
全体	800	100.0
とても満足している	19	2.4
まあ満足している	157	19.6
どちらとも言えない	419	52.4
あまり満足していない	142	17.8
全く満足していない	63	7.9

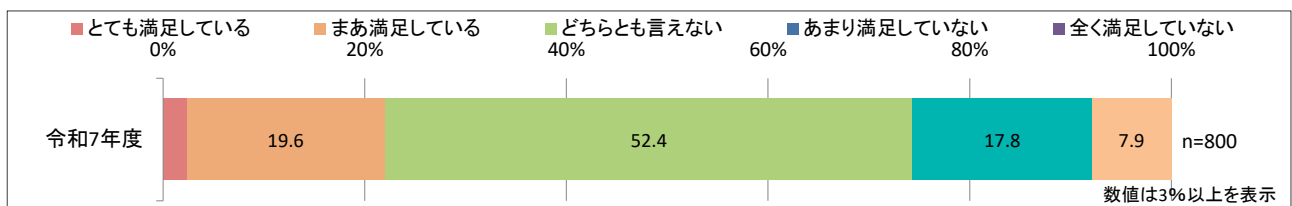


図 4.2.95 駐輪環境の満足度

表 4.2.92 自転車利用頻度と駐輪環境の満足度

自転車利用頻度	全体		とても満足している		まあ満足している		どちらとも言えない		あまり満足していない		全く満足していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	19	2.4	157	19.6	419	52.4	142	17.8	63	7.9
ほとんど毎日	88	100.0	3	3.4	26	29.5	28	31.8	24	27.3	7	8.0
週2～3回程度	59	100.0	3	5.1	19	32.2	24	40.7	6	10.2	7	11.9
週1回程度	48	100.0	0	0.0	14	29.2	16	33.3	17	35.4	1	2.1
月に1～2回程度	55	100.0	0	0.0	12	21.8	31	56.4	9	16.4	3	5.5
年に数回	91	100.0	2	2.2	25	27.5	38	41.8	16	17.6	10	11.0
全く利用しない	459	100.0	11	2.4	61	13.3	282	61.4	70	15.3	35	7.6

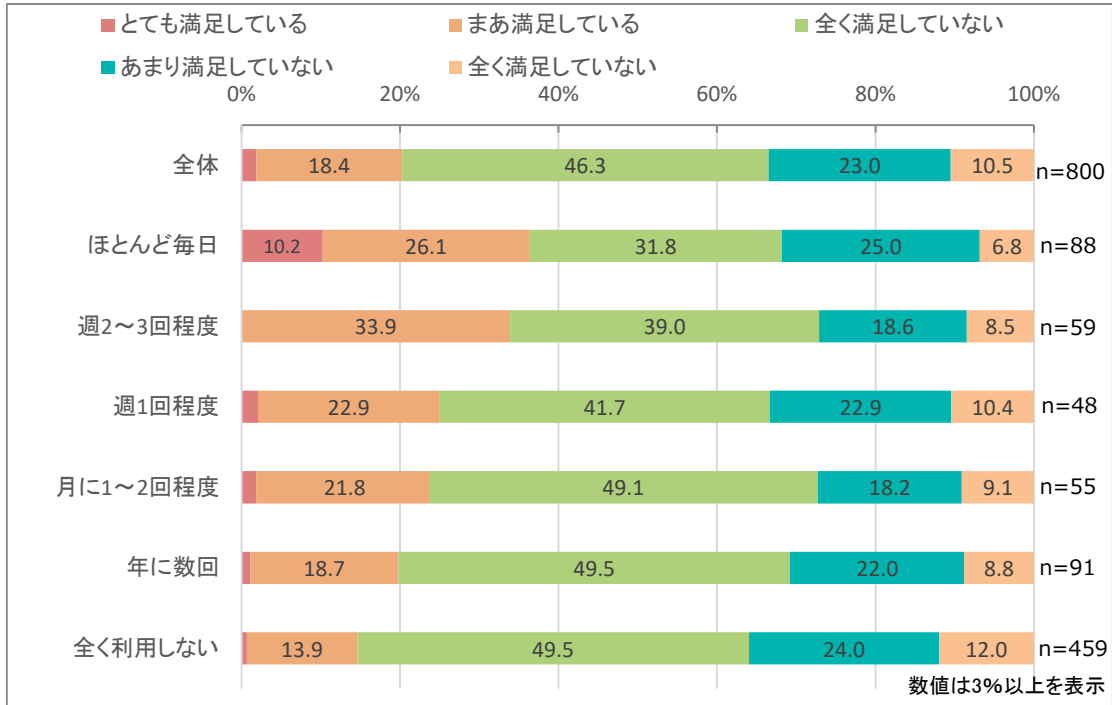


図 4.2.96 自転車利用頻度と駐輪環境の満足度

#### 4.2.35 公共駐輪場や路上駐輪場の利用有無

公共駐輪場や路上駐輪場の利用有無は、「はい」が 70.1%、「いいえ」が 29.9%であった。

表 4.2.93 公共駐輪場や路上駐輪場の利用有無

公共駐輪場の利用有無	令和7年度	
	回答数	%
全体	341	100.0
はい	239	70.1
いいえ	102	29.9

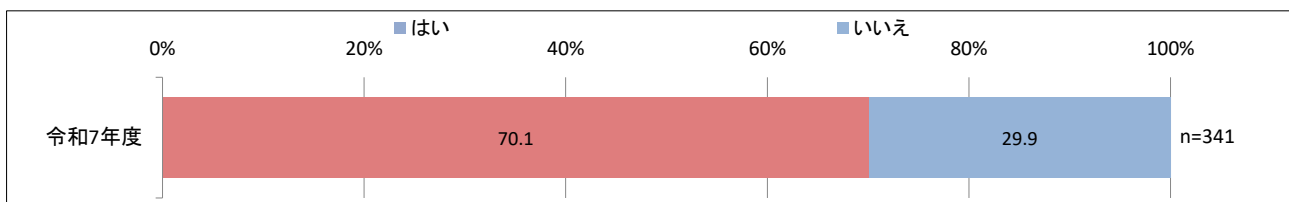


図 4.2.97 公共駐輪場や路上駐輪場の利用有無

駐輪環境の満足度別にみると、駐輪場の利用が最も高かったのが「とても満足している」の100.0%、最も低かったのが「全く満足していない」の60.7%であったが、満足度に関わらず利用は6割を超えている。

表 4.2.94 駐輪環境の満足度と公共駐輪場や路上駐輪場の利用有無

駐輪環境の満足度	全体		はい		いいえ	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	239	70.1	102	29.9
とても満足している	8	100.0	8	100.0	0	0.0
まあ満足している	96	100.0	72	75.0	24	25.0
どちらとも言えない	137	100.0	88	64.2	49	35.8
あまり満足していない	72	100.0	54	75.0	18	25.0
全く満足していない	28	100.0	17	60.7	11	39.3

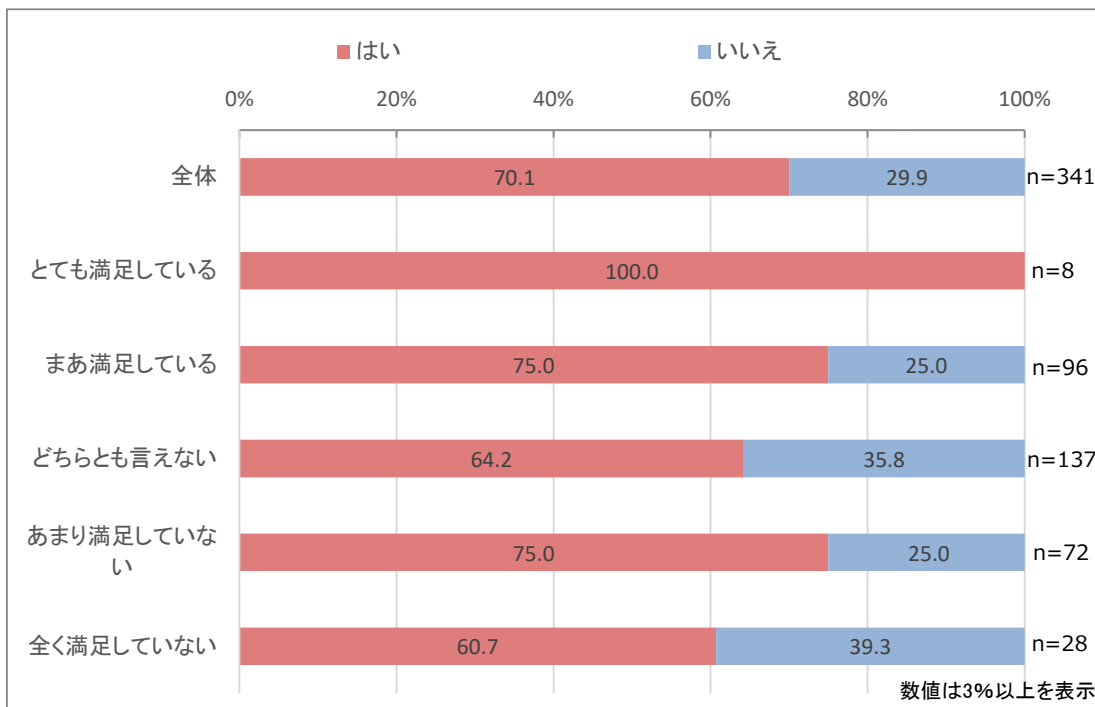


図 4.2.98 駐輪環境の満足度と公共駐輪場や路上駐輪場の利用有無

#### 4.2.36 公共駐輪場を利用しない理由

公共駐輪場を利用しない理由は、「行き先に駐輪場があるから」が40.2%で最も多く、次いで「お金がかかるから」が28.4%、「どこにあるか分からないから」が13.7%であった。

表 4.2.95 公共駐輪場を利用しない理由

公共駐輪場の利用しない理由	令和7年度	
	回答数	%
全体	102	100.0
どこにあるか分からないから	14	13.7
いつも満車だから	7	6.9
行き先に駐輪場があるから	41	40.2
お金がかかるから	29	28.4
駐輪場外の路上に駐輪するから	4	3.9
その他	7	6.9

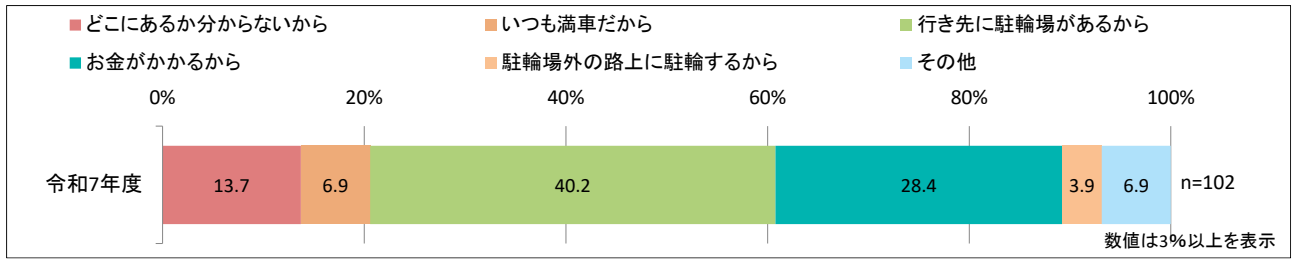


図 4.2.99 公共駐輪場を利用しない理由

自転車の利用目的別でみると、「通勤・通学」、「買い物」、「娯楽・レジャー」、「仕事」では、「行き先に駐輪場があるから」、「子どもの送迎」では、「いつも満車だから」が最も多くなっている。

表 4.2.96 自転車利用目的と公共駐輪場を利用しない理由

自転車利用目的	全体		どこにあるか分からないから		いつも満車だから		行き先に駐輪場があるから		お金がかかるから		駐輪場外の路上に駐輪するから		その他	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	102	100.0	14	13.7	7	6.9	41	40.2	29	28.4	4	3.9	7	6.9
通勤・通学	21	100.0	2	9.5	2	9.5	9	42.9	7	33.3	1	4.8	0	0.0
子どもの送迎	3	100.0	0	0.0	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
買い物	63	100.0	12	19.0	5	7.9	23	36.5	18	28.6	0	0.0	5	7.9
娯楽・レジャー	24	100.0	3	12.5	1	4.2	13	54.2	5	20.8	2	8.3	0	0.0
健康の増進	16	100.0	4	25.0	2	12.5	4	25.0	4	25.0	1	6.3	1	6.3
仕事	8	100.0	0	0.0	0	0.0	4	50.0	2	25.0	0	0.0	2	25.0
その他	2	100.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0

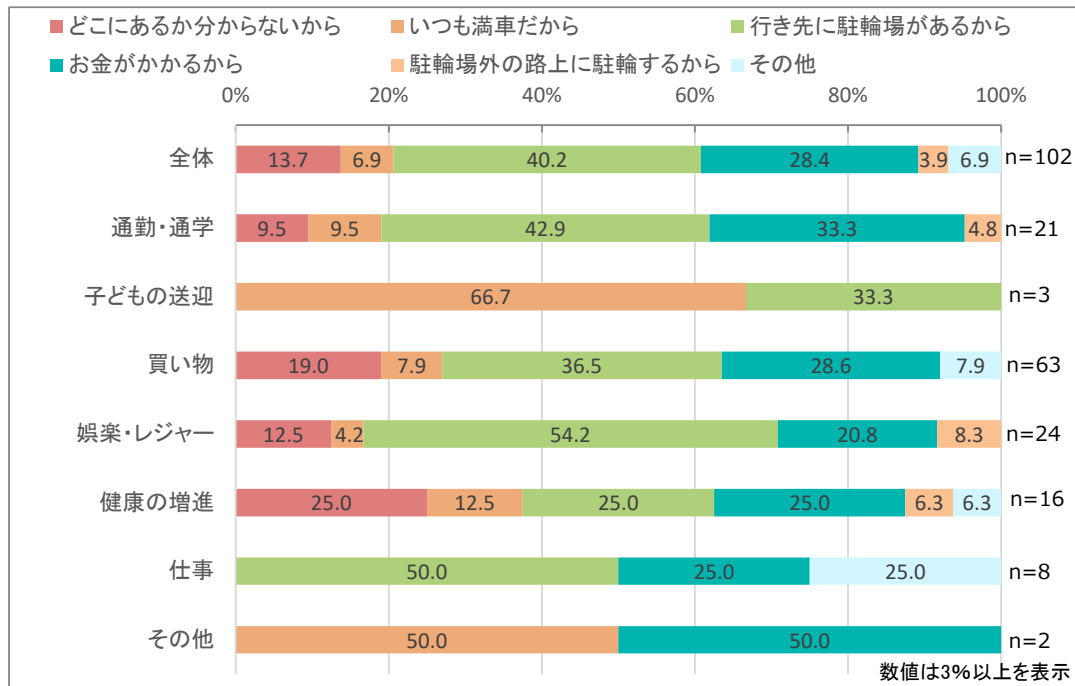


図 4.2.100 自転車利用目的と公共駐輪場を利用しない理由

#### 4.2.37 公共駐輪場や路上駐輪場で改善してほしいこと

公共駐輪場や路上駐輪場で改善してほしいことは、「特に無し」が 32.3%と最も多く、次いで「どこにあるか分りにくい」が 24.0%、「料金が高い・分りにくい」が 22.0%であった。

駐輪環境の満足度でみると、「とても満足している」と「まあ満足している」では、改善してほしいことが「特に無し」が 5 割を超えているが、「あまり満足していない」と「全く満足していない」では 1 割以下となっている。

表 4.2.97 公共駐輪場や路上駐輪場で改善してほしいこと

公共駐輪場で改善してほしいこと	令和7年度	
	回答数	%
全体	341	100.0
特に無し	110	32.3
使い方が分りにくい	31	9.1
どこにあるか分りにくい	82	24.0
料金が高い・分りにくい	75	22.0
老朽化しているので新しくしてほしい	24	7.0
その他	19	5.6

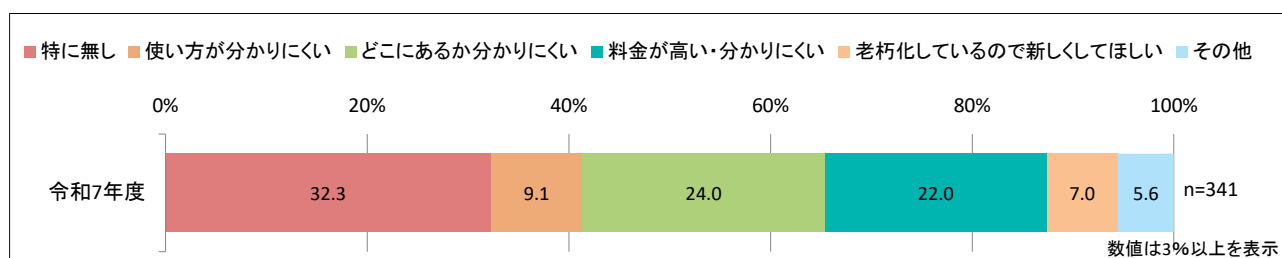


図 4.2.101 公共駐輪場や路上駐輪場で改善してほしいこと

表 4.2.98 駐輪環境の満足度と公共駐輪場や路上駐輪場で改善してほしいこと

駐輪環境の満足度	全体		特に無し		使い方が分りにくい		どこにあるか分りにくい		料金が高い・分りにくい		老朽化しているので新しくしてほしい		その他	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	341	100.0	110	32.3	31	9.1	82	24.0	75	22.0	24	7.0	19	5.6
とても満足している	8	100.0	5	62.5	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	2	25.0
まあ満足している	96	100.0	49	51.0	8	8.3	13	13.5	17	17.7	5	5.2	4	4.2
どちらとも言えない	137	100.0	48	35.0	11	8.0	35	25.5	29	21.2	6	4.4	8	5.8
あまり満足していない	72	100.0	6	8.3	11	15.3	25	34.7	15	20.8	11	15.3	4	5.6
全く満足していない	28	100.0	2	7.1	1	3.6	9	32.1	13	46.4	2	7.1	1	3.6

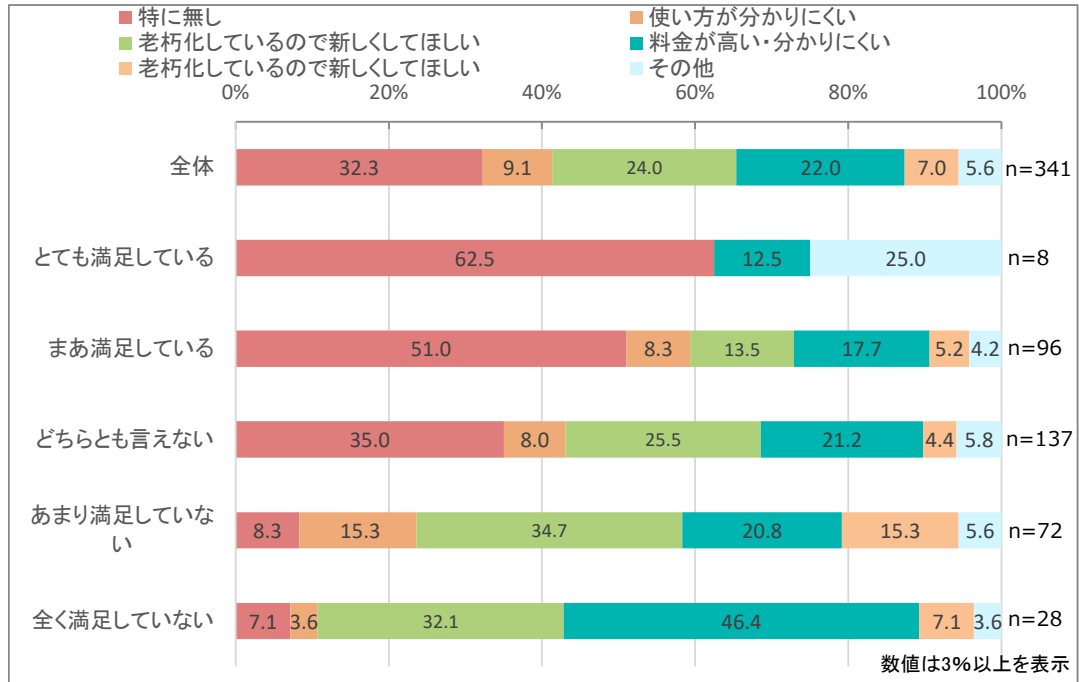


図 4.2.102 駐輪環境の満足度と公共駐輪場や路上駐輪場で改善してほしいこと

#### 4.2.38 自転車の車体チェックと定期点検の実施について

自転車の車体チェックは、「毎回チェックしている」が 9.7%、「数回に 1 回チェックしている」が 46.5%、「実施していない」が 43.8%であった。

自転車の定期点検は、「年に 1 回以上実施している」が 22.2%、「実施していない」が 77.8%であった。

表 4.2.99 自転車の車体チェックと定期点検の実施について（車体チェック）

車体チェックの実施	令和7年度	
	回答数	%
全体	486	100.0
毎回チェックしている	47	9.7
数回に1回チェックしている	226	46.5
実施していない	213	43.8

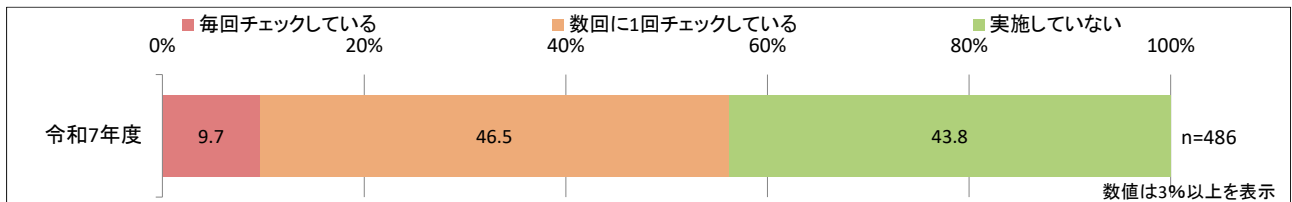


図 4.2.103 自転車の車体チェックと定期点検の実施について（車体チェック）

表 4.2.100 自転車の車体チェックと定期点検の実施について（定期点検）

定期点検の実施	令和7年度	
	回答数	%
全体	486	100.0
年1回以上実施している	108	22.2
実施していない	378	77.8

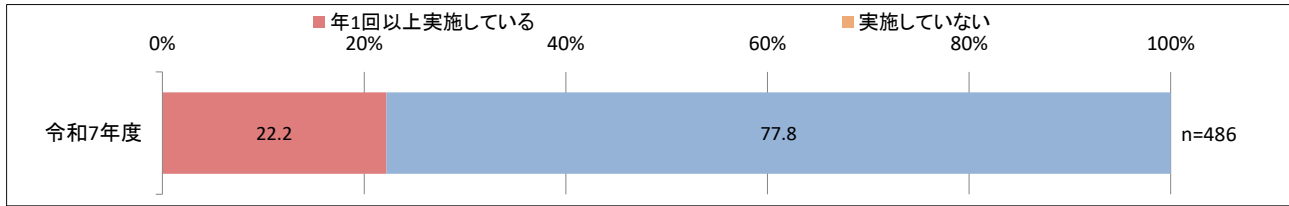


図 4.2.104 自転車の車体チェックと定期点検の実施について（定期点検）

自転車の利用頻度別にみると、「全く利用しない」を除いて「チェックしている」（「毎回チェックしている」、「数回に1回チェックしている」の合計）が6割を超えている。

表 4.2.101 自転車利用頻度と車体チェック

自転車利用頻度	全体		毎回チェックしている		数回に1回チェックしている		実施していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	486	100.0	47	9.7	226	46.5	213	43.8
ほとんど毎日	88	100.0	6	6.8	57	64.8	25	28.4
週2～3回程度	59	100.0	8	13.6	37	62.7	14	23.7
週1回程度	48	100.0	2	4.2	28	58.3	18	37.5
月に1～2回程度	55	100.0	11	20.0	28	50.9	16	29.1
年に数回	91	100.0	15	16.5	44	48.4	32	35.2
全く利用しない	145	100.0	5	3.4	32	22.1	108	74.5

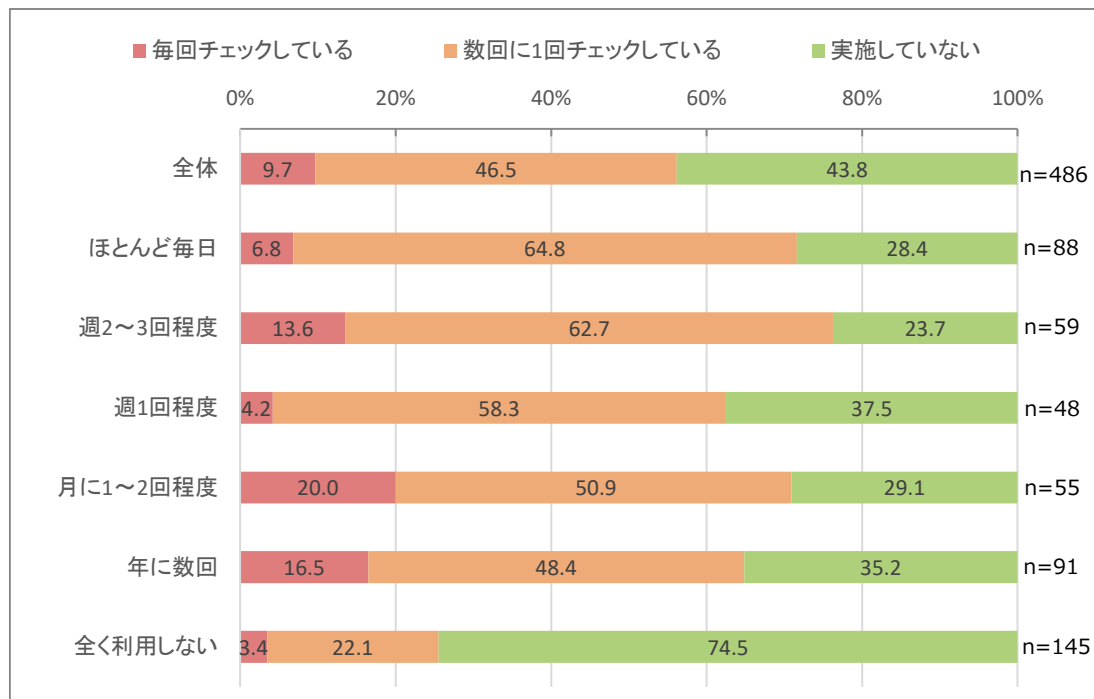


図 4.2.105 自転車利用頻度と車体チェック

自転車の利用目的別にみると、「子どもの送迎」と「仕事」で、「実施していない」が4割を超えている。

表 4.2.102 自転車利用目的と車体チェック

自転車利用目的	全体		毎回チェックしている		数回に1回チェックしている		実施していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	486	100.0	47	9.7	226	46.5	213	43.8
通勤・通学	99	100.0	7	7.1	55	55.6	37	37.4
子どもの送迎	12	100.0	0	0.0	7	58.3	5	41.7
買い物	227	100.0	24	10.6	137	60.4	66	29.1
娯楽・レジャー	77	100.0	12	15.6	42	54.5	23	29.9
健康の増進	52	100.0	6	11.5	36	69.2	10	19.2
仕事	22	100.0	4	18.2	9	40.9	9	40.9
その他	7	100.0	1	14.3	4	57.1	2	28.6

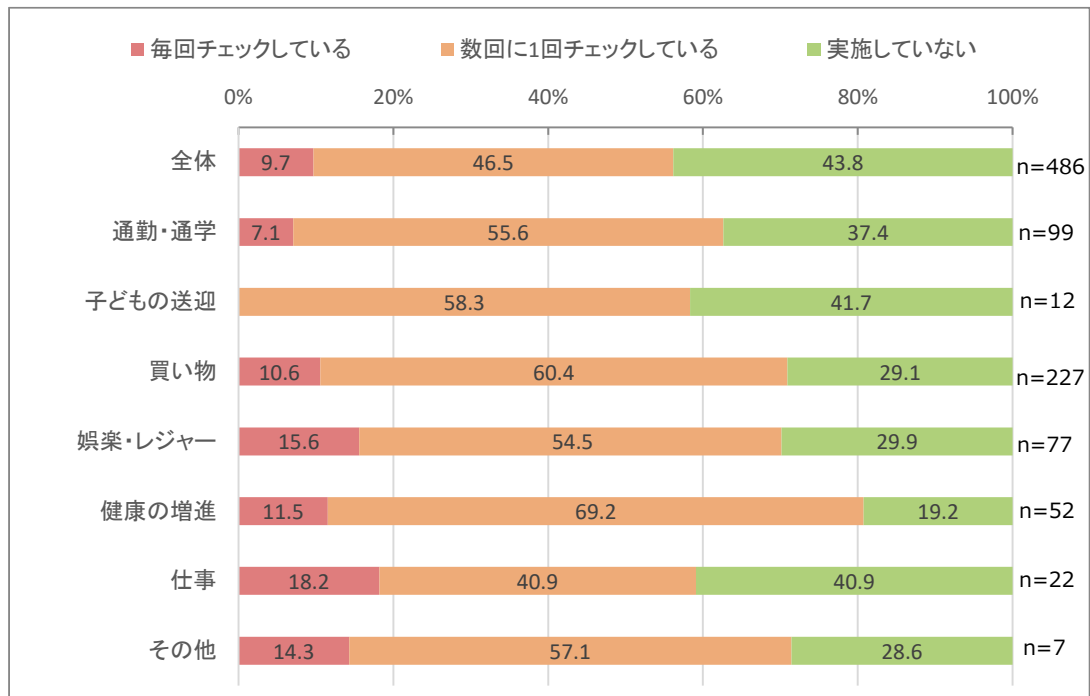


図 4.2.106 自転車利用目的と車体チェック

自転車の利用頻度別にみると、定期点検を「実施していない」は、「年に数回」と「全く利用しない」で8割を超えている。

自転車の利用目的別にみると、定期点検を「年1回以上実施している」は「子どもの送迎」のみ5割を超えている。

表 4.2.103 自転車利用頻度と定期点検

定期点検の実施	全体		年1回以上実施している		実施していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
自転車利用頻度						
全体	486	100.0	108	22.2	378	77.8
ほとんど毎日	88	100.0	32	36.4	56	63.6
週2～3回程度	59	100.0	17	28.8	42	71.2
週1回程度	48	100.0	13	27.1	35	72.9
月に1～2回程度	55	100.0	16	29.1	39	70.9
年に数回	91	100.0	15	16.5	76	83.5
全く利用しない	145	100.0	15	10.3	130	89.7

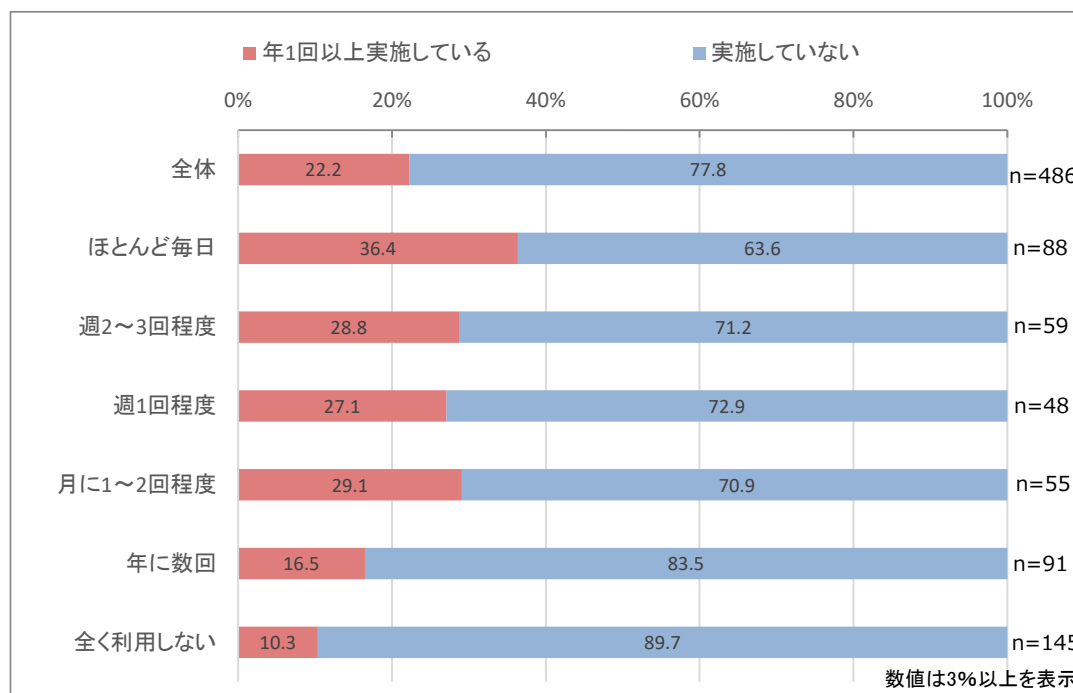


図 4.2.107 自転車利用頻度と定期点検

表 4.2.104 自転車利用目的と定期点検

定期点検の実施	全体		年1回以上実施している		実施していない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
自転車利用目的						
全体	486	100.0	108	22.2	378	77.8
通勤・通学	99	100.0	34	34.3	65	65.7
子どもの送迎	12	100.0	7	58.3	5	41.7
買い物	227	100.0	66	29.1	161	70.9
娯楽・レジャー	77	100.0	20	26.0	57	74.0
健康の増進	52	100.0	10	19.2	42	80.8
仕事	22	100.0	10	45.5	12	54.5
その他	7	100.0	0	0.0	7	100.0

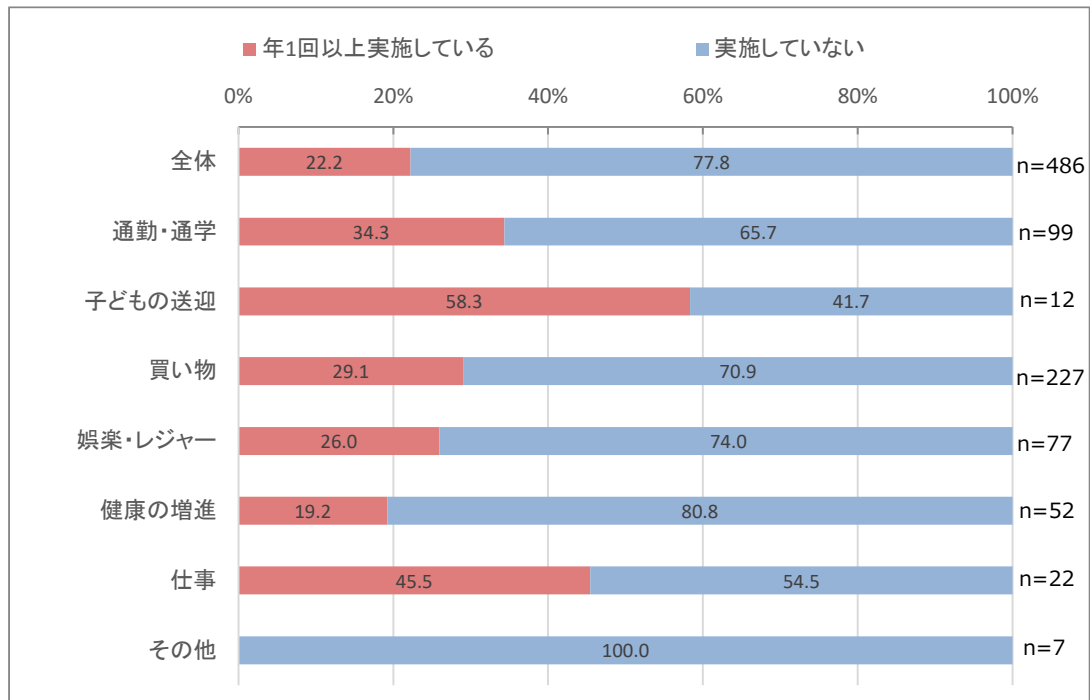


図 4.2.108 自転車利用目的と定期点検

#### 4.2.39 近年の道路交通法の改正内容で知っているもの

近年の道路交通法の改正内容で認知度が高い内容は、「ヘルメットの着用努力義務化」が 82.3%と最も多く、次いで「自転車運転中の携帯電話使用・酒気帯び運転の禁止」が 79.1%であった。

一方、認知度が最も低いのは「特定小型原動機付き自転車(電動キックボード等)の交通ルール」で「知らない」が 51.9%であった。

表 4.2.105 近年の道路交通法の改正内容で知っているもの

道路交通法改正の内容	全体		知っている		知らない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
ヘルメットの着用努力義務化	800	100.0	658	82.3	142	17.8
特定小型原動機付き自転車(電動キックボード等)の交通ルール	800	100.0	385	48.1	415	51.9
自転車等に対する青切符(交通反則通告制度)の適用(未施行)	800	100.0	527	65.9	273	34.1
自転車運転中の携帯電話使用・酒気帯び運転の禁止	800	100.0	633	79.1	167	20.9
自動車(バイク)が自転車等の右側を通過する際のルールの新設	800	100.0	399	49.9	401	50.1

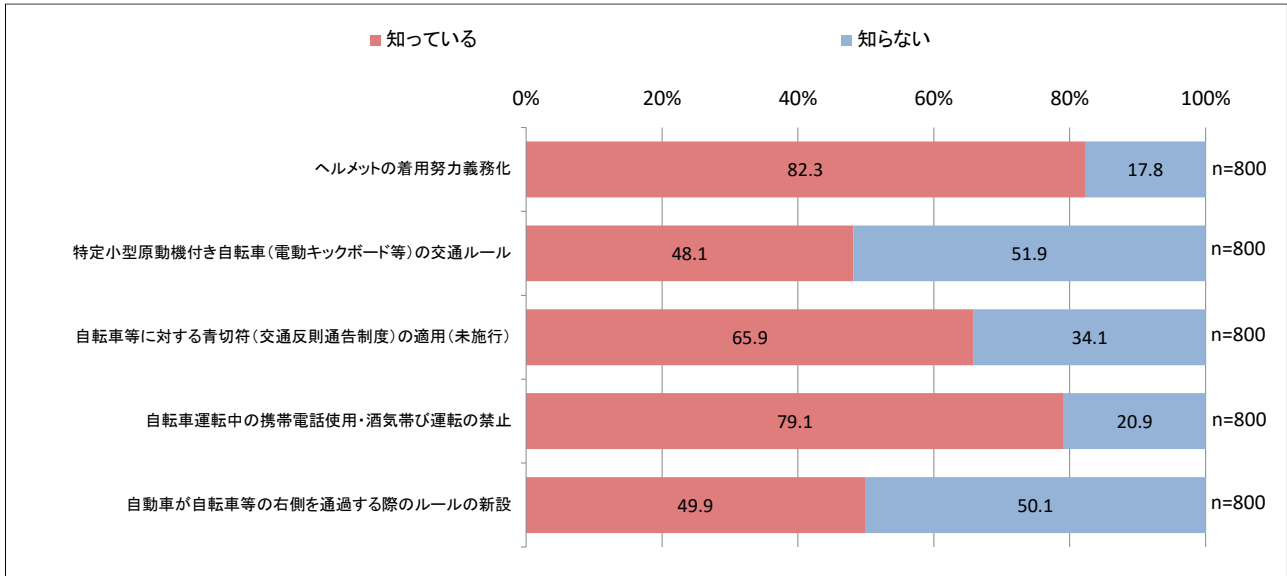


図 4.2.109 近年の道路交通法の改正内容で知っているもの

自転車の利用頻度別で見ると、「ほとんど毎日」と「年に数回」では、近年の道路交通法の改正内容の認知度が1割を超えている。一方で、「全く利用しない」では「知らない」が6割を超えており、自転車を利用しない人は改正内容に関しては関心がないことが伺える

表 4.2.106 近年の道路交通法の改正内容で知っているものと自転車利用頻度

近年の道路交通法の改正	自転車利用頻度 認知度	全体		ほとんど毎日		週2~3回程度		週1回程度		月に1~2回程度		年に数回		全く利用しない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
		ヘルメットの着用努力義務化	知っている	658	100.0	74	11.2	51	7.8	41	6.2	46	7.0	75	11.4
	知らない	142	100.0	14	9.9	8	5.6	7	4.9	9	6.3	16	11.3	88	62.0
特定小型原動機付き自転車(電動キックボード等)の交通ルール	知っている	385	100.0	45	11.7	30	7.8	24	6.2	34	8.8	43	11.2	209	54.3
	知らない	415	100.0	43	10.4	29	7.0	24	5.8	21	5.1	48	11.6	250	60.2
自転車等に対する青切符(交通反則通告制度)の適用(未施行)	知っている	527	100.0	65	12.3	41	7.8	36	6.8	44	8.3	69	13.1	272	51.6
	知らない	273	100.0	23	8.4	18	6.6	12	4.4	11	4.0	22	8.1	187	68.5
自転車運転中の携帯電話使用・酒気帯び運転の禁止	知っている	633	100.0	72	11.4	53	8.4	38	6.0	49	7.7	78	12.3	343	54.2
	知らない	167	100.0	16	9.6	6	3.6	10	6.0	6	3.6	13	7.8	116	69.5
自動車が自転車等の右側を通過する際のルールの新設	知っている	399	100.0	53	13.3	36	9.0	27	6.8	34	8.5	47	11.8	202	50.6
	知らない	401	100.0	35	8.7	23	5.7	21	5.2	21	5.2	44	11.0	257	64.1

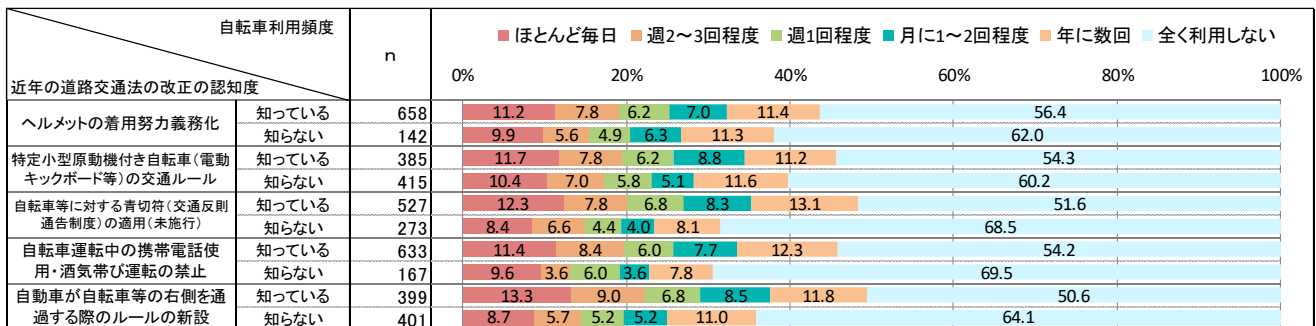


図 4.2.110 近年の道路交通法の改正内容で知っているものと自転車利用頻度

#### 4.2.40 青切符（交通反則通告制度）の適用を知ったきっかけ（複数回答）

青切符（交通反則通告制度）の適用を知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が 79.7%で最も多く、次いで「新聞」が 19.5%、「インターネット」が 18.8%であった。

表 4.2.107 青切符（交通反則通告制度）の適用を知ったきっかけ

青切符の適用を知ったきっかけ	令和7年度	
	回答数	%
全体(回答者数)	527	100.0
テレビ、ラジオ	420	79.7
新聞	103	19.5
インターネット	99	18.8
家族、友人・知人から	50	9.5
SNS(XやInstagram)	39	7.4
イベント	12	2.3
その他	6	1.1

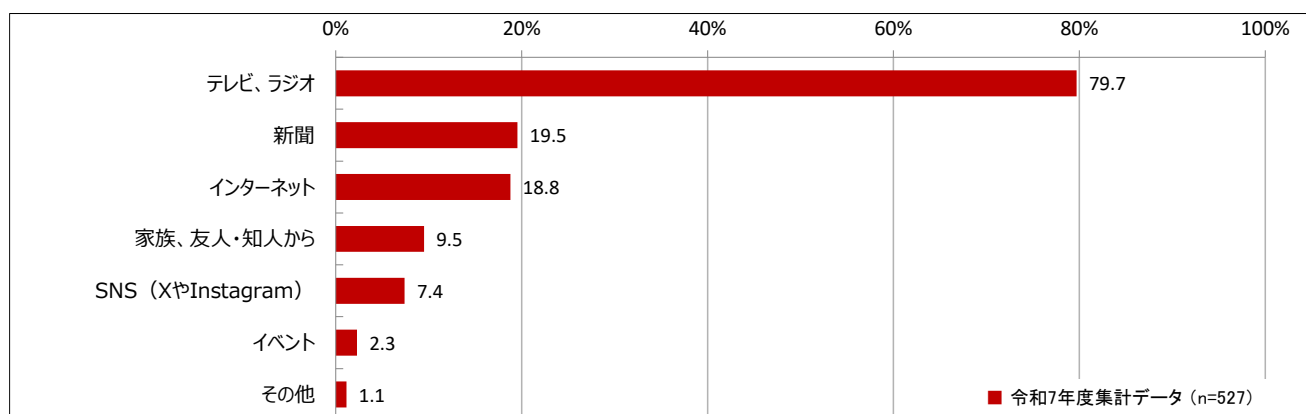


図 4.2.111 青切符（交通反則通告制度）の適用を知ったきっかけ

#### 4.2.41 青切符（交通反則通告制度）の開始によつてのルールの遵守度

青切符（交通反則通告制度）の開始によつてのルールの遵守度は、「より遵守しようと思うようになった」が 34.4%で最も多く、次いで「今までもルールを遵守していたので、これまで通り変わらない」が 25.9%、「少しは遵守しようと思うようになった」が 18.9%であった。

一方、「ルールの遵守は特に意識しない」は 5.5%であった。

表 4.2.108 青切符（交通反則通告制度）の開始によつてのルールの遵守度

青切符による取り締まりによるルール遵守度	令和7年度	
	回答数	%
全体	800	100.0
より遵守しようと思うようになった	275	34.4
少しは遵守しようと思うようになった	151	18.9
今までもルールを遵守していたので、これまで通り変わらない	207	25.9
ルールの遵守は特に意識しない	44	5.5
自転車の利用頻度を減らす・やめる	123	15.4

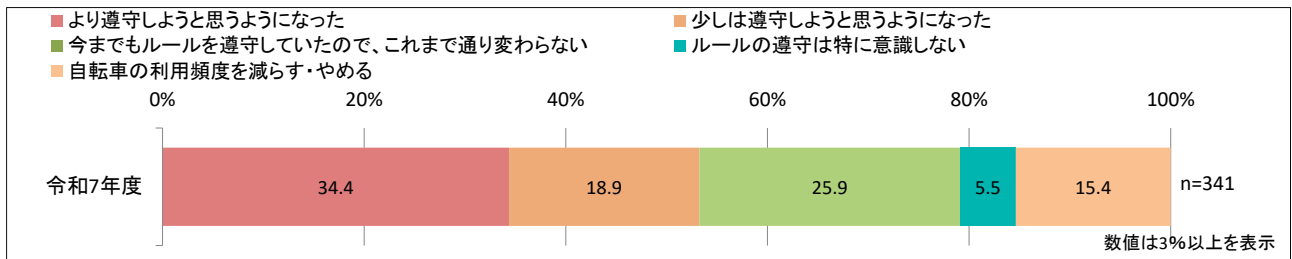


図 4.2.112 青切符（交通反則通告制度）の開始によつてのルールの遵守度

#### 4.2.42 青切符（交通反則通告制度）の開始で「特に気を付けたい行為」

青切符（交通反則通告制度）の開始で「特に気を付けたい行為」で多かった項目 1 位は「信号無視」で 32.1%、2 位は「ながらスマホ」で 23.5%、3 位は「通行区分違反（逆走、歩道通行等）」で 22.6%であった。青切符（交通反則通告制度）施行後のルール遵守状況の実態調査においては、「特に気を付けたい行為」で割合が高くなっている項目が実態で減少しているか、今後確認・検証していく必要がある。

表 4.2.109 青切符（交通反則通告制度）の開始で「特に気を付けたい行為」

特に気を付けたい行為	1位		2位		3位	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
信号無視	257	32.1	107	13.4	82	10.3
ながらスマホ	195	24.4	188	23.5	53	6.6
通行区分違反（逆走、歩道通行等）	143	17.9	150	18.8	181	22.6
一時不停止	84	10.5	160	20.0	138	17.3
並走	6	0.8	44	5.5	66	8.3
二人乗り	7	0.9	11	1.4	27	3.4
無灯火	23	2.9	36	4.5	88	11.0
特にない	85	10.6	104	13.0	165	20.6

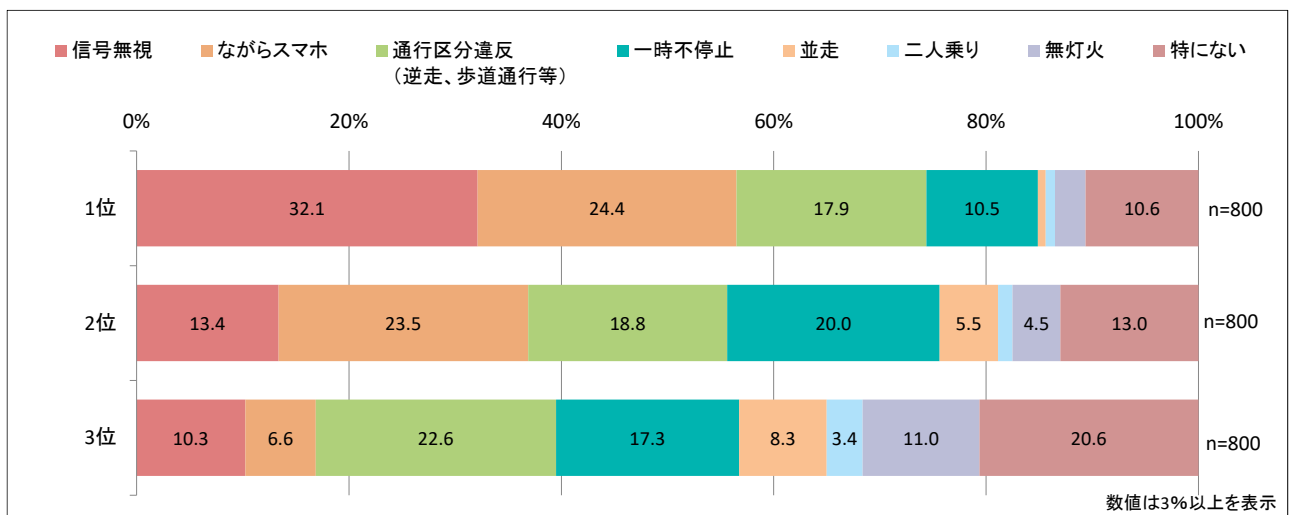


図 4.2.113 青切符（交通反則通告制度）の開始で「特に気を付けたい行為」

青切符(交通反則通告制度)の開始で「特に気を付けたい行為」1位とルールへの遵守度別でみると、遵守度に関わらず「特に気を付けたい行為」として「信号無視」が最も多くなっている。

表 4.2.110 青切符(交通反則通告制度)の開始によつてのルールの遵守度と青切符(交通反則通告制度)の開始で「特に気を付けたい行為」【1位】

特に気を付けたい行為	全体		信号無視		ながらスマホ		通行区分違反(逆走、歩道通行等)		一時不停止		並走		二人乗り		無灯火		特にない	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	257	32.1	195	24.4	143	17.9	84	10.5	6	0.8	7	0.9	23	2.9	85	10.6
少しは遵守しようと思った	275	100.0	88	32.0	66	24.0	61	22.2	34	12.4	1	0.4	1	0.4	6	2.2	18	6.5
少しは遵守しようと思った	151	100.0	55	36.4	43	28.5	25	16.6	15	9.9	0	0.0	3	2.0	4	2.6	6	4.0
今までもルールを遵守していたので、これまで通り変わらない	207	100.0	53	25.6	50	24.2	40	19.3	23	11.1	3	1.4	1	0.5	6	2.9	31	15.0
ルールの遵守は特に意識しない	44	100.0	20	45.5	11	25.0	1	2.3	3	6.8	1	2.3	1	2.3	3	6.8	4	9.1
自転車の利用頻度を減らす・やめる	123	100.0	41	33.3	25	20.3	16	13.0	9	7.3	1	0.8	1	0.8	4	3.3	26	21.1

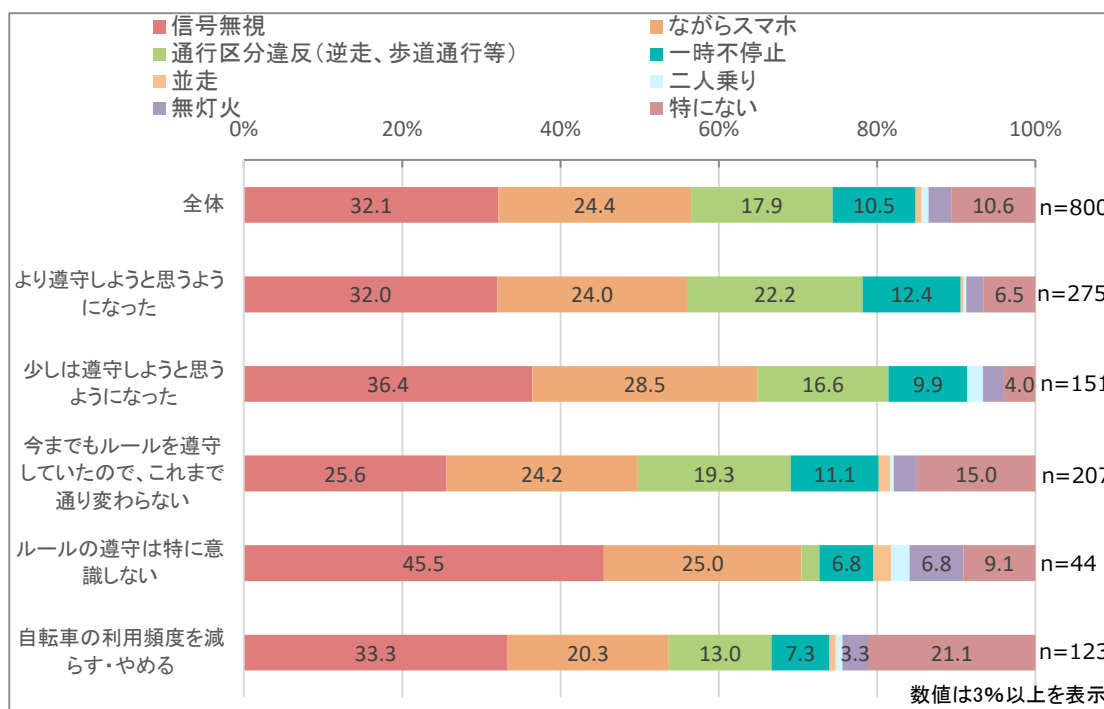


図 4.2.114 青切符(交通反則通告制度)の開始によつてのルールの遵守度と青切符(交通反則通告制度)の開始で「特に気を付けたい行為」【1位】

#### 4. 2. 43 電動キックボードの利用状況

電動キックボードの利用状況は、「利用している」が 0.9%、「利用していないが利用する予定がある」が 3.3%、「利用していないし利用する予定もない」が 95.9%と令和 6 年度と同様に電動キックボードの利用率は低い。

表 4. 2. 113 電動キックボードの利用状況

電動キックボードの利用状況	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
利用している	7	0.9	7	0.9	9	1.1
利用していないが利用する予定がある	26	3.3	35	4.4	56	7.0
利用していないし利用する予定もない	767	95.9	758	94.8	735	91.9

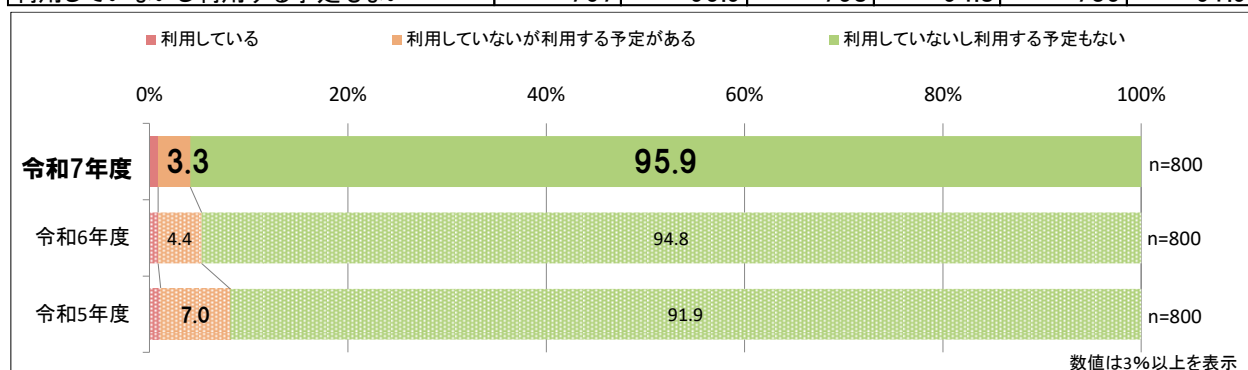


図 4. 2. 117 電動キックボードの利用状況

#### 4. 2. 44 電動キックボードを利用する際の交通ルール認知度

電動キックボードを利用する際の交通ルールの認知度は、「知っている」が 23.1%、「知らない」が 76.9%となっている。令和 6 年度と比較すると、「知っている」は 0.9 ポイント減少、「知らない」は 0.9 ポイント増加している。

表 4. 2. 114 電動キックボードを利用する際の交通ルール認知度

電動キックボードを利用する際の交通ルール認知度	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
全体	800	100.0	800	100.0	800	100.0
知っている	185	23.1	192	24.0	135	16.9
知らない	615	76.9	608	76.0	665	83.1

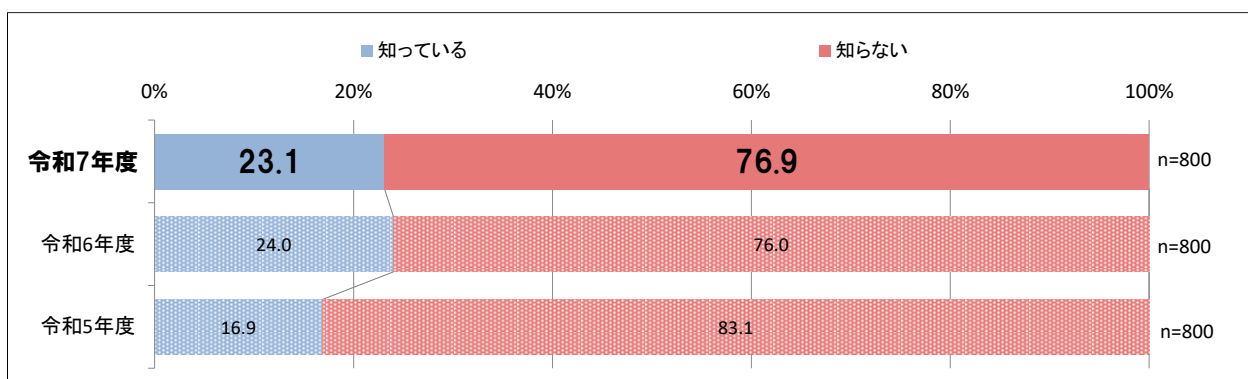


図 4. 2. 118 電動キックボードを利用する際の交通ルール認知度